

工部省官制局事務局令第100号
官制局令第100号

日語

下巻

周肉館 主編

一般語学としての日本語教科書
分科語学としての日本語教科書

本館に送付 資料で本館
本館の資料を
本館に送付 資料で本館
本館の資料を

内容提要

本书是供文理工医农等各类专业使用的新教材,可以作专业技术人员参加职称晋升日语水平考试的参考用书,还可以作成人教育用书。本书精选2800个左右最常用的词汇,精选语法内容和规范的课文。本书还有如下特点:一、各专业通用,其内容覆盖了周炎辉主编的理工科日语教材。二、本书上册可以作180学时用的零起点大学日语(第一外语)教材,并可以作中级专业技术人员参加职称晋升日语水平考试的参考用书;从语音部分至第21课可以作为大学日语(第二外语)教材;上下两册可以作280学时用的教材,并可作高级专业技术人员参加职称晋升日语水平考试的参考用书。三、编排了各种题型的练习,可以适应各种考试;并编有两套供中级职称考试用的自测题和两套供高级职称考试用的自测题。四、书末附有参考译文、练习答案和试题答案,便于自学。

目 次

| | |
|--------------------------|----|
| 第 28 课 | 1 |
| 课 文:機械との共存 | 1 |
| 实用会话(9):口座を作る | 2 |
| 语 法:一、句间联系 | 5 |
| 二、阅读指导(七) | 7 |
| 第 29 课 | 14 |
| 课 文:生産のしくみ | 14 |
| 实用会话(10):部屋を借りる | 15 |
| 语 法:一、句群 | 17 |
| 二、阅读指导(八) | 19 |
| 第 30 课 | 23 |
| 课 文:具象以前 | 23 |
| 实用会话(11):ホテルの予約 | 25 |
| 语 法:一、段落的分析 | 27 |
| 二、阅读指导(九) | 28 |
| 第 31 课 | 32 |
| 课 文:案内者 | 32 |
| 实用会话(12):航空券の予約 | 34 |
| 语 法:一、文章大意与中心思想 | 37 |
| 二、阅读指导(十) | 38 |
| 第 32 课 | 43 |
| 课 文:青い時間 | 43 |
| 实用会话(13):アパートさがし | 45 |
| 语 法:一、主题 | 47 |
| 二、阅读指导(十一) | 48 |
| 第 33 课 | 52 |
| 课 文:オームの生誕地を訪ねて | 52 |

| | |
|-------------------------------|-----|
| 实用会话(14):求職の面接 | 53 |
| 语 法:惯用型知识一 概述 | 56 |
| 第 34 课 | 60 |
| 课 文:登山三分法 | 60 |
| 实用会话(15):朝晩のあいさつ | 62 |
| 语 法:惯用型知识二 修饰惯用型剖析示例 | 65 |
| 第 35 课 | 72 |
| 课 文:抗議する義務 | 72 |
| 实用会话(16):料理の注文 | 73 |
| 语 法:惯用型知识三 补助惯用型剖析示例 | 75 |
| 第 36 课 | 79 |
| 课 文:化学と生活 | 79 |
| 翻译要领:一、概述 | 82 |
| 二、词义的选择及引伸 | 83 |
| 第 37 课 | 88 |
| 课 文:ミツバチのダンス(上) | 88 |
| 翻译要领:一、增词和减词 | 91 |
| 二、词序的颠倒 | 93 |
| 第 38 课 | 96 |
| 课 文:ミツバチのダンス(下) | 96 |
| 翻译要领:一、成分的转换 | 99 |
| 二、长句短译 | 100 |
| 第 39 课 | 105 |
| 课 文:総合練習例 | 105 |
| 综合题的解法 | 107 |
| 第 40 课 | 113 |
| 课 文:生物学と読書 | 113 |
| 第 41 课 | 116 |
| 课 文:閉ざされた言語 | 116 |

| | |
|-------------------|-----|
| 第 42 课 | 119 |
| 课 文：翻译文化 | 119 |
| 高级阶段自测题(一) | 123 |
| 高级阶段自测题(二) | 130 |
| 附 录 | 137 |
| 课文译文 | 137 |
| 课外读物译文 | 182 |
| 练习答案 | 196 |
| 总词汇表 | 233 |

第 28 課

本 文：機械との共存
実用会話(9)：口座を作る
文 法：一、句間联系
二、阅读指导(七)

本 文

機械との共存

今日の社会では、機械と人間にかかわりのある問題が非常に多くなっている。日常生活を脅かす公害問題や交通事故の問題などもそれである。これらの問題は、どれも複雑な社会のしくみと関連していて、簡単に解決できるというものではない。公害問題は産業や経済と深く結び付いているし、交通の問題は、都市と農村とを問わず、今日の生活から切り離すことができない。つまり、現代の社会は、機械によって高度の文明を実現しながら、その反面、好ましくない、多くの矛盾を抱えているのである。したがって、機械と人間との関係について、ここで根本的に考え直してみることは、意味のあることである。

現代の社会で重要な役割を果たしている機械も、決して突如として生まれてきたものではない。考える能力と造る能力とがあり、積極的に環境を変えようとする意欲を持った人類は、簡単な道具からより複雑な装置をくふうし、次第に機械らしいものを考えていった。車輪・テコ・歯車・ポンプのたぐいがこれである。いったん発明された機械は、その進歩が速い。ことに蒸気機関のような動力を出す原動機が発明されてからは、機械の威力は決定的なものとなった。そして、機械の性能が高まるにつれて、人間のいろいろな機能と関連し、その機能を代用するように

なってきた。たとえば、電話は耳に、自動車は足に、といったぐあいである。人間の持つ複雑な精神活動を別にすれば、機械は、人間の能力の限界を突き破り、可能性を大幅に延長したといえよう。

しかし、初めは人間に奉仕する忠実な召使であった機械が、逆に人間を巻き込んで活動し始めた。機械は人間が創造したものであったが、後には、人間は機械なしには生きられなくなり、機械との共存を強いられることになった。そして、さらに機械は、人間に今までとは違った生活態度を要求するほどになった。たとえば、疲れたとき眠くなるということは、人体の健康を保つための生理であるが、自動車を運転している人にとっては、眠くなるということは最も危険な状態なのである。このように、自然の生活の中で長い間かかって作られた人間の適応性というものが、身体のおしくみから生活態度に至るまで、機械との共存によって変化させられることになったのである。

現代社会は、こうした意味で、機械文明との新しい調和を考えなければならない時期に来ているのである。

(石森延男編「中等新国語」三)

実用会話(9)

口座を作る

A: いらっしゃいませ。

B: 新しく口座を開きたいんですが。

A: はい、この用紙にご住所とお名前、電話番号をお書きください。

B: これでいいですか。

A: はい、結構です。ご印鑑をお願いします。

B: はい、どうぞ。

A: ご入金はいくらでしょうか。

B: 普通預金の利息はいくらですか。

A: 利息は年率 1.5 パーセントです。

B: では、三万円をお願いします。

A: はい、承知いたしました。今通帳を作りますから、そちらでしばらくお待ちください。

新 出 語

| | | |
|----|------------------------------|-------------------|
| 1 | き かい[機械] | (名)機械, 機器 |
| 2 | きょう そん[共存] | (名・自サ)共存 |
| 3 | かかわり[係り] | (名)关系 |
| 4 | にち じょう[日常] | (名)日常 |
| 5 | おびやかす[脅かす] | (他五)威胁 |
| 6 | しくみ[仕組(み)] | (名)结构, 构造 |
| 7 | かい けつ[解決] | (名・他サ)解决 |
| 8 | さん ぎょう[産業] | (名)产业 |
| 9 | のう そん[農村] | (名)农村 |
| 10 | とう[問う] | (他五)问, 提问 |
| 11 | きりはなす[切り離す] | (他五)割裂, 分开 |
| 12 | こう ど[高度] | (名)高度 |
| 13 | このましい[好ましい] | (形)令人喜欢的 |
| 14 | む じゅん[矛盾] | (名)矛盾 |
| 15 | かかえる[抱える] | (他一)抱, 拥有 |
| 16 | したがって[従って] | (接)因此, 从而 |
| 17 | こん ぽん てき[根本的] | (形动)根本上 |
| 18 | はたす[果たす] やくわりをはたす[役割を果たす] | (他五)完成 (词组)起作用 |
| 19 | とつ じょ[突如] | (副)突然 |
| 20 | せつ きょく てき[積極的] | (形动)积极 |
| 21 | い よく[意欲] | (名)意愿, 热情 |
| 22 | そう ち[装置] | (名・他サ)装置, 装备 |
| 23 | どう ぐ[道具] | (名)工具 |
| 24 | しだいに[次第に] | (副)逐渐 |
| 25 | しゃ りん[車輪] | (名)车轮 |
| 26 | テコ | (名)杠杆 |
| 27 | はぐるま[歯車] | (名)齿轮 |
| 28 | ポンプ[pump] | (名)泵 |
| 29 | たぐい[類] | (名)一类 |
| 30 | いっ たん[一(旦)] | (副)一度, 一旦, 如果 |
| 31 | ことに[殊に] | (副)特别 |

| | | |
|----|------------------|---------------|
| 32 | じょう き き かん[蒸気機関] | (名)蒸气机 |
| 33 | げん どう き[原動機] | (名)动力机械 |
| 34 | い りょく[威力] | (名)威力 |
| 35 | けっ てい てき[決定的] | (形动)决定性的 |
| 36 | せい のう[性能] | (名)性能 |
| 37 | たかまる[高まる] | (自五)高涨 |
| 38 | き のう[機能] | (名)机能 |
| 39 | だい よう[代用] | (名・他サ)代用 |
| 40 | ぐ あい[具合] | (名)情况 |
| 41 | せい しん[精神] | (名)精神 |
| 42 | つきやぶる[突き破る] | (他五)突破 |
| 43 | おおはば[大幅] | (名・形动)大幅度 |
| 44 | えん ちょう[延長] | (名・他サ)延长 |
| 45 | ほう し[奉仕] | (名・自サ)服务 |
| 46 | ちゅう じつ[忠实] | (形动)忠实 |
| 47 | めしつかい[召使] | (名)奴仆 |
| 48 | まきこむ[巻き込む] | (他五)卷入 |
| 49 | しいる[強いる] | (他一)强迫 |
| 50 | よう きゅう[要求] | (名・他サ)要求 |
| 51 | ねむい[眠い] | (形)困倦,思睡 |
| 52 | けん こう[健康] | (名・形动)健康,健壮 |
| 53 | たもつ[保つ] | (他五)保持,维持 |
| 54 | せい り[生理] | (名)生理 |
| 55 | てき おう せい[適応性] | (名)适应性 |
| 56 | しん たい[身体] | (名)身体 |
| 57 | いたる[至る] | (自五)至,到 |
| 58 | へん か[変化] | (名・自サ)变化,改变 |
| 59 | ちょう わ[調和] | (名・自サ)调和,和谐 |
| 60 | こう ざ[口座] | (名)户头 |
| | こうざをつくる[口座を作る] | (词组)开户头 |
| 61 | ひらく[開く] | (他五)开,敞开 |
| 62 | よう し[用紙] | (名)格式纸,规定用纸 |
| 63 | ばん ごう[番号] | (名)号码 |
| 64 | いん かん[印鑑] | (名)印鉴 |
| 65 | にゅう きん[入金] | (名・自サ)进款,收入钱款 |
| 66 | よ きん[預金] | (名・自他サ)存款 |
| 67 | り そく[利息] | (名)利息 |
| 68 | ねん りつ[年率] | (名)年利 |
| 69 | つう ちょう[通帳] | (名)折子,存折 |

本文の注釈

1. たとえば、電話は耳に、自動車は足に、といったぐあいである。/例
如，电话代耳，汽车代步。
“電話は耳に，自動車は足に”中省略了动词かわる。
2. 後には，人間は機械なしには生きられなくなり，…/后来，人没有机
器就不能生活了……
“なし”是文语形容词的终止形，“機械なしには”相当于口语的“機械
がなくては”。文语形容词的形态变化有六种，“なし”的变化是：未然
形なく（なから），连用形なく（なかり），终止形なし，连体形なき（な
かる），已然形なけれ，命令形なけれ。

文 法

一、句间联系

一篇文章是由许多句子组成的，上句与下句之间一定存在着意义上的联系。只有正确认识这种联系，才能准确地把握全文的意思。

句子与句子之间的联系，通过下述两种手段来体现：

（一）通过接续词语，包括接续词、副词、惯用型等。例如：

自然界をいろどる緑の正体は、植物の葉である。つまり、日本人が「自然のいろは？」と聞かれて、まっさきに緑を思い浮かべるのは、日本の山野にいかにも植物が多いかの表れである。さらに、青を思い浮かべるのは、晴れた日の空の色が美しく、また、地上にきれいな水が豊富にあることを表している。そして茶色は、いうまでもなく土の色である。

上面这一段文字共四个句子。第二句开头用了接续词つまり，表示这一句是对上句的补充说明。第三句开头用了副词さらに，表示这一句与上句是递进关系。第四句开头用了接续词そして，也是表示递进关系。再如：

ハンスは実際に考えたり、数をかぞえたりできるように思われました。しかし、この委員会の発表のすぐ後に、ほかの科学者が真相を見つけました。

这两句之间用了接续词しかし，表示转折关系。

通过重复同一词语或有关词语，来进行意义上的衔接。例如：

この人は「ハンス」という名のウマを訓練して、算術の問題に答えることができるようにしました。ハンスは前足で正しい答えの数だけ地面を

たたくことができました。ハンスは「かしこいハンス」とよばれるようになりました。ハンスは…。

日本人の生活は、昔からすべてにわたって植物への依存度が高かった。家屋は木材を使って建てられている。衣料では、麻や木綿のような植物繊維がはなはだ重要な材料となっている。食生活についても同様である。農耕が日本人の暮らしの中心になったことも、その結果として当然であった。

通过こそあど系词汇,特别要注意こ系列和そ系列的几个词。例如:

容器に水を入れて静かにしておくと、水面はまったく平らになる。この容器を動かしたりかたむけたりすると、水はゆれたりこぼれたりするが、しまいには平らな水面をつくって静止する。

・よく歌の文句にも「山紫に水清く」などという言葉が登場するが、「水清く」はよいとして、山が紫とはどういうことであろうか。それは、山肌をおおっている植物の緑の上に、もう一つ別の要素が加わることを示している。

通过特定的句式。例如:

わたしは本を読む。弟は絵を書く。(句式为:…は…は)

日常生活においても、われわれは、合成皮革のくつなどの表面が、ほこりによごれやすいことに気がつく。その材料であるプラスチックとちりの粒子とが摩擦によって帯電し、引力をおよぼしあうからである。(句式为:…からだ)

数学の成績もいい。日本語もじょうずだ。(句式为:…も…も)

(二)通过意合,即从意义上来看上下句之间有因果、条件、并列、补充等等关系。例如:

系の先におもりつけ、水そうの水にひたす。分度器を使って、系が水面とどんな角度にあるか調べてみる。(两句是顺承关系,第二句前本可以出现そして之类的接续词,但不用也能从文意上看出来。)

雨が降ってきた。かさを持っていない。急いで走りだした。/下起雨来了,没有带伞,就赶快跑起来。(第一、二两句间是逆接关系,可以有しかし一类词。第二、三两句间是顺承(因果)关系,可以有そこで一类词。)

句与句之间的联系,大致可以分为如下几种:

1. 顺承。即上下句间是顺着承接的。常用的接续词语有:だから、したがって、それで、そのため、それだけに、そして、それから、すると、かくて、その結果…。例如:

…「天文学対話」という本のなかには、慣性の法則をもとにして、地動説にたいする上の反対論が、けっして大地の不動を示すことにならないと力説されている。そのため、ガリレイは、ローマ教会の怒りにふれて宗教裁判にかけられ、不遇な晩年をおくったが、それでも「地球は動く」という考えをすてなかった。

2. 逆接。即上下句之间是转折,让步等关系。常用的接续词语有:しかし、

けれども、だが、ところが、それにしても、そうかといって、にもかかわらず、とはいうものの…。例如：

これらの知識は経験から得られたもので、「なぜそれが正しいか」という理由は示されていなかった。しかし、いろいろな図形の性質のなかには、簡単なものと複雑なものとのがあり、簡単なものから複雑なものを理論的に説明できる場合のあることが、しだいに人々に気づかれてきた。

3. 并列与递进。即上下句是并列关系。或一层进一层的关系。常用的接续词语有：また、そして、同時に、そのうえ、それに…。例如：

3 図(a)のように、中央がややもりあがった容器に液体を滴たし、これにあわを入れた器具を使うと、あわの動きから、台や地面が水平であるかどうかを調べることができる。また、U字管の2つの水面を見通して、同じ高さであるかどうかを知ることができる。

4. 选择与对比。常用的接续词语有：それとも、あるいは、または、むしろ、一方、そのかわり、それに対し…。例如：

海へ行こうか。それとも、山へ行こうか。/到海滨去，还是上山去呢？

5. 补充。即下句补充说明上句。常用的接续词语有：つまり、すなわち、というのは、ただし、例えば…。例如：

かすみのような現象によって、植物の鮮やかな緑が、くすんだ紫色に変えられる。つまり、本来の鮮明な色彩が和らげられるわけである。

6. 归结。用以作总结、归纳。常用的接续词语有：要するに、このように、つまり、以上述べたごとく、前に述べたように…。例如：

おもりをつけた系の示す方向を鉛直線といい、上の実験でわかるように、広い水面は、いつも鉛直線と直角になっている。このように、鉛直線と直角になっている水面を水平面という。

7. 转换。即用以转换话题。常用的接续词语有：さて、ところで、では、ときに…。例如：

文法の説明はこれで終わりました。では本文の説明に移ります。/语法讲解就到这里为止，下面开始讲解课文。

二、阅读指导(七)

上一课谈到，经过一定的阅读训练以后，当我们读主从句时，读到从句就能推测主句；读并列句时，读到前一分句就能推测后一分句。读一个复合句是如此，读一段文章也是如此。经过一段训练，有了一定功力以后，往往读完一个句子，就能猜到后一个句子将要说什么。

训练仍然要从精读开始，首先要牢记上面谈到的表示句与句之间的联系的两类形式，和句与句之间存在的七种意义上的联系。阅读时读完一句要停下来想一想，再读下面一句。久而久之，我们的阅读速度就快了。

在阅读的过程中，我们特别要注意那些接续词语、相关词语、こそあと系

词汇、特定の句式以及意义上的暗合等。例如：

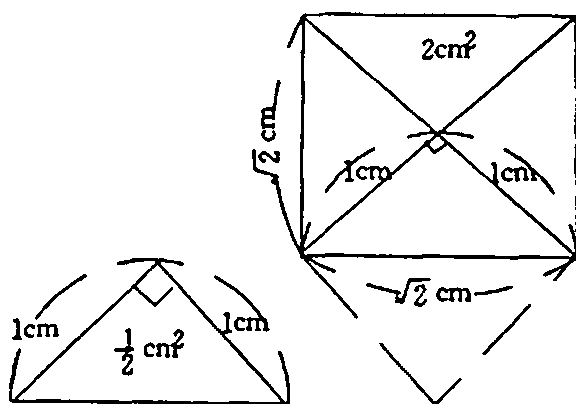
日本列島の自然は、どんな特色をもっていたであろうか。また、(读到这里我们就得到了一个信息，估计出下面可能出现一个与上句并列的句子) その自然は(从その和特定の句式…は…は又得到了进一步的信息。)日本人の生活様式やものの考え方に、どのような影響を与えてきたであろうか。

練習

一、次の文章を読んで、その中の「つながりを示す言葉」の下に線を引きなさい。

無理数の話

直角をはさむ辺の長さが1cmである直角二等辺三角形の面積は $\frac{1}{2}\text{cm}^2$ である。この三角形を、図のように4つ合わせると正方形ができて、その面積は $\frac{1}{2}\text{cm}^2 \times 4$ 、すなわち 2cm^2 となる。したがって、この正方形の1辺の長さを表す数は“2乗すると2になる数”である。この数はまた、1辺が1cmの正方形の対角線の長さを表す数でもある。この“2乗すると2になる数” $\sqrt{2}$



はどんな数でも表すことができない。

このような無理数が存在することを発見したのは紀元前6世紀末のギリシアのピタゴラス学派である。このような数が、正方形の対角線のようなありふれた図形に存在することは、かれらをおどろかせた。かれらは、無理数を「いうことのできないもの」として、数としてあつかうことをしなかった。また、「いうことのできないもの」は秘密にしておかなければならないと考え、この大発見にもかかわらず、世の中に発表しないことにしたといわれている。

その後、 $\sqrt{3}$ や $\sqrt{5}$ など無理数であることが発見され、ソクラテスがそれにたいへん感心したことをプラトンが書き残している。

いっぽう、古代インドの数学者たちも、2次方程式を解くときに無理数に出あったが、かれらは無理数と有理数のちがいにはあまりこだわらず、無理数も有理数と同じように数としてあつかった。

このようなインド人の代数学がアラビア人に伝わり、ギリシアの幾何学とともにヨーロッパへ伝えられ、現代の数学へ発展していったのである。

注 釈

- 1 1辺が1cmの、译作“一边为1cm的……”，这个的的作用相当于である。
 - 2 ピタゴラス[Pythagoras] (名)毕德哥拉斯(人名)
ピタゴラスがくは[Pythagoras 学派] (名)毕德哥拉斯学派
 - 3 ありふれる[有り触れる] (自一)常见的(常接た)
 - 4 …を…にしておく (补助惯用型)把……当作了……
 - 5 …にもかかわらず (修饰惯用型)尽管……却……
 - 6 ソクラテス[Sokrates] (名)苏格拉底(人名)
 - 7 プラトン[Platon] (名)柏拉图(人名)
 - 8 インド[India] (名)印度(国名)
 - 9 であう[出会う] (自五)碰到
 - 10 こだわる (自五)拘泥
こだわらず 不拘泥
 - 11 アラビア[Arabia] (名)阿拉伯
 - 12 …とともに[……と共に] (修饰惯用型)与……一起
- 二、次の本文につづく第二部分と第三部分を読んで、あとの問に答えなさい。

[A] 人間の身体は生物として発達してきたものであるから、その機能は、ひと言でいえば、生活のための機能と種の保存のための機能であるといえる。そうして、生活のための機能を、その働きのうえから分類してみると、大きく二つに分けられる。一つは、運動するための筋肉的な働きであり、一つは、感覚・記憶・判断などに関係する神経的な働きである。機械は、本来人間の生活のための機能を助ける目的で考え出されたものであるから、この分類は、機械にも当てはまる。すなわち、動力型の機械は筋肉の働きの、通信・情報型の機械は神経の働きの該当する。

動力型の機械と情報型の機械とは、必ずしも並行して発達したわけではなかった。たとえば、十五世紀には印刷機が発明され、情報を伝達するうえ

で大きな変革を起こしたが、これに比べて動力型の機械にはまだ見るべきものがなかった。しかし、十八世紀になって蒸気機関が発明されると、これを応用して汽車や汽船が造られ、さらに各種の産業機械が次つぎに開発された。これらの動力型の機械の急激な発展をもとにして、第一次産業革命が起こり、それは社会で働く人びとの組織や生活を大きく変えていった。

〔B〕、十九世紀の終わりごろには、電気技術が発達し、動力型の面ばかりでなく、情報型の技術にとっても好都合な手段を与えることになった。そのころまで交通手段に依存していた通信の方法が、有線・無線の通信技術の発明によって初めて独立した。ことに無線通信は国境を越え、海を渡って通信をかわす手段を人類に与え、社会生活に大きな影響を及ぼした。そして、徐じょに世界にまたがる情報網ができ、さらに今世紀にはいって放送網が地球上を覆うに至った。この事実は、人類社会に社会組織ができたようなもので、地球のすみずみにまで感覚を身につけ、一民族・一国家のことだけでなく、人類全体について考える力を持つようになってきた。

〔C〕、人間は、伝達された情報について、それを記憶したり、それに判断を加えたりする情報処理の能力を持つが、その能力には限界がある。電気通信の技術が発達して、いろいろな情報を得ることができても、それを処理するのに非常に時間がかかったり、誤りを犯したりする。たとえば、ある科学的理論ができ、それに従って計算すればいいとしても、その計算に大変な時間がかかるので行き詰まるようなことが多い。この人間の頭脳の限界を破るために、電子計算機と呼ばれる、高速で正確な情報処理のための機械が生まれたのである。昔、円周率の計算を一生かかって七百けたまでした人があったが、今では、機械が数時間で一千けたも計算する。また、人間の頭脳は一度に多方面のことを考える能力が弱いが、電子計算機はそのような場合にも正確に処理することができる。

このような情報処理のための大型機械は今後ますます発達するであろうが、これが、政治・法律・経済から教育に至るまで、およそ情報処理に関係するすべてのものに影響を与えることは明らかである。第一次産業革命が動力型の革命であったのに対して、電子計算機の出現による第二の技術革新は、情報型の革命といってよいであろう。今日の「情報時代」ということばは、そのことを端的に表わしているのである。

わずか百年ぐらゐの間に、機械の動きは、動力的には巨大化し情報的には著しく精密化した。人類の歴史の中で、これほど大きな変化と発展をみせたものは、機械のほかにはない。それに比べて、最も変化していないのは人間自身である。人体の基本的構造は、原始時代と大差はない。したがって、人間と機械の共存する現代の生活に、種種の矛盾や未熟なところがあるのはやむをえないことかもしれない。

生来人間の持っている欲求は、それが適当であれば生活意欲を高めるの

に役立つが、機械と共存するときには、ひとりの力が千倍にも万倍にもなるから、意欲が著しく拡大される結果となり、ともすると破局につながることになる。近代の戦争はそのはなはだしい例で、機械と機械との戦いの中に人間が巻き込まれるという無惨な様相を示している。また、経済的な競争にしても、機械の力によっていっそう激しくなり、公害とか交通事故とか不慮の災害など、人間生活に不利益をもたらすことが多く起こるようになった。

〔D〕、機械を含む巨大な組織の中では、個人の力はあまりに弱く、機械に人間が圧倒されてしまうのではないかという不安も生じる。機械は、人間のようになんでもできるものではないが、一つ一つの機能を取り出して比べると、馬力の点でも速度の点でもはるかに人間にまさっている。したがって、高能率な機械化が進むにつれ、人間は次第に片すみに追いやられ、極端な場合には機械の一部にすぎないような単純作業を課せられるようになる。そこに、人間性の疎外という問題も生じる。

〔E〕、現代の社会は、もはや機械を無視しては考えられない。とすれば、いかにして、機械との共存を合理化し、そこに新しい調和を見いだすかが、今後の課題となる。

急激に巨大化した機械文明は、まだ音く、粗暴であるといえよう。われわれの目標は、この若く粗暴な文明を、平和で思慮深い文明に変えていくことだと思う。今までの歴史では、悪い結果が予測できず、やってみては直していくという試行錯誤が多かった。〔F〕、機械と人間の共存する社会では、試みた結果が取り返しのつかない大事件になる可能性が多いから、できるだけ先を予測し、事前にそれを阻止する態度を強めることが大切である。予測するための情報処理をする機械は、今後ますます進むであろう。しかし、そのような機械をどのように使い、どのような決定を下すかは、結局人間である。ここに、広い視野を持ち、正しい判断を下し、強い意志と勇気を持った人間が必要となってくる。

機械と人間との問題は、政治家や科学者・技術者だけの問題ではなく、現代の社会に生きるすべての人びとの課題であるといえよう。

注 釈

- | | | |
|---|---------------|------------------|
| 1 | あてはまる [当てはまる] | (自五)正好相当 |
| 2 | がい とう [該当] | (自サ)正相当,正合适 |
| 3 | 必ずしも…ない | (呼应慣用型)不一定…… |
| 4 | 見るべきもの | (词组)值得看的東西,显眼的東西 |
| 5 | こう つ ごう [好都合] | (形动)合适的 |
| 6 | またがる | (自五)横跨 |

| | | |
|----|------------------|--------------|
| 7 | すみずみ | (名)每个角落 |
| 8 | いきづまる [行き詰まる] | (自五)行不通 |
| 9 | けた | (名)位数 |
| 10 | たんてき [端的] | (形动)明白地,直截了当 |
| 11 | み じゅく [未熟] | (形动)未成熟 |
| 12 | やむをえない | (词组)不得已 |
| 13 | ともすると | (副)往往 |
| 14 | は きょく [破局] | (名)悲惨的结局 |
| 15 | はなはだしい | (形)非常 |
| 16 | むざんなようそう [無惨な様相] | (词组)悲惨的情景 |
| 17 | ふ りょ [不慮] | (名)意外 |
| 18 | なんでもできる | (词组)什么都会 |
| 19 | まさる [勝る・優る] | (自五)胜过 |
| 20 | 片すみに追いやられる | (词组)被驱赶到角落里 |
| 21 | かする [課する] | (他サ)布置 |
| 22 | そ がい [疎外] | (名・他サ)疏远 |
| 23 | しりょぶかい [思慮深い] | (词组)深思熟虑 |
| 24 | 取り返しがつかない | (词组)不可挽回 |

問一 [A]から[F]までの中にどんなことばを入れたらいいか。ア、イ、ウ、エから一番適当なものを一つ選びなさい。

| | | | | |
|-----|---|-------|---|-------|
| [A] | ア | きて | イ | また |
| | ウ | ところが | エ | つまり |
| [B] | ア | まだ | イ | また |
| | ウ | 一方 | エ | つまり |
| [C] | ア | そして | イ | そのため |
| | ウ | だから | エ | ところで |
| [D] | ア | したがって | イ | すると |
| | ウ | 一方 | エ | では |
| [E] | ア | それに | イ | そのうえ |
| | ウ | それで | エ | しかし |
| [F] | ア | しかし | イ | そして |
| | ウ | それとも | エ | そのように |

問二 第二,四,六段落の中に,下線を付けた「それ」はそれぞれ何をさしますか。ア・イ・ウ・エから一番適当なものを一つ選びなさい。

第二段落の「それ」:()

ア 動力型の機械 イ 情報型の機械

ウ 第一次産業革命 エ 印刷機
第四段落の「それ」:()

ア 記憶 イ 能力
ウ 電気通信 エ 情報

第六段落の「それ」:()
ア 機械の動き イ 人類の歴史
ウ 機械 エ 大きな変化

問三 第三,四,七,十段落の中に,下線を付けたことばはどんなつながり方を表していますか。ア・イ・ウ・エから一番適当なものを一つ選びなさい。

第三段落の「そして」:()
ア 順接 イ 逆接
ウ 並列 エ 補充

第四段落の「たとえば」:()
ア 順接 イ 逆接
ウ 帰結 エ 補充

第七段落の「また」:()
ア 帰結 イ 漸進
ウ 順接 エ 逆接

第十段落の「しかし」:()
ア 転換 イ 帰結
ウ 補充 エ 逆接

第 29 課

本 文：生産のしくみ
実用会話(10)：部屋を借りる
文 法： 一、句群
二、阅读指导(八)

本 文

生産のしくみ

私たちが、毎日のくらしをしていくためには、いろいろな物が
必要です。食料・衣料・住居のように、生きていくための必需品
から、書物・家具・テレビなどのように、生活を豊かに、楽し
くするための物まで、欲を言えばきりがありません。しかし、こ
のような、私たちにとって必要なもの、ほしいものは、自然に手
にはいるものではありません。私たちは、どうしても、これらの物
を、自分たちのちえと努力によって作り出さなければなりませ
ん。このような働きを生産と言います。私たちの生活に必要な
ものは、すべて生産の働きによって作り出されるものですから、
私たちの経済生活のしくみを十分に理解するためには、生産の
しくみを深く調べることがたいせつです。

私たちが物を生産するためには、自然が必要であり、自然を利
用して、初めて財貨を生産することができます。しかし、自然の
物は、そのままの状態では、ほとんど人間の生活に役に立ちませ
ん。そこで、自然の物がそれぞれ持っている性質や特徴を十分に
利用して、その形や性質を変えたり、おたがいに組み合わせたり
して、私たちの生活に、直接役に立つ状態にしなけれげなりませ
ん。このような仕事をするのが人間の働きです。そして、人間が
自然に働きかけて、初めて自然の物を人間の生活に必要な財貨

に変えることができるのです。このような人間の働きを労働と言います。つまり、生産のためには、自然と、自然に対して働きかける人間の労働とが必要だということになります。

このような生産のしくみを、パンを生産するという実際の例について、くわしく調べてみましょう。

パンを作るためには、職人の労働のほかに、いろいろのもとでが必要です。まず、パン工場を作るための土地、パンを焼く機械、動力機械、それらを雨風から防ぐ建物、その他の設備、動力としての電気や燃料、原料としての小麦粉・砂糖など、多くのものが考えられます。これらのもとでととなっているものをよく調べてみますと、土地のように自然のままのもの、鉄のような金属や木材などを加工して作ったもの、電気や燃料のように自然の水力や石炭・石油などを利用したもの、小麦粉のように、土地を利用して作られた小麦を加工したものなどがあります。場所としての自然(土地)に対して、機械・動力・原料などのように、自然の物に加工が加えられたもとでのことを「生産手段」と言います。財貨の生産には、労働と自然が必要であるということは、つまり、労働と土地と生産手段(資本)の三つが必要であるということになります。

この労働・土地・生産手段(資本)の三つを、生産の三要素と言いますが、この三つの要素が集まって、はじめて財貨を生産することができるのです。このうちのどの一つを欠いても、財貨の生産はできません。さらに、この三つの要素の組み合わせを適当に変えることによって、私たちのほしいものを、いろいろ作ることができるわけですから、生産のしくみの発展ということは、結局、生産要素の新しい組み合わせを発見して、生産能率を向上させたり、新しい物を生産することを言うわけです。

(東洋経済新報社発行、「私たちの働きとくらし」)

実用会話(10)

部屋を借りる

A: すみません。部屋を借りたいのですが。

B:どんな部屋がいいですか。

A:二人で住みますから、部屋は狭くても、別別の部屋がほしいのです。

B:このアパートはいかがですか。6畳と4畳半の部屋と台所とそれに、お風呂があります。

A:家賃はいくらですか。

B:家賃は一か月五万円ですが、礼金と敷金が一か月ずつ要ります。

A:高いですね。家賃は三万円ぐらいまでにしたいんですが。

B:三万円ではあまりいい所はないかもしれませんが、探してみしましょう。

A:お願いします。風呂の付いていない所でも結構です。

新 出 語

| | | |
|----|----------------|--------------|
| 1 | しょく りょう[食料] | (名)食物 |
| 2 | じゅう きょ[住居] | (名)住宅 |
| 3 | ひつ じゅ ひん[必需品] | (名)必需品 |
| 4 | しょ もつ[書物] | (名)书籍 |
| 5 | か ぐ[家具] | (名)家具 |
| 6 | よく[欲] | (名)欲望 |
| 7 | きり[切り] | (名)完, 終了 |
| 8 | どうしても | (副)无论如何也, 必须 |
| 9 | じゅう ぶん[十分] | (形动・副)充分 |
| 10 | ざい か[財貨] | (名)质资料, 财物 |
| 11 | そのまま | (名・副)照样, 就那样 |
| 12 | やくにたつ[役に立つ] | (词组)起作用 |
| 13 | とく ちょう[特徴] | (名)特征 |
| 14 | おたがい[お互い] | (副)互相, 彼此 |
| 15 | はたらきかける[働きかける] | (自一)作用于 |
| 16 | ろう どう[労働] | (名・自サ)劳动 |
| 17 | しょく にん[職人] | (名)手艺人 |
| 18 | もとで[元手] | (名)本钱 |
| 19 | やく[焼く] | (他五)烤, 烧 |
| 20 | どう りょく[動力] | (名)动力 |
| 21 | あめかせ[雨風] | (名)风雨 |

| | |
|------------------------------|---------------------------|
| 22 ふせぐ[防ぐ] | (他五)防御;预防 |
| 23 ねん りょう[燃料] | (名)燃料 |
| 24 こむぎこ[小麦粉] | (名)面粉 |
| 25 てつ[鉄] | (名)铁 |
| 26 きん ぞく[金属] | (名)金属 |
| 27 か こう[加工] | (名・他サ)加工 |
| 28 すい りょく[水力] | (名)水力 |
| 29 せき たん[石炭] | (名)煤,煤炭 |
| 30 せき ゆ[石油] | (名)石油 |
| 31 こむぎ[小麦] | (名)小麦 |
| 32 しゅ だん[手段] | (名)手段 |
| 33 あつまる[集まる] | (自五)集合 |
| 34 のう りつ[能率] | (名)效率 |
| 35 とう よう[東洋] | (名)东洋,东方 |
| 36 けい ざい しん ぼう しゃ [経済新報社] | (名)经济新报社 |
| 37 はっ こう[発行] | (名・他サ)发行 |
| 38 べつべつ[別別] | (名・形动)各自;分别 |
| 39 たたみ[畳] | (名)(日本式房间里铺在地板上的)草垫,“榻榻米” |
| 40 へや[部屋] | (名)房间,屋子 |
| 41 ふろ[風呂] | (名)浴池,澡盆 |
| 42 や ちん[家賃] | (名)房租 |
| 43 れい きん[礼金] | (名)酬谢金 |
| 44 しききん[敷金] | (名)(租房的)押金 |

文 法

一、句群

用两个或两个以上句子共同表达某一复杂思维的句子群体,叫句群。

上一课学过,在一篇文章中,相邻的两个句子一定存在着某种联系。但句间联系有紧有松。在一个句群里,句间联系是比较紧的;但在上一句群的末句和下一句群的首句之间的联系就比较松了,此时实际已是句群间的联系,而不是单个句子之间的联系了。

根据句群中句子与句子之间的主要联系,可以把句群分成如下几类:

1. 解证句群:句间存在着解说、阐释、证明的关系。最常见的关联词语是:

つまり、すなわち、たとえば等。例如：

私たちが、毎日のくらしをしていくためには、いろいろな物が必要です。食料・衣料・住居のように、生きていくための必需品から、書物・家具・テレビなどのように、生活を豊かに、楽しくするための物まで、欲を言えばきりがありません。（第二句是对第一句的解证）

2. 总分句群：前面的句子总起来说，后面的句子分开来说，或者前面的句子分开来说，后面的句子总起来说。例如：

数をかぞえることができるといわれた動物はたくさんあります。なかでも、「かしこいハンス」とよばれたドイツのウマはいちばん有名です。

3. 归结句群：先说明事实或现象，后面再作归纳或结论，通常用このように、こういうように、要するに等关联词语关联。例如：

おもりをつけた系の示す方向を鉛直線と直角になっている。このように、鉛直線と直角になっている水面を水平面という。

4. 并列句群：句子之间处于并列、对等、比照关系，常用关联词语また、そして、同時に、それに対して等关联。例如：

日本列島の自然は、どんな特色をもっていたであろうか。また、その自然は、日本人の生活様式やものの考え方に、どのような影響を与えてきたであろうか。

5. 连贯、递进句群：按时间顺序一个意思一个意思地叙述，或按意义顺序一层一层地加深叙述。常用それから、そして、すると等关联词语，或用时间名词、副词等关联。例如：

この人は「ハンス」という名のウマを訓練して、算術の問題に答えることができるようにしました。ハンスは前足で正しい答えの数だけ地面をたたくことができました。ハンスは…。ハンスは…。

6. 转折句群：句群内形成转折关系，常用しかし、けれども、だが、ところで等关联。例如：

ガリレイは不遇な晩年をおくった。しかし「それでも地球は動く」という考えをすてなかった。

7. 目的句群：前面叙述目的，后面叙述行为；或者前面叙述行为，后面补叙目的，常用そのため等关联。例如：

田中さんは貿易会社に入りたがった。そのため、英語を勉強した。

8. 因果句群：前面叙述原因，后面叙述结果；或者反过来，常用したがって、だから、そのため、それは…からだ等关联。例如：

昨日は病気になって、学校を休んだ。だから、そのことは知らなかった。

9. 条件句群：句间为条件关系。例如：

いっぽんに、水は 速らくさえていれば、容器の形にかかわらず、水面がつねに同じ高さになってとまる性質がある。このことを利用すると、ボイラの水面の高さを液面計で知ることができる。

10. 选择句型：为二者择一或数者择一的句型，常用それとも、あるいは、

または等关联。例如：

海へ行こうか。それとも、山へ行こうか。

一个句群还可以和另一个句子或另一个句群组合成意义更复杂的句群，这叫多重句群。多重句群以其最外层的关系命名，如：多重因果句群、多重解证句群等

二、阅读指导(八)

要阅读一篇文章，并正确地理解一篇文章的内容，在阅读时要注意以下几个环节。

1. 注意文章的标题

文章的标题，往往是概括文章的内容的，有时起着画龙点睛的作用，所以我们读完文章标题，可以预测一下这篇文章可能讲什么。例如，我们读到《生産のしくみ》这个标题，就会估计到可能是讲“什么叫生产的结构”、“生产结构的内容是什么”、“生产结构中存在问题”这类内容的。再如，读到《機械との共存》这个标题，就会估计到是讲什么事物(人)与机器的关系的。

2. 认真读懂第一句

文章怎样开头，是因文体、作者而异的，有的是开门见山，单刀直入的(例如《機械との共存》)，有的是从远到近、曲径通幽的(例如《生産のしくみ》就是从一般生活现象谈到经济学问题的)。但不管怎样开头，第一句都是很重要的。我们读懂第一句后就可以据以预测第二句是顺承还是逆接，或是并列、选择、补充、转换等等。我们的预测可能是正确的，也可能需要修正，但不管怎样，都有助于加强对文章的理解。

3. 注意段落之间的联系，掌握文章的脉络

首先要认真读懂第一段，据以预测第二段将怎样行文。在每一段中，第一句(或开头的两三句)和最末的一句(或两三句)是很重要的，因为它们体现了文章的移接，往往也包含了该段的主要内容。我们掌握了段落之间的联系，就能掌握住文章的脉络。

4. 提炼出文章的中心思想

读完一篇文章，要归纳一下文章的大意，从中提炼出中心思想。只有正确掌握了中心思想，才达到了阅读的目的。

練 習

一、本文に基づいて次の問に答えなさい。

1. 本文の第一段落には、「これらの物」ということばがありますが、これはどんなものですか。

2. なぜ「生産のしくみを深く調べることがたいせつ」なのですか。

3. 第二段落の「そのままの状態」とは、どんな状態ですか。
 4. 生産の三要素とは、どんなものですか。
 5. 生産のしくみの発展ということは、結局、どういうことですか。
- 二、次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

化学と物理学との関係

自然科学の分類では、化学は物理学と並んでおかれてきた。1[化学は物理学とそれほど縁が深いわけであり、専門の人でなければ区別がつきにくいこともある。特に最近の化学は物理学の実験手段を片っ端から取り入れて研究を押し進めているので、いずれ化学は物理学に吸収されてしまうだろうなどという人もいる。]しかし次に述べるように、これはすこし勘ちがいと思われる。

要するに、化学は物質の変化を研究する学問である。例えば、2[水素と酸素との混合物を適当な条件の下に置くと室温で液態の水となる。この変化するあるいは変化した物質を比べると全く違ったものであることがわかる。しかも別の条件の下では水は水素と酸素の混合物に戻る。]このように物質相互間の変化や、その条件を研究するのが化学である。これに対して、3[物理学は変化するあるいは変化した物質その自体の性質を、研究対象の一部としている。ときには化学の研究もこの種のものを対象として取り上げることもあるけれども、化学が最終的な目標を反応と関連させているということは物理学の場合と目的を異にしているといえよう。]

上記の理由から、物質の本質的变化、すなわち化学反応の研究こそが、化学の特徴であるといつてよい。4[それだけにすべて化学者と呼ばれる人々が、現在採用している研究方法は、おそらく妥当と思われるが、一方、必ずしも妥当といえないこともある。中には古い考えに従ったため、今では不適当と思われる方法を用いている場合もあるかもしれない。また一方では、新しい分野に対しては、独自の方法を開発していかなければならない。そこで化学反応それ自体を研究対象とする学問が生まれるようになったのである。

注 釈

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 えん[縁] | (名)縁, 缘分 |
| 2 かたっぱし[片っ端] | (名)一端, 一头 |
| 3 おしすすめる[押し進める] | (他一)推进 |
| 4 いずれ[(何)れ] | (副)早晚, 不久 |
| 5 かんちがい[勘違い] | (名・自サ)误解, 弄错 |
| 6 ようするに[要するに] | (副)简而言之, 总之 |

| | |
|-------------------|-------------------------|
| 7 てき とう[適當] | (名・形動・自サ)适当,恰当; 适合 |
| 8 まったく[全く] | (副)完全,的确,简直 |
| 9 しかも | (接)而且,并且 |
| 10 もどる[戻る] | (自五)回到,返回 |
| 11 そう ご かん[相互間] | (名)相互之间 |
| 12 じ たい[自体] | (名)本身,自身 |
| 13 しゅ[種] | (名)种类 |
| 14 とりあげる[取り上げる] | (他一)拿出,采用 |
| 15 さい しゅう てき[最終的] | (形動)最后 |
| 16 こと[異] | (名)不同,有区别 |
| 17 じょう き[上記] | (名・自サ)上述 |
| 18 ほん しつ てき[本質的] | (形動)本质的 |
| 19 おそらく[恐らく] | (副)恐怕,大概 |
| 20 だ とう[妥当] | (形動・自サ)妥当,妥善 |
| 21 かならずしも[必ずしも] | (副)不一定(常与否定的谓语呼 应使用) |
| 22 ふ…[不…] | (词素)不 |
| ふてきとう[不適當] | (形動)不恰当 |
| 23 ぶん や[分野] | (名)领域,范围 |
| 24 どく じ[独自] | (形動)独自,独特 |
| 25 かい はつ[開発] | (名・他サ)开发,开采 |

問:次の文のグループ(句群)はどんな文のグループですか。

| | |
|---------------|--------|
| [1]:()ア 解証句群 | イ 总分句群 |
| ウ 归结句群 | エ 递进句群 |
| [2]:()ア 连贯句群 | イ 并列句群 |
| ウ 递进句群 | エ 转折句群 |
| [3]:()ア 递进句群 | イ 转折句群 |
| ウ 目的句群 | エ 因果句群 |
| [4]:()ア 并列句群 | イ 因果句群 |
| ウ 条件句群 | エ 选择句群 |

三、次の文章を中国語に訳しなさい。

一、電気の良導体

食塩の水溶液とか食塩の融解したものの中には、イオンが存在して自由に動きうるために、これらの液体は電気をよく導く。これを電解質という。物質は、電気の良導体と不良導体とに区別することができる。電気のよく通る代表的なものは、金属と電解質の溶液および融解した電解質であ

る。金属はいうまでもなく、電気の良導体であるが、これは気体分子のように自由に動きまわることのできる電子(自由電子という)が金属の中に存在するからである。

注 釈

- | | | |
|---|----------------|-------------|
| 1 | りょう どう たい[良導体] | (名)良导体 |
| | ふりょうどうたい[不良導体] | (名)非良导体 |
| 2 | しょく えん[食塩] | (名)食盐 |
| 3 | よう えき[溶液] | (名)溶液 |
| | すいようえき[水溶液] | (名)水溶液 |
| 4 | ゆう かい [(融)解] | (名・自サ)熔融,溶化 |
| 5 | イオン [ion] | (名)离子 |
| 6 | そん ざい [存在] | (名・自サ)存在 |
| 7 | えき たい[液体] | (名)液体 |

二、熱

熱とは目に見えるものでなく、味もなく、形もなく、また重さもないものであるが、火に手をかざせば、暖かく感じ、水に手が触れると冷たく感じる。すなわち、われわれは「暖かい」「冷たい」という感覚を持っており、温度という概念を直感的に知っている。この直感のほかの動物も持っているが、火を使うことを知っている動物は人間だけである。人間は古い時代から火を利用し、これを生活に結びつけてきた。

温度の高い物体と温度の低い物体を接触させると高い方の温度は下がり、低い方の温度は上がる。すなわち熱が高いところから低いところに移っていくのである。両方が同じ温度になったときに、この作用は停止する。熱も水と同じように高いところから低いところへ流れるのである。

注 釈

- | | | |
|---|-----------------|------------|
| 1 | あじ [味] | (名)味道 |
| 2 | ひ [火] | (名)火 |
| 3 | かざす | (他五)伸(手烤火) |
| 4 | かん かく [感覚] | (名)感覚 |
| 5 | がい ねん [概念] | (名)概念 |
| 6 | ちょっ かん てき [直感的] | (形动)直感的 |
| 7 | むすびつける [結び付ける] | (他一)联系,结合 |
| 8 | さがる [下がる] | (自五)下降 |
| 9 | てい し [停止] | (名・自他サ)停止 |

第 30 課

本 文：具象以前
実用会話(11)：ホテルの予約
文 法：一、段落的分析
二、阅读指导(九)

本 文

具 象 以 前

湯川秀樹

ある科学者が画期的な発見をするとか、基本的に新しい着想から出発した、ある学説を提唱するとかした場合、わたしたちはもちろん、その学者を高く評価する。一言にしていえば、科学者をその業績によって評価する。それは確かに公正な態度である。どんなにその学者が苦心さんたんしたにせよ、そこから独創的な業績が生まれなかったら、多くの場合、わたしたちはその人の価値を認める正当な理由を持ち得ないであろう。それはそうに違いない。しかし同時にそれは、外から見た時の、やや離れて見た時の評価でもある。

ところで、わたしたちは自分以外の学者の大多数が、どういう苦勞をしているか、何に苦勞をしているかを知らない。自分の身近の少数の学者について、あるいは遠くにいる学者がある大きな成功を収めた場合についてだけ、それらの人々の苦心を知らされたり、関心を持ったりするのである。一人の人間の能力は極めて限られている。自分以外の多数の人たちの苦勞に一一関心を持っていたのでは、自分自身が失われてしまうであろう。それもその通りである。

しかし、それにもかかわらず、わたしは近来、外から見て、離れ

て見て、ある人の評価をするだけではいけないということを、ますます強く感じるようになってきた。ある人が何のために努力しているか、何を苦勞しているかという面を、もっと重要視しなければならないと思うようになってきた。天の羽衣がきてなでるという幸運はめったに來ない。一度もそういう幸運に恵まれずに一生を終わる人の方がずっと多いであろう。しかし、だからといって、そういう人生は無意味であったとは限らない。他人は知らなくても、その人自身は何かについて苦心をしつづけていたかもしれない。その「何か」が重要なことであったかもしれない。「どんな風に」苦心したかが重要であったかもしれない。

絵を書く人は、絵になる以前のイメージを、自分の中で暖めて育ててきたであろう。彫刻家は素材を前にして、まだ現実化されない理想的な形態を思い浮かべているであろう。科学者の研究が一応完結するまでに、一編の論文となるまでに、どんなに長い間、生みの苦しみをつづけてきたのか。ついに絵にならない場合、ついに彫刻が完成しない場合、論文が出版されない場合、それがどんなに多いか。外から離れて見る者には分からない。いわばそれは具象以前の世界である。混沌から、ある明確な形態を持った物が生まれるより以前の世界、生まれようとしている世界である。その人自身にとって、また深い関心を持って、その人の世界を知ろうとする人にとって、それは無意味な世界ではない。

人間は具象以前の世界を内蔵している。そしてそこから何か具象化されたものを取り出そうとする。科学も芸術もそういう努力のあらわれである。いわば混沌に目鼻をつけようとする努力である。人生の意義の少なくとも一つは、ここに見出し得るのではなかろうか。

実用会話(11)

ホテルの予約

A: あのを、部屋を予約したいんですが。

B: どんな部屋をご希望なんですか。

A: シングル・ルームがほしいんです。

B: では、十階の南むきの部屋を用意しておきます。

A: たいへん結構です。部屋代はいくらですか。

B: 一泊で八千円ですが、よろしいでしょうか。

A: それでいいです。

B: 何泊されますか。

A: 三泊の予定ですが、都合で四泊することになるかもしれません。

B: はい、失礼ですが、お名前は…

A: 王です。

B: はい、承知しました。お待ちしております。

A: どうも。では、また。

新 出 語

- | | | |
|----|-------------------|------------------|
| 1 | ぐ しょう[具象] | (名・他サ)具体, 形象化 |
| 2 | い ぜん[以前] | (接尾)……以前 |
| 3 | かっ き てき[画期的] | (形动)划时代的 |
| 4 | き ほん てき[基本的] | (形动)基本的 |
| 5 | ちゃく そう[着想] | (名・自サ)构思 |
| 6 | がく せつ[学説] | (名)学说 |
| 7 | てい しょう[提唱] | (名・他サ)提倡 |
| 8 | ひょう か[評価] | (名・他サ)评价 |
| 9 | いちごん[一言] | (名・自サ)一言, 一句话 |
| 10 | ぎょう せき[業績] | (名)业绩, 成果 |
| 11 | たしかに[確かに] | (副)的确, 一定 |
| 12 | こう せい[公正] | (名・形动)公正, 公平 |
| 13 | く しん さん たん[苦心惨たん] | (名・自サ)呕心沥血, 煞费苦心 |

| | | |
|----|----------------|--------------------|
| 14 | どく そう てき[独创的] | (形动)独创性的 |
| 15 | か ち[価値] | (名)价值 |
| 16 | みとめる[認める] | (他一)认识,承认,准许 |
| 17 | せい とう[正当] | (名・形动)正当,合理 |
| 18 | はなれる[離れる] | (自一)离开 |
| 19 | だい た すう[大多数] | (名)大多数 |
| 20 | しん ぺん[身边] | (名)身边 |
| 21 | しょう すう[少数] | (名)少数 |
| 22 | あるいは[或いは] | (接)或,或许 |
| 23 | おさめる[収める] | (他一)获得,取得 |
| 24 | く しん[苦心] | (名・自サ)苦心,费心 |
| 25 | た すう[多数] | (名)多数 |
| 26 | じぶん じ しん[自分自身] | (名)(加强“自分”的语气)自己自身 |
| 27 | きん らい[近来] | (名)近日,近来 |
| 28 | ますます | (副)益,越发,更加 |
| 29 | めん[面] | (名)方面 |
| 30 | じゅう よう し[重要視] | (名・他サ)重视 |
| 31 | あまのはごろも[天の羽衣] | (名)神仙穿的又轻又薄的衣:天仙 |
| 32 | なでる[(く撫)でる] | (他一)抚摸,抚慰 |
| 33 | こう うん[幸運] | (名・形动)好运气 |
| 34 | おわる[終(わ)る] | (自五)完了,结束 |
| 35 | じん せい[人生] | (名)人生,人的一生 |
| 36 | ふう[風] | (名)样子,状态,方式 |
| 37 | イメージ[image] | (名)形象,印象 |
| 38 | ちょう こく[彫刻] | (名・他サ)雕刻 |
| 39 | ちょう こく か[彫刻家] | (名)雕刻家 |
| 40 | そ ざい[素材] | (名)素材,材料 |
| 41 | げん じつ か[现实化] | (名)现实化,具体化 |
| 42 | り そう てき[理想的] | (形动)理想的 |
| 43 | けい たい [形態・形体] | (名)形状,样子 |
| 44 | いち おう[一応・一往] | (副)一次,一下,大体 |
| 45 | かん けつ[完結] | (名・自サ)完结,结束 |
| 46 | へん[編] | (接尾)篇,卷,册 |
| 47 | ろん ぶん[論文] | (名)论文 |
| 48 | なまみ[生身] | (名)血肉 |
| 49 | ついに[終に・遂に・竟に] | (副)终于,竟然,直到最后 |
| 50 | しゅっ ぱん[出版] | (名・他サ)出版 |
| 51 | こん とん[混沌] | (形动)浑沌,朦胧 |
| 52 | めい かく[明確] | (名・形动)明确 |

| | | |
|----|-----------------------|--------------|
| 53 | ない ぞう[内蔵] | (名・他サ)内含,包含 |
| 54 | ぐ しょう か[具象化] | (名)具体化 |
| 55 | とりだす[取り出す] | (他五)拿出;抽出,挑出 |
| 56 | めはな[目鼻] | (名)眼睛和鼻子 |
| | めはなをつける[目鼻をつける] | (词组)弄出大概轮廓 |
| 57 | い ぎ[意義] | (名)意义;价值 |
| 58 | みだす[見出す] | (他五)发现,找出 |
| 59 | よやく[予約] | (名・他サ)希望,愿望 |
| 60 | シングル・ルーム[single room] | (名)单人房间 |
| 61 | よう い[用意] | (名・自他サ)准备;小心 |
| 62 | へやだい[部屋代] | (名)房费,房钱,房租 |
| 63 | はく[泊] | (接尾)夜,宿 |
| 64 | よろしい | (形)好;可以的;适当的 |
| 65 | よ てい[予定] | (名・他サ)预定 |
| 66 | つこう[都合] | (名)合适,方便;情况 |

文 法

一、段落的分析

一篇文章往往分成若干个段落。从形式上来说,每个新的段落都要另起一行并要退一格,这种段落叫自然段(形式上の段落)。一个或几个自然段表达一层意思,这种段落叫意义段(意味の段落)。

文章的段落结构往往因文体、作者而异。一般说,文艺性文章是根据时间、地点、场面、登场人物、事件来组织段落的,论说文是根据论说的需要来组织段落的。

同句子与句子之间在意义上有联系一样,自然段与自然段之间也是有联系的。从形式上来看,也有通过接续词语、相关词语、こそあと系词汇、特殊句式来体现的,和通过意合来体现的两种情况;从意义上来看,也有顺承、逆接、并列与递进、选择与对比、补充、归结、转换之分。

论说文的段落有如下几个类型:

1. 二段式,整篇文章分成两个意义段。这又可以分为两种;一种是演绎式的,第一段提出主张或说明中心思想,第二段举出事例或展开说明;另一种是归纳式的,第一段列出事例或说明情况,第二段提出主张或作出结论,新闻报道、短评之类的文章,大多是二段式的,其中演绎式的更多。

2. 三段式,整篇文章分成三个意义段。第一段是序论,用以提起问题;第二段是本论,是文章的中心部分,用以展开论述;第三段是结论,用以结束全篇文章。

3. 四段式,整篇文章分成“起承转合”四个意义段。第一段是“起”,用以提出问题;第二段是“承”,用以继续加深内容;第三段是“转”,用以转换到另外一个角度或另外一个方面来展开论述;第四段是“合”,用以将起承和转的两部分合起来,结束文章。

此外,还有所谓五段式,即整篇文章分成序论,说明,论证,叙述,结论五个意义段。

论文大多采用三段式,下面,我们以第七课课文《生産のしくみ》为例,来分析一下段落。

这篇文章共有五个自然段。第二自然段用意合的办法与第一自然段承接,是顺承关系。第三自然段是个过渡段,通过它把第一自然段和第四自然段连接起来,它与第二自然段的连接是通过こそあと系词语このような。第四自然段通过相关词语ペンを作る(上段はパンを生産する)与第三自然段承接,第五自然段是通过この和相关语“労働・土地・生産手段(资本)”与第四自然段连接,是归结关系。

通过对五个自然段的联系方式的分析,自然就可以看出,这是一篇三段式的文章。

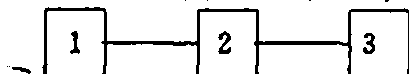
第一自然段就是第一个意义段,即序论部分,用以提出问题,说明:我们要了解经济生活的结构,就必须了解生产的结构。

第二、三、四自然段是第二个意义段,即本论部分,用以展开论述,说明生产由生产的三要素构成。

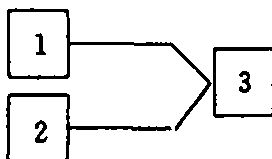
第五自然段是第三个意义段,即结论部分,用以作出结论,指出:要发展生产,就要发现三要素的新组合。

二、阅读指导(九)

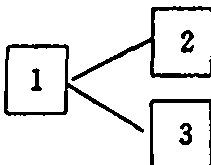
我们必须注意,在一段文章中如果有三个以上句子时,它们之间的关系绝不会总是象列车的车厢一样,呈直线式的,有时可能是立体的,有时可能是直线式的。用图来表示的话,即:



有的则可能是:



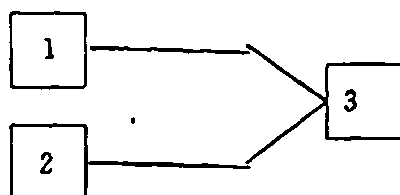
或者:



例如：

① 3 图(a)のように、中央がややもりあがった容器に液体を滴たし、これにあわを入れた器具を使うと、あわの動きから、台や地面が水平であるかどうかを調べることができる。② また、U 字管の2つの水面を見通して、同じ高さであるかどうかを知ることにもできる(b)。③ このように、水平面の性質を利用して、高さのちがいや面のかたむきを知る器具を水準器とよんでいる。

这一段三个句子的关系就是：第一句与第二句是并列关系，第三句是对第一、二两句的总结。图解是：



練習

一、本文に基づいて次の問に答えなさい。

1. 「…その学者を高く評価する。」の「その学者」はどんな学者ですか。

2. 「公正な態度」とは何の態度ですか。

3. 「そういう人の人生は無意味であったとは限らない」の「そういう人」はどんな人ですか。

4. 「そうしてそこから何か具象化されたものを取り出そうとする。」の「そこ」は何を示しているか。

二、次の文章を四つの段落に区切りなさい。

ここに「手」という言葉があります。この、言葉の「手」は実際の手とは違います。言葉の「手」では、ボールを握ることも、かゆい所を掻くこともできません。言葉の「手」は、実際の「手」のように、だれかの体にくっついていてということもありません。わたしたちが、なににかについて考えるとき、例えば「手」について考えるとき、人間の、体に実際にくっついていて「手」を、いちいち持ってきて考える、というわけにはいかないのです。実際の「手」とは違う、ボールも握れないし、かゆい所を掻くこともできない言葉の「手」を持ってきて、始めて、わたしたちは、「手」について考えることができるのです。「手」のように目で見えるものならば、まだ言葉を使わなくともなんとかできますが、「地球」などになると、実際の「地球」を持ってくるわけにはいきません。言葉の「地球」を使って、始め

てわたしたちは、「地球」について考え、「地球は回っている」ということも考えられるのです。このように、言葉は「考える」ために、絶対に必要なものでもあるのです。

(小畑哲雄「パターン学習中学国文法」より)

注 釈

- | | | |
|---|-----------|------------------|
| 1 | ボール[ball] | (名)球 |
| 2 | かゆい | (形)痒 |
| 3 | かく[掻く] | (他五)抓,搔 |
| 4 | くっつく | (自五)粘附,靠紧 |
| 5 | いちいち[一一] | (副)一一 |
| 6 | …わけにはいかない | (补助惯用型)不可能…… |
| 7 | とも | (接续助词)与“ても”的作用相同 |
| 8 | なんとか | (副)设法,总会有办法 |

三. 次の文章を読んで後の問に答えなさい。

詩を読む若き人びとのために

深瀬 基寛

①もしも皆さんが浜辺に来て、一枚の銅貨——古ぼけた、つやのない、赤ちゃけた銅貨を拾ったとします。②それを一分間か二分間か、一握りのぬれ砂で(かわいた砂ではだめです。)きつくこすってみたとします。③するとその銅貨はたちまち黄金色にぴかぴか光ってきて、その銅貨が鑄造されたその日のようなきれいな、まっさらな姿を現します。④さて、詩というものは、ちょうどぬれ砂が銅貨に及ぼすようなききめと同じききめを単語の上に及ぼすものなのです。⑤まるで奇跡としか思われないうようなしかたで、味もそっけもないものに見えた単語にぴかぴか光るつやを与えるのです。⑥このようにして詩は絶え間なく「言葉を再び作り直しつつある」のです。⑦そのしかたにはいろいろあります。⑧詩は新しい単語を鑄造することもできます。⑨以前には専門家だけに使用されていた単語——たとえば技術用語・科学用語——を広く一般に通用させる手助けをすることができます。⑩また、一般に通用していた単語を以前とは違った新しい文脈の中に取り入れて、その単語がかつて顔を合わせたことのない別の平凡な単語たちに紹介することもできます。⑪それはちょうど親切な一家の主人がお客の席で互に見知らぬお客さんをお互いに紹介して、お互いに仲よくさせるようなものです。⑫つまり、詩はいろんな単語を新しく交際させることによって、それらの単語の価値というものを豊かにすることができます。⑬たとえば、テニスンは岩壁から下を見おろしている一羽のワシについて一編の詩を書いています、その中でかれは「皺よる海は足もとにはう」と言っています。⑭この際、かれはまったく平凡な二つの単語、「は

う」と「皺よる」とを新しく結び合わせることによって、非常に高い絶壁の上から見おろした海を感じというものを、いかにもまざまざと描き出しているのです。

注 釈

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. もしも[若しも] | (副)假使(もしの强调说法) |
| 2. どうか[銅貨] | (名)铜货,铜钱 |
| 3. ふるぼける[古ぼける] | (自一)变陈旧,破旧 |
| 4. つや[艶] | (名)光泽,光亮 |
| 5. あかちゃける[赤茶ける] | (自一)发红,变成红褐色 |
| 6. ぬれる[濡れる] | (自一)濡湿,淋湿 |
| 7. かわく[渴く] | (自五)渴,干渴 |
| 8. きつい | (形)强烈,厉害 |
| 9. こする[擦る] | (他五)擦,摩擦 |
| 10. ぴかぴか | (副・自サ)闪闪发光貌 |
| 11. ききめ[利(き)目・効(き)目] | (名)效验,效力,灵验 |
| 12. そっけ | (名)味儿,因素 |
| 味もそっけもない | 丝毫无趣,十分乏味 |
| 13. かつて | (副)曾,曾经 |
| 14. テニスン[Alfred Tennyson] | (名)但尼森 |
| 15. はう | (自五)爬 |
| 16. みおろす[見下ろす] | (他五)俯视,往下看 |
| 17. いかにも[如何にも] | (副)的确的确,完全 |
| 18. まざまざ(と) | (副)清清楚楚,清晰 |

問 この文章は三つの段落に分けられるが、どう分けたらいいですか。ア、イ、ウ、エから一番適当なものを一つ選びなさい。

- ア 一段落:①、② 二段落:③、④、⑤、⑥
 三段落:⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭
- イ 一段落:①、②、③、④、⑤、⑥、 二段落:⑦、⑧、⑨
 三段落:⑩、⑪、⑫、⑬、⑭
- ウ 一段落:①、②、③、 三段落:④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨
 三段落:⑩、⑪、⑫、⑬、⑭
- エ 一段落:①、②、③ 二段落:④、⑤、⑥
 三段落:⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭

第 31 課

本 文：案内者
実用会話(12)：航空券の予約
文 法：一、文章大意与中心思想
二、阅读指导(十)

本 文

案 内 者

寺田寅彦

どこかへ旅行がしてみたくなる。しかし別にどこというきまったあてがない。そういう時に旅行案内記の類いをあけて見ると、あるいは海浜、あるいは山間の湖水、あるいは温泉といったように、行くべき所がさまざまありすぎるほどある。そこでまずかりに温泉なら温泉ときめて、温泉の部を少し詳しく見て行くと、各温泉の水質や効能、周囲の景勝名所旧跡などのだいたいがざっとわかる。しかしもう少し詳しく具体的な事が知りたくなって、今度は温泉専門の案内書を捜し出して読んでみる。そうするとまずほんやりとおおよその見当がついてくるが、いくら詳細な案内記を丁寧に読んでみたところで、結局ほんとうのところは自分で行って見なければわかるはずはない。もしもそれがわかるようならば、うちで書物だけ読んでいればわざわざ出かける必要はないと言ってもいい。次には念のためにいろいろの人の話を聞いてみても、人によってかなり言うことがちがっていて、だれのオーソリテティを信じていいかわからなくなってほう。それでさんざんに調べた最後には、つまりいいかげんに、賽でも投げると同じような偶然な機縁によって目的の地をどうにかきめるほかはない。

こういうやり方は言わばアカデミックなオーソドックスなやり方であると言われる。これは多くの人々にとって最も安全な

方法であって、こうすればめったに大きな失望やとんでもない違算を生ずる心配が少ない。そうして主要な名勝旧跡をうっかり見落とす気づかいもない。

しかしこれとちがったやり方もないではない。たとえば旅行がしたくなると同時に最初から賽をふって行く所をきめてしまう。あるいは偶然に読んだ詩編か小説かの中である感興に打たれたような場所に決めてしまう。そうして案内記などにはてんでかまわないで飛び出して行く。そうして自分の足と目で自由に気の向くままに歩き回り見て回る。この方法はとにかくいろいろな失策や困難をひき起こしやすい。またいわゆる名所旧跡などのすぐ前を通りながら知らずに見のがしてしまったりするのは有りがちなことである。これは危険の多いヘテロドックスなやり方である。これはうっかり一般の人にすすめることのできかねるやり方である。

しかし前の安全な方法にも短所はある。読んだ案内書や聞いた人の話が、いつまでも頭の中に巣をくっついて、それが自分の目を隠し耳をおおう。それがためにせっかくわざわざ出かけて来た自分自身は言わば行李の中にでも押しこめられたような形になり、結局案内記や話した人が湯にはいったり見物したり享樂したりすると同じようなことになる、こういうふうになりたがるおそれがある。もちろんこれは案内書や教えた人の罪ではない。

しかしそれでも結構であるという人がずいぶんある。そういう人はもちろんそれでよい。

しかしそれでは、わざわざ出て来たかいないと考える人もある。曲がりなりにも自分の目で見て自分の足で踏んで、その見る景色、踏む大地と自分とが直接にぴったり触れ合う時にのみ感じ得られる鋭い感覚を味わわなければなんにもならないという人がある。こういう人はとにかく案内書や人の話を無視し、あるいはわざと避けたがる。便利と安全を買うために自分を売ることをおそれるからである。こういう変わり者はどうかすると万人の見るものを落としがちである代わりに、いかなる案内記にもかいてないものを掘り出す機会がある。

実用会話(12)

航空券の予約

A: すみません、大阪行きの飛行機を予約したいのですが。

B: いつのですか。

A: 明日午後のですが、ありますか。

B: すみません。満席です。午前のでは、いかがですか。

A: はい、それにしましょう。

B: 何枚ですか。

A: 一枚だけです。

B: ファーストクラスですか、それともエコノミークラスですか。

A: エコノミークラスです。何時発ですか。

B: 午前九時半です。二時間前に空港についたら、結構です。

A: 空港へは直行のバスがありますか。

B: はい、あります。午前六時半に銀座前からバスが出ます。

A: ありがとうございます。

新 出 語

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 あん ない しゃ[案内者] | (名)向导, 带路人 |
| 2 あて[当て] | (名)目标, 目的; 期待 |
| 3 りょ こう あん ない き[旅行案内記] | (名)旅行指南 |
| 4 かい ひん[海浜] | (名)海滨 |
| 5 さん かん[山間] | (名)山间, 山中 |
| 6 こ すい[湖水] | (名)湖水 |
| 7 おん せん[温泉] | (名)温泉 |
| 8 そこで | (接)于是, 所以 |
| 9 かりに[仮に] | (副)假设, 即使, 姑且 |
| 10 ぶ[部] | (名)部分 |
| 11 すい しつ [水質] | (名)水质 |
| 12 こう のう[効能] | (名)功能, 效力 |
| 13 けい しょう[景勝] | (名)名胜, 佳景 |

| | | |
|----|-------------------|----------------------|
| 14 | ざっと | (副)大体上,简略地,大概 |
| 15 | せん もん[専門] | (名)专业 |
| 16 | あん ない しょ[案内書] | (名)指南书;导游手册 |
| 17 | ぼんやり | (名・副・自サ)模模糊糊 |
| 18 | おおよそ | (名・副)大体,大致 |
| 19 | けん とう[見当] | (名)推测,估计,判断 |
| 20 | しょう さい [詳細] | (名・形动)详细 |
| 21 | てい ねい[丁寧] | (名・形协)有礼貌, 非常仔细 |
| 22 | もしも | (副)(もしの强调说法)假如 |
| 23 | わざわざ | (副)特意 |
| 24 | ねん[念] | (名)念头,心情,观念 |
| 25 | かなり | (副)颇,相当 |
| 26 | オーソリィ[authority] | (名)权威,名家 |
| 27 | さんざん[散散] | (副・形动)充分地;狠狠地 |
| 28 | かげん[加減] | (名)程度,情况;加减 |
| 29 | さい[賽] | (名)骰子 |
| 30 | ぐう ぜん[偶然] | (名・副・形动)偶然 |
| 31 | き えん[機縁] | (名)机缘,机会 |
| 32 | もく てき[目的] | (名)目的 |
| 33 | ち[地] | (名)(大)地 |
| 34 | アカデミック[ademic] | (形动)学院式的;古典式的 |
| 35 | オーソドックス[orthodox] | (形动)正统的 |
| 36 | しつ ほう[失望] | (名・自サ)失望 |
| 37 | とんでもない | (形)出乎意外的;哪里话 |
| 38 | い さん[違算] | (名・自サ)误算,估计错 |
| 39 | しゅ よう[主要] | (名・形动)主要 |
| 40 | みおとす[見落とす] | (他五)看漏,忽略 |
| 41 | きづかい[氣遣い] | (名)担心,挂虑 |
| 42 | どう じ[同時] | (名)同时;同时代 |
| 43 | し へん[詩編] | (名)诗编 |
| 44 | しょう せつ[小説] | (名)小说 |
| 45 | かん きょう[感興] | (名)兴趣,兴致 |
| 46 | うつ[打つ] | (他五)打;打动 |
| 47 | てんで | (副)丝毫,完全,根本 |
| 48 | とびだす[飛び出す] | (自五)飞起来;突然跳出, 跑出去 |
| 49 | むく[向く] | (自五)向,朝;适合 |
| 50 | とかく | (副)总之,不管怎么说 |
| 51 | こん なん[困難] | (名・形动)困难 |

| | | |
|----|--------------------------|-------------------------|
| 52 | みのがす[見逃す] | (他五)看漏,放跑;饶恕 |
| 53 | ありがち[有り勝ち] | (形动)常有,常见 |
| 54 | ヘテロドックス[heterodox] | (名)不合乎公众标准的; 异端的 |
| 55 | すすめる[勧める] | (他一)推荐,劝 |
| 56 | かねる | (他一)(接在动词连用形下) 碍难,不能 |
| 57 | あん ぜん[安全] | (名・形)安全,保险 |
| 58 | たん しょ[短所] | (名)短处,缺点 |
| 59 | いつまでも[何時までも] | (副)到什么时候也……。 |
| 60 | すをくう[巢を食う] | (词组)作巢,立家 |
| 61 | せっかく | (副)特意,好不容易 |
| 62 | こう り[行李] | (名)行李 |
| 63 | おしこむ[押(し)込む] | (自他五)塞进,装入 |
| 64 | きょう らく[享楽] | (名・他サ)享乐 |
| 65 | つみ[罪] | (名)罪行;罪过 |
| 66 | かい[甲斐] | (名)效果,用处,价值 |
| 67 | まがりなりに[曲(が)りなりに] | (副)不完全,不充分,勉强 |
| 68 | ぴったり | (副・自サ)准确无误,恰好 |
| 69 | ふれあう[触れ合う] | (自五)直接接触,互相接触 |
| 70 | するどい[鋭い] | (形)尖锐的,敏锐的 |
| 71 | あじわう[味わう] | (他五)品尝;体验 |
| 72 | わざと | (副)故意 |
| 73 | かわりもの[変(わ)り者] | (名)奇人,怪人 |
| 74 | かわり[代わり] | (名)代替,代用 |
| 75 | ほりだす[掘り出す] | (他五)挖出,掘出 |
| 76 | こう くう けん[航空券] | (名)飞机票 |
| 77 | まん せき[満席] | (名)满席,满员 |
| 78 | ご ぜん[午前] | (名)上午,午前 |
| 79 | ファーストクラス[first class] | (名)头等舱 |
| 80 | エコノミークラス[economic class] | (名)经济舱 |
| 81 | はつ[発] | (名)(飞机、车、船等)开出 |
| 82 | くう こう[空港] | (名)飞机场 |
| 83 | ちょっこう[直行] | (名・自サ)(车船等)直达 |

本文の注釈

1. (用言连体形・词组・句)はずはない。[补助惯用型]
意义与…はずである相反,可译作“不可能……”、“不会……”。例如:

そんなところは、彼は行くはずはない。/那種地方他不可能去。

2. (用言连体形・词组・句)ほかはない[补助惯用型]

表示别无选择,只有这一办法,可译作“只有……”、“只能……”。例如:
その中から一つ選ぶほかはない。/只能从中选一个。

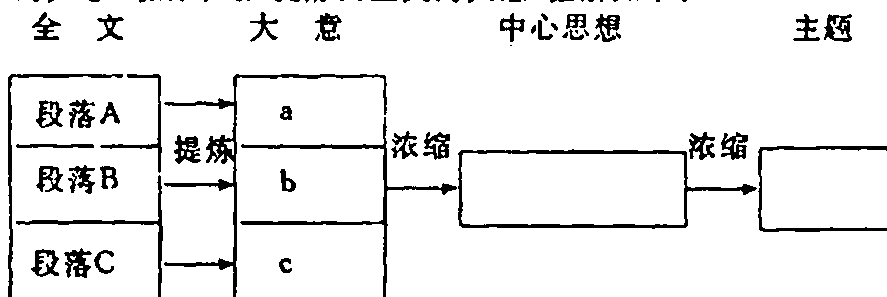
文 法

一. 文章大意与中心思想

阅读一篇文章,要准确地掌握其内容,就要抓住一篇文章的大意。学会迅速而准确地抓住一篇文章的大意,有利于提高阅读速度,增强掌握信息的能力。

文章的基本单位是句子,句子组成句群,句群组成自然段,自然段组成意义段,意义段组成文章。

抓大意的方法是:先抓住每一个自然段的大意,再从自然段浓缩,提炼出意义段的大意,最后浓缩,提炼出全文的大意,图解如下:



大意经过浓缩就是中心思想,有时候大意与中心思想是一回事。中心思想经过浓缩就是主题,有时候中心思想就是主题。大意、中心思想、主题三者之间并无截然的分界,主要视其内容的浓缩程度。

下面以本课课文为例。

首先看自然段大意。

第一段:想去旅行而无特定目标时,有时看看旅游手册,有时问问人,但是最终是由偶然因素决定目的地。

第二段:这种方法是最正统的方法,对大多数人来说是最安全的方法。

第三段:另外有一种方法是首先随意确定一个地方,信步去游,这是一种较合理的方法。

第四段:但上述安全方法也有缺点,就是囿于书本和别人的介绍,不可能自由地去看。

第五段:很多人认为这无所谓,那就用这种方法就行了。

第六段:有的人还是想自己去发现新事物,尽管可能漏掉大家都看的名胜,却有机会发现新景观。

这六个自然段可分成四个意义段，归纳四个意义段的大意如下：

第一段，由第一、第二自然段组成。大意为：出门旅行要确定目的地时，最传统、最安全的方法是先看旅游手册或问去过的人。

第二段，由第三自然段组成。大意为：另一种方法是信步出游，但较冒险。

第三段，由第四、第五自然段组成，大意为：但传统方法也有缺点，就是不能随便去看。如果不在乎这一点当然也就没问题了。

第四段，由第六自然段组成，大意为：信步出游的方法有可能漏掉名胜，但却有机会发现新景观。

把以上四段内容连起来就是大意。把大意再浓缩一下就得出如下中心思想：

事前尽可能作好调查再去旅行的方法最安全，但有可能囿于调查而失去自由见闻的机会。另外一种方法是信步出游，虽然有可能漏掉大家都看的景点，但却有可能发现谁都没见过的新景观。

二. 阅读指导(十)

要迅速而准确地读懂一篇文章，在心里一层一层地记住各段大意当然是一种方法，但最好是用铅笔在书上(如果书是自己的)或纸上做一些记号，或写一些摘记。这种方法既有利于当时读懂，也有利于以后再查阅。

例如可以用以下记号：

1. 在重要词语、句子旁边划线。
2. 用→把文章的展开过程，逻辑推理过程连接起来。
3. 用括号标出大的意义段，标上“序论”、“本论”、“结论”等字样。
4. 在一个段落中，一篇文章中常有能表现中心思想的句子，把这些句子用双线画出来。
5. 在有疑问的地方画“？”，在感受深刻的地方或特别赞赏的地方画“△”。可利用本课课文试试这种方法。

練習

一. 次の文章を読んで後の問に答えなさい。

スティブンソンというイギリスの作家に、「シキル博士とハイド氏」という小説がある。これは愛と憎しみ、優美と残酷、神と悪魔とが同時に巢食っている人間の心そのものを明確に拡大して取り出してきたものである。このように、文学はあらゆるものの中にある特徴をつかみ出し、更にそれを高い普遍的な姿として造型する。造型することによって、人間の問題を最も普遍的な立場から追求し、解いてゆくのである。

もちろん、このスティブンソンのようなとらえ方では、人間の真実に迫りながらも、なお人間をとらえることはできない。人間はシキルとハイド

とのたたかいであり、そのたたかいのただなかにおいて人間となる、という思想は、確かにこれまでになかった光を人間に当て、人間の姿をはっきりと照らし出しはした。しかし、はたして人間はこの二つのものの間に引き裂かれるものとしてとらえることができるだろうか。

このように考えてゆくとき、直ちに現れてくるのは社会の問題である。これまで人の心の中深く入っていった光をそこから引き出して外に向けると、そこにもまた多くの人々の姿が浮き上がってくる。

ビクトル・ユーゴーは、一片のパンを盗み取ることによって十何年の刑におとされる人間の問題を問い続けた。マクシム・ゴーリキーは、自分たちにはなんの原因もないのに一日じゅう狭い一室に閉じ込められて、熱いかまどの前でパンを焼き続けなければならない労働者の生活をどこまでも見続けようとする。ジェイムス・ジョイスが、「ユリシーズ」によって人間の意識の流れの最も奥深いところまで入ったとすれば、エミール・ゾラは、パリの洗たく女や炭坑のかみさんの生活の連鎖の輪を追求めた。これらの作家たちによって、人間の心と社会をめぐる本当の姿が取り出され、既に私たちの前に文学作品として残されている。

注 釈

- | | |
|---|---------------------|
| 1. スティブンソン[R・L・stevenson] | (名)斯蒂文森(人名) |
| 2. イギリス[葡 Inglez] | (名)英国 |
| 3. シキル博士とハイド氏[Dr. Jekyll and Mr. Hyde(R. L. Stevenson)] | (名)化身博士 |
| 4. あらゆる[有らゆる] | (连体)所有,一切 |
| 5. つかみだす[掴み出す] | (他五)抓出 |
| 6. とらえかた[捕え方・捉え方] | (名)领会,掌握 |
| 7. はたして[果して] | (副)果,果然 |
| 8. ビクトル・ユーゴー[Victor Marie] | (名)雨果 |
| 9. マクシム・ゴーリキー[Gorkii, Maksim] | (名)高尔基 |
| 10. とじこめる[閉じ込める] | (他一)关在里面 |
| 11. かまど | (名)灶 |
| 12. ジェイムス・ジョイス[Joyce, James] | (名)詹姆斯・乔伊斯 |
| 13. ユリシーズ[ulysses] | (名)英国小说家詹姆斯・乔伊斯的小说名 |
| 14. エミール・ゾラ[Zola・Emile] | (名)左拉 |
| 15. パリ[Paris] | (名)巴黎 |

問 上の文章を読んで内容を百五十字ぐらい要約しなさい。

二. 次の文章の読んで後の問に答えなさい。

文化としての数学

数学にかぎらず、自然科学一般は、純粹に客観的な科学であり、人間の自由な想像力の働く余地のない知識分野であるという自然科学観が根づよく広がっている。日本では「科学的」という形容詞は人間的な感情にくもらされることの無い、素通しのめがねのような働きを意味しているようである。

自然科学を外部から眺めると、それは確かにそのような外貌を持っている。自然科学の論文は人間的な感情を振り落とした形式で述べられている。それはデータが練瓦のように積み重ねられており、想像や空想の入り込む余地がないように見える。数学となると、数字や文字記号ですきまなく論文を埋めている。したがっていかにも人間的な想像力の持つあいまいさや不確定性を持っていないものであると見なされることは無理からぬことであろう。

[A]、内部から見ると自然科学の探究を進めつつある研究者にとっては、それは外見とはまるで逆である。探究者の前にははてしない未知の分野が横たわっている。それはやみに包まれている。かれは想像力という探照灯を手[B]して、そのやみの中を進んでいる。それはぼんやりと前方を照らす。それを見てかれはさまざまな予想をめぐらし、仮説を組立て、さらに近づいて、己れの仮説が正しいか誤っているかを確かめる。多くのばあい、その仮説は誤っている。そしてその誤った仮説を出発点として、新しい仮説が立てられ、このようにして少しずつ前進していく。数多くの誤った仮説の中から、一つだけが真理として生き残る。

[C]自然科学者の眼が素通しのめがねのようなものであったら、語った仮説が生まれてくることはなかったであろう。しかし自然科学の歴史はおびただしい誤った仮説の堆積の上に築かれているのである。

想像力のない人間はなにものをも創り出すことがないかわりに、誤ることもない。しかし自然科学を前進させた人人は、豊富な想像力に恵まれているために、多くの誤りを犯した人人でもあった。

例えば近代の天文学を創り出したケプラーは一つひとつの遊星は妙な音楽を奏しながら太陽の回りを巡っているもの[D]想像し、その音楽の音譜さえ書き残している。このように過剰なほど豊かな想像力がかれを大天文学者にしたのである。

もちろん数学として例外ではない。数学は決して素通しのめがねではなく、むしろ想像力というレンズによって組立てられた複雑な光学機械に似ている。それは現実を拡大したり、縮小したり、ある場合には歪曲したりして人間の頭脳に投写する。例えば微分は無限大の倍率を持つ超能力の顕微鏡のようなものである、ともいえよう。

数学が、さらに広く言って自然科学が人間の自由な想像力とは無縁である、という誤解を生み出したものは、これまでの数学教育、自然科学教育であると言っても過言ではない。既成の知識をできるだけ多量につめこむことにのみ力を注ぎ、それらの真理が多くの誤謬を犯しながら獲得されたという過程を子供たちに迫体験、もしくは拡大的に再体験させるという不可欠な手続きを抜かしているからである。

注 釈

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1 よち[余地] | (名)空余的地方,余地 |
| 2 すどおし[素通し] | (名)平光,没有度数的眼镜 |
| 3 ふりおとす[降り落とす] | (他五)甩掉 |
| 4 れんが[練瓦] | (名)砖 |
| 5 つみかさねる[積み重ねる] | (他一)堆积,垒起 |
| 6 すきま[隙間] | (名)空隙,间隙 |
| すきまない[隙間ない] | (词组)没有间隙 |
| 7 あいまい[(曖昧)] | (形动)含糊,暧昧 |
| 8 むりからぬ[無理からぬ] | (连体)有道理,当然 |
| 9 がいけん[外見] | (名)外表,表面 |
| 10 はてしない[果てしない] | (形)无边无际的 |
| 11 よこたわる[横たわる] | (自五)横,躺 |
| 12 ぼんやり(と) | (名・副・自サ)模糊,不清楚 |
| 13 てらす[照らす] | (他五)照耀,照射 |
| 14 めぐらす[回らす・巡らす] | (他五)动脑筋,谋划 |
| 15 かせつ[仮説] | (名・他サ)假设,假定 |
| 16 くみたてる[組立てる] | (全一)装配,组装 |
| 17 おのれ[己れ] | (名)自己,我 |
| 18 おびたしい | (形)许多,很多 |
| 19 たいせき[堆積] | (名・自サ)堆积 |
| 20 おかす[犯す] | (他五)犯 |
| 21 ケプラー[Kepler] | (名)开普勒(德国天文学家, 1571-1630) |
| 22 ゆうせい[遊星] | (名)行星 |
| 23 たえなる[妙なる] | (连体)绝妙 |
| 24 そうする[奏する] | (他サ)演奏 |
| 25 かじょう[過剰] | (名・形动)过剩 |
| 26 レンズ[lens] | (名)透镜 |
| 27 なる[似る] | (自一)象,似 |
| 28 とうしゃ[投写] | (名・他サ)投影 |

| | | |
|----|------------|--------------|
| 29 | びぶん[微分] | (名・他サ)微分 |
| 30 | むげんだい[無限大] | (名)无限大 |
| 31 | ばいりつ[倍率] | (名)放大率 |
| 32 | むえん[無縁] | (名・形動)无缘,没关系 |
| 33 | きせい[既成] | (名)既成,原有 |
| 34 | たしょう[多量] | (名・形動)大量,丰富 |
| 35 | つめこむ[詰め込む] | (他五)装满,填满 |
| 36 | そそぐ[注ぐ] | (自他五)注入,流入 |
| 37 | ごびゅう[誤謬] | (各)谬误,错误 |
| 38 | かくとく[獲得] | (名・他サ)获得,取得 |
| 39 | もしくは | (接)或,或者 |
| 40 | てつづき[手続き] | (名)手续,程序 |
| 41 | ぬかす[抜かす] | (他五)遗漏,漏掉 |
| 42 | ふかけつ[不可欠] | (名・形動)不可缺少 |

問一 下線部 a～cは何を示しているか。ア・イ・ウ・エから選びなさい。

a:()

- | | |
|-----------|---------|
| ア 自然科学 | イ 数学 |
| ウ 自然科学の論文 | エ 人間的感情 |

b:()

- | | |
|-------|-------------|
| ア 想像力 | イ 想像力という探照灯 |
| ウ 探査者 | エ 自然科学者 |

c:()

- | |
|--------------------------|
| ア 想像力というレンズによって組立られた光学機械 |
| イ 素通しのめがね |
| ウ 無限大の倍率を持つ超能力の顕微鏡 |
| エ 自然科学者の想像力 |

問二 A・B・C・D空欄に入れるべき最も適切なことばを次のうちから
選び符号で答えなさい。

- | | |
|-------|------|
| ア と | イ もし |
| ウ しかし | エ に |

第 32 課

本 文：青い時間
実用会話(13)：アパートさがし
文 法：一、主題
二、阅读指导(十一)

本 文

青い時間

羽仁進

本のおもしろさ,というのには,二つの面があると思う。

一つは,本が現実から離れて,頭や心を,別の世界に連れていってくれる,というおもしろさ。もう一つは,しかも,その別の世界で体験したことが,自分に役に立つ,ということ。この二つだ。

たとえば心理学の本は,ぼくの思春期に,この二つの面を教えてくれた。

ぼくは,どもりだったし,なかなか,友だちとうまくつき合うことが,できなかった。特に異性の前に出ると,ほとんど口をきくこともできない。すてきな人だなあ,と思っただけで,どもってはいけない,と思うと,ひとこともしゃべれなくなったりする。家族のものとも,心がまったく通わないような気がする。

そんな時期に,ぼくは,一冊の心理学の本を手にした。アメリカのウィリアム・ジェイムズの古典的な「心理学」である。初めは,むずかしい,理屈だけの本かと思ったら,そうではない。ぼく自身にも,覚えのあるような,生きた体験がたくさん出て来る。しかも,その一つ一つが,今まで,ぼくの知らなかった見方で,見られている。

ぼくは,父の学問の影響で,人間の社会の動き,政治や経済の

あり方に、法則を見いだそうとする学問のあることは、すでに知っていた。しかし、人間の心の動きを、その一人一人の生の営みの微妙さに即しながら、なおそこに、筋道を立てて考えようとする方法のあることを知ったのは、ぼくにとって大きな驚きであった。

その本を読んでいる間、ぼくは不愉快な気持ちを忘れた。すべての、すぐれた本というものには、いつも、この作用がある。特に、すぐれた文学ならよけいに、その作用がはっきりしている。

読みはじめると、ぐんぐんと、本の中の世界に引き込まれてしまい、自分の生きている日常のことを、一瞬忘れる。本を読むのが、おもしろいという人は、このぐんぐんと引き込まれていく楽しさを知っている人である。反対に、この楽しさがわからないうちは、本を読むのが、おっくうなほうがあたりまえだ。

バラバラと、ページをめくってみるが、つい、ほかのことに心がいってしまう。

腹が減っては、ラーメンを食おうとか、あのスウェーターを買おうか、どうしようとか…。そして、途中で本をほうり出してしまう。

だが、本の楽しさは、けっしてこれで尽きるのではない。本の中の世界で、楽しみながら生きて、現実の世界に帰ってくると、いつの間にか、何かが変わっている。自分が変わっている。物事を見る目が変わっている。

ぼくは、「心理学」を何度も読み返したあとで、自分の心が、なんとなく、すっきりしはじめているのに、気がついた。

今までは、いやだ、いやだと思っていた自分を、もう少し突き放して見ることができるようになり、心が晴れてきた。汗だらけの体が、シャワーを浴びて爽快なように、もやもやしていた心が、本のおかげで、きれいに洗われた。自分の欠点が、どこにあるかが、はっきりと見えてきた。どうやって、それにいどんだらいいか、落ち着いて考えられるようになった。

実用会話(13)

アパートさがし

- A: ごめんください。アパートを見たいのですが。
B: はい、李さんですね。今、不動産屋さんから電話がありました。どうぞこちらへ。
A: ほんとうに静かなところですね。近くにスーパーがありますか。
B: あります。ごらんください。あの建物がスーパーマーケットです。
A: 買物に便利ですね。銭湯はどのへんにありますか。
B: あちらです。歩いて五分間ぐらいです。
A: 自炊ができますか。
B: もちろんできます。台所がついていますから。
A: 私はこの部屋が大変気に入りました。これからどうぞよろしくお願いします。
B: こちらこそ。

新 出 語

- | | | |
|----|---------------|-----------------|
| 1 | たい けん[体験] | (名・他サ)体验, 经验 |
| 2 | しん り がく[心理学] | (名)心理学 |
| 3 | し しゅん き[思春期] | (名)青春期 |
| 4 | どもり[吃り] | (名)口吃, 结巴(的人) |
| 5 | つきあう[付(き)合う] | (自五)来往, 交际 |
| 6 | い せい[異性] | (名)异性 |
| 7 | くちをきく[口を利く] | (词组)讲话 |
| 8 | すてき[素敵・素晴] | (形动)极好, 绝妙, 极漂亮 |
| 9 | ひとこと[一言] | (名)一言, 一句话 |
| 10 | しゃべる | (自他五)说, 讲, 叨唠 |
| 11 | てにする[手にする] | (词组)弄到手 |
| 12 | ウィリアム・シェイクスピア | |

| | | |
|----|------------------|----------------|
| | [William Jones] | (名)威廉・琼斯 |
| 13 | こ てん てき[古典的] | (形动)古典的 |
| 14 | り くつ[理屈] | (名)道理,理由 |
| 15 | おぼえ[覚え] | (名)记忆;感觉 |
| 16 | みかた[見方] | (名)看法,见解 |
| 17 | せい[生] | (名)生,生长;生命 |
| 18 | いとなみ[営み] | (名)经营;工作;准备 |
| 19 | びみょうさ[微妙さ] | (名)微妙 |
| 20 | そくする[即する] | (自サ)适应,切合 |
| 21 | すじみち[筋道] | (名)道理,顺序 |
| 22 | すじみちをたてる[筋道を立てる] | (词组)按顺序 |
| 23 | おどろき[驚き] | (名)惊讶,震惊 |
| 24 | わすれる[忘れる] | (自・他一)忘,忘记 |
| 25 | すぐれる[優れる・勝れる] | (自一)优秀,出色 |
| 26 | よけいに[余計に] | (副)更加,分外 |
| 27 | ぐんぐん(と) | (副)迅速地,有力地 |
| 28 | ひきこむ[引(き)込む] | (他五)引拉进来 |
| 29 | いっ しゅん[一瞬] | (名)一瞬,一眨眼 |
| 30 | はん たい[反对] | (名・形动・自サ)相反,相对 |
| 31 | おっくう | (形动)嫌麻烦,懒得做 |
| 32 | あたりまえ[当(た)り前] | (形动)理所当然 |
| 33 | バラバラ | (副)连续翻书的样子 |
| 34 | ページ[Page] | (名)页 |
| 35 | めくる[巻る] | (他五)掀 |
| 36 | はら[腹] | (名)腹,肚子 |
| 37 | へる[減る] | (自五)减;(肚子)饿 |
| 38 | ラーメン | (名)中国汤面 |
| 39 | スウェーター[Sweater] | (名)毛衣 |
| 40 | と ちゅう[途中] | (名)途中,路上;半途 |
| 41 | ほうりだす[放り出す] | (他五)放弃,扔出去 |
| 42 | つきる[尽きる] | (自一)尽,完;終了 |
| 43 | いつのまにか[何時の間にか] | (副)不知不觉地 |
| 44 | ものごと[物事] | (名)事物,事情 |
| 45 | なんとなく[何となく] | (副)(不知为什么)总觉得 |
| 46 | すっきり | (副・自サ)舒畅,畅快 |
| 47 | つきはなす[突き放す] | (他五)撇开,推开 |
| 48 | あせ[汗] | (名)汗 |
| 49 | だらけ | (接尾)满是,净是 |
| 50 | シャワー[Shower] | (名)淋浴 |

| | | |
|----|-----------------------|--------------|
| 51 | あびる[浴びる] | (他一)浴,淋;晒 |
| 52 | そう かい[爽快] | (名・形动)清爽,爽快 |
| 53 | もやもや | (副・自サ)不痛快,模糊 |
| 54 | あらう[洗う] | (他五)洗 |
| 55 | けっ てん[欠点] | (名)缺点,短处 |
| 56 | いどむ[挑む] | (自他五)挑战,征服 |
| 57 | アパート[apartment house] | (名)公寓 |
| 58 | ふ どう さん[不動産] | (名)不动产 |
| 59 | ごらんください[御覧ください] | 请看 |
| 60 | マーケット[market] | (名)百货商店,市场 |
| 61 | せん とう[銭湯・洗湯] | (名)澡堂,浴池 |
| 62 | じ すい[自炊] | (名・自サ)自炊 |

本文の注釈

1. (动词连用形)てはいけない[补助惯用型]
表示禁止,可译作“不可……”、“不能……”。例如:
そんなところは,行ってはいけない。/不能去那种地方。
2. (动词连用形)たあとで[修饰惯用型]
表示在一个动作之后或在一个动作完成的基础上再发生另一动作,可译作“……之后”、“而且……”。例如:
考えたあとで答える。/在考虑之后作答。

文 法

一、主 题

一篇文章的大意经过浓缩,就可以提炼出主题。

在一篇文章中,主题出现在什么地方,是因文体而异的。一般有如下五种类型。

1. 出现在文章的开头。
2. 出现在文章的末尾。
3. 出现在文章的开头和末尾两处。
4. 出现在文章的中间。
5. 出现在文章的各处。

一般说,论说文大多是(一)(二)(三)三种类型,文艺性的文章一般是

(四)(五)两种类型。

《生産のしくみ》这篇文章的主题就是出现在文章的末尾,属于上述的第(二)种类型。这篇文章的主题是:生产是由劳动、土地、生产手段这三要素组成的,适当改变这三者的关系就能生产各种所需的东西。所谓发展生产,就是发现三要素的新组合,从而提高生产效率,生产新的物质财富。

中心思想和主题,可以是同一概念也可以是两个概念,作两个概念处理时,主题是经过浓缩了的中心思想。例如上一课《案内者》的中心思想是:

事前尽可能作好调查再去旅游的方法最安全,但有可能囿于调查而失去自由见闻的机会。另外一种方法是信步出游,虽然可能漏掉大家都看的景点,但有可能发现谁都没见过的新景观。

从这段中心思想提炼主题,就是:

出门旅行有事先作好调查和信步出游两种方法,两种方法各有利弊。

二、阅读指导(十一)

一篇文章的主题,在论说文中常常会表现在字面上,在某几个句子中,有时在文章的开头,有时在末尾,有时在中间,要学会迅速抓住这些关键的句子,或关键的词语。

例如本课课文,这是一篇演绎式文章,即先提出结论,再用例子印证。所以这篇文章的主题就表现在文章的开头,实际上就在文章的第一、第二自然段。

这篇文章的关键词语是:本,おもしろさ,二つの面。

从第二自然段即可提炼出文章的主题:

本は、頭や心を別の世界に運んでくれ、別の世界での体験が現実世界に役立つので、おもしろい。

練 習

一、次の問に対する答えはどれですか、ア・イ・ウ・エから一つ選びなさい。

1. どうして「ぼく」はなかなか友だちとうまくつき合うことができなかったのですか。

ア 「ぼく」はまだこどもだから

イ 「ぼく」はどもりだから

ウ 「ぼく」はよくしゃべるから

エ 「ぼく」はすてきな人だから

2. 本を読むのがおもしろいという人はどんな人ですか。

ア 「ぼく」のような人

- イ よくしゃべる人
- ウ バラバラとページをめくって見る人
- エ 本の中の世界に引き込まれてしまった人

3. 本文の主題は何ですか。

- ア 本のおもしろさを知っている人もいれば、それを知らない人もいる。
- イ 本は思春期の人びとに役立つ。
- ウ 本は頭や心を別の世界に運んでくれ、別の世界での体験が現実の世界に役立つので、おもしろい。
- エ 本を読んでいる間、不愉快な気持ちを忘れてしまう。

二、次の文章を読んで後の問に答えなさい。

同じ山をかくにしても、人が違えば同じ絵にはならない。一人一人の個性差は山の絵だけでなく、ほかのものをかくときにも認められる。それが完成された画家の**ばあい**^①なら、画風と呼ばれるものである。画風は一朝一

夕にできるものではないが、いったんでき上がってしまうと、変えようとしても、なかなか変えられない。

文章を書く場合にも、これに似た個性がある。署名がなくても筆者の見当のつくこともあれば、未知の人の書いた文章から、書いた人の人柄などが想像できることも少なくない。それは、文章を書く人の個性と深く結びついているからであって、「文は人なり」というゆうめい^②なことばもある。

この個性は、書くときだけでなく、読むときにも働いている。読むときには、比較的はっきりした形をとらないだけである。「文は人なり」のもとのことばは、「スタイルは人なり」であるが、スタイルを文とか文体とか訳してしまうと、書くときだけの個性の問題に限られてしまう。ところが、読むときにも、個性の差が重要な作用を及ぼしているのだから、読者にもスタイルを認めてよいように思われる。まったくスタイルなしに、ものを読むことはできない。読者においても、「スタイルは人なり」である。

書くのに比べて、読むのは、一般に、受け身の活動のように考えられているが、必ずしもそうとは言いきれない。ただ字を拾って読むのでは、ほんとうに読むことにはならないのである。ことばのいみ^③をまとめて全体を理解

するには、読者の解釈がひつよう^④である。読者の側のそういう積極的な働きがあるから、同じ本を読んでも、それぞれに違った心の絵になるのである。

文章を書くことが創造であると同じように、ものを読むのもまた、創造でなくてはならない。

(外山 滋比古の文による)

注 釈

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. できあがる[出来上がる] | (自五)做好,完成 |
| 2. けんとうがつく[見当の付く] | (词组)估计,预计 |
| 3. ひとがら[人柄] | (名・形动)人品,品质 |
| 4. ふんはひとり[文は人なり] | (惯用句)文如其人 |
| 5. スタイル[style] | (名)文体,文章的形式 |

問一 下線①②③④の部分を漢字に書きなおしなさい。

問二 全体は五つの段落からなりたっている。これをさらに大きく三つにまとめるとしたら,どうなるか。次の段落群に区切りめのしるしをつけなさい。

第一段落

第二段落

第三段落

第四段落

第五段落

問三 結論の部分は第何段落ですか。

三、次の文章を読んで後の問に答えなさい。

私はこのごろ、文明の進歩がほんとうに人間に幸福をもたらすものであるかどうかということについて、きわめて深い疑惑の念を抱くようになってきている。人間には太古以来常にある一定の量の幸福しか与えられていなくて、文化が咲き誇ろうが、文明が高度化しようが、人間が享受できる幸福の絶対量というものは、どんな時代にあっても変わらないのではないか、という考えにしばしばとらわれざるを得ないでいる。

いま人間といったのは人間一般についていったのだが、個人個人についても同じ感慨に襲われることがある。確かに医学の進歩によって人間の寿命が著しく延び、その結果延びた寿命の間、文明の発達によってもたらされるさまざまな利益を享受していることも確かであろう。しかし、四十歳で死のうと、六十歳で死のうと、七十五歳で死のうと、彼もしくは彼女がその生涯で味わった幸福と不幸の総計は、仮に幸不幸を数量化できると考えて、幸福にプラスの記号を与え、不幸にマイナスの記号を与えるとすれば、常にプラスとマイナスが相殺されて零になるのではあるまいか。死自体が零かもしれないが、その零はいま述べたような零に裏打ちされているのではあるまいか。このようないささかうつ病的かもしれない感慨にもうたれるのである。というのも、日本が繁栄を謳歌しているかのように見えながら、個人個人をとってみるとそれほど内面的に充実した生活を送っているようには思えない、昔と比べて実質的には幸福になったとはいえないような気のすることが、あまりにも多すぎるからである。

(柏原 兵三「自然と人間」)

注 釈

- | | |
|--------|-----------|
| 1 もたらす | (他五)带来;造成 |
|--------|-----------|

- | | | |
|----|----------------|-----------------------------|
| 2 | きわめて[極めて] | (副)极,非常 |
| 3 | ざる | (助词)(“ざり”)的连体形)不 |
| | ざるをえない[ざるを得ない] | (惯用型)不得不 |
| 4 | おそう[襲う] | (他五)袭击,袭 |
| 5 | あじわう[味(わ)う] | (他五)尝,品尝,尝受 |
| 6 | かりに[仮に] | (副)假定,假设,暂时 |
| 7 | プラス[plus] | (名・他サ)加,加号“+” |
| 8 | マイナス[minus] | (名・他サ)减,减号,负号 |
| 9 | まい | (助动)(否定的推测)大概, 不……;也许不…… |
| 10 | うらうち[裏打(ち)] | (名・他サ)证实,保证,裱,裱 |
| 11 | いささか | (副)略,稍微,一点 |
| 12 | うつびょう[うつ病] | (名)忧郁症 |
- 問:上の文章の主題を書きなさい。

第 33 課

本 文：オームの生誕地を訪ねて
実用会話(14)：求職の面接
文 法：慣用型知識一 概述

本 文

オームの生誕地を訪ねて

昨年の秋、社用でヨーロッパへ出張した際、ドイツのシーメンス社へ立寄った。シーメンス社は、現在ヨーロッパでは最大の電機メーカーで、その売上げも世界のベストテンの上位にランクされている会社であるが、そのシーメンス社の技術本部がフランクフルトの東南約 200km のところにあるエルランゲンという町にある。

大学のある静かな田舎町である。シーメンス社の技術スタッフといろいろディスカッションをした後、ふとオーム博士の生誕地がこの町であることを耳にした。町の一隅に記念碑があるという。電気屋である以上、毎日毎日オームの法則には大変お世話になっている。素通りするわけにはいかない。日本流に言えば、大本山にお詣りして仕事の発展と安全を祈願するということろか。

とにかくぜひ拝んでいこうということになった。オームの法則を発見したゲオルグ・シモン・オーム博士 (Georg Simon Ohm) は、このエルランゲンの町の出身のドイツ人である。彼は 1787 年にこのエルランゲンの町に住む錠前師の息子として生まれた。家が貧しかったために大学を中退し、その後独学で学位をとったのだという。各地を転転として数学と物理を教えた。エルランゲンの大学で教鞭を執ったこともある。1826 年、39 歳のときにオームの法則を発表したが認められず、貧困の生活

を送っていたようである。晩年になってイギリスの学会に認められ、後にミュンヘン大学の教授として迎えられたという。1954年、67才で没したが、電気抵抗の単位オーム(Ω)は勿論この博士にちなんで名付けられたのである。

オーム社の名もまた因縁浅からざるものがあると思うのだが…。

オーム博士は、今ではこのエルランゲンの町の生んだ英雄となっている。オーム博士の記念碑は町の公園の片隅にあった。すでに秋も深まり、紅葉に囲まれた公園は静かなたたずまいであった。やわらかい秋の陽ざしの中にオーム博士の記念碑はひっそりと立っていた。

淡褐色のしゃれた石造りの記念碑である。かたわらに噴水池があつて、スタンドにコインを入れると数分間噴水が吹き上げるようになっている。

東洋の島国から、電気取扱いを生業とする日本人がはるばるお詣りにやって来たと聞いたら、オーム博士はどんな顔をするだろうか？ などと考えながらヨーロッパの秋の風情を味い感無量であった。

(「電気杂志」855号 P. 51 荒井繁)

実用会話(14)

求職の面接

A:失礼ですが、こちらは事務所ですか。

B:はい、そうです。何かご用ですか。

A:実は、先日電話で連絡した李というのですが。

B:ああ、そうですか。よく来てくれました。どうぞおかけください。

A:どうも。

B:ところで、李さんは日本語の読み書きはできますか。

A:はい、だいたいできますが、あまり上手ではありません。

B:まあ、ちょっとできたら、それでいいでしょう。そしたらね、李さん、あしたの九時に出勤してくれますか。

A: ええ, 大丈夫だと思います。

B: では, 明日待っていますよ。

A: はい, 必ず時間通りに参ります。今日はお忙しいところをどうもありがとうございました。これで失礼します。

新 出 語

| | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 オーム[Ohm] | (名) 欧姆(电阻单位, 人名) |
| 2 せい たん ち[生誕地] | (名) 出生地 |
| 3 さく ねん[昨年] | (名) 去年 |
| 4 シャ よう[社用] | (名) 公司事务 |
| 5 しゅつ ちょう[出張] | (名・自サ) 出差 |
| 6 さい[際] | (名) 时候, 际 |
| 7 シーメンス社[Siemens 社] | (名) 西门子公司 |
| 9 でん き[電機] | (名) 电机 |
| 10 メーカー[maker] | (名) 制造厂 |
| 11 うりあげ[売り上げ] | (名) 卖完, 销售额 |
| 12 ベストテン[bestten] | (名) 前十名 |
| 13 じょう い[上位] | (名) 上位 |
| 14 ランク[rank] | (名・自サ) 顺序, 位于 |
| 15 ほん ぶ[本部] | (名) 总部 |
| ぎ じゅつ ほん ぶ[技術総部] | (名) 技术总部 |
| 16 フランクフルト[Frankfurt] | (名) 法兰克福(德国城市名) |
| 17 エルランゲン[Eriangen] | (名) 埃朗根(德国城市名) |
| 18 いなかまち[田舎町] | (名) 乡村小镇 |
| 19 スタッフ[staff] | (名) 阵营, 人员 |
| きじゅつスタッフ[技術 staff] | (名) 技术人员 |
| 20 ディスカッション[discussion] | (名・自他サ) 讨论, 辩论 |
| 21 ふと | (副) 偶然, 忽然 |
| 22 はく し・はかせ[博士] | (名) 博士 |
| 23 いち ぐう [一隅] | (名) 一角, 一隅 |
| 24 き ねん ひ[記念碑] | (名) 纪念碑 |
| 25 でん き や[電気屋] | (名) 电气匠, 从事电气工作的人 |
| 26 すどおり [素通り] | (名・自サ) 过门不入 |
| 27 に ほん りゅう[日本流] | (名) 日本式, 日本方式 |
| 28 だい ほん ざん[大本山] | (名) (佛教的) 本宗大庙 |
| 29 もうでる [詣る] | (自一) 参拜 |

| | | |
|----|------------------|---------------|
| 30 | き がん[祈願] | (名・他サ)祈求 |
| 31 | とにかく | (副)总之,不管怎样 |
| 32 | おがむ [拝む] | (他五)叩拜 |
| 33 | じょう まえ し[錠前師] | (名)锁匠 |
| 34 | むすこ[息子] | (名)儿子 |
| 35 | まずしい[貧しい] | (形)贫穷,贫困 |
| 36 | ちゅう たい[中退] | (名・自サ)中途退学 |
| 37 | どく がく[独学] | (名・自サ)自学 |
| 38 | がく い[学位] | (名)学位 |
| 39 | てん てん(と)[転転(と)] | (副・自サ)转游 |
| 40 | きょう べん[教鞭] | (名)教鞭 |
| | きょうべんをとる[教鞭を執る] | (词组)执教 |
| 41 | ひん こん[貧困] | (名)贫困 |
| 42 | イギリス[葡 Inglez] | (名)英国 |
| 43 | ミュンヘン[Munchen] | (名)慕尼黑(德国城市名) |
| 44 | きょう じゅ[教授] | (名・自サ)教授 |
| 45 | ぼっする[没する] | (自サ)死,殁 |
| 46 | でん き てい こう[電気抵抗] | (名)电阻 |
| 47 | ちなむ[因む] | (自五)由来于 |
| 48 | なづける[名付ける] | (自他一)命名 |
| 49 | いん ねん[因縁] | (名)因缘 |
| 50 | えい ゆう[英雄] | (名)英雄 |
| 51 | かたすみ[片隅] | (名)一角 |
| 52 | すでに[既に] | (副)已经 |
| 53 | ふかまる[深まる] | (自五)深 |
| 54 | かこむ[囲む] | (他五)包围 |
| 55 | たたずまい | (名)样子,状态 |
| 56 | やわらかい[柔かい] | (形)柔和的 |
| 57 | ひざし[陽ざし] | (名)阳光 |
| 58 | ひっそりと | (副・自サ)静悄悄 |
| 59 | たん かっ しょく[淡褐色] | (名)淡褐色 |
| 60 | しゃれる[洒落る] | (自一)雅致 |
| 61 | いしづくり[石造り] | (名)石砌 |
| 62 | かたわら[傍] | (名)一旁 |
| 63 | ふん すい ち[噴水池] | (名)噴水池 |
| 64 | スタンド[stand] | (名)台座 |
| 65 | コイン[coin] | (名)硬币 |
| 66 | ふきあげる[吹き上げる] | (他一)喷上 |
| 67 | でんきとりあつかい[電気取扱い] | (名)用电,经营电业 |

| | | |
|----|---------------|---------------|
| 68 | せい ぎょう[生業] | (名)生业,职业 |
| 69 | はるばる[邇邇] | (副)遥远,远远 |
| 70 | ふせい[風情] | (名)风情,风光 |
| 71 | かん む りょう[感無量] | (形动)无限感慨 |
| 72 | きゅう しょく[求職] | (名・自サ)找职业(工作) |
| 73 | じ む しょ[事務所] | (名)事务所,办事处 |
| 74 | よう[用] | (名)(应办的)事情,工作 |
| 75 | せん じつ[先日] | (名)前几天,前些日子 |
| 76 | しゅつ きん[出勤] | (名・自サ)上班,出勤 |

文 法

惯用型知识一 概述

在句子中,惯用型是一种关系语义成分,不是一种基本语义成分,它的性质和作用与助词、助动词等关系语义成分很相似,在句中的作用很重要。

本书对日语惯用型下的定义是:日语惯用型是以助词、助动词以及少数词义比较虚灵的词汇为骨架构成的,结构比较固定的,能表达某种特定的语法意义或语感的语言表现型式。

这个定义概括了日语惯用型的三个特点,下面我们以として为例来说明它的特点:

1 惯用型是以助词、助动词以及少数词义比较虚灵的词汇(例如形式体言、形式用言等)为骨架构成的;として是以助词と、动词する、助词て为骨架构成的,する虽然是个动词,但它的词汇意义已经比较空泛,失去了“做”、“干”、“搞”等意义,实际上已经形式化。

2 结构比较固定:として不能再拆开,也不能再填入别的词,例如不能说とはして、ともして等。

3 意义不是构成该惯用型的词汇的意义的简单相加,例如として不是と、する、て的简单相加;与其他近义的助词、助动词、惯用型相比,具有特定的语法意义或语感,例如としての意义就是表示“资格”“立场”“范围”“名目”等(常译为“作为……”)。所谓语感,一般指的是某一词汇或结构的特定的意味、音韵、色彩;而惯用型的语感常常指的是该惯用型在句子中表现的特定的陈述方式,例如“(用言连体形)ではないか”就可以表示:(1)强烈的断定,(2)质问,(3)反驳,(4)提醒,(5)惊奇,(6)犹豫。

根据惯用型的句法功能,可分为四类

1 惯用句型:有特定的句型结构、能构成句子的惯用型。例如:

…を…という。

2 修饰惯用型:能构成状语成分或定语成分的惯用型。例如:

…について

…における…

3 补助惯用型:能构成补助成分的惯用型。例如:

…なければならない。

4 呼应惯用型:状语和谓语前呼后应共同构成一种陈述方式的惯用型。
例如:

必ずしも…ない。

每一个惯用型,必须注意从四个方面去掌握:

1 结构:就是了解这个惯用型是由一些什么词以什么方式搭配而成的。这个方面虽然不是学习的重点,但是了解结构,对于了解该惯用型的接续方法、作用和意义都是有幫助的。例如:我们了解了なければならない是由[否定助动词ない的假定形なけれ+接续助词ば+动词なる的未然形なら+否定助动词ない]构成的,就知道这个惯用型一定要接动词未然形,因为否定助动词是接动词未然形的。又从它总是接在谓语动词后面这一点,知道它的作用是补助成分,再根据なければならない可以直译为“假如不…就不成”,知道它的意义是“必须…”“应该…”。

2 接续法:就是了解一个惯用型是接体言、用言,还是接其他什么词;如果接用言,又是接用言的什么形态。只有了解接续法,才能使用惯用型,才能将前面的用言还原,才能了解这个惯用型的意义。例如:ことがある如果接动词连体形,意思是“有时候…”,如果接动词过去式,意思就是“……过”。有些惯用型不仅要了解前面接什么,还要知道后面接什么。例如:というの后面如果没有词了,という就是补助成分,如果后面是体言,就是定语。

3 作用:就是惯用型的语法作用是什么。它能构成一个句子,还是构成句子成分。只有了解它的作用,才能使用惯用型,才有可能正确地进行句子分析。例如本课的…を…に(して)。我们知道是一个状语成分,就不会把它误解为句子的宾语、补语。

4 意义:指的是语法意义。例如我们学习补格助词で,知道它的语法意义是表示“动作的场所”(译为“在…”),“工具、方法”(译为“用”“以”)“原因、理由”(译为“因”“由于”)等。惯用型的意义也要这样去记,例如として可表示“资格”(可译为“作为”)“立場”(可译为“从……立场来说”)“範圍”(可译为“在……方面”)“名目”(可译为“以……名义”),而不要把としての意义死记作“作为”。再如ために可表示“目的”(译作“为了”)“原因”(可译为“因为”),不要把ための意义死记作“为了”。

練習

一、本文に基づいて次の問に答えなさい。

1. 筆者は何のためにヨーロッパへ出張したのですか。

ア 会社の用事のために イ 技術本部へ行くために

ウ オームの生誕地を訪ねるために

エ シーメンス社へ行くために

2. 「…ことを耳にした。」の「耳にする」の主語は誰ですか。

ア 技術スタッフ イ 電気屋

ウ 鉋前師 エ 教授

二、次の文章を読んで後の問に答えなさい。

衣食住

人間の生活になくてはならないものは「衣」、「食」、「住」の三つです。

「衣」は着るもの、「住」は住居のことです。

国によって言葉が違いうように、衣食住もその国の気候、風俗、習慣などによってそれぞれ違います。日本人が長い間用いてきた「衣」は着物です。現代では、着物は労働に不便なため以前ほどは用いられなくなりましたが、それは職場においてだけで、家庭に帰れば大部分の人がやはり着物を着ています。これは、着物のほうが洋服より日本の気候や住居や生活様式に適しているからです。

南方の国々の婦人は色とりどりのサラサを腰に巻いています。はでなサラサの色は、強い太陽の光によく調和して、なかなか美しいものです。しかし、これも美しいというだけの理由で用いられているのではなくやはり熱帯の気候、風土、住居によく適しているからなのです。

(次に「食」は衣食住の中でも特に人間の生活と深い関係があり、国によって特徴があります。アジア人は古くから主に農業によって生活してきたので、その大部分は米を主食にしています。これに対して、ヨーロッパ人は主に牧畜によって生活してきたので、牛や豚や羊などの肉をよく食べます。また、日本のような海に囲まれた島国では、副食として魚を多く食べます。気候や風土のために、好む味も国によって非常に違ってきます。例えば、熱帯の人人はからい味を好みますし、日本人はあっさりした味、ヨーロッパ人や中国人は反対に濃い味を好みます。

また、宗教上の習慣などによって、ある食物を避けるといったこともあります。)

「住」に大きな影響を与えるのは、その国の気候です。暑い国の住居は窓を広くして風通しをよくし、建て方も簡単なのに対して、寒い国では窓も狭く、壁も厚くして、外部からの冷たい空気を防ぎます。

日本の家は、だいたい木、竹、紙などで造られ、床を高くして、たたみを敷きます。また、各部屋は取り外しのできるふすまや障子で仕切られています。

す。このような建築様式は、夏は暑くて湿気が強く、冬はその反対に乾燥する日本の気候に適しているからです。

注 釈

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 い しょく じゅう[衣食住] | (名)衣食住 |
| 2 もちいる[用いる] | (他一)使用,任用,采纳 |
| 3 いろとりどり[色とりどり] | (名)五颜六色,各式各样 |
| 4 サラサ[蘭 saraca・更紗] | (名)印花布 |
| 5 はで[派手] | (形动)华丽,鲜艳 |
| 6 このむ[好む] | (他五)爱好,喜欢 |
| 7 あっさり | (副・自サ)清淡,素气,爽快 |
| 8 こい[濃い] | (形)浓的 |
| 9 かぜとおし[風通し] | (名)通风 |
| 10 とりはずし[取り外し] | (名)卸下,拆开 |
| 11 しっけ[湿気] | (名)湿气 |

問一 文中の下線を引いた慣用型はどんな慣用型かを説明しなさい。

問二 ()の部分で中国語に訳しなさい。

第 34 課

本 文：登山三分法

実用会話(15)：朝晩のあいさつ

文 法：慣用型知識二、修飾慣用型剖析示例

本 文

登山三分法

浦松佐美太郎

若い人たちが登山についての相談に来た時、私はいつも「登山三分法」ということを、説いて聞かせることにしている。登山以外のスポーツでは、全力を出し尽くせということが強く言われる。陸上競技にしても、水泳にしても、フットボールにしても、持っている力の全部を、その競技に出し尽くしてしまえということであって、よくテレビなどで、こうした競技の場面を見ると、解説をする人が、選手が全力を出し切っていないと言って批判しているのを見ることがある。

この点で登山は、ほかのスポーツとは大きく異なっているようである。私の言う「登山三分法」とは、山へ登るのに三分の一、山から下るのに三分の一、そして無事下山した時に、なお三分の一の余力が残っているように登山計画を立てなさいということである。そんなことを聞くと、すぐ反論が起こってくる。三分の一もの余力を残すなんて、もったいないことではないか。それだけの余裕があるなら、もっと難しい山へ登れるではないかという反発である。つまり登山もまたほかのスポーツと同じように、全力を出し切ってやるほうが楽しいのではないかという議論である。

これは一応もっともらしい議論のようではあるが、その根底のどこかで間違っているのだ。それはどんなことなのか。まず第一に陸上競技や水泳やフットボールの場合、選手がゴールに入っ
て倒れたとしても、また途中で事故を起こしたとしても、医療班がすぐに手当てをしてくれることになっている。安心して全力を使い果たすことができるわけである。だから全力を出し切らない選手が批判されることにもなる。

だが登山の場合はどうであろうか。医療班がついて来るわけでもないし、医者が一緒にいたとしても、倒れた人を収容する場所もあるわけでもない。まして救急車がサイレンを鳴らして駆けつけて来るなどということとはありえない。

その上に登山には、もっと大きな悪条件が付きものになっている。それは気象の急激な変化である。ほかのスポーツでは、暴風雨や暴風雪の中で競技を行うということとはありえないであろう。登山でも、天気予報に暴風雨や暴風雪が予告されているにもかかわらず、計画したのだからといって、わざわざあらしの中で登山を行うものもあるまい。だが天気予報によっても大丈夫らしいと見当をつけていても、山の気象は地形的にも、局所的に急激な変化をするもので、下界は晴れていても、山は大あらしだということがよくある。

暴風雨に襲われたからといって、山の中で登山を中止するわけにはいかない。どこか安全な場所を求めて、そこまで山を下るよりしかたがない。これはたいへんなことである。晴天の日の何層倍という苦勞をしなければならず、そのための体力なり、衣服なり、食料なりを持っていなければならない。その準備がなければ破局である。山へ登り始めたならば、無事に下山して帰ってくるまで、だれも助けてくれる人はいないのだということを、まず最初から心得ておかなければならない。そのためには、いつも登山には三分の一の余裕がなければならない、というのが「登山三分法」なのである。

山の遭難は、夏にも冬にも、毎年のように起こっている。そのほとんどが、よく分析してみると、私の言う三分の一の余裕を持たずに山へ登ろうとしたところに、原因があったことが判明する。

このことは人生についても当てはまるのではないだろうか。

人生は、登山と同じように、それぞれの人にとっては未知なものであると、私は考えている。登山にだって案内書は、数えきれないほど発売されている。だがどんなに案内書を読んでみても、初めての山は未知であり、何回か登ったことのある山でも、自分がこれから登る時の天候は未知である。それに対する心構えなり、備えがなければ、遭難という悲惨な結果に終わることになるだろう。

登山で遭難した場合、救助隊が救いに来てくれるだろうなどと思ったら、それはもう山へ登る資格がないのだということになる。人生も同じことだと思う。いけなくなれば、親類や友人にすがりつけばいいなど考えるのはどうかしている。やはり人生にも登山と同じように、計画を立てる時から、いざという時に備えての余裕を考えておかなくてはならない。

殊に何か仕事を計画し、それを始める時など、イチかバチかではなく、三分の一の余裕を備えておくことが、最も重要だということになるのではないか。人生に遭難するぐらい、惨めなことはないのではないかと、私は常々考えている。。

実用会話

朝晩のあいさつ

A: 由美ちゃん、学校の時間ですよ。

B: はい、わたし、かばんを持ってきます。

A: 忘れ物はありませんね。

B: はい。では行ってまいります。

A: 気を付けて行っていらっしゃい。

.....

C: ぼくもそろそろ行こうか。

A: そうですね、少し早めに出かけたほうがいいですね。道が込んでいますから。

C: じゃあ、行ってきます。

A: はい、行っていらっしゃい。

.....

B:ただいま。

A:お帰りなさい。

B:お母さん,食事はまだですか。

A:もうできていますけど,お父さんはまだ帰ってきませんね。

B:お父さんはいつも遅いですから,先に食べましょう。

.....

C:ただいま。

A:お帰りなさい。今日はずいぶん遅いですね。

C:え,友だちとちょっと飲みに行っただけ。

A:お風呂はもう用意してありますけど。

C:いいえ,先にお茶を一杯ちょうだい。由美ちゃんは何?

A:今宿題をしているところです。

B:わたし,宿題を全部終わりましたよ。

A:じゃあ,はやく休みましょう,あしたは早いからです。

B:はい,お休みなさい。

A.C:お休みなさい。

新 出 語

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 と さん[登山] | (名・自サ)登山 |
| 2 そう だん[相談] | (名・他サ)商量, |
| 3 きかせる[聞かせる] | (他一)使……听 |
| 4 ぜん りょく[全力] | (名)全力,全部力量 |
| 5 りく じょう[陸上] | (名)陆地 |
| 6 きょうぎ[競技] | (名・自サ)体育比赛,竞赛 |
| りく じょう きょう ぎ[陸上競技] | (名)田径比赛 |
| 7 ば めん[場面] | (名)场所,地方 |
| 8 フットボール[football] | (名)足球 |
| 9 かい せつ[解説] | (名・他サ)解说,说明 |
| 10 ことなる[異なる] | (自五)不同,不一样 |
| 11 くだる[下る] | (自五)下,降 |
| 12 ぶ じ[無事] | (名・形動)太平无事,平安 |
| 13 げ さん[下山] | (名・自サ)下山 |
| 14 よ りょく[余力] | (名)余力 |
| 15 のこす[残す] | (他五)留下,保留 |
| 16 もったいない | (形)可惜的,浪费的 |

| | | |
|----|-------------------|----------------|
| 17 | よ ゆう[余裕] | (名)余裕, 剩余, 从容 |
| 18 | はん ぱつ[反発] | (名・自他サ)反抗, 不接受 |
| 19 | ぎ ろん[議論] | (名・自サ)议论, 争论 |
| 20 | こん てい[根底] | (名)根底, 基础 |
| 21 | ゴール[goal] | (名)终点, 决胜点 |
| 22 | ちゅう と[中途] | (名)中途, 半路 |
| 23 | はん[班] | (名)班, 组 |
| 24 | い りょう はん[医療班] | (名)医务组 |
| 25 | てあて[手当て] | (名)治疗, 津贴 |
| 26 | しゅう よう[收容] | (名・他サ)收容, 容纳 |
| 27 | まして | (副)何况, 况且 |
| 28 | きゅう きゅう しゃ[救急車] | (名)救护车 |
| 29 | サイレン[siren] | (名)汽笛, 警报 |
| 30 | かける[駆ける] | (自一)奔跑 |
| 31 | かけつける[駆けつける] | (自一)跑到, 赶到 |
| 32 | あく[悪] | (名)坏, 劣 |
| 33 | じょう けん[条件] | (名)条件 |
| 34 | きゅう げき[急激] | (形容)急剧 |
| 35 | ぼう ふう う[暴風雨] | (名)暴风雨 |
| 36 | ぼう ふう せつ[暴風雪] | (名)暴风雪 |
| 37 | よ こく[予告] | (名, 他)预告 |
| 38 | けい かく[計画] | (名・他サ)计划, 谋划 |
| 39 | きょく しょ[局所] | (名)局部 |
| 40 | げ かい[下界] | (名)下界, 低处, 人间 |
| 41 | おお[大] | (接头)大……, 广…… |
| 42 | あらし | (名)暴风雨, 风暴 |
| 43 | おそう[襲う] | (他五)袭, 袭击 |
| 44 | ちゅう し[中止] | (名・他サ)中止, 停止 |
| 45 | もとめる[求める] | (他一)求得, 要求, 追求 |
| 46 | せい てん[晴天] | (名)晴天 |
| 47 | そう ばい[層倍] | (数)倍 |
| 48 | たい りょく[体力] | (名)体力 |
| 49 | は きょく[破局] | (名)悲惨的结局 |
| 50 | こころえる[心得る] | (他一)懂得, 理解, 领会 |
| 51 | そう なん[遭難] | (名・自サ)遭难, 遇难 |
| 52 | ぶん せき[分析] | (名・他サ)分析, 研究 |
| 53 | げん いん[原因] | (名)原因 |
| 54 | はん めい[判明] | (名・自サ)弄清楚 |
| 55 | あてはまる[当て(て)嵌(ま)る] | (自五)适用, 合适 |

| | | |
|----|-----------------------|-------------------------|
| 56 | み ち[未知] | (名)未知,不知道 |
| 57 | はつ ばい[発売] | (名・他サ)发售,出售 |
| 58 | てん こう[天候] | (名)气候,天气 |
| 59 | こころがまえ[心構え] | (名)精神准备,思想准备 |
| 60 | ひ さん[悲惨] | (名・形动)悲惨 |
| 61 | きゅう じょ たい[救助隊] | (名)救助队 |
| 62 | すくう[救う] | (他五)救,拯救,救济 |
| 63 | し かく[資格] | (名)资格,身份 |
| 64 | しん るい[親類] | (名)亲戚,亲属 |
| 65 | すがりつく | (自五)缠住(不放),依赖 |
| 66 | どうか どうかしている | (副)设法;请 (词组)不正常,怪 |
| 67 | いざ いざというとき[いざという時] | (感)一旦,万一 (词组)紧急之时 |
| 78 | いちかばちか[一か八か] | (词组)碰运气,听天由命 |
| 79 | みじめ[惨め] | (名・形动)悲惨,惨痛 |
| 80 | つねつね[常常] | (副)常常,经常 |
| 81 | あさばん[朝晩] | (名)早晚 |
| 82 | ゆみ[由美] | (名)由美 |
| 83 | かばん | (名)皮包,皮箱 |
| 84 | わすれもの[忘れ物] | (名)忘拿的东西 |
| 85 | そろそろ | (副)就要,不久,慢慢 |
| 86 | はやめ[早目] | (名・形动)提早,早些 |
| 87 | ただいま | (从外面回到家里时的打招呼语) 我回来了 |
| 88 | ちょうだい[頂戴] | (名・他サ)(もらう的谦虚说法) 领受 |
| 89 | しゅくだい[宿題] | (名)作业,家庭作业 |

文 法

惯用型知识二 修饰惯用型剖析示例

[惯用型](体言) について

[语法意义]提出一个话题,指定它的范围,要求下文对它进行说明。

[类似惯用型]

- (1) (体言)につき…
- (2) (体言)については…
- (3) (体言)についていうと…
- (4) (体言)についていえば…
- (5) (体言)についていうならば…
- (6) (体言)につきまして…
- (7) (体言)についての(体言)
- (8) (体言)に関して
- (9) (体言)にかけては…
- (10) (体言)につけては…
- (11) (体言)において…
- (12) (体言)の上では…
- (13) (体言)ごとに…

〔结构〕由〔补格助词に+动词“就く”+接续助词で〕构成。类(1)是直接用つく的连用形,类(2)是〔について+提示助词は〕,类(6)是〔に+つく+ます+て〕,类(7)是〔について+领格助词の〕,类(3)~类(5)是〔について+いう的假定式〕。其他类似惯用型是用来作对比的。

〔接续〕接体言后,也可接(用言连体形+形式体言)后。

〔例句〕

(1)この問題を説明するために,金属の代表としてナトリウムについて考えてみましょう。/为了说明这个问题,我们以钠作为金属的代表,来考察一下。

(2)この問題についてもうひとつ触れなければならないことがある。/关于这个问题,还有一点必须说及。

(3)天体の運動については,地球こそ宇宙の中心で,太陽をふくめてすべての天体はそのまわりをまわっているという天動説がローマ教会の權威とむすびついて支配的であった。/关于天的运动,“地球才是宇宙的中心,包括太阳在内的所有天体都绕它旋转。”这样一种日心说,与罗马教廷的权威连在一起,占据着统治地位。

(4)エジプトやバビロニアのように,古くから文化が進んでいたところでは,測量などの必要から,図形についての知識が経験的に知られていた。/在埃及,巴比伦这些古代文化发达的地方,由于测量的需要,根据经验懂得了图形方面的知识。

(5)ナトリウムでは原子1個につき自由な電子に一個いることになります。/就钠来说,每个原子有一个自由电子。

(6)摩擦についていえば,機械の運動にとってどんな意義があるだろうか。/说到摩擦,它对机械的运动什么意义呢?

〔解说〕について中虽然有动词つく,但这个动词的意义已经很虚灵,其动词机能也已经退化了,留了的只有について,につき,につきまして,につ

いての这四种形式,查阅辞典也只能查到ついて这种词形。

について在句中的作用相当于一个提示助词,用它来提出一个话题,指定它的范围,要求下文对它进行说明。它可以提示宾语,补语,主语,状语等。例(1)是提示宾语的例子,换用を意思不变;例(2)是提示补语的例子,换用に意思不变,因此可译为“关于”“对于”“至于”等介词,有时甚至可以不译,而直接译成宾语等。

后面加上一个は,提示作用更强了,有“就……而言”的语感,把いう加上,构成についていうと(いえば,いうなら),“就……而言”的意义就更明确了。

此外,について还可以表示平均分配的意义,即“每一……”的意思,与“(数词)ごとに”同义。

在“关于……”这个意义上同义的有:に関して,にかけては,において,につけては,の上では等等。

必须注意的是,在日语里采用了つく这个词形的动词(同音异义词)有好几个,在句中也有用について这种形式的时候,要注意分辨,不能一概看作这个惯用型。

例如:

労働者についてならう。/跟工人师傅学习。

母について北京へいった。/随母亲到北京去了。

[惯用型](体言・用言・词组・句子)という(体言・形式体言)

[语法意义]使一个体言(或「用言、词组、句子)成为另一体言(或形式体言)的定语。

[类似惯用型]

(1)…といった…

(2)…というような…

(3)…といったような…

(4)…との…

(5)…って…

(6)…なる…

[结构]由[补格助词と+动词いう]构成,类(1)中いう变过去式,类(2)、类(3)是[という+比况助动词的连体形],类(4)[と+领格助词の],类(5)是口头语言中的说法,等于という,类(6)的なる是文语指定助词なりの连体形。

[接续]前面是体言、用言、词组、句子等,后面是体言或形式体言。

[例句]

(1)日本では、江戸時代の初めに、「算木」という棒を使って、方程式を解く「天元術」が中国から輸入された。/在日本,江戸时代初期从中国传入了用叫作“算筹”的棍儿解方程的“天元术”。

(2)621という数字が、この順序でかぎりなくくり返される。/621 这三个数字按其顺序无限循环。

(3)何万という学校があらわれてきた。/出現了几万个学校。

(4)この二十年というもの、かれは研究にはげんできた。/二十年来，他一直致力于研究。(はげむ=努力、致力)

(5)戦争中、工場という工場はみんな敵に破壊されてしまった。/战争中，所有的工厂都被敌人破坏了。

(6)とくに最近の化学は物理学の実験手段を片っ端からとり入れて研究をおしすすめているので、いずれ化学は物理学に吸収されてしまうなどという人もいる。/特别是因为最近的化学逐一采用了物理学的研究手段来进行研究，所以甚至有人说：总有一天化学会被物理学吞并掉。

(7)そのためガリレイはローマ教会の怒りにふれて宗教裁判にかけられ、不遇な晩年をおくったが、「それでも地球は動く」という考えをすてなかった。/因此，伽里略触怒了罗马教廷，被付诸宗教审判，度过了不幸的晚年，但却没有放弃“尽管如此，地球还是动的”这一思想。

(8)ギリシア人は図形に関する「定義」を明確にし、図形の基本性質やすでに明らかにされた性質を使って、結論が正しいことを「証明」するという方法で、研究を進めていった。/希腊人明确了关于“图形”的定义，采用了根据图形的基本性质和已经证明了的性质来“证明”结论正确的方法，进行研究。

(9)たとえば円周率 π は無理数であるが、有理数の平方根ではないということが知られている。/例如：我们知道，圆周率 π 是无理数，但不是有理数的平方根。

[解说]…という作定语时，有时いう有实在意义，但在大部分情况下都变为形式用言了，现按种种不同的接续情况分述如下：

1(体言)という(体言)

(1)(表示事物的名称的词)という(体言)——此时，いう是实义动词，有“叫做”的词义，如例(1)。

(2)(特指某一具体内容、范围的词)という(体言)——此时，という前面是一个表特指的词，后面是一个表泛指词，例(2)的“621”是特指一种数目字，“数字”是泛指一般的数字。因此…という的作用是限制作用。

(3)(数词)という(体言)——此时，という的语法作用相当于领格助词，但在修辞上有夸张的效果，形容这个数目很大或很小。如例(3)。

(4)(表示时间的词)というもの——此时，同单个表示时间的词作状语相比，有夸张的语感。如例(4)。

(5)(体言)という(同一体言)——此时是表示“所有的……”意思，例(5)的“工場という工場”直译是“称得上工厂的工厂”。

2 (用言・词组・句子)という(体言)

(1)(引语)という人——此时，という后面是名词“人”或能表“人”这个

概念的其他名词,如表职业的“労働者”“農民”,表称谓的“お父さん”等,いう是个实义词,有“说”的意思。如例(6)

(2)(引用句)という(名词)——此时,いう已形式化了,表示一种限制作用,即特指如例(7)。

(3)(用言・词组・句子)という(体言)——此时,という前面的部分是修饰后面的,这是典型的形式用言用法。如例(8)。

(4)(用言・词组・句子)という(形式体言)——此时,后面,一定出现助词或指定助动词等,という这一用法也是典型的形式用言用法。如例(9)。

类(1)一般用来表限制,修饰,类(2)、类(3)除表修饰外,还有举例的语感。类(4)的との可看作の代替了いう。类(5)的って也可写作ッて,只用在口头语言中,类(6)的なる是个文语助动词,只用在书面语言中。

練 習

一、次の文の____にあてはまることばを a・b・c・d・e・f・g から選び、その記号を()に書きなさい。

1.()若い人たちが登山についての相談に来た時、私はいつも「登山三分法」____ことを説いて聞かせる。

2.()人生は登山と同じように、それぞれの人____未知なものである。

3.()機械と人間との関係____,根本的に考え直してみることは意味のあることである。

4.()機械の性能が高まる____,人間のいろいろな機能と関連し、その機能を代用するようになってきた。

5.()私たちが毎日くらしをしていく____,いろいろな物が必要です。

6.()私たちはどうしても、日常生活の必需品を自分たちのちえと努力によって作り出し____。

7.()人間は具象以前の世界を内蔵している。そしてそこから何か具象化されたものを取り出そう____。

a. …とする

b. …なければなりません

c. という

d. にとって

e. につれて

f. ために

g. について

二、次の文章を読んで後の問に答えなさい。

花を追う人人

北の国では雪が溶け始めて、「土が見えてきた」と大喜びをすること、南の国の九州ではもう春の花が咲いています。真っ黄色い菜の花畑には、たくさんのみつばちがブンブンと飛び回って、みつを集めています。

つばきや梅が咲き始めると、みつばちは巣の中で春のために子供を育て始めます。

早春の畑に、菜の花、れんげの花が黄色と紅のじゅうたんを敷きつめるようになると、みつばちとはち飼いさんは急に忙しくなってきます。

いちばん早く花の咲く九州を振り出しに、みつばちの旅行が始まります。

(暖かい国のみかん畑を飛び回って、みかんのみつを集め、川端のアカシア、マロニエ、森のぼだいじゅというように、春から夏の花を追って、北の国、北海道まで渡っていくのです。)

はぎやそばのみつをたんまりと集め終わると、北海道にはもう冬の冷たい風が吹き始めるので、はち飼いさんはみつばちを連れて、本土の冬越しをする場所へ帰っていくのです。はち飼いさんとみつばちは、一年の大部分を、花を追って野や山で暮らすのです。)

「花を追う人人」というのは、みつばちを飼っているはち飼いの人のことです。はち飼いの人は、一箱に二万匹から四万匹もみつばちの入った巣箱を百箱から三百箱くらい、ある時は貨車に載せ、ある時はトラックに載せて、花盛りの畑から畑へと旅を続けていくのです。ある時には、はちのみつを求めて千メートルもある所まで登っていくこともあります。

このように花を追ってみつを集めるのは外国にはないことで、日本だけです。これは日本の地形が南から北に細長く伸びていて、南の端からつぎつぎに花が咲いていくので、仕方がないことなのです。

注 釈

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1 おう[追う] | (他五)追, 赶 |
| 2 とける[溶ける] | (自一)溶解, 溶化, 融化 |
| 3 まっ[真っ] | (接头)(接在别的词前表示真正, 完全的意思)纯, 正 |
| 4 な[菜] | (名)青菜, 油菜 |
| 5 みつばち[(蜜蜂)] | (名)蜜蜂 |
| 6 つばき[(椿)] | (名)山茶 |
| 7 そだてる[育てる] | (他一)抚养, 养育 |
| 8 しきつめる[敷き詰める] | (他一)铺满 |

- | | | |
|----|--------------------|-------------|
| 9 | はちかい〔(蜂)飼〕 | (名)养蜂;养蜂人 |
| 10 | ふりだし〔振り出し〕 | (名)出发点,开端 |
| 11 | かわばた〔川端〕 | (名)河边,河畔 |
| 12 | アカシア〔acacia〕 | (名)洋槐 |
| 13 | マロニエ〔法 marronnier〕 | (名)森林 |
| 14 | はぎ | (名)胡枝子 |
| 15 | たんきり | (副)满满地,充分地 |
| 16 | ふゆごし〔冬越し〕 | (名・自サ)越冬,过冬 |
- 問一 文中の下線を引いた慣用型はどんな慣用型かを説明しなさい。
- 問二 ()の部分为中国語に訳しなさい。

第 35 課

本 文：抗議する義務

実用会話(16):料理の注文

文 法：慣用型知識三 補助慣用型剖析示例

本 文

抗議する義務

「日本人は、どうも、抗議する義務を知らないから困る。」と言った友人があった。何か不正なことがあった場合に、それに抗議を申し込むのは、権利でなくて、義務だというのである。これは、なかなか味のある言葉である。

例えば、電車に乗る場合に、乗客が長い列を作って待っている。やっと電車が来て、乗客が順々に乗り込む。その時、わきからその列に割り込んで、電車に乗ってしまう人がよくある。そういう時に、自分の前に、わきから一人くらい割り込んできても、ちょっといやな顔をするくらいで、そのまま黙認してしまうことがある。

こういう場合は、「横から割り込んではいけません。」と抗議を申し込むべきである。それを、ずるずる黙許してしまうことは、一つの道徳的な罪悪であることを、よく承知すべきである。一人くらいのことに、むやみとやかましく言うことをなんとなくはしたないように考えるのは、たいへんな間違いなのである。これは、はしたないなどという問題ではない。実は、非常に利己的な考えが、その人の心の底に意識されないで潜んでいるのである。

というのは、わきから、だれかが割り込んできても、黙許してしまうのは、自分も、その人について電車に乗り込めることが明

白な場合に限るからである。もし、その人が乗ることによって、自分が乗れなくなる場合だったら、おそらく抗議を申し込むに違いない。それをずるずる黙許するのは、被害が自分に及ばないからである。しかし、そのために、だれか、取り残される人が出てくるかもしれない。そうすると、その人は、次の電車まで、長い間待たなければならないのである。

したがって、この場合、抗議をすることは、権利というよりも、むしろ義務である。正直に公衆道徳を守って、列の最後の方についている未知の一人の友人に対して、当然果たさなければならない義務なのである。きまりが悪いということは、確かにあるが、それくらいのことは押し切って行うべき義務なのである。

列の中に割り込むというような、明白に悪いことに対してはもちろんのこと、それほどはっきりしていない場合にも、自分で正当と考えた抗議は、平気ですればよいのである。もし、先方に理屈があり、または、何か事情があったら、返答があるはずである。その返答が、なるほどと納得できたら、抗議を引っ込めたらよい。これは、極めて当然な話である。

けれども、そういう、あまりにも当然なことが、なかなか行われない。それは、日常すべての問題について、自分の頭で物事を考える人があまり多くないからである。理屈が合えば、なるほどと思うとか、筋が通れば、納得するとかいうこと、すなわち、当然なことを当然と思うことは、実は、人類の長い訓練の末に出てきた考え方なのである。

筋が通った話には納得するということと、筋の通らない話には抗議することとは、同じ頭の作用の両面である。だから、抗議しない人間は、真実に対しても、心から納得のできない人間なのである。

実 用 会 話 (16)

料理の注文

A: いらっしゃいませ。何人様ですか。

B: 二人です。

A:そちらのほうへどうぞ。何にいたしましょうか。
 B:すみません。メニューを見せてください。
 A:はい、どうぞ。…お客様、お決めになりましたか。
 B:え、定食のAコースを二つください。
 A:はい、お飲み物は。
 B:生ビールを三本ください。
 A:はい、承知しました。少々お待ちください。

新 出 語

| | |
|----------------|---------------|
| 1 こう ぎ[抗議] | (名・自サ)抗議 |
| 2 ぎ む[義務] | (名)義務 |
| 3 ゆう じん[友人] | (名)友人,朋友 |
| 4 ふ せい[不正] | (名・形動)不正经,坏行为 |
| 5 もうしこむ[申し込む] | (他五)提出,提议 |
| 6 けん り[権利] | (名)权利 |
| 7 あじ[味] | (名)味道,滋味 |
| 8 じょう きゃく[乗客] | (名)乘客 |
| 9 れつ[列] | (名)列,队列 |
| 10 わき | (名)旁边,侧面 |
| 11 わりこむ[割り込む] | (自五)挤进,硬加入 |
| 12 いや[嫌] | (形動)讨厌,不愿意 |
| 13 もく にん[黙認] | (名・他サ)默認 |
| 14 ずるずる | (副)拖延不决,迷迷糊糊 |
| 15 ざい あく[罪惡] | (名)罪惡 |
| 16 むやみ | (形動)过分,过度 |
| 17 やかましい[喧しい] | (形)唠叨不休的,喧哗的 |
| 18 はしたない[端た無い] | (形)无聊的,低俗的 |
| 19 まちがい[間違い] | (名)错误 |
| 20 り こ てき[利己的] | (形動)自私的,利己的 |
| 21 ひそむ[潜む] | (自五)潜藏,隐藏起来 |
| 22 めい はく[明白] | (形動)明白,明显 |
| 23 ひ がい[被害] | (名)被害,遭灾 |
| 24 およぶ[及ぶ] | (自五)波及,及于 |
| 25 とりのこす[取り残す] | (他五)剩下,留下 |
| 26 こう しゅう[公衆] | (名)公众 |
| 27 きまり[決まり] | (名)规定,规则 |

| | | |
|----|-----------------|------------------|
| | きまりがわるい[決まりが悪い] | (词组)不好意思,难为情 |
| 28 | おしきる[押しきる] | (他五)(不顾反对等)坚持干到底 |
| 29 | へい き[平気] | (名・形动)冷静,镇静,不在乎 |
| 30 | せん ぼう[先方] | (名)对方,那一方面 |
| 31 | じ じょう[事情] | (名)情况,情形,形势 |
| 32 | へん とう[返答] | (名・自サ)回答 |
| 33 | なっとく[納得] | (名・自サ)理解,领会 |
| 34 | ひっこめる[引っ込める] | (他一)撤回,收回 |
| 35 | すじ[筋] | (名)筋,血管;条理,道理 |
| 36 | すえ[末] | (名)末,末尾 |
| 37 | りょう めん[両面] | (名)两面 |
| 38 | しん じつ[真実] | (名・形动)真实,实在 |
| 39 | ちゅう もん[注文] | (名・他サ)定购,希望 |
| 40 | メニュー[menu] | (名)菜谱,菜单 |
| 41 | てい しょく[定食] | (名)套饭,份饭 |
| 42 | コース[course] | (名)套 |
| 43 | のみもの[飲み物] | (名)饮料 |
| 44 | なま[生] | (名・形动)生的;未加工的 |
| 45 | なまビール[生 beer] | (名)生啤酒 |

文 法

惯用型知识三 补助惯用型剖析示例

[惯用型](句)のである。

[语法意义]表示(或强调)说话人的看法,或用来作总结、补充说明原因、叙述细节等。

[类似惯用型]

- (1)…のだ。
- (2)…んだ(んです)。
- (3)…のです。
- (4)…のであるか。
- (5)…のか。
- (6)…のですか。
- (7)…のではない。
- (8)…のだろう。

[结构]由[形式体言の+指定助动词]构成。

[接续]接句子,句子末尾的用言或助动词,要用连体形。

[例句]

(1)この本はいいのです。/这本书是好的。

(2)要するに力のモーメントとは支点のまわりに物体を回転させる能力のことであり,支点から力の作用線が遠いだけモーメントは大きいのである。/总之,所谓力矩是指使物体绕支点转动的能力,力的作用线距支点越远,力矩越大。

(3)王さんは来ていない。病気になるんだ。/老王没有来,因为生病了。

(4)(日本では,江戸時代の初めに,「算木」という棒を使って方程式を解く「天元術」が中国から輸入された。)関孝和らの和算家はそれを改良し,記号をくふうして,筆算だけで解けるようにしたのである。/(在日本,江戸时期,从中国传入了用叫做“算筹”的棍儿解方程式的“天元术”。)关孝和等日本古代算法的数学家把它加以改进,设计了符号,就能够单用笔算来解方程了。

(5)真昼の空は青いのに,夕焼の空はなぜ赤いのだろう。/中午的天空是兰色的,有晚霞的天空为什么是红色的呢?

(6)私は彼の意見を全面的に支持するのではない。/我并不是完全支持他的意见。

[解说]这是说话人(作者)用来表明自己的看法或进行解说的一个惯用型,可以细分为以下几种用法:

(1)说话人用来表示自己的看法,表明自己的态度,如例(1)、例(6)。

(2)说话人用来总结式地介绍一些情况,如例(2)。

(3)说话人对已经发生过的事情或前面已经谈到的一些事情作一些补充说明。这又有两种情况:一种是补充说明事情发生的原因,如例(3);一种是具体补充说明一些细节,如例(4)。

这类惯用型有否定式、疑问式和推测式。否定式一般用来表示看法和态度,是第1种用法,如例(6)。疑问式是说话人根据他的所见所闻已有所判断,要求听话人加以证实或说明。推测式一般也是用来提问,只不过语气比疑问式委婉。

在口头语言中,の的元音有时脱落,变成んだ,んです等形式。

練習

一、次の文を中国語に訳しなさい。

1. わきから一人くらい割り込んできても,ちょっといやな顔をするくらいで,そのまま黙認してしまうことがある。

2. 他人は知らなくても,その人自身は何かについて苦心をしつづけてい

たかもしれない。

3. 人間は具象以前の世界を内蔵している。そしてそこから何か具象化されたものを取り出そうとする。

4. オームは独学で学位をとったのだという。

5. 労働・土地・生産手段(資本)のどの一つを欠いても、財貨を生産することができません。

二、次の文章を読んで後の問に答えなさい。

将来の自然科学のあり方

自然科学はいろいろな物質・機械・用具を作り出し、また、自然界におけるいろいろな現象を理解できるようにするなど、人間が生きていくうえに、大きな貢献をしてきている。また、科学に基づいた技術の発展は、文明を開き、人間の生活を豊にした。しかし、その反面、科学技術の発展に伴って、環境の汚染や破壊などが起こり、人類の生存をおびやかしつつあることも否定できない。

自然は複雑であって、現在の自然科学で明らかにされたことは、まだそのほんの一部であるといってよい。また、今日の科学知識は、絶対的なものでなく、新たな研究によって修正され、改められていくことも多いであろう。

一般に、文明の利器といわれるものは、益と害の両面を持っている。放射線は、病気の診断やがんなどの治療に役立っているし、原子力の解放はエネルギーの不足を補うのに役だつと考えられている。しかし、これらも、人間を放射能の汚染から守る適切な手段が取られないかぎり、やがて人類を滅亡させるおそれがある。

このように考えると、原子力の利用という進歩の科学は、放射能の汚染を防ぐという歯止めの科学に裏づけされた時にのみ、はじめて人類に役だつということができる。

したがって、今後の自然科学は、一つの結論を簡単に出すのではなく、いろいろな角度から情報を集めて、広い視野から考察し、総合的な判断を行う必要がある。

地球が将来長い間、人類にとって住みよい天体であるためには、自然科学の本質を見極め、科学技術の限界を知り、技術を利用するにあたって、細心の注意を怠らないようにしなければならない。また、人類は、地球という大きな生態系を構成する一員にすぎないことも忘れてはならない。

注 釈

1 ありがた[在り方]

(名)应有面貌,理想状态

| | |
|--------------------|-------------------|
| 2 あきらか[明らか] | (形动)明确;明显 |
| 3 ほんの | (连体)不过,仅仅 |
| 4 あらた[新た] | (形动)新,重新 |
| 5 がん[(癌)] | (名)癌 |
| 6 やくだつ[役立つ] | (自五)有用处 |
| 7 エネルギー[德 Energie] | (名)能,能量,能源;精力 |
| 8 はどめ[歯止め] | (名)车闸,制动器;控制 |
| 9 うらづけ[裏付け] | (名・他サ)证据,旁证;支持,保证 |
| 10 みきわめる[見極める] | (他一)看透;搞清楚 |
| 11 おこたる[怠る] | (自・他五)怠慢;玩忽,放松 |
| 12 こう せい[構成] | (名・他サ)构成,组成 |

問一 文中の下線を引いた慣用型はどんな慣用型かを説明しなさい。

問二 上の内容に合うものには(O),合わないものには(X)をつけなさい。

- 1、()人間は生活に大きな貢献をしている。
- 2、()科学技術の発展は人間が生きているうえに大きな貢献をしているから、別のことは問題にならない。
- 3、()文明の利器と言われるものは人間を守ることもであるが、滅亡させるおそれもある。
- 4、()自然科学については、いろいろな現象から考察しなくてもいい。
- 5、()地球を住みよい天体にするためには、技術の利用に深く注意しなければならない。

第 36 課

本 文：化学と生活

翻訳要領：一、概述

二、词义的选择及引伸

本 文

化学と生活

こんにちまでの物質についての理論のめざましい発展は、実生活における化学工業の発達となって、われわれの日常生活と密接にむすびついている。このようなむすびつきを強くしているのは、ひとつは、自然界に存在する物質を人間の手で合成できるようになったことである。このようにして、かつてはあかねやあいから得られる貴重な染料であったアリザリンやインジゴが人工的に安価につくられるようになり、ペニシリンのような医薬品やグルタミン酸ナトリウムのような化学調味料も人工的に合成することができるようになった。

化学の応用がさらに進んだ段階では、自然界に存在しない新しい物質をつくりだして、生活のなかにとりいれることができるようになった。たとえば、ナイロンは化学的な構造も性質も絹とよく似ており、いわば人間がつくった絹である。おなじように、クロロブレンゴムは天然ゴムと組成がすこしだけ違った、人間がつくりだしたゴムである。このようなものは、自然界に存在するものよりも、いろいろな点ですぐれた性質をもっているものが多い。

化学の生活への応用の第三の段階では、合成のものがもはや自然界に存在するものの単なる類似品ではなくて、まったく新しい物質をつくりだして、それをわれわれの生活で活用するということである。たとえば、ポリエチレンやビニロン、あるいは

無機化合物では、半導体などは自然界には存在しないものをあらたにつくりだして、われわれの生活に役だてているものの例である。しかし、一方、化学工業の発展とともに、化学物質による大気、水、土壌などの汚染の防止も、こんにちの重要な問題となっている。

人間生活とのむすびつきは、化学の基礎理論の方面でも密接なものとなってきている。分子の構造や反応の機構を研究する手段が発展するにつれて、生命現象をつかさどっているタンパク質や核酸分子の構造が解明されてきたからである。科学者たちの研究によって生物の遺伝を支配しているDNAの構造があきらかにされ、それにもとづいて、遺伝の機構が分子の構造や反応とむすびつけて解明される手がかりを提供しているのである。このような科学の活動によって、生命現象が原子や分子の次元においてしだいに解明されてくるであろう。

さらに、宇宙の研究手段が進むにつれ、科学者による物質構成の解明によって宇宙の神秘のとびらがひらかれようとしている。

(東京書籍株式会社「化学」)

新 出 語

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1 り ろん[理論] | (名)理論 |
| 2 めざましい[目覚(ま)しい] | (形)惊人,異常 |
| 3 じっ せい かつ[実生活] | (名)现实生活 |
| 4 みっ せつ[密接] | (形動)密切 |
| 5 むすびつき[結び付き] | (名)結合 |
| 6 ごう せい[合成] | (名・他サ)合成 |
| 7 あかね[(茜)] | (名)茜草 |
| 8 あい[(藍)] | (名)天藍 |
| 9 き ちょう[貴重] | (形動)貴重 |
| 10 せん りょう[染料] | (名)染料 |
| 11 アリザリン[alizarin] | (名)茜素,茜素紅 |
| 12 インジゴ[indigo] | (名)靛藍 |
| 13 じん こう てき[人工的] | (形動)人工的,人造的 |
| 14 あん か[安価] | (形動)廉价 |
| 15 ペニシリン[penicilin] | (名)青霉素 |

| | | |
|----|---------------------------------------|---------------------|
| 16 | い やく ひん[医薬品] | (名)药品 |
| 17 | グルタミンさんナトリウム [glutamine 酸 Natrium] | (名)谷氨酸钠 |
| 18 | ちょう み りょう[調味料] | (名)调味品,调料 |
| 19 | だん かい[段階] | (名)阶段,时期 |
| 20 | ナイロン[nylon] | (名)尼龙 |
| 21 | こう ぞう[構造] | (名)构造,结构 |
| 22 | きぬ[絹] | (名)丝绸,绸子 |
| 23 | いわば[言わば] | (副)从某种意义上说 |
| 24 | クロロプレンゴム[chloroprene・gom] | (名)氯丁橡胶 |
| 25 | てんねん ゴム[天然 gom] | (名)天然橡胶 |
| 26 | そ せい[組成] | (名・他サ)组成,成分 |
| 27 | おう よう[応用] | (名・他サ)应用 |
| 28 | もはや | (副)已经 |
| 29 | たんなる[単なる] | (连体)仅,只 |
| 30 | るい じ ひん[類似品] | (名)相似物品,仿制品 |
| 31 | かつよう[活用] | (名・他サ)有效运用, 实际运用 |
| 32 | ポリエチレン[polyethylene] | (名)聚乙烯 |
| 33 | ビニロン[linyon] | (名)维尼纶 |
| 34 | む き か こう ぶつ[無機化合物] | (名)无机化合物 |
| 35 | はん どう たい[半導体] | (名)半导体 |
| 36 | あらた[新た] | (形动)新,重新 |
| 37 | やくだてる[役立てる] | (他一)便……起作用 |
| 38 | たい き[大気] | (名)大气 |
| 39 | ど じょう[土壌] | (名)土壤 |
| 40 | お せん[汚染] | (名・自他サ)污染 |
| 41 | き こう[機構] | (名)机构,机理 |
| 42 | つかさどる[司る] | (他五)掌管,管理 |
| 43 | たん ぱく しつ[(蛋)白質] | (名)蛋白质 |
| 44 | かく さん[核酸] | (名)核酸 |
| 45 | かい めい[解明] | (名・他サ)剖析清楚 |
| 46 | い でん[遺伝] | (名・自サ)遗传 |
| 47 | あきらか[明らか] | (形动)明显,明亮 |
| 48 | もとづく[基づく・本づく] | (自五)据,基于 |
| 49 | てがかり[手掛り] | (名)线索 |
| 50 | じ げん[次元] | (名)元,立场,水平 |
| 51 | しん び[神秘] | (名・形动)神秘 |
| 52 | とびら[扉] | (名)门 |

翻訳要領

一、概述

1. 关于翻译

翻译,是指用一种语言把另一种语言所表达的思想忠实地重现出来的活动。按工作方式来分,可分为口译、笔译、文学翻译、科技文献的翻译等。

翻译是一种严肃的再创作的活动。就日译汉来说,日汉两种语言在语法和词汇等方面都各有不同的特点,在翻译时,译文不但要忠实于原文的思想和风格,而且要符合汉语的规范。因此,要搞好日译汉的工作,不但要对日语原文有透彻的了解,还要能用规范的汉语把原文的思想和风格表达出来。

科技文献的翻译,又有一些特点,最重要的是科学概念要表述得明确,术语要译得准确。

2. 翻译标准

翻译标准,严复曾概括成“信、达、雅”三个字。我们认为,信,指的是忠实于原作内容;达,指的是译文符合规范;雅,指的是讲究修辞技巧以表现出原作的风格。但就科技文献的翻译来说,最重要的还是用规范的语言忠实地表现出原作的内容。例如:

3 図(a)のように,中央がややもりあがった容器に液体を満たし,これにあわを入れた器具を使うと,あわの動きから,台や地面が水平であるかどうかを調べることができる。/如图 3(a)所示,使中央稍稍隆起的容器充满液体,使用使之进入一个气泡的器具,从气泡的活动,可以了解台基或地面是否水平。

这样译不忠实于原文。因为在原文中,“3 図(a)のように……あわを入れた”都是“器具”的定语,现在这样一译,就把“3 図(a)のように”訳成了修饰全句的状语,并把“中央がややもりあがった容器に液体を満たし”译成了与“これに…調べることができる”并列的关系。这显然是误解。误译是对原文的最大不忠实。

那么,改用下面这种译法又怎么样呢?

使用如 3 图(a)那样的使中央稍稍隆起的容器充满液体并放入一个气泡的器具,从气泡的活动可以调查台基或地面是否水平。

这样一译倒是每个词都忠实于原文了,但是不符合汉语习惯,也就是说,没有做到“达”和“雅”。

这个句子可改译成:

如 3 图(a),使中央稍稍隆起的容器充满液体,并使之进入一个气泡。使用这种器具,从气泡的移动,可以了解台基或地面是否水平。

由此可见,我们搞翻译,要兼顾忠实原文和译文符合规范两个方面,要做到既忠实于原文又符合汉语规范。

3. 翻译过程

翻译工作的第一步是透彻地理解原文。首先要把原作通读一遍或几遍,了解原作的内容与风格,必要的时候还要阅读一些有关著作,以帮助理解原文。翻译并不要一句一句译,而要一段一段译。不仅要理解这一段出现的每一个词的意义以及句与句之间的逻辑关系,还要理解每一个句子中的语法关系。对于长句、难句,要作细致的语法分析,遇到语法上两可的地方,要根据各方面的知识去作判断。

对原文有了透彻理解后,第二步就是用规范的译文语言来表达了。理解了,不见得就一定能表达好,逐词死译决不是正确的翻译,必须正确地运用各种翻译技巧,才能做到既忠实原文,又符合译文语言的规范。翻译有很多技巧,下面我们将学习五种比较常用的技巧:(1)词义的选择与引伸,(2)词的增减,(3)词序的颠倒,(4)成分的转换,(5)长句短译。

下面举例说明运用翻译技巧的重要性。

もしも、アリストテレスの考えが正しいとすれば、植物の重さがふえただけ土の重さは減るはずである。/假设亚里士多德的想法是正确的,则植物的重量增加了,土的重量就应当减少那么多。

从这句译文来看,译者对原文是理解了,他知道“…とすれば”表示“假设”,也知道副助词だけ是表示一方的数量、程度发生变化时,另一方也相应地发生变化,但他却没有能够用汉语准确地表达出来。如果我们适当地添几个词,就会表达得好得多,例如译为:“假设亚里士多德的想法是正确的,则植物的重量增加多少,土的重量就应减少多少。”

翻译工作的最后一步是校阅。译完后必须认真、仔细地进行校阅,以消灭差错。数据、公式、图表等也要核对。此外,译名前后要统一,如不统一,要在校阅阶段解决。自己校完后,必要时还可请水平较高的同志校阅。

二、词义的选择及引伸

1. 词义的选择

各语种都有一词多义的现象。日译汉时,对于日语的多义词,选择其中适当的词义来表达是很重要的。例如,すすむ这个动词有“前进,进步,进行,进展,发达,长进,快,升”等等词义。我们在翻译下面这个句子时,应选用“发达”这个词义:

エジプトやバビロニアのように、古くから文化が進んでいたところでは、測量などの必要から、図形についての知識が経験的に知られていた。/在埃及、巴比伦这些自古文化就发达的地方,由于测量等的需要,根据经验掌握了测量方面的知识。

2. 词义的引伸

由于两种语言的用词习惯不同,有时不可能直接用原文所用词汇的词义,而必须根据译文语言的用词习惯,对词义加以必要的引伸。例如:“輸入する”一词的词义是“进口,输入”,可是在翻译下面这个句子时,必须引伸为“传入”:

日本では、江戸時代の初めに、「算術」という棒を使って、方程式を解く「天元術」が中国から輸入された。/在日本江戸时代初期,从中国传入了用“算筹”这种小棍儿解方程式的“天元术”。

もどる的词义是“返回,回,回到”,但在翻译下面这个句子时要引伸为“还原”:

別の条件の下では、水は水素と酸素の混合物にもどる。/在另外的条件下,水又还原为氢和氧的混合物。

词义的选择和引伸往往要根据译文语言的搭配习惯来进行,例如:

コペルニクスは、地球が太陽のまわりをまわっているという地動説をはじめてはっきりと主張した。/哥白尼首先明确地提出了日心说,即地球绕太阳旋转。

練習

一. 本文に基づいて、次の問に答えなさい。

1. こんにちまでの物質についての理論のめざましい発展は、どんな成果をもたらしましたか。
2. 化学の応用がさらに進んだ段階では、なにをつくりだしましたか。例をあげて説明しなさい。
3. 化学の生活への応用の第三の段階では、合成物はどんなものになりましたか。
4. 化学と人間生活とのむすびつきは、化学の基礎理論の方面でも密接でしょうか。

二. 次の文章を中国語に訳しなさい。

化学反応について

われわれの住んでいるこの地球、太陽系、さらに全宇宙を構成している物質は、生物体をふくめ、時間とともにたえず変化している。これらの物質の変化にはいろいろの様相があり、宇宙の進化や地球上の生物の進化などとよばれるものはひじょうに長い時間をへておこる変化である。

これらの変化を物質を構成している粒子の変化としてミクロ的にみると、いっばんに反応とよばれる現象である。この中には原子核反応と化学反応がある。

化学反応は原子核反応にくらべてはるかにおだやかな反応で、熱の出入りも少ないが、地球上の地質学的変化や生物の代謝や遺伝の基礎となる現象である。また、現代社会においては、化学反応を利用して、いろいろの人間の生活に必要な物質を人工的に合成することがひろくおこなわれている。このような化学反応のしくみをあきらかにし、新しい化学反応の可能性を調べることは、物質の構造をあきらかにすることとならんで、化学においてひじょうに重要な研究分野となっている。

注 釈

- | | |
|----------------|----------|
| 1 ぜんうちゅう[全宇宙] | (名)整个宇宙 |
| 2 たえず | (副)不断地 |
| 3 ようそう[様相] | (名)形式,方式 |
| 4 へる[経る] | (他一)经过 |
| 5 ミクロ[徳 Mikro] | (名)微观 |
| ミクロてき[Mikro 的] | (形动)微观的 |
| 6 はるか[遠か] | (形动)遥远的 |
| 7 でいり[出入り] | (名)进出 |

三. 下線を引いた言葉の訳し方に注意しながら, [] の中の文を中国語に訳しなさい。

化学反応のしくみはどのようにして調べるか

[化学反応のしくみを調べるには、どのような方法があるだろうか。われわれにもっとも身ぢかな化学反応を考えてみよう。]われわれが生きているということは、無数のふくぎつな化学反応のうえになりたっているといえよう。食物をとり、体温を維持し、運動したり、さまざまな精神活動をする^{こと}も、化学反応をつうじておこなわれると考えてよいであろう。

[しかし、これらの反応はひじょうにふくぎつであり、はじめに化学反応のしくみを調べるには適當ではない。そこで、化学者はまず、できるだけ単純な化学反応をとりあげ、そのしくみをあきらかにすることからはじめた。]そして、できるだけ条件を一定にして、化学反応がどのように進むかを調べることにとりかかったのである。

まず、ある物質が化学反応をおこしたということは、どのようにして知ることができるだろうか。ふつう、化学反応がおこったかどうかは、沈殿の生成または消失、気体の発生または吸収、色の変化、熱の発生または吸収などによることが多い。しかし、たとえば、ショ糖の水溶液をひやしてショ糖の結晶沈殿してきたにしても、これは化学反応によるものではない。[また、化学的^{てき}反応がおこっていても、肉眼ではまったく認められないばあいも

少なくない。]化学反応の結果、ある物質がほかの物質に変わったということを知るには、いっばんに化学分析とよばれる方法によっておこなわれる。いろいろな化学分析法が、近年いちじるしく進歩して、ごく微量の物質をすみやかに検出したり、未知の物質を単離して、その構造を推定することができるようになった。化学反応を調べるには、化学分析の技術がひじょうに大きな役割をはたしている。

[化学分析によって、反応の結果どういう物質ができるかを知り、反応物質と生成物質との量的関係が定まると、化学反応式をかくことができる。]

[化学反応式は、反応の出発物質と生成物質の関係を示す基本的なもので、いわば、旅行のさいの出発地と目的地を示すものにあたるのである。]

注 釈

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 なりたつ[成り立つ] | (自五)成立,構成 |
| 2 できるだけ | (副)尽可能 |
| 3 とりかかる[取り掛かる] | (自五)着手 |
| 4 ひやす[冷やす] | (他五)使冷却 |
| 5 すみやか[速やか] | (形動)迅速 |
| 6 あたる[当たる] | (自五)相当于 |

四. 次の文章を読んで、[]部分を中国語に訳しなさい。

地球上の水

[むかし、ギリシアの哲学者ターレスは、水こそは始原的な物質——元素であると考え、水一元説をとなえた。また、アリストテレスの四つ元素説や東洋の五行の説にも、水は欠くことのできない元素のひとつとして登場している。]水が液体、固体、気体の3態変化をとおして、地球上のいたるところで循環している事実をみれば、古代の人たちが水を元素とみなしたのは、ごくしぜんな考えかたであったといえよう。

現代の地球化学者の推計によれば、地球上の水圏に存在する水の総量は約 1.44×10^{21} kgとみつもられている。水圏の大部分をしめているのは海水であって、98%以上に達している。

いろいろなかたちで存在する水は、太陽のエネルギーによって、そのかなりの部分が海洋、陸地および大気のあいだを循環している。海洋、陸水、陸地などの表面から水蒸気として1年間に蒸発する水分は、 1cm^2 あたり平均0.0831と推定されている。これは、地球上の全水蒸気が約10日に1回、淡水は約1年間に1回入れかわる量である。[蒸発した水蒸気は雨や雪となって地表に落下し、河川の水となって海洋にそそぐ部分もあれば、地中に浸透した地下水になったり、蒸発して直接大気中にもどる部分もある。]

[地球上の生物にとって、水が不可欠の物質であることはいうまでもない。]動植物体には50～90%の水がふくまれ、人体もその70%は水がしめている。生物体内の水は、組織細胞をきさえているばかりでなく、多種多様な生物体内化学反応の媒質としての役目をはたしている。

注 釈

- | | |
|-----------------|---------|
| 1 ターレス[Thales] | (名)泰勒斯 |
| 2 いたるところ[至る所] | (名)到处 |
| 3 みつもる[見積もる] | (他一)估计 |
| 4 りくすい[陸水] | (名)地表水 |
| 5 いれかわる[入れ代わる] | (自五)更換 |
| 6 そそぐ[注ぐ] | (自五)注入 |
| 7 やくめ[役目] | (名)任务 |
| やくめをはたす[役目を果たす] | (词组)起作用 |

第 37 課

本 文：ミツバチのダンス(上)

翻訳要領：一、増詞和減詞

二、詞序的顛倒

本 文

ミツバチのダンス(上)

フォン・フリッシュは、ミツバチが仲間どうしで、どのように「話」をするかを最初に発見した動物学者である。そのみごとな実験のあとを、われわれがくりかえすつもりで追求してみよう。

フリッシュは、まず、蜜か砂糖水を入れたさらを戸外に出しておいた。あるとき、1匹きのミツバチがこれに気づき、蜜をすってとびさると、まもなく無数のミツバチが、蜜のところにむらがってきた。注意深く観察していると、このミツバチたちは、はじめにきた偵察バチとおなじ巣箱からきたものであることがわかった。この観察からどんなことが考えられるだろうか。

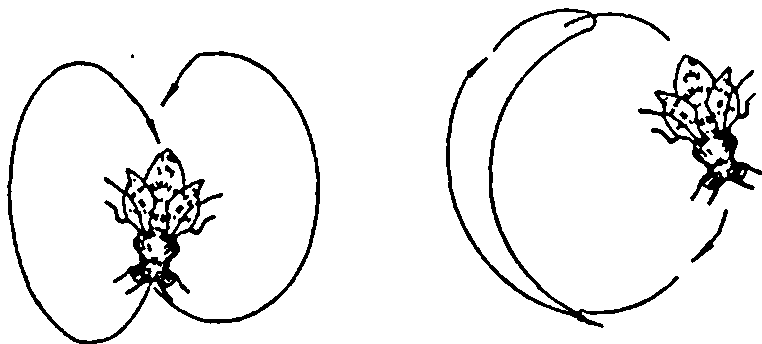
これはミツバチどうしが、何かの方法で話をして、蜜のあることを知らせあった結果に違いないと考えられる。この仮説を確かめるために、まずひとつの実験をしなければならない。それはガラス張りの巣箱をつくって、偵察バチが最初に巣に帰ってきたとき、どんな挙動をするかをみはったのである。一方、蜜をおいたさらのそばにはべつの人がいて、最初にこれをすいにきた偵察バチにペンキで印をつけた。ガラスごしにみていると、何がみえただろうか。

偵察バチが帰ってくると、まず仲間に蜜を分けてやり、それからおもしろいダンスをはじめた。最初は右にまわり、つぎには左、そのつぎは右というような回転ダンス(1 図)である。このダ

ンスは30秒あるいはそれ以上つづくが、蜜があまいほど長くつづけられる。まわりのミツバチたちは、おなじようなダンスをして、それからつぎつぎととびたつて目的の場所に到達する。この観察からどういうことがいえるだろうか。だれにもわかるように、このダンスが蜜のあることを知らせる信号になっていたのである。

つぎに、巣箱のまわりの四方に蜜をおいてみた。1ぴきのミツバチがこれをみつけて帰ると、まもなく4つのさらにほぼ同数のミツバチがむらがつた。これからみると、この回転ダンスは、ただ蜜が近くにあることを伝える信号であつて、蜜の方向については何ごともかたっていないようにみえる。

つぎにおこなつた実験は、巣箱から100m以上もはなれたところに蜜をおくことであつた。蜜をみつけた偵察バチは、巣箱に帰りつくときどきはダンスのしかたがすっかり変わつて、8字形をえがくのである。まず、腹部を左右にふりながら、ある一定の直線方向に進むと、それから時計方向にぐるりとまわり、ふたたび腹部をふつてまえとおなじ道を進み、こんどは反時計方向にまわりこむというぐあいである(5図)。これをみならつて、仲間のミツバチもおなじダンスをして、それからまよわずにある方向のある距離に蜜があることを知つて、とびだしていくのである。このようにしてひとつの新しい発見に到達した。この8字形のダンスの図をみながら、ミツバチの仲間がどうして蜜の方向を知るかを考えてみよう。(つづく)



5図ミツバチの回転ダンス(左)と8字形のダンス(右)

新 出 語

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 みつばち[蜜蜂] | (名)蜜蜂 |
| 2 ダンス[dance] | (名・自サ)跳舞, 舞蹈 |
| 3 フォン・フリッシュ[Von Frisch] | (名)冯・弗列希(人名) |
| 4 どう し[同士] | (名)同伴 |
| なかまどうし[仲間同士] | (名)同伴间 |
| 5 どう ぶつ がく しゃ[動物学者] | (名)动物学家 |
| 6 みごと[見事] | (形动)漂亮, 出色 |
| 7 あと(跡) | (名)踪迹 |
| 8 つい きゅう[追求] | (名・他サ)追求, 追述 |
| 9 みつ[蜜] | (名)蜂蜜, 蜜 |
| 10 さ と う すい[砂糖水] | (名)砂糖水 |
| 11 さら[皿] | (名)碟子, 盘子 |
| 12 こ がい[戸外] | (名)户外, 屋外 |
| 13 ひき[匹] | (接尾)数鸟、兽、鱼、虫等的单位 |
| 14 きづく[気づく] | (自五)发觉 |
| 15 すう[吸う] | (他五)吸入, 吮 |
| 16 とびさる[飛び去る] | (自五)飞走 |
| 17 まもなく[間もなく] | (副)不久, 不大工夫 |
| 18 むらがる[群がる] | (自五)群聚, 群集 |
| 19 てい さつ[偵察] | (名・他サ)侦察, 侦探 |
| 20 すばこ[巣箱] | (名)蜂巢箱 |
| 21 しらせる[知らせる] | (他一)通知 |
| しらせあう[知らせ合う] | (他五)互相通知 |
| 22 か せつ[仮説] | (名)假设, 假定 |
| 23 たしかめる[確かめる] | (他一)弄清, 验证 |
| 24 ガラスばり[glass 張り] | (名)装上玻璃 |
| 25 きょ どう[挙動] | (名)举行, 行动 |
| 26 みはる[見張る] | (他五)看守, 监视 |
| 27 ペンキ[(荷)pek] | (名)油漆 |
| 28 しるし[印] | (名)记号 |
| 29 ごし[越し] | (接尾)隔…… |
| ガラスごし[glass 越し] | (名)隔着玻璃 |
| 30 かい てん[回転] | (名・自サ)旋转 |
| 31 あまい[甘い] | (形)甜的 |
| 32 つづける[続ける] | (他一)接连不断, 继续 |

| | | |
|----|--------------|-------------|
| 33 | とびたつ[飛立つ] | (自五)飞起来,飞走 |
| 34 | とうたつ[到達] | (名・自サ)到达,达到 |
| 35 | なにごと[何事] | (名)何事,什么事 |
| 36 | かたる[語る] | (他五)谈,说 |
| 37 | かえりつく[帰る] | (自五)回到 |
| 38 | しかた[仕方] | (名)方法,办法 |
| 39 | すっかり | (副)完全 |
| 40 | はち じ けい[8字形] | (名)8字形 |
| 41 | えがく[描く] | (他五)画,描绘 |
| 42 | ふく ぶ[腹部] | (名)腹部,肚子 |
| 43 | ぐるりと | (副)旋转的样子 |
| 44 | ふたたび[再び] | (副)再,又一次 |
| 45 | まわりこむ[回り込む] | (自五)转入 |
| 46 | みならう[見習う] | (他五)模仿,见习 |
| 47 | まよう[迷う] | (自五)迷惑 |

翻訳要領

一、增词和减词

由于两种语言的用词习惯和语法习惯不同,翻译时原文的词量和译文
的词量不可能完全相同,根据表达的需要有时需要增词,有时需要减词,这叫
词的增减。

1. 增词

(1)日语的动词有时可译成汉语的介词,但介词结构一般只能作状语,不
能直接作谓语,此时往往需要增添一个适当的动词。

例如:

ふつう,化学反応がおこったかどうかは,沈澱の生成または消失,気体の
発生または吸収,色の変化,熱の発生または吸収などによることが多い。/
一般说是否发生了化学反应,往往根据沉淀的生成或者消失、气体的发生或
者吸收、颜色的变化、热的释放或者吸收等来确定。

(2)日语句子中有“全部,すべて,ほとんど,ひとびと,ひとりひとり”等
词,译成汉语时,除译出这些词义外,往往要加一个“都”字。例如:

物質は多数の原子が化学的に結合したのですが,電子が電気を運んで
いるとはいえ,これらの原子がもっている全部の電子が電気を運ぶわけ
ではありません。/物质是许多原子按化学方式结合起来的,虽说电子载电,但
并非这些原子所具有的全部电子都载电。

(3)要表达日语的时态、语气以及各种特殊的语感,有时也要加词。例如:

さらに、宇宙の研究手段が進むにつれ、科学者による物質構成の解明によって宇宙の神秘のとびらがひらかれようとしている。/再进一步,随着研究宇宙的手段进步,科学家剖明了物质结构之后,人类一定会打开宇宙的神秘大门。

機械は人間が創造したものであったが、后には、人間は機械なしには生きられなくなり、機械との共存を強いられることになった。/机器是人创造的,但后来,人没有机器就不能生活,被迫与机器共存了。

(4)原文中有省略,译文有时要补出来。

容器に水を入れて静かにしておくと、水面はまったく平らになる。/将水盛入容器静置之,水面就完全成平的。

(5)为了明确词与词之间的逻辑关系,日译汉时有时需要加词,例如:

“われわれの研究”和“化学反応の研究”两个词组中,词与词之间的逻辑关系不同,前者相当于主谓词组“われわれが研究する”,后者相当于动宾词组“化学反応を研究する”,为了区分起见,日译汉时有时要加词。例如:

上記の理由から、物質の本質的变化、すなわち化学反応の研究は、化学の特徴であるといつてよい。/根据上述理由,对物质的,质变的研究,即对化学反应的研究,可以说是化学的特征。

2. 减词

汉语以简洁著称,外文译成汉语时,减词是常见的现象。

(1)汉语用词简炼,日语中一些助词译成汉语时,有时不必一一译出。例如:

紀元前3世紀の中国の数学書「九章算術」には「方程」という章があって、2元や3元の連立1次方程式を加減法で解く方法が示されている。/纪元前三世纪中国数学书《九章算术》有“方程”一章,说明了用加减法解二元或三元联立一次方程式的方法。

平方数の平方根は整数であるから、もちろん有理数である。/平方数的平方根是整数,当然是有理数。

(2)译出来后会给人以画蛇添足的感觉的词,最好删去不译。例如:

糸の先におもりをつけ、水そうの水にひたす。/在绳的一端系上重锤,浸入水槽中。

上句译文因为既用了“浸”这个动词,又用了“水槽”这个名词,所以“重锤浸在水中”的意思已经明显,如译成“浸入水槽的水中”就会使人感到用词重复,所以最好删去“水”这个词。

(3)直译出来不符合汉语习惯的句子,也必须进行必要的删节、调整。例如:

これらの設計には必ず実際に得た数字が大きな影響をもって関係してくる。/直译:实际得到的数字必然以很大的影响与这些设计发生关系。

这种译法不符合汉语的表达习惯,可译为“实际得到的数字必然对这些

设计有很大的影响。”或译为“实际得到的数字必然与这些设计有很大关系”。

(4)主语可以省略是一些语种共同的特点,日语、汉语也是如此。日译汉时,为行文的需要,有时要补出原文省去了的主语,有时又必须省去原文中有的主语。省略的情况如:

自由な電子が電圧を加えられると、それは動いて電流となります。/自由电子被加上电压,就活动而成为电流。

二、词序的颠倒

词序的颠倒,指的是译文的词序有时不按原文的词序排列,而要有所颠倒。例如:

1. 主语和谓语的位置颠倒

有効電力と無効電力の二種類が必要である。/需要有效功率和无功率两种。

2. 宾语、补语位置的颠倒

原本は、アラビアを経てヨーロッパに伝わり、世界の多くの国にギリシアの幾何学を伝えた。/原本经过阿拉伯传到欧洲,把希腊几何学传到了世界许多国家。

3. 定语次序的颠倒

融点に対する外圧の影響に沸点に対するほどではない。/外压对融点的影响不象对沸点的影响那么大。

4. 管全句的补助成分一定要先译

人間が水害の種をまいているといってもいいだろう。/可以说是人类在播下灾害的种子。

練習

一、本文に基づいて、次の問に答えなさい。

1. 実験のはじめに、まず、蜜か砂糖水を入れたさを戸外に出しておいたとき、どんなことがわかりましたか。
2. 帰ってきた偵察バチが、仲間に蜜を分けてやると、どんなダンスをはじめましたか。
3. ミツバチの回転ダンスはなにを伝える信号ですか、蜜の方向と距離についても伝えていますか。
4. 巣箱から100m以上もはなれたところに蜜をおくと、ダンスのしかたはどうかわりますか。

二、次の文章を読んで、[]の部分を中国語に訳しなさい。

ミツバチには色が見えるか

〔動物の感覚についての研究は、いつでもそれほど容易なものではない。観察者である人間にわかるのは、外から観察できる動物の行動だけで、動物が実際に何を感じているかを直接に知ることは、もともと不可能なことだからである。したがって特別な実験をくふうして、その結果を用心深く判断することが必要となる。どんな実験をすればよいだろうか。〕

ミツバチの巣箱のそばにテーブルをおき、その上に砂糖水を入れた小ざらをおく。ただし、その小ざらの下敷きとして青色の色板がおいてある。やがて、ミツバチはその砂糖水のありかを知り、それを吸いにきて巣にもちかえり、何回もそれをくりかえす。かなりの期間、ミツバチをこのように訓練してから、砂糖水を取りさってしまう。そして、新しく2枚の色板(青色と赤色)をつくって、おなじようなテーブルの上におく。もし、ミツバチに青色がみえ、それが訓練されていたとしたら、砂糖水はなくても、青色板にむらがってくるはずである。実験結果はどうだったろうか。

テーブルによってきた大部分のミツバチは、みな青色板の上にとまったのである。ミツバチは、あきらかに青色板と赤色板の区別ができたのであるから、青色がみえ、その色を記憶していたように思われる。

〔しかし、この実験からすぐに「ミツバチに色の感覚がある」という結論を出すことはできない。なぜならば全色盲の人間も、青色と赤色の区別が容易にできるからである。このような人間には、赤色はひじょうに暗い灰色に、青色にずっと明るい灰色にみえて、その区別のできることはよく知られている。〕

人間をはじめ、多くの動物の視細胞には2種類あって、そのひとつは棒細胞で、ほかのひとつは円錐細胞である。前者は感光物質をふくみ、うすくらがりの視覚、あるいは明るさの視覚に関係している。後者は色の感覚に関係する細胞である。ところが、その感光物質には青色をよく吸収し、赤色をあまりよく吸収しない性質がある。このため、明るさの感覚だけある色盲の人間にも、青色は明るく、赤色は暗く感じられるのである。

この明るさによる誤差をとりのぞき、ミツバチに実際に色覚があることを証明するために、テーブルの上に白から黒にわたるあらゆる明るさの灰色の板をならべて、そのなかに青色板を1枚まぜておき、そのすべての上に小ざらをのせておいた。ただし、砂糖水は青色板の上においた小ざらだけに入れておく。そして、まえの実験のように、ミツバチを青色板にくるように訓練したのである。この訓練がおわってから、今までとおなじような灰色板と青色板を新しくつくり、おなじようにならべておく。もちろん、こんどは砂糖水は入れておかない。色板を新しくつくりなおしたのは何のためであろうか。それは、ミツバチがまえにむらがった青色板には、ミツバチ

のにおいが残っているおそれがあり、そのにおいでミツバチがこの板を選ぶ可能性をうちけすためである。また、これらの板の上にガラス板のカバーをおいたが、これは、青色のインキのにおいを消すためである。その結果はどうだっただろうか。ミツバチは砂糖水があったばあいと同様に、青色板の上にさかんに着陸したのである。これで、ミツバチが色の感覚をもつことがまちがいなく証明された。それは、動物の行動からだけにもとづいて判断した結果で、人間の主観的な判断によるものでないことはあきらかである。

ミツバチが青色にたいする色覚を有することを証明したのとまったくおなじ方法で、ミツバチをだいたい色、黄色、緑色、青紫色、紫色の色板に訓練づけることができた。しかし、ミツバチは赤色と灰色の区別ができず、赤色板にくるように訓練することは、ついにできなかった。つまり、ミツバチは赤色色盲なのである。さらに、ミツバチはだいたい色と黄色あるいは緑色を区別することができないこともわかった。ミツバチにとっては、これらの色はひとつの色にみえるのである。

〔なおミツバチに色覚があることを確実にするために、色板を使うよりももっと厳密な実験をした。その実験は、テーブルの上にプリズムで分光したいろいろな色を投影して、その色の上にミツバチがくるように訓練することであった。その結果は、色板による実験を再確認するものであったが、この新しい実験を通して、これまで予想もつかなかった新しい事実が発見された。すなわちミツバチは、紫外線部の光をみることができるということがわかったのである。このコンチュウにとっては、人間の目にはみえない紫外線がひとつの色にみえるのである。このように、注意深く実験をくりかえすことによって、科学者たちは、しばしば思いもかけない新しい発見にみちびかれるのである。〕

注 釈

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1 もともと | (副)本来、原来 |
| 2 したじき〔下敷き〕 | (名)垫子 |
| 3 ありか | (名)有东西处 |
| 4 …たとしたら | (慣用型)假设…… |
| 5 あらゆる | (连体)所有的 |
| 6 におい | (名)气味 |
| 7 カバー〔cover〕 | (名)盖 |
| 8 インキ〔ink〕 | (名)墨水 |
| 9 プリズム〔prism〕 | (名)棱镜 |
| 10 コンチュウ〔昆虫〕 | (名)昆虫 |
| 11 おもいもかけない〔思いも掛けもい〕 | (词组・形)意外的 |

第 38 課

本 文：ミツバチのダンス(下)

翻訳要領：一、成分的转换

二、长句短译

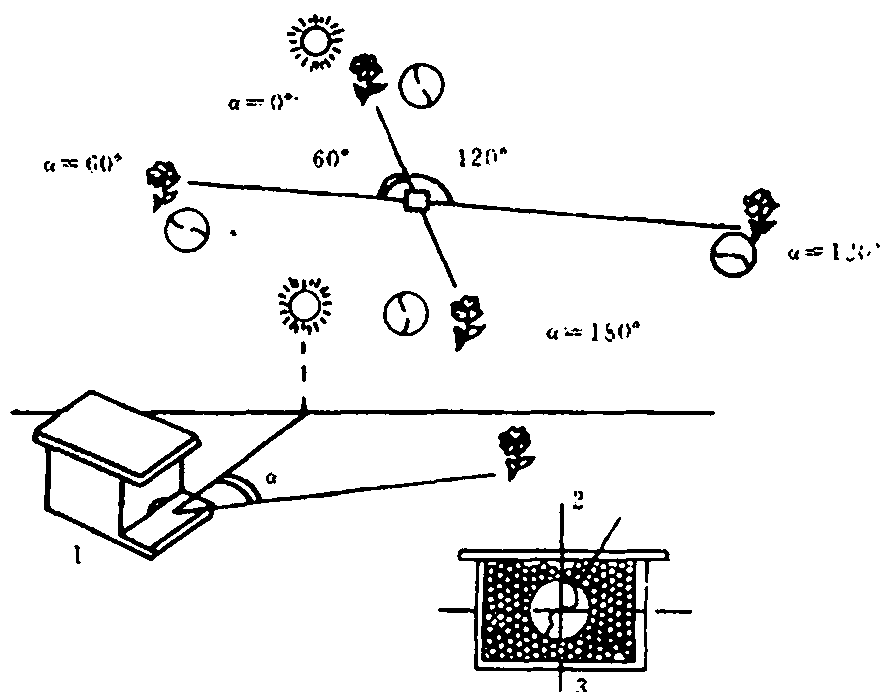
本 文

ミツバチのダンス(下)

ミツバチの8字形のダンスは蜜の方向と距離とを伝えているに違いないと考えられる。なお忍耐づよく観察をつづけていくと、まず、蜜までの距離は、ダンスの速さと関係があることがわかった。蜜が100mはなれていれば、ダンスのひとめぐりには1.5秒かかり、600mならば、7.5秒かかる。

つぎに方向であるが、偵察バチが巣箱のまえの地面に着陸して、水平面で8字形をえがくときは、ダンスの直線部分が蜜の方向に一致する。しかし、ミツバチの巣箱では、わく板は垂直に立っていて、ダンスはふつう垂直面でおこなわれる。垂直面のダンスで、蜜の方向をどのようにして示すことができるのであろうか。

このこみいった関係を、ミツバチはみごとに解決していることがわかった。ミツバチは、太陽の方位と巣箱をむすぶ線を基準にしているのである。太陽の方位と蜜の方向との関係(角度)を、垂直に立っているわく板のうえで、鉛直線と8字形のダンスの直線部分との関係にうつしかえて、腹部をふるダンスをおこなうのである。もし、蜜のあり場所が太陽の方向に一致していれば、8字形の直線部分を上向きに、反太陽方向に一致すれば下向きに腹部をふりながら進む。太陽を真左にみていけば蜜にたどりつけるばあい時計文字板で9時方向に、真右にみるばあいは3時方向に8字形の直線部分が一致するようにダンスをするので



6 図 太陽・蜜の角度と8字形のダンスとの関係(1 巣箱, 2 鉛直線, 3 垂直のわく板)ある(6 図)。これがいかに正確に伝えられるかは, 250m はなれた蜜のところにとんでくるミツバチたちが, 蜜を中心にして 3° の角度にしばられていることからわかる。

つぎに, もっとむずかしい問題にとりくまなければならなかった。巣箱のなかにはいったミツバチには, 出入口の小さなすきまからほんの一部の青空がみえるだけで, 太陽は直接みえないはずであるのに, どうして太陽の方位を知ることができるかという問題である。偵察バチがダンスをしている最中に, 厚い雲が青空をおおいかくしたり, また出入口を人為的におおって青空がみえないようにすると, ダンスはみだれて8字形の直線方向はずれていき, ミツバチのとびだしていく方角も定まらなくなる。巣箱の出入口からみえていた青空が, ミツバチに太陽の位置を教えていたに違いない。実験的に出入口を偏光板でさえぎって, 太陽からの光の振動方向をずらすと, ちょうどずれただけ8字形のダンスの向きが変わることがわかった。このことから, ミツバ

チは人間と違って、偏光をみることができ、青空の一部だけをみても、全天空の偏光の分布から太陽の位置をきめることができるらしいと推測されるようになったのである。

(東京書籍株式会社「生物」)

新 出 語

- | | | |
|----|-----------------|---------------|
| 1 | にん たいづよく[忍耐づよく] | (副)耐心地 |
| 2 | めぐる[(巡)る] | (他五)旋转, 绕行 |
| | ひとめぐり[一めぐり] | (名)转一圈 |
| 3 | ちやく りく[着陆] | (名・自サ)着陆 |
| 4 | いっ ち[一致] | (名・自サ)一致, 相符 |
| 5 | わくいた[枠板] | (名)框板 |
| 6 | こみいる[込み入る] | (自五)复杂化, 闯入 |
| 7 | たい よう[太陽] | (名)太阳 |
| 8 | ほう い[方位] | (名)方位 |
| 9 | むすぶ[結ぶ] | (他五)连接 |
| 10 | ありば しょ[あり場所] | (名)所在地 |
| 11 | うつしかえる[移しかえる] | (他一)改换 |
| 12 | したむき[下向き] | (名)朝下, 俯 |
| 13 | うわむき[上向き] | (名)朝上, 向上 |
| 14 | まひだり[真左] | (名)正左方 |
| 15 | たどりつける | (自一)终于到达 |
| 16 | も じ ばん[文字板] | (名)字盘 |
| 17 | まみぎ[真右] | (名)正右方 |
| 18 | とりくむ[取組む] | (自五)作对手, 扭住 |
| 19 | でいりぐち[出入口] | (名)出入口 |
| 20 | すきま[隙間] | (名)间隙 |
| 21 | ほんの | (连体)仅仅, 一点 |
| 22 | いちぶ[一部] | (名)一部分 |
| 23 | ほんのいちぶ[ほんの一部] | (名)极小的一部分 |
| 24 | あおぞら[青空] | (名)蓝天, 苍天 |
| 26 | さい ちゅう[最中] | (名)最盛时期, 正进行中 |
| 27 | あつい[厚い] | (形)厚的 |
| 28 | おおいかくす[覆い隠す] | (他五)遮掩, 隐藏 |
| 29 | じん い てき[人爲的] | (形动)人为的 |

| | | |
|----|---------------|--------------|
| 30 | みだれる[乱れる] | (自一)乱, 紊乱 |
| 31 | ずれる | (自一)移动, 错开 |
| 32 | ほう がく[方角] | (名)方向、方位 |
| 33 | さだまる[定まる] | (自五)定, 定下来 |
| 34 | へん こう ばん[偏光板] | (名)偏光片 |
| 35 | さえぎる[遮る] | (他五)遮拦, 遮掩 |
| 36 | ずらす | (他五)挪一挪, 错一错 |
| 37 | ぜん てん くう[全天空] | (名)整个天空 |
| 38 | ぶん ぶん[分布] | (名・自他サ)分布 |
| 39 | すい そく[推测] | (名・他サ)推测 |

翻訳要領

一、成分の转换

两种语言的语法结构不同,翻译的时候原文的句子成分与译文句子成分自然不可能一一对应,例如在原文里是主语的成分在译文里也许变成了宾语或其他成分。因此,所谓忠实于原文,决不是指在语法形式上的忠实,而是指内容和风格上的忠实。我们必须根据译文语言的语法规则来组织句子。

成分的转换是常见的现象,上一课所学词序的颠倒实际上也牵涉到成分的转换。下面再介绍一些转换的情况。

1. 原文的主语变成了译文的宾语,日译汉时大多是因日语中用的是自动词而汉语要译成他动词,或日语原文是个被动句而译成汉语要译作主动句。例如:

両方の水面は同じ高さであることがわかる。 / 可知两边的水面是同一高度。

円周率 π は無理数であるが、有理数の平方根ではないということが知られている。 / 我们知道圆周率 π 是无理数,但不是有理数的平方根

2. 原文的谓语变成了译文的状态语等。例如:

絶縁体の電子は原子から離れて自由に動きまわることは困難です。 / 绝缘体中的电子很难离开原子自由活动

3. 原文的宾语变成了译文的主语等。例如:

化学が最後の目標を反応と関連させている。 / 化学的最终目标与反应有关。

4. 原文的补语变成译文的主语、宾语等。例如:

植物がその根を通じて土じょうから養分をとることのできるのも、水にこの性質があるからである。 / 植物能通过它的根从土壤中摄取养分,也是

因为水有这种性质。(补语变主语)

広い水面はいつも鉛直線と垂直になっている。/宽阔的水面总是与铅垂线成直角。(补语变宾语)

5. 原文的定语变成译文的谓语、宾语等。例如:

つぎに、もっとむずかしい問題にとりくまなければならなかった。(巣箱のなかにはいったミツバチには、出入口の小さなすきまからほんの一部の青空がみえるだけで、太陽は直接みえないはずであるのに、どうして太陽の方位を知ることができるという)問題である。/然后还必须搞清一个更加困难的问题。这个问题就是:进入蜂箱的蜜蜂只能从出入口的小缝中看到一小片蓝天,照理说是直接看不到太阳的,可是为什么知道太阳的方位呢?(定语变谓语,另外,谓语中的中心部分“問題である”则变成了主语。)

そのため、ガリレイは(ローマ教会の)怒りにふれた。/因此,伽利略触怒了罗马教廷。(定语变宾语)

二、长句短译

长句短译,或叫分译,是将一个长句子拆成几个短句子来译。长句,大多数是包孕句,句子之所以变长,是因为句中包孕的定语从句、状语从句、宾语从句、补语从句、主语从句很长,处理的办法是把从句拆出来另译,这样就可以把一个长句子变成两个或几个短句子了。

1. 定语从句另译,例如:

いっぽんに、水は速らくさえていれば、容器の形にかかわらず、水面がつねに同じ高さになってとまる性質がある。/一般说,水有一种性质,只要连在一起,就不管容器的形状如何,水面总是保持同一高度。

そのなかには、地面が動いているなら塔の上からおとした物体は地面が動いた後方におちるはずなのに、じっさいはまっすぐおちるのではないか、いや、それどころか、地球がまわっているなら、地上にはものすごい風がふくはずではないか、という反対論もあった。/其中也有一种反对论说,如果地面是动的,那么地面动多少,从塔上掉下的物体就应向后面落多少,可是实际上不是笔直落下来的吗?岂止如此,如果地球是动的,地面上不是应当刮很强劲的风吗?

2. 状语从句另译,例如:

そのために設計しようとする機械の使用目的をよく理解した上にそれを満足させる機械を十分研究し、使用される部分の形状、寸法、材料の選定、制作上の問題、さらに生産コストが考えられてはじめて設計図が決ってくる。/为此,要在充分理解所设计的机器的使用要求之后,再仔细研究满足这一要求的机构,考虑使用部分的形状、尺寸、材料的选择、制造上的问题,以至生产成本,然后才决定设计图。

3. 宾语从句另译,例如:

エジプトでは毎年ナイル川の水があふれ、そのあとで人人の土地の持ち分を調べるために「測量術」が発達したことを、ギリシアの歴史家が記録している。/希腊的历史学家作过这样的记载：在埃及，尼罗河每年涨水，为了水退后查明人们的土地份额，“测量术”发展起来了。

それはガラス張りの巣箱をつくって、偵察バチが最初に巣に帰ってきたとき、どんな挙動をするかをみはったのである。/这就是：做一个装有玻璃的蜂箱，来监视侦察蜜蜂，看它刚回到巢里时有什么举动。

4. 补语从句另译，例如：

自然の中で人間が生き続けていけるかどうかは、自然と人間とのつり合いをどのようにとらえ、どこに調和点を見いだすか、ということにかかっているのである。/人能否继续在自然界中生存，取决于：我们怎样取得自然与人之间的平衡，从哪里找到谐调点。

練習

一、本文に基づいて次の問に答えなさい。

1. ミツバチが水平面で8字形をえがくときは、ダンスの直線部分の方向はどうなっていますか。

2. ミツバチは、垂直に立っているわく板のうえで、蜜の方向をどのようにして示すことができるのでしょうか。

3. 巣箱のなかにはいったミツバチは、どうして太陽の方位を知ることができますか。

4. 偏光板で巣箱の出入口をさえぎると、ミツバチのダンスはどうなりますか。

二、翻訳の要領を考えながら、次の文を中国語に訳しなさい。

1. 化学工業の発展とともに、化学物質による大気、水、土壌などの汚染の防止もこんにちの重要な問題となっている。

2. ナイロンは化学的な構造も性質も絹とよく似ており、いわば人間がつくった絹である。

3. 分度器を使って、糸が水面とどんな角度にあるか調べてみる。

4. いろいろな図形の性質のなかには、簡単なものと複雑なものを理論的に説明できる場合のあることが、しだいに人人に気づかれてきた。

5. ギリシアでは負が負の数になる問題はさけていたが、12世紀のインドのバースカラは、負の数になるものもふくめて、いろいろな方程式を解いた。

6. 天体の運動については、地球こそ宇宙の中心で太陽をふくめてすべての天体はそのまわりをまわっているという天動説がローマ教会の権威とむすびついて支配的であった。

7. 「天文学対話」という本のなかには、慣性の法則をもとにして、地動説にたいする上の反対論がけっして大地の不動を示すことにならないと力説されている。

三、次の文章を読んで、要旨を把握しなさい。

色と動物

動物はどんな色を見ることができるのでしょうか。この世界は動物にとっては、私たち人間よりもきれいな色をもっているのでしょうか、それとも、より冴えない色をもっているのでしょうか。この問題の答を調べるために、科学者はいろいろの色に対して、動物を訓練しました。

ニワトリの雄は、美しい色の羽をしています。この色はニワトリにどう見えるかわかりませんが、人間にはめだった色に見えます。一方、ニワトリの雌はあまり美しい色ではありません。さて、メンドリはオンドリの色をどう見ているのでしょうか。クジャクの雌は、あの美しい雄の色彩を見ることができるのでしょうか。この問題も、鳥が実際にどのような色を見ているかを調べねば、答がだせません。この実験は最初、つぎの方法で行われました。プリズムによって、ランプの光が虹の色にわけられて、暗室の床に照らされます。スペクトルのいろいろな色のうえに、穀物の粒がばらまかれ、メンドリをつれてきて、その粒をひろわせます。メンドリが見つけた粒を全部ひろったのちに、食べ残した粒はどのような色のところかを調べます。メンドリは赤、黄、緑の部分におかれた穀物は、ほとんど全部食べつくしましたが、スペクトルの青色の部分にあった粒は、ほんのわずかしきひろうことができず、紫色の光に照らされていた穀物は全部残されていました。この結果をみると、メンドリが紫色の部分の穀物をたくさん残したのは、紫色の光では穀物を見わけることができず、青色の部分でもあまりよく見ることができなかつたと考えられます。つまりニワトリにとっては、紫色は黒に近い光であり、青色もあまり明るい色ではないようです。

しかし、この結論はまちがいのです。この実験では、また注意深さがたらなかったのです。全くちがった方法をつかった、さらに新しい実験では、メンドリはスペクトルの青のはしの部分や紫色を完全に見ることができるのがわかりました。この実験はミツバチのときと同じように、訓練によってなされました。はじめにやったスペクトルでわけた光の中で穀物をひろわす実験で、鳥が青や紫の穀物を食べなかつたのは、自然状態ではそんな色の穀物は存在しないからなのです。つまり、騒音が魚にとって何の意味ももたなかつたので、土手で大声で叫んでも魚が逃げないのと同じことなのです。

さてつぎに、イヌはどんな色を見ているのでしょうか。たいへん残念に思われるかも知れませんが、イヌはまったく色を区別できないのです。イ

ヌを飼っている人たちは、自分の可愛いイヌが美しい色を見ることができないと聞いて失望されると思いますが、お気の毒ですが、イヌは色盲なのです。そのかわり、たいへん鋭い嗅覚がありますから、イヌの世界は、たとえ色がついていなくても、楽しい匂いにみちているだろうとあきらめてください。

ネコの色の感覚をテストする実験も行われました。まだはっきりした結論は出ませんが、ネコもまた色盲であると予想されます。六種類のちがった色のそれぞれを合図にして、食事をとりにくるようにネコを訓練する試みがなされましたが、ネコは、合図にきめられた色と、比較のためにだされたいろいろの明るさの灰色の一つとを、いつも混同してしまいました。

ところが、サルは色を区別することができます。食器棚に食事をとりにゆくようにサルを訓練しておき、食事の入っている棚の扉を、あるきまった色にぬっておきます。空の棚の扉は、ほかの色をぬっておきますと、サルはいつも食事の入っている扉をあけて、ほかの色の扉には手をつけません。サル以外の大部分のほ乳類は、今まで多少とも科学的にテストされたかぎりでは色盲であるようです。ウシでさえ、色としての赤は見わけることができません。一般にウシは赤い色を見ると興奮すると信じられていますが、ウシは赤色と暗い灰色を区別できないのです。斗牛のときは、ウシは赤い色を見て興奮するのではなく、ゆれ動く布でカンをたてて興奮するのがほんとうの話のようです。

(《動物の知恵》H. M. フォックス著朝日稔、藤本佳佑訳、法政大学出版局)

注 釈

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1 さえる[冴える] | (自一)鮮亮 |
| 2 ニワトリ[鶏] | (名)鸡 |
| 3 めだつ[目立つ] | (自五)醒目 |
| 4 メンドリ[雌鳥] | (名)母鸡 |
| 5 オンドリ[雄鳥] | (名)公鸡 |
| 6 クジャク[孔雀] | (名)孔雀 |
| 7 スペクトル[法 <i>spectre</i>] | (名)光谱 |
| 8 ばらまく | (他五)撒布 |
| 9 どて[土手] | (名)土堤, 堤坝 |
| 10 きのだく[気の毒] | (名・形动)可惜, 可怜 |
| 11 そのかわり[その代わり] | (接・副)可是, 另一方面 |
| 12 テスト[test] | (名・他サ)检查, 测验 |
| 13 サル[猿] | (名)猴 |
| 14 しょっきだな[食器棚] | (名)碗柜, 餐具柜 |
| 15 ぬる[塗る] | (他五)涂, 抹 |

- | | | |
|----|---------------|----------------------------|
| 16 | てをつける[手をつける] | (词组)动手,去碰 |
| 17 | …とも たしょうとも | (接尾)接在一些名词、副词后表示限度 多多少少 |
| 18 | カン | (名)神经质,暴躁脾气 |

第 39 課

本 文：総合練習例
総合題的解法

本 文

総合練習例

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい

名古屋の明治村^①の開村式記念に、漱石の「我が輩は猫である」の初版本の縮刷のようなものを、送ってきた。ふろしきか何か送ってくるのが通例だが、これは気^②のきいた趣向であると感じた。「猫」はもう十遍ぐらい読んでいるが、手に取ると、また[△]拾い読みをしないではいられない。そして、やはり[△]面白いのである。興に任せて書きとばしたようで、注意して読むと、ずいぶん気を入れて、ていねいに書いてある。今流行している書きとばしは明治時代にはなかったものだろう。漱石ばかりでなく、露伴、紅葉、鏡花を見ても、実にていねいに自分^③の文章を扱っている。それはともかく、明治村の「猫」には、中村不折の色刷りのさし絵が載っていて、これがまたなかなか面白い。わたしが最初に「猫」を読んだのは、無論、初版か再版であり、それには不折^④の絵も載っていたのだが、当時はそれほどにも思わなかった。今見てみると、とてもいい絵である。不折の油絵は感心したことはないが、このさし絵はのびのびとした、俳画的風韻があり、「猫」の人物が生きている。かりに現代の画家が、「猫」を引き受けても、これだけのものが、かけるかどうか。それに橋口五葉の装丁が、たいへん、ハイカラである。漱石はいつもよい装丁^⑤の本を出したが、最初の「猫」から成功したのは、幸福な著者といわねばならない。文章とさし絵と装丁が一致して、す

くれた本になるのはめったにないことだがその少ない例が現代よりも明治時代に見い出されるのは、どういうわけか。少なくともあの時代のほうが、本を出すことに、だれもがていねいだったことは争われ⁴ない。

(1) 上の文章を五つの段落にくぎるとすれば、どこでくぎればよいですか。第一段落から第四段落までのそれぞれの終わりの五文字を抜き出して示しなさい。

(2) ①～⑤の「の」のうち、一つだけ用法の異なるものがあります。その番号を示して、その用法が次のどれにあたるか、記号に○をつけて答えなさい。

ア 連体修飾語を作る イ 体言の資格を作る
ウ 主語を表わす エ 並列の意を表わす

(3) 文章中、④——の「の」と同じ用法のものが、次の語句の中に一つあります。その記号に○をつけて答えなさい。

ア 太郎の手 イ 空の月 ウ 海の戦い エ 紀
貫之の歌 オ 女の子 カ イタリアの国

(4) a～dの「なく」「ない」は、品詞に分類すると、のどれになりますか。記号で答えなさい。

a() b() c() d()

①名詞 ②動詞 ③形容詞 ④形容動詞 ⑤助動詞

⑥助詞 ⑦連体詞 ⑧副詞 ⑨感動詞 ⑩接続詞

(5) 文章中、 で示したA、Bの文の主語は何ですか。文中の語句で答えなさい。省かれているときは、主語にあたる言葉を考えて補いなさい。

小畑哲雄「ベターン学習中学国文法」より

新 出 語

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 そう こう[総合] | (名・他サ)総合 |
| 2 なごや[名古屋] | (名)名古屋 |
| 3 かい そんな しき[開村式] | (名)開村式 |
| 4 そう せき[漱石] | (名)日本作家“夏目漱石”的名字 |
| 5 わがはい[我が輩] | (代)我,吾輩 |
| 6 ねこ[猫] | (名)猫 |

| | | |
|----|-------------------|----------------------------|
| 7 | しょ はん[初版] | (名)初版,第一版 |
| 8 | しゅく さつ[縮刷] | (名・他サ)缩版印刷 |
| 9 | ふろしき | (名)包袱皮儿 |
| 10 | つう れい[通例] | (名・副)惯例,常规 |
| 11 | しゅ こう[趣向] | (名)趣旨,意向,主意 |
| 12 | かん しん[感心] | (名・形动・自サ)佩服,钦佩 |
| 13 | ひろいよみ[拾い読み] | (名)(不连续地,二页三页地)跳读 |
| 14 | きょう[興] | (名)兴致,兴趣 |
| 15 | まかせる[任せる] | (他一)委托,托付 |
| 16 | かきとばす[書き飛ばす] | (自五)快速书写 |
| 17 | りゅう こう[流行] | (名・自サ)流行,时兴 |
| 18 | ろ はん[露伴] | (名)日本小说家,剧作家“幸田露伴” 的名字 |
| 19 | こう よう[紅葉] | (名)日本小说家,俳句诗人“尾崎红 叶”的名字 |
| 20 | きょう か[鏡花] | (名)日本小说家“泉镜花”的名字 |
| 21 | あつかう[扱う] | (他五)操作,操纵,使用 |
| 22 | ともかく | (副)无论如何,不管怎样 |
| 23 | なかむらふせつ[中村不折] | (名)日本画家、书法家 |
| 24 | いろずり[色刷り] | (名・他サ)彩印 |
| 25 | さしえ[挿し絵] | (名)插图,插画 |
| 26 | のる[載る] | (自五)登载,刊载,放 |
| 27 | む ろん[無論] | (副)当然,不用说 |
| 28 | さい はん[再版] | (名・他サ)再版,重版 |
| 29 | あぶらえ[油絵] | (名)油画 |
| 30 | のびのび | (副・自サ)舒展,舒畅 |
| 31 | はいがてき[俳画的] | (形动)诙谐画风 |
| 32 | ふう いん[風韻] | (名)神韵 |
| 33 | じんぶつ[人物] | (名)人,人物 |
| 34 | ひきうける[引き受ける] | (他一)承担,保证 |
| 35 | はしぐちごよう[橋口五葉] | (名)日本明治时期画家 |
| 36 | そう てい[装丁] | (名・他サ)装订,装帧 |
| 37 | ハイカラ[high collar] | (名・形动)时髦 |
| 38 | こう ふく[幸福] | (名・形动)幸福 |
| 39 | ちょ しゃ[著者] | (名)作者,著者 |
| 40 | すくなくとも[少なくとも] | (副)至少,最低限度 |

综合题的解法

日本高考和选拔外国留学生等考试中,常出“综合问题”。这种出题方式可以

从多方面考核学生的日语水平,学生常做这一类题目也有助于自己的日语水平的提高。因此我们有必要了解一些这方面的知识。

综合题的出题方式是给一篇文章,要求读完这篇文章后回答文章后面的几个问题。大致是如下几方面的问题:

(一) 考核对全文的理解的。

- 1 要求说明文章的主题。
- 2 要求说明文章的大意。
- 3 要求划分段落。
- 4 要求说明各段大意。

(二) 考核对具体内容的理解的。

- 1 要求说明采用某种表达方式的理由。
- 2 要求说明指示词指代什么。
- 3 要求说明某一词语指的是什么内容(例如何“前者”“もう一つ”指的是什么内容)。

- 4 要求说明某句话是什么意思。

- 5 要求在适当地方补进一段文字。

- 6 要求填空,包括填接续词,副词,用言,体言,词组等。

(三) 考核词语的。

- 1 要求解释固定词组。
- 2 要求解释成语。
- 3 要求写出反义词。
- 4 要求解释近义词。
- 5 要求判断拟声拟态词、抽象词的用法。

(四) 考核文字、标记法的。

- 1 要求根据假名写汉字。
- 2 要求根据汉字写假名。
- 3 要求说明送假名用法。
- 4 要求打标点符号。

(五) 考核语法知识的。

- 1 考核词法知识。
- 2 考核句法知识。
- 3 要求辨别词形相同的助词等。

解综合题的方法是,首先要通读全文,掌握文章的主题、文章大意、段落划分、段与段之间以及句与句之间的关系,这样就可以顺利地答出(一)(二)(五)这三类题来。至于(三)(四)两类题则要靠平时学习时注意,但所给文章的上下文也能给人以启发。解题的顺序应该是先解大题,然后注意文章的细部去解小的具体问题。

在综合题中,考核对具体内容的理解的题往往占的比重最大,解这类题要特别慎重。解题时的注意事项是:

- 1 仔细读全文,体会细部的叙述与全文是什么关系。
- 2 仔细看上下文,看所提问题与上下文是什么关系。
- 3 看一看别的地方还有与所问语句或表达形式意义相同的没有。
- 4 遇到抽象的,暗示的表现形式时将其换成具体的形式来考虑。
- 5 对于一个问题,多想几种解题的可能性,然后一一甄别,找出一个最合理的答案来。

6 想好答案后,把它放到文章中去,看是否与上下文矛盾,是否与全文的意思相符。

7 要求进行解释时,尽量不离开原文的意思。

下面我们来看看本课课文后面的五个题目应当怎样做。

(1) 第一道题是要求划分段落,我们通读全文,就会发现这是一篇随笔形式的议论文,文章的主题表现在最后那一句上:少なくともあの時代のほうが,本を出すことに,だれもがていねいだったことに争われない。

顺着文章细读,就可以分出五个段落来:

1 第一句和第二句,即到“と感心した”为止是第一段。这一段提起话题,并漠然地提出了结论:これは気のきいた趣向である。

2 第二段用“「猫」は…”承接上文。这一段从《我是猫》写得严肃认真谈起,谈到明治时代几个作家治文的态度都很认真。这一段到“扱っている”结束。

3 第三段用それはともかく与上段相接。这一段以中村不折为《我是猫》作插图很精美为例,说明当时的画家作插图都比现在的认真。这一段到…るかどうか结束。

4 第四段用それに承接。这一段谈装帧,只有两句话,到…ばならない结束。

第2、3、4三个段落又可以总成一个大段落,这一大段是分别从内容、插图、装帧三个方面来展开议论。

5 第五段用“文章ときし絵と装丁が…”开头,来归纳上面三段的议论,并用どういうわけか来引出最后一句所作的结论。

(2) 第二道题是考考生对の的识别能力。我们知道,日语中有四个の。题目中已经列了出来:

ア 构成定语の,这就是领格助词の。

イ 赋予体言资格的,这就是形式体言の。

ウ 表示主语的,这就是在定语从句中表示主格的の。

エ 表示并列的,这就是并列助词の。

①~⑤中,有一个与另外四个不同,这就要对五个都分析一下,才能找出那一个来:

① 明治村の開村式記念——领格助词。

② 気のきいた——来源于“気がきいた”,是表示主语的

③ 自分の文章——领格助词

④ 不折の絵——领格助词

⑤ よい装丁の本——领格助词

经过这样的分析,就可以得到答案了。

(3) 第三道题是考考生对领格助词の的语法意义的理解程度。我们首先要分析一下“不折の絵”中定语“不折の”与被修饰的“絵”是什么关系。在没有上下文的情况下,这有三种可有:1. 定语表示领有者,这个词组是“属于有折的画”(不折の所有する絵)的意思,2. 定语表示作者,这个词组是“不折所作的画”(不折の作ったところの絵)的意思,3. 定语表示对象,这个词组是“描绘不折的画”(不折を書いた絵)的意思。从文章中的上下文来看,显然属于第2种意思。根据这一分析,再去看题目中的六个词组,只有“エ…紀貫之歌”对得上。因为“纪贯之”(868年—945年)是日本著名的和歌诗人之一,著有《纪贯之歌集》,《新撰和歌》等。

(4) 第四道题是考词类区分的。我们知道,凡单独使用或接在形容词、形容动词、指定助动词、样态助动词,比况助动词等的连用形后面的ない是形容词,接在动词、助动词未然形后面的ない是助动词。有了这个预备知识,就可以答出这道题来:

a …ばかりでなく,因为是接在指定助动词での后面,所以是形容词。

b …ことはないが,因为是单独使用,所以是形容词。

c …ねばならない,因为是接在动词なる的未然形后面,所以是助动词。

d 争われない,因为是接在被动助动词れる的未然形后面,所以是助动词。

(5) 第五道题是考句法的。找主语必须仔细观察上下文,注意搭配习惯。

A 根据谓语往前找,在句中找不到主语。前面的“「猫」は”是与“読んでいる”搭配的,“読む”是他动词,所以“「猫」は”中的“は”是顶替了宾格助词“を”。“「猫」を読んでいる”的主语也没有出来。从整篇文章看,都是以第一人称的口吻写的,所以,“「猫」を読む”“手にとる”的主语都应该是“私は”。

B 在本句内找不到おもしろいのである的主语。往上句找,“私が…おもしろい”的搭配不能成立,所以本句省略的主语应是“「猫」は”。

練習

一、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

時計がなくても、人間はどれだけ時刻、時間を判断できるか——「ストップ・タイム・プロジェクト」という実験結果が、9月2日に発表された。

千葉工業大学の石川教授(科学技術史センコウ)が、十人の学生を対象に
(例)行う³もので、世界でも珍しい⁴試み。「時刻よりは時間の判断の方が
難しい」など、(ア)参考になるデータがA集まる⁵という。

同プロジェクトは今年3月上旬、千葉県にある千葉工大の研修施設で行
われた。周囲は林や砂浜にB囲む⁶、都市環境からは隔絶され、音で時刻を
知る可能性はなく、実験にあてられた部屋は内庭だけが見られるコウゾウ⁷
にした。この施設に、時計は(イ)、ラジオなど正確に時を知る機器は一切身
につけさせず、一週間学生を隔離した。

この環境の中で、定められた時刻に起床、就寝、朝・昼・夕の三食をどれ
だけ正確にできるか、与えられた作業にかかった時間は何時間か、定めら
れた時間間隔を、どれだけ時計を使わずに知ることができるか、という実
験。

結果は、日の出、空の色、日没、星などから、一週間後には(ウ)全員が15
分以内の誤差で起床、就寝の時刻を知ることができた。ただ、昼食時刻を知
るのが一番難しく、その日の作業スケジュールによってかなりばらつきが
出た。また、時間については、脈拍、指でリズムをとるなど、集中すればある
テイド⁸わかっててくる。しかし、(エ)模型飛行機を作る、漢字の書き取りを
するなどの他の作業をすると、とたんに時間感覚が失われることなどがわ
かった。いずれも、学生たちに前日の測定結果をC知る⁹ので、時計がなく
ても、かなりの学習効果ですることともわかったという。

石川教授は「かなり予測した通りの結果になった。また、時刻が正確に
わかる人間が時間の感覚にうといとか、おもしろいデータも出た。また、夜
型の人間が、朝型に生活が変わることで、時刻を知る能力が増すなどの推
定もできそうだ」と、実験結果をカタ¹⁰っている。

実験にD参加する¹¹学生たちが、時計と時間の関係をどう認識したかも
レポートさせたが、「最初の三日間は時計がないことで、イライラした。
が、その後は慣れた」、「時計を返された時に、やっと社会に復帰できたと
感じた」、「時計は無意識のうちに、われわれの生活感覚に浸透してい
る」などの感想がE集まる¹²、石川教授も「現代のような工業化社会では、
人間の時間感覚では対応できないことが、(オ)認識させられた」と、平凡
な結論を述べている。

注 釈

1 こころみ[試み]

(名)試、尝试

- | | |
|--------------------|-------------------|
| データ[data] | (名)事実、資料、材料、数据 |
| 3 けん しゅう[研修] | (名・他サ)钻研、研究、进修、培训 |
| 4 あてる[あてる・充てる] | (他一)充、安排 |
| 5 スケジュール[schedule] | (名)日程、予定、时间表 |
| 6 ばらつき | (名)参差不齐、不均 |
| 7 リズム[rhythm] | (名)韵律、格律、节奏 |
| 8 いらいら(と) | (副・自サ)着急、焦躁 |
- 問 1、(ア)～(オ)の中に入れるのに、最も適当なものを次の1～6から選び、その番号を書きなさい。

- | | | |
|--------|----------|---------|
| 1. ほぼ | 2. あらためて | 3. もちろん |
| 4. やがて | 5. かなり | 6. たとえば |

問 2、A～Eを、(例)のように、適当な形に書き直しなさい。

(例) 行う→行った

問 3、下線部 1～10で、かたかなの部分は漢字に直し、漢字の部分はその読み方を書きなさい。

問 4、つぎの(1)～(5)に簡単に答えなさい。解答は文の形でなくてもかまいません。

(1)本文にある「プロジェクト」の意味に最も近いものを次の中から選びなさい。

- | | |
|---------|---------|
| (イ)民間企業 | (ロ)実験計画 |
| (ハ)研究報告 | (ニ)野外調査 |

(2)この実験を行った人はだれですか。

(3)この実験は、いつ、どこで行われましたか。

(4)実験の行われた部屋からは、何が見えましたか。

(5)いちばん分かりにくいのは、どんな時刻でしたか。

問 5、本文の主旨から考えて、次の(1)～(5)の中、正しいものに○、正しくないものに×をつけなさい。

(1)時刻よりも時間の方が判断しにくい。

(2)学生たちは、ラジオは持っていてにもかまわなかった。

(3)何かの作業をすると、時間の感覚が失われる。

(4)時計がなくても、慣れさえすれば、現代社会に充分対応できる。

(5)実験の結果は、まったく予想しなかったものであった。

第 40 課

本 文

生物学と読書

八杉 竜一

生物学の書物といっても、それにはいろいろの種類がある。現象や事実をこまごま集めただけのものから、体系的な理論構成を主眼としたものまで、さまざまである。ただし、現象とか事実とかいっても、そのものがすでに説明をふくんでいる（それにより記載が可能になっいる）場合も多いから、生物学の書物の各種類の間に厳格な境界線が引けるとはかぎらない。

したがって、それぞれの書物においても、その内容を構成する事実と理論をまったく迷いなくえりわけるとは困難である。しかし、いちおうの区別ができないわけではない。ラマルクの「動物哲学」であれ、ダーウィンの「種の起源」であれ、生物の分類や遺伝に関する個々の記載と、進化学説の体系における理論の運びとを、わけて考えることは可能である。

それぞれの学説が、その基礎となる事実をふまえて成立しているものであることは、いうまでもない。それだから、基礎事実があやしくなれば学説もゆらぐ。それは当然のことである。しかし、また他面からみると、学説（理想）というものは、自然が与えたままの事実とはややちがって、個々の学者のうみだした創造物である。それぞれの学説には、おのおの独自の思考のタイプがあらわれており、論理の運びの的確さにも種種の相違がある。そしてまた、それは人間的生命を分与された創造物として、時代とか社会とか、個人の階級的立場とかを反映してもいる。

それゆえにこそ学説は貴重なのであり、同時にそれゆえにこそ学説は蔑視され危険視されるのである。だが、事実の集中がそれだけで正しい学説を自然本能的にうみだしていくのではな

い。そして正しい学説を樹立していく学者たちの努力によって、
学問は本質的に進歩するのである。

新 出 語

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 どく しょ[読書] | (名、自サ)读书 |
| 2 とい[問] | (名)问题,提问 |
| 3 こまこま[細細] | (副・自サ)零零碎碎,详细 |
| 4 たい けい てき[体系的] | (形动)系统的 |
| 5 こう せい[構成] | (名・他サ)构成,构造 |
| 6 しゅ がん[主眼] | (名)着眼点,着重点 |
| 7 き さい[記載] | (名・他サ)记载 |
| 8 げん かく[厳格] | (名・形动)严格,严厉 |
| 9 きょう かい せん[境界線] | (名)疆界线,地界 |
| 10 えりわける[選(り)分ける] | (他一)分选,分类 |
| 11 く べつ[區別] | (名・他サ)区别,分清 |
| 12 ラマルク[lamarck] | (名)拉马克 |
| 13 てつ がく[哲学] | (名)哲学 |
| 14 ダーウィン[Darwin] | (名)达尔文 |
| 15 しゅ[種] | (名)种,种类 |
| 16 き げん[起原・起源] | (名)起源 |
| 17 かんする[関する] | (自サ)有关,关于 |
| 18 こ こ[個々・個個] | (名)各个,每个 |
| 19 しん か[進化] | (名・自サ)进化 |
| 20 ふまえる[踏まえる] | (他一)根据,依据,踏 |
| 21 せい りつ[成立] | (名・自サ)成立,完成 |
| 22 あやしい[怪しい] | (形)奇怪,靠不住 |
| 23 ゆらぐ[揺(ら)ぐ] | (自五)动摇,摇晃 |
| 24 うみだす[生(み)出す・産(み)出す] | (他五)创造,生产 |
| 25 そう ぞう ぶつ[創造物] | (名)创造物 |
| 26 どく じ[独自] | (形动)独自,个人 |
| 27 し こう[思考] | (名・他サ)思考,考虑 |
| 28 タイプ[type] | (名)类型,型式,榜样 |
| 29 てき かく[的確] | (形动)正确,恰当 |
| 30 しゅ じゅ[種種] | (名・副・形动)种种,各种 |
| 31 そう い[相違・相異] | (名・自サ)差异,不同 |

| | | |
|----|-------------|--------------|
| 32 | ぶん　よ[分与] | (名・他サ)分给 |
| 33 | こ　じん[個人] | (名)个人,一个人 |
| 34 | かい　きゅう[階級] | (名)阶级 |
| 35 | どうじに[同時に] | (副)同时 |
| 36 | べっ　し[蔑視] | (名・他サ)蔑视,歧视 |
| 37 | き　けん　し[危険視] | (名・他サ)看作危险的 |
| 38 | じゅ　りつ[樹立] | (名・自他サ)树立,建立 |
| 41 | ほん　しつ[本質] | (名)本质,实质 |

第 41 課

本 文

閉ざされた言語

鈴木孝夫

年齢四十歳の小学校の先生 A には妻と男の子一人、そしてまだ大学生の弟がいる。他に近い親戚としては別居している父と兄がいる。

この先生が、いくつ自分の呼び方を持っているかという、少なく見て七種もあるのである。自分の子に対しては「おとうさん」、弟に対するときは「にいさん」、妻と話すときは「おれ」、父に対して「ぼく」、兄に対しても同様である。隣の子に向かっているときは「ぼく」、校長に対しては「私」であることがわかった。

この人は話の相手がだれで、自分に対してどのような地位、資格を持っているかを見きわめた上で、その場に最も適切な言葉選びをしている。つまり相手の性質が、自分の自己を言語的に把握する角度に直接反映するのである。「自分は何者であるのか」ということが、「相手はだれか」に依存する構造になっていると言える。このような言語による自己把握の相対性は少なくとも西欧諸国の言語にはまったく見られないことは特筆に価する。

英・独・仏のようなヨーロッパの言語では、話者が自己を言語的に表現する角度は、原則として一定不変であって、用語としては第一人称代名詞のみが用いられる。私はこの型の自己把握を絶対的な自己表現と呼んで、日本型の相対的自己表現と区別したのである。

さて、このような相手に依存する自己規定とは、自己が自己自身を見る視点を他者の立場に移すことを意味すると考えられ

る。人は自分を「おとうさん」として把握できるためには、自分の子供の視点から自分を見る必要がある、またある人が先生と自称しうるためには生徒の立場から自己を見直さなければならないからである。

相対的な自己表現の言語習慣は、かくして必然的に相手の立場からの自己規定、他者を介しての自己同一性の確立という心理的ボタンにつながっていくものと言えよう。これは自己と相手の立場の同一化と称することもできよう。自分が具体的な自分であるためには、相手が必要であり、その相手を通しての確認が要求されるからである。

新 出 語

| | |
|----------------------|---------------|
| 1 とぎす[閉ざす] | (他五)封闭 |
| 2 せつ もん[設問] | (名・自サ)提出问题 |
| 3 ねん れい[年齢] | (名)年齢,岁数 |
| 4 しん せき[親戚] | (名)亲戚 |
| 5 べっ きょ[別居] | (名・自サ)分开居住,分居 |
| 6 おれ | (代)我,俺 |
| 7 となり[隣] | (名)邻居,隔壁;旁边 |
| 8 せい と[生徒] | (名)(中小学)学生 |
| 9 どう りょう[同僚] | (名)同僚,同事 |
| 10 ち い[地位] | (名)地位,职位 |
| 11 みきわめる[見極める] | (他一)弄清楚,分清 |
| 12 ば[場] | (名)场所,情况 |
| 13 てき せつ[適切] | (名・形动)适当,恰当 |
| 14 いそん[依存] | (名・自サ)依存,依赖 |
| 15 は あく[把握] | (名・他サ)把握,掌握 |
| 16 そう たい せい[相对性] | (名)相对性 |
| 17 せい おう しょ こく[西欧諸国] | (名)西方各国 |
| 18 とく ひつ[特筆] | (名・他サ)大书特写 |
| 19 あたいする[値する] | (自サ)值得……, |
| 20 わ しゃ[話者] | (名)说话的人 |
| 21 げん そく[原則] | (名)原则 |
| 22 ふ へん[不変] | (名)不变 |
| 23 よう ご[用語] | (名)用语,措词;术语 |

| | | |
|----|---------------|---------------|
| 24 | かた[型] | (名)样式;模型 |
| 25 | き てい[規定] | (名・他サ)規定 |
| 26 | し てん[視点] | (名)观点,视点 |
| 27 | た しゃ[他者] | (名)他人 |
| 28 | うつす[移す] | (他五)移,迁,搬 |
| 29 | じ しょう[自称] | (名・自サ)自称;第一人称 |
| 30 | みなおす[見直す] | (他五)重新认识,重看 |
| 31 | しゅう かん[習慣] | (名)习惯 |
| 32 | かくして[斯くして] | (副・接)这样,如此 |
| 33 | かいする[介する] | (他サ)通过…… |
| 34 | どう いつ せい[同一性] | (名)同一性 |
| 35 | かく りつ[確立] | (名・自他サ)确立,确定 |
| 36 | ボタン[pattern] | (名)模型,式样 |
| 37 | つながる | (自五)连接,有关联 |
| 38 | どう いつ か[同一化] | (名)相同,统一 |
| 39 | しょうする[称する] | (他サ)称为,叫做 |
| 40 | かく にん[確認] | (名・他サ)确认,证实 |

第 42 課

本 文

翻訳文化と詩の言葉

外山滋比古

明治以後のわが国の文化は翻訳文化である。西欧の文物を摂取して、これを消化するのに懸命の努力が払われてきたが、翻訳とはどういうことかという問題が最近までほとんどとり上げられないでいたのは興味ある事実である。

まず、翻訳といっても、すべてのものが翻訳されるわけではないが、このことがあまりにもしばしば忘れられている。ヨーロッパの言葉と日本語とのように言語の性質がいちじるしく異なっている二国語間において、翻訳されうる部分は普通に考えられているよりもはるかに小さなものでしかない。

そのうち、もっとも翻訳しやすいのは、パラフレイズを許容する、思想内容・論理・事実などであろう。かならずしも妥当な考え方とはいえないが、かりに、言語を内容と形式に二分するならば、翻訳とは形式を犠牲にして内容を伝えようとする作業にほかならない。翻訳そのものがすでにそのような前提に立つ以上、翻訳文化において、内容が尊重されるのは当然なことである。形式とか形式的というのはつねに否定的な意味合いにおいてのみ使われる語であった。

ヨーロッパ文化は優秀であるとなるとヨーロッパの言語に含まれている思想もすべてすぐれているのだと決めてしまう。それがどういう表現をとっているかは問題にされない。思想中心の書物においてそうであるばかりではなく、文芸においても思想がもっとも重視されるという傾向が固定する。文学においては、思想が大切であっても、それはなまの思想ではなく表現という衣裳をまとったものであることは理屈でわかっている、その

衣裳を訳出するのは不可能である。また、表現の微妙な味わいで感得することは翻訳文化の草創期にあっては期待し難いことでもあった。

まず、かいなでの翻訳でわかるところにだけで満足するほかはなかったのである。それが思想内容というわけだ。そしてこの思想が何よりも重視されるのである。芸術においてすら思想が最優先し、すぐれた芸術作品であっても、いわゆる思想がはつきりしていないという理由でしりぞけられるということも珍しくない。

思想があればよい作品だというのは、どんなにひどい料理をしてあっても材料に栄養があれば、おいしく食べるべきだというのにも似た乱暴な考え方である。いかにおいしいものでも料理の仕方がまずければ食べものにならない。そんな素朴なことさえ、翻訳文化に埋没した時代の人たちにはわからなくなってしまっていたのであろうか。

それでも、まあ、思想だけはとにかく移植し得たようにわれわれは考えてきたのだが、果して思想も本当に翻訳し得たのであろうか。思想はきわめてしばしばそれを表現する言語と密接不可分である。言語の形式を捨ててしまつては、思想だけを正しく訳出することすら困難なのではないか。わが国では明治になるまでいわゆる翻訳——原語の形式をすてて意味を伝える転換方式としての翻訳をほとんどしたことはなかったことが思い合わされるのである。

たとえば、中国大陸から渡来した文化を理解するのに、翻訳にまよらずに、原文を生かしながら読む訓読法を案出したのである。これは語順のいちじるしく違う二言語間の理解のための処理としてきわめて賢明なものであるということができよう。訓点読みが原語の形式、音声を大きくゆがめているのは言うまでもないが、それでもなお、原語の一部分は保たれているから、形式がまったく不問に付されることはない。それだけいわゆる翻訳よりすぐれているとも考えられるのである。

新 出 語

| | | |
|----|--------------------|-----------------|
| 1 | ほん やく[翻訳] | (名. 他サ)翻译 |
| 2 | わが[我(が)] | (连体)我的, 我们的 |
| 3 | ぶん ぶつ[文物] | (名)文物 |
| 4 | せつ しゅ[摄取] | (名. 他サ)摄取, 吸收 |
| 5 | しょう か[消化] | (名. 自他サ)消化 |
| 6 | けん めい[懸命] | (形动)拚命, 竭尽全力 |
| 7 | きょう み[興味] | (名)兴趣, 兴致 |
| 8 | はるか | (副. 形动)远, 遥远 |
| 9 | パラフレーズ[paraphrase] | (名)注释, 解说 |
| 10 | きょ よう[举用] | (名. 他サ)起用; 提拔 |
| 11 | けい しき[形式] | (名)形式; 方法 |
| 12 | ぎ せい[犠牲] | (名)牺牲; 代价 |
| 13 | さ ぎょう[作業] | (名. 自サ)工作, 作业 |
| 14 | ぜん てい[前提] | (名)前提, 前提条件 |
| 15 | そん ちょう[尊重] | (名. 他サ)尊重, 重视 |
| 16 | ひ てい[否定] | (名. 他サ)否定 |
| 17 | いみあい[意味合い] | (名)缘由, 详情, 来龙去脉 |
| 18 | ゆう しゅう[优秀] | (名. 形动)优秀 |
| 19 | ぶん げい[文艺] | (名)文艺 |
| 20 | じゅう し[重视] | (名. 他サ)重视 |
| 21 | けい こう[傾向] | (名)倾向, 趋势 |
| 22 | こ てい[固定] | (名. 自他サ)固定 |
| 23 | い しょう[衣裳] | (名)服装 |
| 24 | まとう | (自他五)缠, 裹, 穿 |
| 25 | やく しゅつ[訳出] | (名. 他サ)翻译出来, 译出 |
| 26 | かん とく[感得] | (名. 他サ)感悟, 领悟 |
| 27 | そう そう き[草創期] | (名)草创期, 初期 |
| 28 | かいなで[肤浅で] | (名)肤浅, 平凡, 平庸 |
| 29 | まん ぞく[満足] | (名. 自サ)满足, 满意 |
| 30 | ゆう せん[優先] | (名. 自他サ)优先 |
| 31 | らん ぼう[乱暴] | (名. 形动. 自サ)粗暴 |
| 32 | まずい | (形)拙劣, 笨拙; 难吃 |
| 33 | そぼく[素朴] | (名. 形动)朴素, 单纯 |
| 34 | まい ぼつ[埋没] | (名. 自サ)埋没 |
| 35 | い しょく[移植] | (名. 他サ)移植, 移栽 |

| | | |
|----|---------------|----------------|
| 36 | はたして[果たして] | (副)果然,果真 |
| 37 | と らい[渡来] | (名. 自サ)渡来,进口 |
| 38 | げん ふん[原文] | (名)原文 |
| 39 | いかす[生かす] | (他五)使……活,有效地利用 |
| 40 | くん どく ほう[訓読法] | (名)训读法 |
| 41 | あん しゅつ[案出] | (名. 他サ)考虑出,研究出 |
| 42 | ご じゅん[語順] | (名)语序,词序 |
| 43 | しょ り[処理] | (名. 他サ)处理 |
| 44 | けん めい[賢明] | (形动)贤明,高明 |
| 45 | くん てんよみ[訓点読み] | (名)汉文训读 |
| 46 | げん ご[原語] | (名)原文 |
| 47 | ゆがめる[歪める] | (他一)扭歪,歪曲 |
| 48 | ふもん[不問] | (名)不問 |
| 49 | ふす[付す] | (他五)交给,提交,附加 |
| | ふもんにふす[不問に付す] | (词组)置之不問 |

--

高級階段自測題(一)

問題Ⅰ 次の文の____の漢字(漢字と仮名)は、どう読みますか。
1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(5点)

① 図書館では本を貸しますが、一週間 以内に返すことにな
っています。

(1) 貸し 1 かし 2 かえし 3 だし 4 かりし

(2) 一週間 1 いちしゅうかん 2 いっしゅうかん
3 いっしゅうかん 4 いちねんかん

(3) 以内 1 いない 2 いがい 3 いぜん 4 いご

(4) 返す 1 もどす 2 はなす 3 わたす 4 かえす

② 通りの角の店は小さいながらも品物が豊富だし、店員は
サービスに心を配っている。

(1) 角 1 かく 2 つの 3 かど 4 すみ

(2) 品物 1 ひんもの 2 ひんぶつ 3 ぴんもの
4 しなもの

(3) 豊富 1 ほうふ 2 ほふ 3 ほうぶ 4 ほんふ

(4) 店員 1 みせいん 2 しゃいん 3 てんいん
4 ていいん

③ 現在では、北海道でも米の生産が行われています。

(1) 北海道 1 ほかいどう 2 ほかいとう

3 ほっかいとう 4 ほっかいどう

(2) 行わ 1 やしなわ 2 おこなわ 3 うしなわ
4 てつだわ

問題Ⅱ 次の文の____の言葉は、漢字(漢字と仮名)でどう書きますか。1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(5点)

① わたしは大学でかがくをせんこうしています。

(1) かがく 1 価格 2 化学 3 価額 4 数学

(2) せんこう 1 成功 2 専門 3 専行 4 専攻

② 危険ですから、窓からかおや手をださないようにしてください。

(1) かお 1 頭 2 脳 3 顔 4 足

(2) ださ 1 出さ 2 伸さ 3 外さ 4 延さ

③ みんなそろったようなので、そろそろえんかい₁をはじめ₂しましょう。

(1) えんかい 1 沿海 2 延会 3 遠海 4 宴会

(2) はじめ 1 初め 2 始め 3 勤め 4 止め

④ しゃかい₁の変化は都市への人口集中というげんしょう₂を生み出した。

(1) しゃかい 1 世界 2 社会 3 都会 4 社外

(2) げんしょう 1 減少 2 現場 3 現状 4 現象

⑤ 車を大事にしようと思うと、じこ₁なんかおこさ₂なくなります。

(1) じこ 1 自己 2 故障 3 自分 4 事故

(2) おこさ 1 起こさ 2 直さ 3 開さ 4 押さ

問題Ⅲ 次の文の____にどの言葉を入れますか。1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(20点)

(1) ____声で言われたので、よく聞こえなかった。

1 はやい 2 うすい 3 すくない 4 ひくい

(2) せっかく準備したのに、____役に立たなかった。

1 結論 2 結局 3 結果 4 結構

(3) 近年各国で自然環境を守ろうということが言われている。____,日本も例外ではない。

1 したがって 2 しかし 3 それだけに
4 もちろん

(4) ____して、家に財布を忘れてきてしまった。

1 すっかり 2 がっかり 3 うっかり
4 しっかり

(5) 日本は昔から外国のさまざまな文化の影響を____きた。

1 集めて 2 得て 3 受け取って 4 受けて

(6) 電話で友だちの____を聞いてみましょう。

1 体 2 都合 3 家族 4 元気

- (7) 企業の業績については____目で見ることがある。
1 大きい 2 強い 3 遠い 4 長い
- (8) 人によっては、____夢を見ないと言う人もいます。
1 ぜんぜん 2 ますます 3 どんどん 4 だんだん
- (9) この研究所は現在、都市の環境問題の改善に力を____いる。
1 出して 2 持って 3 入れて 4 向けて
- (10) 隣の部屋でへんな音が____。
1 する 2 ある 3 でる 4 きく

問題Ⅳ 次の文の____に何を入れたらいいですか。1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(20点)

- (1) 雨が降った____みえて、道がぬれています。
1 と 2 で 3 に 4 の
- (2) その話は必ずしも実際の経験をそのまま伝えた____とは思えなかった。
1 もの 2 わけ 3 の 4 よう
- (3) ほかのことは別として、走ること____,だれにも負けないと思います。
1 に対して 2 について 3 にとっては 4 によると
- (4) やる____には、最後までやりたいと思います。
1 から 2 より 3 とか 4 こと
- (5) この薬は6時間____飲んでください。
1 ずつ 2 おきに 3 おき 4 ずつに
- (6) やはり、11月とも____,寒い日が多くなりますね。
1 あると 2 くと 3 すると 4 になると
- (7) だれでも年をとるのだから、老人問題なんて自分とは関係がないなどとは____はずです。
1 言ってもいい 2 言うてはいけない
3 言ったほうがいい 4 言わなければいけない
- (8) あの人には以前どこかで会った____気がする。
1 ような 2 そうな 3 ことの 4 ものの
- (9) 自分で決めたことだからやれる____と思った。
1 べきだ 2 はずだ 3 ようだ 4 そうだ

(10) わたしは、健康のために、1年ほど前から1週間に1回テニスをすることに_____。

1 なった 2 した 3 なっている 4 している

問題V 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(20点)

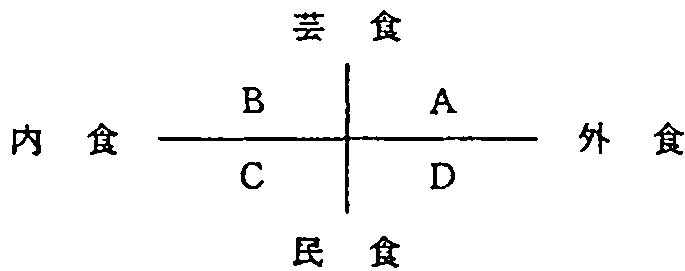
食事を文化の一つとして考えようとする研究者たちがいる。その中の一人が、かつて、食事を、音楽世界の考え方を使って、「民食」と「芸食」の二つに分けた。

それによると、音楽の世界では、人人が日常歌う素朴な歌を「民謡」、芸術性の高い歌を「芸謡」、と呼んで区別しているが、①同じように、食事の世界も二つに分けられる。 a、日常の食事を「民食」と呼び、一方、高級レストランなどでの食事を芸術性の高い食事と考え、それを「芸食」と呼ぼうというわけである。これまでの食事研究は、どちらかというところ、「芸食」にかたよっていて、「民食」が忘れがちであった。②食事をうんぬんする以上はこの「民食」の方も、もっとよく調べる必要がある。③そのような内容であった。

私もだいたい賛成なのだが、ただ、④これだけでは、食事文化の半面を説明しているにすぎないと思う。もう一つ、別の分け方がありうるのではなかろうか。家庭内の食事と家庭外の食事という分け方が⑤それである。仮に、それぞれを「肉食」と「肉食」と呼ぶことにしたいと思う。

「肉食」という言葉は、「肉食産業」などというように最近よく使われるが、「肉食」のほうは、耳で聞くとへんな感じがする。⑥それは、「肉食」という言葉はよく使われるが「肉食」のほうはまったく耳にしないのと、ちょうど逆である。一般に、仕事は家庭の外でするもの、食事は内でするもの、と考えられてきたからであろう。

以上の分け方を図に示してみよう。b、そこには、下の図のように、A・B・C・Dの四つ区分が浮かびあがってくる。この分類を使うと、例えば、会社の食堂で食べる昼食は、「民食」でかつ「家庭外食事」だからDである、というふうに説明することができる。いずれにしても、この四つが、食事文化の研究対象として考えられなければならないと思うのである。



問1 文中の①から⑥までの問いに対する最も適当な答えはどれか。1,2,3,4から一つ選びなさい。

① 「同じように」というのは、この場合、何と「同じように」なのか。

- | | |
|---------|---------|
| 1 音楽の世界 | 2 民謡の世界 |
| 3 芸術の世界 | 4 食事の世界 |

② 「食事をうんぬんする以上は」というのは、この場合、どういう意味か。

- 1 食事を音楽と比較するのなら
- 2 食事を研究しようというのなら
- 3 食事を芸術的にしようというのなら
- 4 食事をおいしく食べようというのなら

③ 「そのような内容」とは、どこからどこまでか。

- 1 1行目の「食事を文化の…」から6行目の「…というわけである」。まで。
- 2 3行目の「音楽の世界…」46行目の「…というわけである」。まで
- 3 3行目の「音楽の世界…」から8行目の…調べる必要がある。まで。
- 4 6行目の「これまでの…」から8行目の「…調べる必要がある」。まで

④ 「これ」は何を指しているか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 芸食の研究 | 2 音楽の世界の考え方 |
| 3 民食と民謡という比較 | 4 民食と芸食という分け方 |

⑤ 「それ」は何を指しているか。

- 1 食事文化の半面
- 2 もう一つの分け方

3 日常の食事 4 もう一つの民食

⑥ 「それ」は何を指しているか。

- 1 「内職」という言葉は使われるが、「外職」という言葉はあまり使われないこと
- 2 「外職」という言葉は使われるが、「内職」という言葉はあまり使われないこと
- 3 「内食」という言葉は使われるが、「外食」という言葉はあまり使われないこと
- 4 「外食」という言葉は使われるが、「内食」という言葉はあまり使われないこと

問 2 文中の a と b にそれぞれ何を入れたらいいか。1, 2, 3, 4 からいちばんいいものを一つ選びなさい。

a 1 つまり 2 だから 3 そして 4 すると

b 1 つまり 2 だから 3 そして 4 すると

問 3 この文章の内容を表す重要な言葉を四つ挙げるとしたら、次のどの組み合わせがよいか。1, 2, 3, 4 からいちばんいいものを一つ選びなさい。

- 1 民食・芸食・民謡・芸謡
- 2 民食・民謡・対象・食事
- 3 民食・芸食・内食・外食
- 4 内食・外食・内職・外職

問 4 筆者の分類で考えると、結婚記念日に高級レストランで食事をするという場合は、図の A, B, C, D のどれになるか。1, 2, 3, 4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

1 A 2 B 3 C 4 D

問題 VI 次の文章を中国語に訳しなさい。(30 点)

一定の個人からなる社会集団の構成の要因を、きわめて抽象的にとらえると、二つの異なる原理—資格と場—が設定できる。すなわち、集団構成の第一条件として、それを構成する個人の「資格」の共通性によるものと、場の共有によるものとがある。

ここで資格と呼ぶものは、普通使われている意味よりずっと広く、社会的個人の一定の質を表すものである。

例えば、氏・素性といったように、生まれながらに個人に備わっているものもあれば、学歴・地位・職業などのように、生後個

人が獲得したものもある。また、経済的にみると、資本家・労働者、地主・小作人などというものも、それぞれ資格の種類となり、更に、男・女・老・若などといった一定の社会的（生物的差から生ずる）相違によるものまで、ここでいう資格（質）の一つとして取り上げることができる。

このような、一定の個人を他から区別しうる質的な基準のいずれかを使うことによって、集団が構成されている場合、「資格による」という。例えば、特定の職業集団、一定の父系血縁集団、一つのカースト集団などがその例である。

これに対して、「場による」というのは、一定の地域とか所属機関などのように、資格の相違を問わず、一定の枠によって、一定の個人が集団を構成している場合をさす。例えば、〇〇部落の成員というように。産業界を例にとれば、旋盤工というのは資格であり、P 会社の社員というのは場にとる設定である。同様に、教授・事務員・学生というのはそれぞれ資格であり、R 大学の者というのは場である。

日本人が外に向かって（他人に対して自分を社会的に位置づける場合、好んでするのは、資格よりも場を優先することである。記者であるとかエンジニアであるということよりも、まず、A 社、S 社の者ということである。また、他人がより知りたいことも、A 社、S 社ということがまず第一であり、それから、記者であるか印刷工であるか、またエンジニアであるか事務員であるか、ということである。

実際、〇〇テレビの者です、というので、プロデューサーかカメラマンであると思っていたら、運転手だったりしたなどということがある。

ここではっきり言えることは、場、すなわち会社とか大学とかいう枠が、社会的に集団構成、集団認識に大きな役割をもっているということであって、個人のもつ資格自体は第二の問題となってくるということである。

高級阶段自测题(二)

問題Ⅰ 次の文の____の漢字(漢字と仮名)は、どう読みますか。

1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(5点)

- ① 日本人のだれかに自然の色は何₁色か。と尋ね₂てみると、いちばん多₃い答は緑₄である。

(1) 何色 1 なにいろ 2 なんいろ 3 なにしよく

4 なんしよく

(2) 尋ねて 1 たすねて 2 だすねて 3 おとずねて

4 たずねて

(3) 多い 1 おうい 2 おおい 3 おおきい

4 おもい

(4) 緑 1 しろ 2 あお 3 むらさき 4 みどり

- ② 疲₁れた₂とき眠₃くなるということは、人₄体₅の健康を保₆つ₇た

めの生₈理₉であるが、自転車を運転している人にとっては、眠₁₀

くなるということは最も危険な状₁₁態₁₂なのである。

(1) 疲れた 1 わすれた 2 ねむれた 3 こわれた

4 つかれた

(2) 眠く 1 ねむく 2 やすみたく 3 ねたく

4 だるく

(3) 人体 1 からだ 2 じんたい 3 にんげん

4 にんたい

(4) 保つ 1 もつ 2 たつ 3 やくだつ 4 たもつ

(5) 生理 1 しょうり 2 せいり 3 せいしん

4 しょうり

(6) 状態 1 しょうたい 2 しょうだい 3 しょうた

い

4 しょうきょう

問題Ⅱ 次の文の____の言葉は、漢字(漢字と仮名)でどう書きますか。1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(5点)

① にんげんは、むかしからさまざまなほうほうでかわを
りようし、かわにたよっていきつづけてきた。

- (1) にんげん 1 人類 2 人間 3 世間 4 世界
(2) かわ 1 海 2 皮 3 湖 4 川
(3) りよう 1 利用 2 使用 3 理由 4 誤用
(4) たよって 1 依って 2 使って 3 頼って 4 掘って

② にせんねんもまえからすいでんをこうさくしていたにほ
んでは、ひとびとは、かわからのうぎょうようすいをとるこ
とによってすいでんをうるおしていた。

- (1) にせんねん 1 千年 2 一千年 3 二万年
4 二千年
(2) こうさく 1 制作 2 工作 3 耕作 4 農作
(3) ようすい 1 用水 2 揚水 3 様子 4 流水
(4) うるおして、1 促して 2 延して 3 潤して
4 流して

③ みずとしよくぶつは、にんげんのせいめいをささえる
ためにかくことのできないしげんである。

- (1) ささえる 1 与える 2 増える 3 加える
4 支える
(2) かく 1 欠く 2 書く 3 核 4 格

問題 ■ 次の文の____の部分に入れるのに最も適当なものを、
1,2,3,4から一つ選びなさい。(10点)

- (1) 天気が変わるのか、ものすごい勢いで雲が____いく。
1 流れて 2 走って 3 飛ばして 4 暗くて
(2) 顔がそろったようなので____宴会を始めることにしよ
うか。
1 だんだん 2 ますます 3 そろそろ
4 どんどん
(3) 子供には好きな道を____やりたい。
1 走って 2 歩いて 3 進んで 4 進ませて

- (4) 説明はいろいろ聞いたが、____ことは何も分からない。
 1 たしかな 2 おだやかな 3 あざやかな
 4 しんびな
- (5) 森には水を調節する____がある。
 1 役 2 役割 3 働き 4 動き
- (6) それだけの成績____今度はきっと合格するだろう。
 1 から 2 ので 3 たら 4 なら
- (7) 人間は、いろいろな方法で自然に手を____いるのである。
 1 加えて 2 出して 3 使って 4 入れて
- (8) 人間が水害の種を____いるといってもいいだろう。
 1 植えて 2 育てて 3 作って 4 まいて
- (9) 川の水は、工業用水としても重要な役割を____ことになった。
 1 表す 2 果す 3 占める 4 治める
- (10) 電気屋でめる以上、毎日毎日オームの法則には大変お____になっている。
 1 かけ 2 世話 3 役目 4 話

問題Ⅳ 次の文の____にどんな言葉を入れたらよいか、1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。(20点)

- (1) 飛行機は9時ですから、8時____。
 1 まで行ってもいいです。
 2 までは行ってもいいです。
 3 まで行かなければなりません。
 4 までに行かなければなりません。
- (2) 大山先生は、ちょっと見ると____ですが、ほんとうはとてもやさしい先生です。
 1 きびしそう 2 きびしいそう
 3 きびしくそう 4 きびしがりそう
- (3) これを山田さんに伝えて____のですが。
 1 くれたい 2 くれてほしい
 3 もらいたい 4 もらってほしい
- (4) きのは、電車の中でお金____こまりました。
 1 をとられて 2 をとらせて
 3 がとられて 4 がとって

- (5) 台風が近づいているので、あしたは____雨が降るでしょう。
- | | |
|-------|--------|
| 1 もし | 2 もしも |
| 3 たぶん | 4 たいへん |
- (6) 鈴木さんが____この手紙をわたしてください。
- | | |
|--------|--------|
| 1 帰っても | 2 帰れば |
| 3 帰ると | 4 帰ったら |
- (7) 新聞____,きのう大きな火事があったそうです。
- | | |
|--------|--------|
| 1 にとると | 2 によると |
| 3 にとって | 4 によって |
- (8) 水は、わたしたち____とても大切なものです。
- | | |
|--------|--------|
| 1 にとって | 2 によって |
| 3 に対して | 4 について |
- (9) 駅のそばで、くだものや花を買いました。____ビールも買いました。
- | | |
|--------|--------|
| 1 それでは | 2 それから |
| 3 それなら | 4 それとも |
- (10) 友だちが来るからビールをひやして____。
- | | |
|----------|----------|
| 1 ありましょう | 2 いきましよう |
| 3 しましよう | 4 おきましよう |

問題Ⅴ 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。(20点)

わたしは、旅行が好きで、日本に来てからも、ひまがあれば、いろいろなところに出かけます。旅費のつごうで、(1) 遠くへは行けみせんが、富士五湖などは、もう三回も行きました。先週の土曜日も、ともだちのところへ泊まりに行く予定だったのですが、きゅうに「弟が病気になってしまった」と、(3) 電話があったので、予定を変えて、一泊旅行をすることにしました。

土曜日の朝、わたしは電車に乗って、箱根まで行きました。駅を出ると、観光客がいっぱいです。とてもいい天気だったし、ちょうど、次の月曜日が祝日なので、みんな休みを利用して出かけてきたのでしょう。わたしは、おおぜいの人の中にいるのは、あまり好きじゃないので、(3) すぐバスに乗って、静かな景色のいいところをさがす(4)。

3つ目の停留所で降りて、しばらく歩くと、湖の見える景色の

いい場所が見つかりました。そこで、何枚か写真をとりました。
 □(5)□, 木の下に座って一時間ぐらい、湖を眺めていました。わたしは□(6)□時間が大好きです。友だちといっしょに旅行するのも悪くはありませんが、好きな時間を自分の好きなように使うことができるので、一人のほうが好きです。□(7)□どこへ行くということも決めないで、あちこち歩けば、新しい発見もできます。友だちといっしょだったら、友だちの意見も聞かなければならないし、そんなことはあまりできないと思うのです。わたしは観光客がだれも来ない景色のいいところを見つけられたので、とても満足でした。

駅で買ったお弁当を食べて、しばらく散歩してから、バス停まで歩いて、箱根にもどりました。旅館の予約をしていなかったのに、(6) 少し心配でしたが、観光案内の人が、「まだ、あいていますよ」と言って、近くの旅館を紹介して□(9)□ので、夕方そちらのほうに行きました。小さい旅館でしたが、とても親切な人ばかりでした。ほんとうに□(10)□。

問 1 文中の□(1)□、□(4)□、□(5)□、□(6)□、□(7)□、□(9)□、□(10)□にはどんな言葉を入れたらいいですか。それぞれの1, 2, 3, 4からいちばんいいものを一つ選びなさい。

- | | | | | |
|------|---|---------|---|----------|
| (1) | 1 | こんなに | 2 | そんなに |
| | 3 | あんなに | 4 | どんなに |
| (4) | 1 | ことにしました | 2 | ことになりました |
| | 3 | ようにしました | 4 | ようになりました |
| (5) | 1 | すると | 2 | それで |
| | 3 | しかし | 4 | そして |
| (6) | 1 | こんな | 2 | そんな |
| | 3 | あんな | 4 | どんな |
| (7) | 1 | それで | 2 | けれど |
| | 3 | だから | 4 | それに |
| (9) | 1 | あげた | 2 | くれた |
| | 3 | もらった | 4 | みた |
| (10) | 1 | つまらなかった | 2 | おもしろかった |
| | 3 | たのしかった | 4 | おいしかった |

問 2 文中に、(2) 電話があったとありますが、だれがだれに電話

したのですか。1,2,3,4から一つ選びなさい。

1 わたしが友だちに 2 友だちがわたしに

3 わたしが友だちの弟に 4 友だちの弟がわたしに

問3 文中に、(3)すぐバスに乗ってとありますが、どうしてバスに乗ったのですか。1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。

1 とてもいい天気だったから

2 湖を見たかったから

3 バスに乗って観光したかったから

4 静かな景色のいいところに行きたかったから

問4 文中に、(8)少し心配でしたとありますが、どんなことが心配だったのですか。1,2,3,4からいちばんいいものを一つ選びなさい。

1 旅館がこんでいてあいていないかもしれないこと

2 旅館の予約ができないかもしれないということ

3 旅館を紹介してくれる人がいないかもしれないということ

4 旅館の人が親切じゃないかもしれないということ

問題Ⅵ 次の文章を中国語に訳しなさい。(40点)

情報時代

現代は情報時代といわれます。マスコミの発達によって、我々は多くの情報を知らされます。科学的な知識についても、新しい理論や発見が行われれば、マスコミはいち早くそれを報道し、我々はそれをすぐ知ることができます。科学的知識の解説書にもこと欠きません。世界じゅうで起こる多くの出来事についても、我々はたちまちのあいだに、これを知ることができます。なにしろ月世界での宇宙飛行士の活動を、全世界がテレビの画面を通じて瞬時のうちに知りうる時代です。新聞もなかった昔なら人の口から口を通じて、恐らく何か月も、あるいは何年もかかって、しかも誤り伝えられた形でしか知ることのできなかった事柄も、今では一時間とかからぬうちに、テレビを通じて正しく伝えられるのです。

現代の我々は確かに物知りです。いろいろの事柄について「知らされ」ています。知識の量からいえば、現代人は、恐らく過去のいかなる時代の人々よりも多くのものを持っていると言

えましょう。

このように我々が多くのことを知っているならば、一見すると、現代我々は最もよく考えることもできるように思われるかもしれませんが。しかし、「知る」と「考える」ととはけっして同じではありません。もとより多くの正しい知識を持つということは、正しく考え、正しい判断を下すために有利なことであることは言うまでもありません。誤った知識を基礎にして打ち立てられた判断は当然誤っているからです。しかし多くの知識を持っていたからといって、そこから直ちに、正しく考えることができるようになるということは導かれてきません。むしろ我々は、多くのことを知ることができるということによって、かえって考えることを忘れてしまうという危険もあると言わねばなりません。なぜなら、我々は知ることがあまりに多いため、知ろうとする努力に追いまくられて、深く考えないという習慣に陥ってしまう恐れもあるからです。

ところで、情報時代でもっと危険なのは、他人の「考えた」ことが、情報としてあまりにも多く伝えられるということであるかもしれません。我々は他人の考えたことを「知って」しまいます。そうすると、我々は他人の意見を「知る」ことによって、自ら考えたような気になってしまうのではないのでしょうか。まして多くの人の同じような意見が数多く伝えられると、我々は実際には何も自ら考えていないのに、その意見を自分の考えた意見のように思い込んでしまうのではないのでしょうか。

课文译文

第 1 课

一、这是什么

这是什么？ 那是樱花。
那是什么？ 这是桃花。
那是什么？ 那是梅花。
那张地图是什么地图？ 这是世界地图。
中国在哪里？ 中国在这里。
日本在哪边？ 日本在这边。在中国的东面。

二、日本在亚洲

日本在亚洲。 日本是个岛国。
主要的岛屿有四个。最大的岛屿是本州。
其次是北海道。 接下来是九州、四国。
另外,还有很多小岛。 面积大约是中国二十六分之一。
但是,人口众多。 大约有一亿二千万人。
日本全岛有很多山脉。 有许多火山。
最高的山是富士山。
日本的首都是东京。。 东京在本州。

第 2 课

一、日本的首都

日本的首都是东京。 东京是日本的政治中心。
也是经济中心。 东京的交通也很方便。
有电车。 也有地铁。
东京的人口很多。 有 1000 万人以上。
以前日本的首都不是东京。 某一时代,曾是京都。
京都历史悠久。 京都四周有山。
京都城有许多名胜古迹。 京都是个十分美丽的城市。

二、昨天是星期三吗

早上好！

早上好！

昨天是星期三吗？

不，昨天不是星期三。

昨天是星期四。

那么，今天是星期五，有化学课呀！

对，是的。

上星期的外语课停课了，是吧。

停课是星期六吗？

不，不是星期六。

那么，是星期一吧。

对，是的。

下星期二有实验吧。

对，做实验。

明天是星期几？

明天是星期天。

明天做什么？

明天休息。

三、我是学生

你是小李吗？

对，我姓李。

小李是老师吗？

不，我是学生。

哪一位是老师呢？

那一位是老师。

那人是谁？

哪个人？

那个男的。

那人是田中。

哪位是伊藤？

那位是伊藤。那位女的（是伊藤）。

第3课

一、田中是公司职员

田中是公司职员。田中的妻子也曾是公司职员，但现在是家庭主妇。他们有两个可爱的孩子。老大是女孩，是小学一年级学生。老二是男孩，还在幼儿园。田中不是名牌学校毕业，但是，希望把自己的孩子送进名牌学校。所以为了孩子拼命地工作。

田中的公司是贸易公司。他因为工作需要而努力学习外语。田中是个学习勤奋的人，头脑也好。每天早晨六点钟起床，练习朗读英语或中文。晚上还上夜校。田中英语很好。中文也很好。要是简单的会话，已经能用中文说了。

田中的家在横滨，公司在东京。每天乘电车上下班。因此，每天早晨七点离开家。然后，晚上十点左右回家。田中的工作很忙。

星期六和星期天休息。经常和孩子们一起去公园。

二、你是公司职员吗

你好！

你好！

你是公司职员吗？

对，我是（公司职员）。

公司在哪里？

在东京。

是什么公司？

是贸易公司。

你的工作忙吗？

嗯，很忙。

第4课

一、日本与日本人

日本是亚洲国家。日本拥有十个百万人口以上的城市。日本的首都——东京是日本的政治、经济、文化中心。但是，在以前一个时期，日本的首都是京都，而不是东京。京都有许多寺院、古街。外国客人经常去京都旅游。

日本有很多樱花树。在东京，一到四月，樱花就开了。在九州大约三月底，在北海道大约五月初，樱花才开。在樱花季节，很多日本人去赏樱花。要是樱花胜地的话，则挤满了去赏花的人。人们在樱花树下饮酒、唱歌。观赏樱花也

是日本文化之一吧。

日本有春、夏、秋、冬四季。一到春天,许多花儿就开。一到夏天,人们就去海滨和山上。一到秋天,就可收获许多水果。一到冬天就下雪。

日本有许多外国人来。日本人也去外国。日本人向外国大量出售汽车、电视机、照相机等。从外国大量购进原料,日本人经常吃鱼。

二、数数的方法

用日语数数有两种方法。即汉语的数法和日语固有数法。汉语的数法使用的数词是音读数词,日语固有数法使用的数词是训读数词。

音读数词的读法很容易,即:一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、百、千、万、亿……

训读数词的读法有些难,有必要好好记住。即:一个、二个、三个、四个、五个、六个、七个、八个、九个、十个。

数人数时,开始用训读数词。然后用音读数词。即:一人、二人、三人、四人、五人、六人、七人、八人、九人、十人、十一人……

三、今年是哪一年?

今年是哪一年?

今年是1992年。

明年是哪一年?

明年是1993年。

现在是几月?

现在是二月。

樱花几月开花?

四月开花。

第5课

中国与日本

中国人口众多。中国国土辽阔。资源也很丰富。中国历史悠久。有许多古老文化。中国的自然非常美丽。有许多高山、大河。北京是中国的首都,是一个十分美丽的都市。中国菜也在世界有名。

日本在中国的东面。日本是个岛国,大的岛屿有四个。小岛有三千之多。其中三百多个岛上有人。日本多山。富士山是日本最有名的山。日本也多河流。但是大河很少。日本人喜爱鱼,几乎每天都吃。现在,东京是日本的首都。但是,以前东京是个小镇,并不繁荣。京都是古都,是个幽静的城市。日本国土狭窄,资源也贫乏。但是日本人擅长于做生意。日本产品的质量比较好。

二、你会日语吗?

你会日语吗?

会,会一点儿,还很差。
能说话吗?
简单的话,可以说。
你喜欢日语吗?
是的,很喜欢。
另外,除日语之外,你还会什么语呢?
会英语。
英语难吗?
是的,相当难。

三、你有兄弟姐妹吗?

你有兄弟姐妹吗?
有。
有几个?
有三个。
你排行第几呢?
我是老二。
老大是哥哥呢? 还是姐姐呢?
是哥哥。
你哥哥今年多大了?
哥哥今年二十岁。
老三是弟弟吗?
不,老三是妹妹。
你妹妹多大了?
妹妹十六岁。

第 6 课

一、日本的季节

日本一年有春、夏、秋、冬四季。

三、四、五月,这三个月是春季。春天是温暖宜人的季节。桃花、樱花等鲜花盛开。人们在四月去赏樱花。

六月至八月是夏季。夏天非常炎热,我不喜欢。七月和八月是暑假,年轻人去海边、山野。也有很多人去登有名的富士山。富士山外形美,是座十分漂亮的山。

九月、十月、十一月,这三个月是秋季。秋天的夜晚寂静、凉爽,我很喜欢。最近,月色很美,农历十五晚上人们赏月。

十二月至二月是冬季。日本南部冬天不太冷。北部很冷，多雪。去年冬天，
东京很冷。今年不会那么冷吧。冷的话，人们就使用暖气设备。

我的家乡夏天不太炎热，冬天温暖。但比东京恐怕冷些吧。

二、昨天热吗？

昨天热吗？

不，昨天不热，挺凉快。

今天热吗？

是啊，今天很热。

明天怎么样呢？

明天大概会凉快起来吧。

三、“い”字歌

早早起了床，跑在原野的道路上，
唱的是“い字歌”，愉快地（高声）唱。

天空是蔚蓝的，朝阳是红红的，

云彩是白白的，小鸟是黑黑的，

山岭是高高的，树林是低低的，

松树是粗壮的，竹子是纤细的，

原野是广阔的，小路是狭窄的，

一旦过河去，农户入眼帘。

“い字歌”，愉快的歌，

好象乡间清风在吹拂。

第7课

一、天空为什么是蓝的？

红鞋为什么是红的呢？

蓝手绢为什么是蓝的呢？

红鞋显红色是由于把红光送到我们眼里的缘故。

蓝手绢看上去蓝是因为把蓝光送到我们眼里的缘故。

在黑暗中，根本看不见红鞋和蓝手绢。这是黑暗中既没有红色光也没有蓝色光的缘故。

那么，是什么东西把蓝色光送到天空了呢？

如同水里有水泡那样，空气中也有水泡样的东西。

水中的水泡，可以看到形状和颜色。而空气中的小泡小得肉眼看不见，但

是颜色可以看到,其颜色是蓝色的。天空看起来是蓝色的是因为空气中的小水泡传递蓝光。

二、季风

因季节不同而改变风向的风叫作季风。日本,夏季和冬季刮风的方向差不多正好相反。

大陆与海相比,冬天冷夏天热。因此,冬天大陆的气压就高。于是就从大陆向暖和的海洋刮风。夏天,陆地变暖,因而气压降低,于是就从海里向大陆刮南风。

冬天的季风是强烈的风,夏天的季风则不太厉害。

三、台风的警报和紧急警报

一到台风季节,经常听到的就是警报和紧急警报。然而,如果觉得与自己无关就会漫不经心听漏了。常常因此而招致灾害。

发天气预报是预报员的事,而发紧急警报则是地方气象台长的事。当然,预报员的判断是个基础,这种基准是非常严格的。

警报和紧急警报是在有可能发生灾害时发布的,具体的数字是根据地区决定的。

四、你好

你好!

你好!

明天天气怎么样?

明天是晴天。

那么说,明天天气暖和吧。

对,是暖和的天气。

后天怎么样呢?

后天仍天晴吧。

第8课

一、工作狂

最近,在日本,除星期天之外还有休息日的单位多了。出现了星期六也是休息日的“周休二日制”的公司。另外,也有二周一次规定星期六为休息日的公司。此外,倘若与国民庆祝日、祭祀日重合,就连续放假三天。

但是,自己的时间向来不多的职员,忽然增加了休息日,他们说反而很麻

烦。

他们说不知怎样打发休息日。

好象经常发生这样的事。清晨早早起床想去公司,可是没有听见厨房里有动静。“哎呀,怪啊!”转念一想,才意识到:“哦!今天是星期天。”

这是因为星期六是休息日却认为“今天要上班”了。

不去公司的话,总觉得心里不踏实。虽然想去什么地方,又没有目的地,所以不知怎么办。最终还是想起工作的事。“到下个周末为止有必须要做的事。周末是星期五……”这么一想,还是工作好,不需要休息日。

但是,这样想的大多数是中年职员,年轻人都有自己的爱好,或和伙伴们去玩。年轻人把“只有工作生活才有意义”的前辈叫做“工作狂”等,瞧不起他们。

二、交通规则

驾驶车辆的人,走路的人,都必须遵守交通规则。例如,在日本有“行车靠左,行人靠右”的交通规则,也有马路两侧的“快!”、“笔直走!”、“禁止转弯!”等交通标志。另外,在交叉路口还有交通信号之类的东西。交通信号所用的红灯是“停车!禁止通行!”的意思,绿灯是“前进!”的意思。驾驶车辆的人特别要注意这些信号。行人在红灯时横过马路恐怕也会发生事故,很危险。

三、久违了

A:久违了!

B:久违了!

A:你还好吗?

B:嗯,托你的福,很好!

A:你的公司星期六也休息吗?

B:对!是的。

A:那太好了!我们公司只是星期天休息。

B:是吗?

第9课

乡 下

今天去住在乡下的爷爷家玩。清晨,天空阴沉,下雨了。大约到了中午,天空明朗,变成了晴天。我匆匆吃过中饭乘上开往乡下的火车。

现在,火车在原野奔驰。窗外不断出现水田或旱田。汽车在马路上奔驰。鸟儿在空中飞翔。远外的烟囱冒着烟。

现在,火车正驶过长长的大桥。桥下流淌着河水,河水清清,依稀可见鱼儿在水中游。孩子们在河岸上挥着手。在他们身边,牛、马正吃着草。

到了爷爷住的村子。爷爷和奶奶都到门外来接我。爷爷的家建在山上,是木造的房子。我随爷爷、奶奶登上二楼,安顿下来。从二楼一眼可见大海。海岸边,很多人正用力收网。他们正在捕鱼。渐渐可以看到网中有很多鱼。

吃晚饭的时候,爷爷说:

“这是在这里捕的鱼哦!另外,米也是自家产的呢。”

与都市不一样,乡下的自然相当秀丽。

二、啤酒钱

有一天,佐藤和高中时的朋友一起去银座喝酒。

找了一会儿酒店,走进了一家小酒馆。两人都没有带多少钱,把钱全掏出来放在桌上,喝起了啤酒。

喝完最后一瓶啤酒,正好花去四千日元。两人将桌上的四千日元全部付了款。

“客人!还差一点!要交3%的消费税。”

店里的人说。

三、你在做什么

A:你在做什么?

B:我在看报纸。

A:你最近上夜校吗?

B:当然去。

A:你正在学什么?

B:我正在学数学。

A:我告辞了,晚安!

B:晚安!

第10课

一、睡眠和梦

世界上既有说自己每天都作梦的人,也有说自己两、三个月才作一次梦的人。但是,实际上,我们大家每天晚上都作梦。只是有人记得作过梦,有人不记得作过梦。我们的睡眠有两种:一是眼球的活动很活跃的眼球快速活动睡眠;二是眼球活动不活跃的眼球非快速活动睡眠。所谓“レム(REM)”就是“眼球快速活动”之意的英语的首字母组成的。在眼球快速活动的睡眠时,身

体正酣睡，而头脑却醒着。眼球的活动就是一个表现。作梦就是发生在这种眼球快速活动的睡眠时。一晚的睡眠情况一般如下。躺着入睡后，睡眠就不断加深，三十分钟后，睡眠达到最深状态。这种状态持续三十分钟后，这次睡眠会突然变浅。睡眠变得最浅的状态就是眼球快速活动的睡眠，此时，从眼皮上也可以清楚地看出眼球快速活动起来。最初的眼球快速活动的睡眠发生在入睡一个半小时左右的时候。这种状态五分钟后消失，睡眠又再次加深了。一个晚上如此反复三、四次。假设一晚睡七小时，眼球快速活动的睡眠就有两小时左右。也就是说我们每个人每晚都作两小时左右的梦。如在眼球快速活动的睡眠时唤醒来一问，那么曾说不作梦的人恐怕也会回答说刚才作了梦。

二、关于物质的根源

物质是由什么构成的呢？

——是由分子构成的。

所谓分子是什么呢？

——物质是分子的聚合体，所谓分子就是不失掉该物质性质的最小粒子。

分子是由什么构成的呢？

——是由原子构成的。例如，氢分子是由两个氢原子构成的。其次，二氧化碳气是由两个氧原子和一个碳原子构成的。

分子和原子是非常小的东西吧？

——是的，用普通的显微镜是看不见的。那么，用什么样的显微镜才能看得见呢？

——有一种叫做电子显微镜的显微镜，用它来看的话，可以清楚地看到。

原子具有怎样的结构呢？

——在原子的正中有一原子核，电子在其周围旋转着。

原子核是最小粒子吗？

——不，不对，随着研究的进展，知道了原子核也是由更小的粒子构成的。

三、初次见面

A：初次见面，我姓铃木。

B：我姓田中。初次见面，请多关照。

A：哪里，我才要你关照呢！

B：田中先生，你在写什么？

A：我在给德国的朋友写信。

B：田中先生还会德语啊！

A：嗯，会一点儿。

B：法语怎么样？

A：法语一点儿都不会。

第 11 课

一、口香糖和驾驶

听说开车时嚼口香糖有利于防止事故。这是最近某医学研究小组的实验所表明的结果。

用电子计算机的终端显示屏给他们看街道的画面。观看者根据信号踩刹车或加速器。研究他们从发现信号到有所反应的时间。结果表明：嚼口香糖时的反应快些。据说效果最明显的情况是：以时速 100 公里驾驶时，嚼口香糖可以在距眼前 4.2 米处发现障碍物。

这是因为嚼口香糖的运动刺激大脑，使大脑活动活跃的缘故。如果大脑活跃，眼睛就睁开了，可以减少边打瞌睡边驾驶的情况。

近来，认为经常嚼东西对身体有好处的人多了。出现了为孩子们出售硬糖果的公司。如果在大学或高中教室里，学生也嚼口香糖的话，大脑活动活跃起来，说不定打瞌睡现象不会有了。

但是，很多中年人觉得在别人面前嚼口香糖是失礼的。在入学考试或公司面试时能允许嚼口香糖吗？

二、数学问题

某公司决定生产 A、B 两种型号的产品。A 是高档品，B 是普通用品，生产一个产品的销售利润分别是：A 为 4 万日元，B 为 3 万日元。

生产一个 A 产品所需劳力是 B 的二倍，假设仅生产 B 产品，仅可提供 1000 个劳力。A、B 产品所需的原材料等量，供给量总计仅为 800 个。A、B 产品所需付属品各是：A 为 400 个，B 为 700 个。

计算一下这时为了获得最大利润，A、B 产品各生产多少最合适呢？

三、新车呢

A：这是新车呢！你什么时候买的？

B：上星期买的。

A：开车难吗？

B：不，不太难。

A：不过，不训练一个月左右怕不行吧？

B：不，稍稍训练就马上会开了。

A：不通过驾驶考试不行吧？

B：是的。

第 12 课

一、公共汽车还没来

暑假的某一天,太郎和次郎一起去火车站接母亲。两人走到公共汽车站,在那儿等车。公共汽车怎么也不来。1 分钟、2 分钟、3 分钟……等了 10 分钟了。

“好慢啊!”太郎说。

“因为是小城镇呗。”次郎回答道。过了 30 分钟,还是没有来车。

太郎边看母亲发来的“来火车站接”的电报,边说:“坐出租车去吧,不然的话,来不及了!”

“迟到一会儿也没事,妈妈来的话,爸爸也会同行吧。”太郎说。

一辆出租车驶来,两人还是决定坐出租车了。刚坐上出租车往后一看,发现公共汽车从远处开来了。

“可不知道爸爸是否会来,还是叫出租车吧。”

太郎说。

二、候鸟的道路

到了五月,燕子从遥远的南国飞来了,在房子的屋檐下筑巢、产卵。而且,当到了秋天,寒冬即将来临时,又回到南国去。

大雁和野鸭在春夏期间,是在北国生活,一到了秋天,就飞到南国过冬。

燕子、大雁或野鸭之类的鸟称作候鸟。候鸟从远方越过广阔的大海、原野和高山飞来,但它们为什么能不飞错路,而能够在相同地方来来往往呢?的确令人不可思议。

高山啦,大河啦,森林啦,灯塔以及宽阔的道路,列车的线路等,可能成为一种标记。可是,在浩淼无边的大海上,能成为标记的,却什么也没有。

研究候鸟的学者们虽然做了种种设想,仍未能明确地揭开候鸟之谜,但也存在这样很有趣的事。

在欧洲和非洲之间,有一个叫做地中海的内海。来往于欧洲和非洲的候鸟,由地中海飞过去,但不知什么缘故,它们总是从宽度最大的地方飞渡过去。因此感到有些奇怪,就考察了一下,于是弄清楚了在这一宽度最大的地方,在远古曾排列着许多岛屿,在远古如果在这些排列的岛屿上歇一歇飞一飞,这样往前飞渡的话,比起由其他地方飞渡,理应是轻松得多的。那些岛屿后来沉陷于海底,现在已经消失了。但是,候鸟群即使现在也仍然由曾经是岛屿排列的地方飞渡的。

没有标记之所以仍然能飞越,或许是因为候鸟生来就具有按一定的方向飞越一定距离的天性的缘故吧。

三、乘公共汽车去吧

A:乘公共汽车去,还是坐出租车去?

B: 还早, 搭公共汽车去吧。
A: 这趟车从哪里开来的?
B: 从银座来的。
A: 怎么还没来车啊!
B: 真慢啊! 再等等吧。
A: 呀! 车子来了!
B: 好象不太挤呢! 太好了!

第 13 课

一、文化节

一般来说日本的气候以五月和十一月最好。一到十一月, 菊花就开了。你可能知道, 菊被称为日本的国花, 天皇的家徽就是菊花。菊花有大有小, 十一月初各地都举办菊展。

法律规定十一月三日为文化节。这一天, 政府要挑选致力于文化事业有功的人, 被选中的人被召进皇宫接受天皇赠与的文化勋章, 并进纪念午餐。文化勋章是非凡的荣誉, 按规定得到这荣誉的人一年可得到一百万日元的奖金。

为了纪念文化节, 全国的学校要举办学艺会或运动会。因为是节日, 所以去观赏秋天红叶的人也很多。

二、招 牌

“打出招牌”这句话用于兴办事业、开始工作等意思。

我想, 招牌——它就是作生意的商人向顾客作自我介绍的告示牌, 是宣布他的主张的东西。

如果说为了宣扬自己绞尽脑汁, 凝聚着对生意兴隆的渴望和自豪而创造出来的东西就是招牌的话, 那么其中自然包含着告示和主张, 它不也反映了时代和民族精神吗? 上街走了走, 就象新发现的一般, 往往会为招牌之多而惊讶。

用外来语或字母写的全新的招牌很醒目, 但是也碰到了一些“陈年老字号”错错落落夹在其间。这些招牌既没有被周围的大楼所压倒, 又不孤独, 而是自然地、堂堂正正地生存下来了。

所谓“下招牌”是指倒闭的意思, 这样消失的招牌当然也不少。所谓“保住招牌”就是继续开展业务的意思。

在时代的急流中, 日本招牌的传统看起来还充满生气。

三、真倒霉

A: 你昨晚准备了发言吗?

B:没有准备。因为朋友来了,没有学习成。而且心情不好,没有心思学习。

A:怎么了?

B:昨天倒大霉了!在电车里被小偷偷走了钱包。护照也和钱包一起被偷了。

A:这就麻烦了。去警察局了吗?

B:去了。在那里警察询问了住址和姓名。

第14课

一、采访

我们决定就运动员的状态和训练情况采访佐佐木教练。我们广播研究会的成员(铃木、小林、池田)在约定时间去采访了佐佐木教练。

铃木:请恕我直言,佐佐木教练每天让运动员训练多久?

佐佐木:是啊,现在规定每天必须训练六小时左右。

小林:真不得了啊!那么,运动员的状态怎么样呢?

佐佐木:很好。我经常给运动员纠正不正确的动作,他们很听我的话。

池田:你们很注意饮食吧。

佐佐木:嗯。不让他们吃冷的东西。尽量食用有营养的食品。不怎么让他们尽吃米饭。

铃木:不喝酒有好处吧。

佐佐木:酒当然不让喝。除此之外,我们让运动员有充足的睡眠。也让他们进行午休。

铃木:原来是这样!训练之余,尽量让运动员休息吧。允许运动员随意看电影、电视吗?

佐佐木:嗯,因为对调整情绪有好处,适当地让他们看看。

铃木:啊,是吗?哦!训练方法呢?

佐佐木:现在以技术为中心进行训练。

池田:可是,这次比赛的对手是谁呢?

佐佐木:定好下个月和英国队比赛。

池田:是吧,这之后只有两个星期了。加油干吧!

佐佐木:谢谢!我们都希望赢。

小林:今天真是太麻烦了!谢谢!

二、日语课

老师平常是怎样教学生日语,并使他们掌握日语的呢?

——首先老师朗读单词和课文,然后也让学生朗读。难的地方让学生读几次,反复练习。

语音练习和语法讲解完了之后还做什么?

——之后是让学生造句,让学生向学生提出问题,然后,让被提问的人回答问题。

会话练习是怎么进行的?

——让两个人做简单的自由会话,但这是最难的。

此外,还有哪些教学方法呢?

——老师经常用已学的单词和句型造句,让学生听简短的话语。然后或者让学生选择问题的解答,或者归纳课文内容。此外,有时还让学生写出报告交上来。

第 15 课

一、“谢谢”的含义

我们从别人那里接受礼物时,就说声“谢谢”。要是不说“谢谢”的话,送礼的人一定会感到失望吧。

但是,据说非洲某地,不是接受礼物的人说“谢谢”,而是送礼的人说。我觉得奇怪,可一听解释,就明白了其中的道理。

例如,据说把自己珍惜的表送给别人时,送礼的人是这样想的:“送表给你作个纪念。请收下吧!啊!太好了!托你的福,我能做件好事了!真是件难得的事。”接受礼物的人自然也高兴,但是这种高兴的心情不是向送表的人表示,而是向神表示。

那么,日语的“谢谢”是什么意思呢?这个词是来自可分为“ある(有)”和“難しい(困难)”之意的“難い(难)”的“ありがたい”,意思是:“难得有。”、“这样的事真少有!”人们认为在农作物丰收或是治好了病而高兴的时候说:“这种好事真少见啊!”。这是对自然或神灵的谢意。这句话逐渐广泛用来对人表示谢意了。

二、力 矩

“姐姐,带我到公园去好吗?”

因为今天是星期天,弟弟好象也很高兴。那么就到公园一面玩,一面做力学实验吧!请弟弟也来帮忙做这个实验吧!因为在公园里有秋千,让弟弟坐在秋千上,我在后面推秋千。这样一来,也就可以做力矩的实验了。这样想着,就领着弟弟到附近的公园去了。于是,一推动秋千,就觉得推动肩膀和推动臀部有完全不同的感觉。究竟哪一边容易推动呢?当然,肯定是推臀部容易动。

这种例子是举不胜举。结果不外乎是如图所示的现象。

有一物体支撑在支点 O 上。设 F_1, F_2 为大小相等的力。

通过力的作用点 A 或 C ,在力的方向上画一条直线。这条直线叫做作用线。在这条作用线上无论力作用于哪一点,其效果是不变的。譬如,如就 F_1 而

言,无论是在 A 点推,或是在 B 点拉,其作用于物体的效果都是相同的。

a 和 b 是由支点 O 向 F_1, F_2 作用线引下的垂直线。 $F_1 \times a, F_2 \times b$ 是 O 点周围的力矩。因 a 大于 b,结果 $F_1 \times a$ 就大于 $F_2 \times b$ 了。

总之,所谓力矩就是指使物体围绕支点旋转的能力,力的作用线距支点越远,力矩越大。秋千的原理也与此相同。

三、游览京都

昨天到哪儿去了?

——和朋友一块儿到京都去了。

是初次去京都吗?

——是初次,因此,是请老师给带路的。

你觉得哪儿最好呢?

——游览了许多地方,可是我觉得金阁寺最好。据说该寺院是在 500 年前修建的。曾经一度被火烧掉了,可是很快就修复了。

拍照了吗?

——没带照相机去,因此是请朋友给拍的照。

买了什么土特产吗?

——买了京都布娃娃和彩色明信片。打算送给妹妹的。

第 16 课

一、声音的传播方式

如将石头投进平静的水面,就可看见有波纹形成,并以投入点为中心,呈圆形向外扩展开去。此时,如在波纹扩展的中途漂浮一个软木塞,则该软木塞只是上下漂动,并同波纹一起向波纹的扩展方向前进。水面上呈现的高处和低处就是波纹,这不是水在移动,而是周围的水顺次摆动,并传播到四面八方去的。只是一处的水在上下运动,并不是前后移动的。

声音的传播方式也是一样。物体的振动传向空气,这种振动在空中前进。因此,在没有空气的地方,声音是不会传播的。即使在真空中摇响铃铛,我们的耳朵也不会感觉到有声音。

所谓在空中前进时的声音振动,正象弹动较长的弹簧的一侧时,弹簧的收缩处和延伸处是顺次地改变场所一样,是指声音的振动形成了致密处和稀疏处,并相互变换传播下去。

声音不仅在空气中,而且在水中或各种物质中也能传播。当对牵线话筒做实验时,一握紧线绳时就听不见声音,而一弄湿线绳就听得十分清楚。此外,由于传播声音的物质不同,传播速度也发生变化。

二、居住的地方

你居住的地方方便吗？

——是的，步行十分钟就可走到工作单位，所以是很方便的。

附近有百货店和超级(自选)市场吗？

——是的，有好几个大商店，可以买到各种各样的日用品。当然经常可以吃到新鲜的蔬菜和肉类。

也有大众化饭馆吗？

——是的，有好几个呢！可以吃到价廉可口的菜肴。

此外，还有什么设施呢？

——有公园，可供孩子们愉快游玩。在图书馆里既可查阅各种资料，又能自由借阅书籍。此外，最近建成了一所新电影院，不必到远处去，也可以看到电影了。

那么，是一个极其方便而居住舒适的地方啦！

——但是，有一个问题。那就是附近从前就有一个工厂，污染空气和水，河中连鱼也难以生存了。但最近已经开始致力于制定防治污染的措施了。

三、怎么也记不住

A: 请问，有人吗？

B: 欢迎！请进！

A: 久违了！你好吗？

B: 托你的福，我还好。

A: 正在学习呢。小李，你真刻苦啊！

B: 哦，正在学日语。

A: 你什么时候开始学的？

B: 我是从八月开始学的。已经一个月了。

A: 是吗？假名都学完了吧？记得吗？

B: 平假名倒是记得，可是片假名怎么也记不住。

A: 学了多少单词？

B: 每天学习 30 个左右，但怎么也读不准。

A: 能用日语写信了吗？

B: 简短的信能写了，但是长信还不行。

A: 能用日语打电话吗？

B: 不，还不行。

A: 好吧，努力学吧！

第 17 课

一、公共汽车上的一件小事

我每天从山田街的警察署前乘公共汽车上学。早晨,公共汽车里挤满了上班、上学的人。经常在警察署前挤不上车。乘客们想方设法往上挤,使劲推前面的人。我也用劲推前面的人。但怎么也上不去。每天早上弄得很辛苦。但是,挤上车一看,车后面往往出乎意料地空。

大家再慢慢往里挤一点的话,不还能乘上几个人吗,但是乘上车的人却都呆在车门口,一点儿都不想挪动一下。我想多让个把人乘上车,便往里挤,但是单靠我一个人的力量,无济于事。相反或被别人顶回来,或甚至被别人用莫名其妙的目光瞪几眼。

这时,我想说:“请往里挤一挤!”可这句话在喉咙里又咽回去了。

昨天早上公共汽车和往常一样拥挤。我好不容易挤上车,刚想往里挤一下时,立刻听见身后有人喊:“请往里面挤一挤!谁都急着赶路啊!”这声音好象震响在整个车箱,我回头一看,原来是一个稍上年纪的男人。有他这句话,大家都一点一点地往里挤。

因为这个人堂堂正正地说出了我想说而未说出口的话,我感到很高兴。可是,同时一想到我自己为什么没能说出,就觉得遗憾、羞愧。

我觉得象这个男人一样不只考虑自己,而考虑别人,并且能明确地把意见说出来的人是社会上最优秀的人。我想做一个象这位男人一样,能主动地说出觉得对大家有益的话的人。

二、牛奶商的问题

牛奶商有装满牛奶的两个罐子。每罐正好装 40 公升。这时,来了两位顾客,说每人想买 2 公升牛奶。一位顾客拿着装 5 公升的罐,另一位顾客拿着装 4 公升的罐。仅仅使用顾客带来的两个小罐,和牛奶商的两个大罐(装满牛奶),能卖给每位顾客正好两公升牛奶吗?

三、有关日本人的家庭

A:有人吗?

B:啊! 是小李,欢迎! 欢迎! 请进!

A:打扰你了!

B:请坐! 喝咖啡,还是饮料?

A:请你不要张罗啦。其实我今天来是想了解日本人的情况。

B:是吧,请随意!

A: 嗯, 在普通家庭, 小孩幼小时, 母亲还工作吗?

B: 还小的时候不怎么工作。必须照顾小孩。

A: 妻子外出的话, 家务事怎么办呢?

B: 丈夫也帮忙, 家务事的机械化也先进了。使用电子炉灶、洗衣机、烤面包器, 还经常食用快速食品、冷冻食品等。

A: 家庭电气化产品普及到什么程度呢?

B: 刚才讲的东西不用说, 除此之外, 几乎每个家庭都有吸尘器、电热毯、电烤火器。

A: 也在外面吃饭吗?

B: 嗯, 星期六晚上在外面吃饭。

A: 今天你教了我不少东西, 太谢谢了!

第 18 课

科学与人们的心灵

科学不断向前发展, 而且, 科学的力量也与之一起强大起来, 因此人们就容易认为: 依靠科学的力量无所不能。但是, 真正到了依靠科学的力量无所不能的地步了吗? 这是必须经常思索的问题。

象原子弹之类的不得了的东西终于发明出来了。因此把原子具有的巨大能量象原子弹一样在瞬间释放出来很危险, 所以听说最近也在积极地进行让其能量一点一点地释放出来的研究工作。因此不久也许就能成功地用原子能发电, 或驱动火车、汽船和飞机。

尽管没有利用原子能那么尖端, 但在美国, 也在日益广泛地利用电视播送之类的科学技术。

美国跟日本等国家相比, 在各个方面都明显进步些。

可是, 不管如何先进的美国, 大概今后也不能单靠科学力量办成一切事情。象政治、文学、美术、音乐、宗教等, 都不是单凭科学的力量使之繁荣的。因此, 单凭科学的力量就无所不能的想法是不正确的。

我想, 为了自己的国家, 也为了全世界的国家, 现在必须繁荣日本的科学研究, 发展科学。与此同时, 我认为使人们有沉着、健康、高尚、仁爱、正直的心十分重要。于是, 我相信: 正是这样的国家, 这样的社会里, 科学才能真正进步。

家里不锁门, 也不会有小偷进来。没有人偷田地或是院子里的蔬菜、鲜花和水果。电车、火车挤是挤, 但没有人争先恐后。送来的牛奶、邮件和报纸可以放在屋檐下, 没有人只顾自己生活舒适, 尽占便宜, 而不替别人着想。

大概谁都认为这种情况是很理想的吧。但是, 象我们国家这样, 人口众多的战败国不能实现这些吧。在战争中失败了的国家, 人口众多的国家, 这种情况难道不能实现吗? 我认为绝对没有这种事。

很多人也许会说我的想法是梦想。但是,我不希望使这梦想仅以梦幻的形式结束。

二、在医院里

医生:你怎么了?

病人:医生,好象感冒了似的。没劲,也没食欲……

医生:那可不好啊!请稍稍张开嘴。啊,喉咙红了……果然是感冒了。

病人:昨天淋了雨才不舒服的。

医生:现在正是感冒流行的时候呢。听说还有学校因感冒而停课了。

病人:是吗?!

医生:那么,请服这些药,多多保重!

病人:太谢谢了!

第 19 课

就 业

自昭和 62 年来这所研究生院后,攻读中国文化史专业,终于在今年 6 月取得了硕士学位。因想毕业后即回国,在日本找一个好职业,所以向日本的名牌大学以及各种研究所和报社等寄送了履历书。虽然工作尚未定下来,不过如有可能,想在地方上一所哪怕小也要好一点的大学教书。

我出生在山口县,是曾任小学校长的父亲的长子,上中学以前一直生长在山口市。在我小学毕业的那一年,因父亲被调到文部省的“教育研究所”工作,所以全家一起搬到东京住下来。我从中野高中考入东京都立大学,在大学学政治专业,而我与社会科学相比更加喜欢文学和历史,日本的不用说,中国的文学和历史方面的书我也经常读。

大学毕业后,我既想学习英语,又想学习美国和欧洲的文化,所以决定在“美国文化中心”工作。在这里我学习了美国的现代音乐和文学、电影等方面的知识,也学习了英语会话。为了工作,我从九州到北海道旅行了许多地方。以后我在东京大学的“亚洲经济研究会”工作,而在这里我是做翻译关于中国和日本的经济关系方面的英语书籍的工作。

在此工作期间,我思考了日中关系方面的问题后,想一定要上研究生院研究中国文化。幸好一位“文化中心”的美国熟人详细地告诉了我有关美国大学的情况,还当我的资助人,所以我得以在位于美国东南部的一所研究生院的东洋研究系搞研究。

开始去的那所研究生院没有好图书馆,所以第二学期转到了我现在所在的研究生院。在这里我在历史研究系学中国文化史专业,优秀的老师也多,还有设备良好的图书馆和研究室,所以能够心情非常舒畅地进行研究,因而很

高兴。

今年夏天我将回国，可是担心日本是否有适当的工作。

二、打算去旅行

这次您打算到哪儿去旅行啊？

——打算到类似京都的古老而安静的城市去看一看。

凡对日本感兴趣的人都想到京都去呢。

——是啊。我的朋友们都想到京都去。

您到京都去想看看什么地方呀？

——想到二条城或金阁寺之类的名胜古迹等转一转。同时，有许多想要考查的事情。

不想到繁华热闹的地方去吧？

——是的，我不大喜欢繁华热闹的地方。

第 20 课

一、发明与练习

有人认为，人类历史就是使不可能成为可能的过程的连续。一是通过发明，一是通过练习来进行的。

象鸟一样在空中飞，象鱼一样潜水，是人类有史以来的宿愿。现在人类已经通过飞机和潜水艇比任何鸟都擅于在空中飞，比任何鱼都擅于潜水。去月球世界游玩，这曾是不可能实现的空想的代名词。但是，现在我们已经到了这样一种时期，我们可以说，即使碰见昨天去月球世界旅行归来的人，也不怎么感到惊讶。这是由于发明，不可能变成了可能的实例。

另一方面，我们人类不断通过练习使无数的不可能变成了可能。简便的例子是游泳。不知道游泳的人如果掉进水里就会淹死。知道游泳的人则很容易浮起来。掉进水中死去的人与浮起来活着的人之间，有甚至可说是不同种类的动物之间的差别。眼看小孩在自己面前落水而只好默默看着的人与跳进水里救助的人，不能不说在道德上也是不同种类的人。于是，这种差别可根据练习还是不练习来区分。

这不过是一个例子。在其他无数的情况下，练习会使不可能成为可能。从 10 米高的高处跳入水中，如不练习，任何勇士也不敢。另外，如不练习，连用 15 秒钟跑完 100 米也不可能。进一步说，在那种器械体操中，似乎几乎完全无视了重力的种种人体动作和姿势，如把练习置之度外，几乎是不可想象的事。

在这样或那样的无数的情况下，使无数的不可能成为可能的，不是解释，不是说教，而只是默默不断的练习，仅仅是练习。

二、蜜 桔

太郎每天早晨在家附近散步 30 分钟左右。冬天的某一天，太郎象往常一样早早地起来，走到了水果店。这时，他发现店门口放了一个蜜桔。四周没有一个人。太郎蹑手蹑脚地走到店门口，把那个蜜桔放进了口袋。

第二天，他又跟前一天一样，来到水果店，这次放了两个蜜桔。

“今天也要了吧！”

放在店门口的蜜桔每天增加一个。

一个月之后，店门口放了一张字条，上面写着：

“这一个月太谢谢你了！蜜桔一个 20 日元。蜜桔钱总共收 9300 日元。”

实用会话(1)

迎 接

A:对不起！请问是小李吗？

B:对，我是小李。

A:欢迎！欢迎！我叫田中。初次见面，请多关照。

B:哪儿的话！我才要你关照呢。百忙之中，真是太谢谢了！

A:没事！累了吗？

B:没有！一点都不累。

A:是吗。行李就这些吗？

B:对，全在这里。

A:那么，走吧！车子来了。

B:谢谢！真是太麻烦你了！

第 21 课

一、感谢信

天气更加寒冷了，各位身体好吗？

新年去拜访您们时，您们把我当作家里人一样热情欢迎，深表谢意。

承蒙各位关怀，我在外国的头一个新年过得很愉快。日本新年的传统仪式、饭菜、游戏等，全都稀奇得很，一下子使我长了许多见识，十分高兴。已迅即给家中父母写了信，我想他们知道我的留生活过得很充实，肯定会放心了。

当时我们照的相片已经印出，现随信寄上。因为是用未用惯的照相机照的，所以曾担心是否照好，总算照出来了，我也就放心了。美知子身穿漂亮的和服的相片，饭桌上摆满了新年饭菜的相片等，都将是很珍贵的纪念品，我要珍藏起来。

据说讨厌的感冒在流行,请各位务必保重身体。
再见!

×××
一月二十日

二、信

秋色渐深,各位都好吗?

假期中多蒙照料,谢谢!在您那边每天只说日语,生活很有意义。承蒙各位帮助,我的日语也有了相当大的进步。三郎何时来东京?我等待他的到来。我每天都在努力学习,以便三郎来京时,我的日语说得比现在更准确些。关于下月将举办的学会之事,我昨天给斋藤君打过电话,可他不在,我再与他联系。铃木君那里,已寄去了快信。

因很不擅长用日语写信,故向各位感谢和汇报的信写晚了,请原谅。另外,寄上一点家里寄的小礼物,请收下。

好了,请多保重。并请代向全家各位问好。

昭和五十二年九月十五日

实用会话(2) 初次见面的客套话

A:呀!小李!早上好!

B:早上好!

A:我来介绍一下,这位是木村先生,我的朋友。

C:我叫木村。初次见面,请多关照。

B:我叫李明。初次见面,请多关照。

C:你是初次来日本吗?

B:对,是第一次。

C:准备在日本呆多长时间?

B:大约一年左右。

C:是吗?这期间我带你去各地看看吧。

B:谢谢!

A:好了!一起走吗!

C、B:好的!(走吧!)

第22课

绿色和青色的自然环境

日本列岛的自然环境具有怎样的特色呢?而且这个自然环境对于日本人

的生活方式、思维方法给予了怎样的影响呢？

首先要指出的是，日本列岛位于热带和寒冷地带之间，潮湿润泽，非常适于植物的茂盛生长。阳光不太强不太弱，整年都有适度的降雨，是地球上植物最丰富的地区之一。因此，日本人的生活，自古以来不管哪个方面都对植物的依赖程度很大。房屋，使用木材来建造；衣料，以棉麻之类的植物纤维为重要材料；饮食方面也是同样。其结果，农耕也就当然地成了日本人生活的中心。

我们再考虑一下日本的自然特色。如果问任何一个日本人：“自然环境是什么颜色？”，答得最多的是绿色。次多的是青色，再下面是茶色。这意味着什么呢？

把自然界彩绘成绿色的，是植物的叶子。日本人听到“自然环境是什么颜色”的问题，首先想起了绿色，这表明日本的满山遍野，植物是何等的多。次之，想起了青色，表明晴日蓝天的美丽，以及地面清水的丰富。下一个，茶色，当然是土地的颜色。

与水相关的，不能不举出水蒸气的存在。和歌诗句中也经常出现“山紫水清”等词句。水清，还可以说，山紫是怎么回事呢？山紫表示了覆盖着山野地表的植物的绿色之上，加上一个其它的因素。这个其它因素，其实就是水蒸气的“霞”。这可以说是日本气候湿润的一个证据吧。

由于象“霞”似的现象，植物的鲜艳的绿色，变成了不鲜艳的紫色。也就是，本来鲜明的色彩变得柔和了。日本的自然，与其说鲜艳的原色多，还不如说中间色多。

水和植物这二者，是维持人类生命所不可缺少的资源。这二者的丰富存在，说明日本列岛对于人类生活来说，确实是得天独厚的土地。再加上，环绕在周围的是经中间色柔化了的景致，这一切给日本人留下的印象是，自然环境是极其宁静安稳的。

实用会话(3)

交通工具

A:对不起,打扰一下!

B:好的,什么事?

A:请问往新宿怎么走?

B:坐出租车去。

A:往那儿去,只有出租车吗?

B:不,还有地铁。

A:坐地铁的话,必须换车吗?

B:是的。换两回车左右。

A:坐地铁的话,大约花多少时间呢?

B:大约二十五分钟。

A:太谢谢了!

B:别客气!

第 23 课

河流和人类

人类自古以来就用种种方法利用着河流,并依赖河流生存下来。

古代文明的发祥地也是在黄河、尼罗河等大河的流域。对于人类来说,河流既是提供饮水及其它生活所需用水的源泉,也是用来运输物资的重要通路。另外,一到雨季,还能从上游运来肥沃的土壤,从而促进了农业的发展。可以说,人类是在充分享用河流的这些恩惠的同时开始走上繁荣之路的。

在两千年前就耕种水田的日本,人们从河中汲取农业用水灌溉水田。作为饮用水,也是远在挖井汲地下水之前很久很久就利用了河水。不久,随着人口向大城镇集中,水的需要量也增加了,提取河水的大型上水道工程就开始兴建了。到了明治时代,搞起了利用流水之力发电的水力发电,而且在工业发展的同时,河水作为工业用水也起着重要的作用。

这样,河流随时提供着人类生存必不可少的水资源。

但另一方面,河水的力量有时也引起可怕的灾害。在台风或暴雨集中之时,水量增加的河流会在各地引起水灾,夺走房屋、田地,有时甚至夺走许多人的生命。也就是说,对于长期居住在该流域的人们来说,河流一方面带来很大的好处,另一方面有时也会变成凶暴的破坏者。于是,人们为了保护自己的生活 and 财产免受水害,想了各种各样的办法。

从远古以来,人类一方面利用河流,同时另一方面,也不懈地努力治理河流。然而,现代的人却只顾眼前的利益,忽略河流本来的性质。其结果是没有预料到的灾害降到人类自己的头上。也不妨说是人类自己播下了水灾的种子。

我们现在需要重新考虑一下:对于人类来说,河流是什么,自然又是什么。人能否在自然界继续生存下去,取决于怎样掌握自然与人的平衡,在什么地方找到协调点。

实用会话(4)

问 路

A:向您打听一下好吗?

B:好的。请说吧!

A:我想去丸之内旅馆,怎么走呢?

B:嗯,沿着这条路笔直走,在第三个信号灯处往左拐。

A:是在第三个信号灯处往左转吧,接着怎么走呢?

B:然后笔直走就是了。

A:从这儿走要多少分钟?

B:十五分钟左右吧。

A:哦!我明白了。谢谢!

B:不用谢!没关系。

第 24 课

声音是什么

音乐是以声音为素材的艺术。但并不是运用自然界中存在的一切声音,而是从中选择某种声音,运用各种声音所固有的性质,以及从声音与声音相互关系所产生的性质,并以此为素材。

正如画家用极为有限的绘画材料而创造无限丰富的色彩一样,音乐家所运用的声音也不是无限存在的,其数量是比较少的。但是,以此创造出的声音的关系和组合则是无限的,不管至今为止诞生了多少天才,后世的作曲家们也不必悲观地认为已经没有自己施展才能的余地了。

欣赏音乐的人们的立场也是如此。只偏爱某一特定时代,某一特定社会的作曲家的作品,相信这些作品是最好的而拒绝其他作品,这样的态度对于广阔的音乐世界和它走向未来的无限可能性来说,是一叶障目。

这是一个古老的故事:曾经有一位诗人比较诗与音乐的优劣,他说音乐以哆、咪、咪、发、嗦、啦、西、哆八种声音作为素材,怎么能表现复杂的内容呢?这似乎是因为没有有关音乐的素材和性质方面的知识而说出的话。不仅是这位诗人,很多人认为音乐仅仅是些毫无意义的声音组合而成的毫无意义的游艺或娱乐(因为无论怎样组合,毫无意义的东西也不会使之有意义)。音乐没有计算银行的帐本的能力,也没有象报纸报导社会新闻那样的能力。但是,它是我们思考问题或感受事物能力的直接作用的一个表现。

那么,所谓声音到底是什么呢?从物理学来看,声音是物体的振动,是物体的振动通过媒介物作用于我们的听觉神经而使我们感觉到声音,这种媒介物有空气、液体、固体各种物质,而平时我们听到的声音是通过空气传播的。即,某物体一振动就振动周围的空气,在空气中产生疏密不一的波纹,成为所谓的声波,振动耳膜而被我们感觉到。现假设一物体前后振动,当该物体向前振动时,该物体前的空气便被急骤压缩而变密。然后,这空气的密部又压缩前面的空气,这样空气的密部依次向前移动。接下来,该物体向后振,物体前面的空气就急骤变疏,变疏的部分又带动它前面的气体而变疏,与前面的情况一样,空气的疏部也依次向前移动。这恰似风吹过青青的茂密的稻田时,禾苗依次波浪起伏一样。振动的物体持续振动时,因为它不断地前后振动,所以疏密不一的声波就在空气中不断向四周传播。

但是,即使物体的振动产生空气波,也不是所有的波都能作为声音被我们感觉到,而是有一定的界限。虽然因人而异稍有差别,我们一般能听见的声音范围是每秒钟振动十六到三万次的声波,在此范围以下和以上时就不能作为声音被感觉到。

假如这一范围之外的振动也能作为声音感觉得到的话,我们的声音世界也可能面目全非了。例如:“草目生长的气息”啦,“流星的音乐”啦,“心上人心中的耳语”等等声音说不定实际上都能听到。

实用会话(5)

买邮票

A:对不起,请给我 5 张 62 日元的邮票和 10 张 41 日元的明信片。

B:41 日元的明信片现在全卖完了。

A:那么,请给我 5 张 62 日元的邮票。

B:是 5 张 62 日元的邮票吧。

A:对,是的。

B:310 日元。

A:给你 1000 日元。

B:好的,找您 690 日元。

A:另外,我想寄包裹到福冈。要多少钱?

B:嗯,一公斤以内是 800 日元,然后,每公斤增加 80 日元。

A:是吗?要多少天呢?

B:四天左右。

A:谢谢!

B:欢迎您下次光临。

第 25 课

动物的数学

有许多动物据说会数数。尤其是被称为“聪明的汉斯”的德国马最为有名。这是距现在约 60 年前的事了。饲养这匹马的人相信动物也和人一样可以做种种思考,只要加以训练,这种能力就会清楚地表现出来。他对叫做“汉斯”的马进行训练,使它能够回答算术问题。汉斯可以用前脚敲地的办法答出正确的答数来。于是汉斯就被叫做“聪明的汉斯”了。喂马人教给汉斯用一只脚敲出个位数,用另一只脚敲出十位数来。汉斯不仅会加法,连分数变成小数的问题也能正确地答出来。即使不用嘴提出问题,而是写在纸上让汉斯看,它也能正确地回答出来。

报纸对这个消息大加报导,并委托科学家,组织了一个调查此马惊人能力的委员会。科学家们注意研究的结果,发表了报告:训练汉斯的喂马人是个老实人,他并没有搞像马戏团的动物那样的训练,并不是让马的前脚在地面敲,敲到正确的答案时发出轻微的信号以使之停住。汉斯不是搞骗人的把戏,这一点是用事实证明了的,即使喂马人不在,委员会的人自己也可以从汉斯处得到正确的答案。

汉斯好像确实会思考,会数数。但是,这个委员会的报告发表不久,别的科学家发现了真相。这位科学家发现,对于在场者谁都不知道答案的问题,汉斯是回答不出来的。哪怕是最简单的问题都不行。这时,把纸翻过来不让提问人看见,只拿给汉斯看,对它提出问题。如果提问人知道这个问题时,汉斯就能看着纸上写的问题用前脚作出回答;而如果谁都没看问题时,汉斯就答不出来。科学家从这一事实考虑,认为问题的真相如下:汉斯对知道答案的提问者的、眼睛看不见的细微的身体动作做出了反应。这种身体动作连提问者本人也没有意识到,自己也不知道自己动了身体,然而汉斯却明白了。当马用脚敲数时,提问者非常注意,同时自己也在数那个数。汉斯正好敲到答案的那个数时,提问者的紧张也就放松了,这表现为身体发出了一极其轻微的动作。汉斯对这个动作做出了反应,便停止了用脚敲击。当提问者不知道答案时,没有这个动作,因此马也就无能为力了。汉斯实际上是训练得能对这种轻微动作作出反应了,是平常用粮食、糖作为奖赏诱导它尽全力这样做的结果。

这个例子给动物感觉的研究带来了很重要的技术改进。生物学家把它叫做“‘聪明的汉斯’之误”,进行动物感觉研究时,观察者便藏起来,不让动物看见,也就是注意避免再犯同样的错误了。想出了研究人员通过窥测孔来进行观察,通过按隐藏起来的按钮来给予信号等等办法。

实用会话(6)

购物

在超级市场

A:欢迎您光临!

B:对不起,茶叶在哪儿卖?

A:那边卖咖啡的柜台。

B:也有中国茶吗?

A:嗯,有!

B:谢谢。

在蔬菜店

A:欢迎您光临!您要什么?

B:我要买洋葱和胡萝卜。

A:您要多少?

B:各一袋。

A:好的,您还要什么?

B:哦!有圆辣椒吗?

A:对不起,圆辣椒已经卖完了。

B:那么,可以了!多少钱?

A:一共是 300 日元。

B:给你 1000 日元。

A:好的,找您 700 日元,谢谢您每次光临!

B:谢谢。

第 26 课

地心说与日心说

关于天体的运动,地心说与罗马教廷的权威结合在一起,曾经占据统治的地位。这种学说认为:地球才是宇宙的中心,包括太阳在内,所有的天体都在其周围旋转。哥白尼首先明确地提出了地球在太阳的周围旋转这种日心说,但他的学说遭到了猛烈的批判。其中,甚至有这样的反对论点:假如说地面在动,那么地面动多远,从塔上抛下来的物体就应当向后方落多远,然而实际上,不是笔直落下来的吗?不,岂止如此,如果说地球在转动,地面上不就应当刮很强的风吗?

伽利略自己制造望远镜观察天体,发现了金星的盈亏和木星的卫星。他根据亲眼看到的这些现象,成了日心说的强有力的支持者。在《天文学对话》这本书中,他根据惯性原理,有力地论证说:上述对于日心说的反对论点决不能说明大地不动。为此,伽利略触怒了罗马教廷,被付诸宗教审判,度过了不幸的晚年,但他没有放弃:“尽管如此,地球是动的”这一思想。

实用会话(7)

理 发

A:对不起,要等多长时间?

B:只要一会儿! 半个小时左右,好吗?

A:嗯,我等一下。

.....

B:让您久等了! 这边请!

A:请按现在的发型剪短些。

B:好的,明白了! 要吹吹吗?

A:嗯,不用吹了!

B:好的,明白了!这怎么样?

A:好的,可以! 多少钱?

B:只是剪发,收您 1800 日元。

A:好,给你。

B:收您 2000 日元,找您 200 日元。

A:谢谢!

B:谢谢了!

第 27 课

水平面

水面的状态

将水装入容器静置之,水面就完全变成平的。摇动该容器或使之倾斜,水就会晃动或洒出,但最终还是形成一个平的水面而静止下来。

如图 1,将水装入用粗玻璃管制成的 U 形管中,置于桌上,将两边的水面加以比较,便可知道两边水面的高度是相同的。

一般来说,水有这么一种性质,不管容器的形状如何,只要连通,水面总是保持同一高度。利用水的这一性质,如图 2,就可根据在旁侧所装的玻璃管(液位计)中水面的高度,知道看不见的水箱或锅炉中的水面的高度。

问题:水壶嘴的高度做多高为宜?

水平面与铅垂线

[实验]将重锤系在绳的一端,并使其浸入水槽中。使用量角器测一测看绳子与水面成多大的角度。

系重锤的绳所指示的方向叫铅垂线,从以上的实验可知,广阔的水面总是与铅垂线成直角。这样,与铅垂线成直角的水面就叫作水平面。

如图 3(a),使中央稍稍隆起的容器装满液体,并使之进入一个气泡,使用这种器具,根据气泡的活动,就可以了解到台基或地面是否水平。另外,透视 U 形管的两个水面,可以知道是否是同一高度(b)。这样,利用水平面的性质来了解高度差或面的倾斜度的器具,叫做水平仪。

问题:把房子建在倾斜的地面上时,如何利用线和重锤以及水平仪呢?

实用会话(8)

生病

A:请坐下。怎么了?

B:胃有点儿痛。

A:什么时候开始的?

B:大约一个星期以前。

A:食欲怎么样?

B:一点也没有。另外想吐,又吐不出来。

A:那么,检查看看,请躺在那儿。……只是肚子不太好,没什么大不了的事。

今天不要吃肉和鸡蛋,最好吃稀饭,给你药,饭后服用。

B:好的,谢谢!是饭后服用吧。

A:对的,是饭后服用,那么,请多保重。

B:谢谢你,医生!

第 28 课

同机械共存

在今天的社会中,机器和人体密切相关的问题非常之多。威胁日常生活的公害和交通事故等也就是这类问题。这些问题都与复杂的社会结构有关,并不是能够容易解决的。公害问题与生产事业和经济紧密地连系在一起。而交通问题,不论是在城市或农村,都脱离不开今天的生活。这也就是说,现代社会靠机器实现了高度的文明,但另一方面却又带有许多不能令人满意的矛盾。因此,在此从根本上重新考虑机器和人的关系是有意义的。

在现代社会中起着重要作用的机器,也绝不是突然产生出来的。具有思维和创造能力,且抱有热情要积极地改变环境的人类,先制造出简单的工具,后来又设法制造出较为复杂的装置,再后来,又逐渐研究出象机器似的东西。车轮、杠杆、齿轮和水泵之类便属于这类东西。机器一旦发明出来,其进步是很快。特别是象蒸气机那样提供动力的原动机发明之后,机器的威力便成为决定性的东西了。后来,随着机器性能的提高,便逐步与人的各种机能联系起来,并代替了它们。如,电话代耳,汽车代步,等等。除了人所具有的复杂的精神活动外,可以说机器已突破了人类能力所及的范围,并且将这个范围大大地扩大了。

但是,最初曾是为人类服务的忠实奴仆的机器反倒开始了把人牵动进去活动。虽然机器是人创造的,但后来却成了若无机器,人就无法生存,而且不得不与机器共存了。进而,甚至于机器要求人类采取不同于过去的生活态度。比如,人疲倦时,就想睡觉,这是为保持人体健康的生理现象。但是,对于正在驾驶汽车的人来说,想睡觉却是最危险的状态。这样,人类在自然的生活中,长期形成的适应性,结果,由于与机器的共存,从人体的结构直到生活态度,都不得不发生变化。

从这种意义上来说,现代社会已经到了这样一个时期,即必须研究人类同机械文明的调和。

实用会话(9)

开户头

A: 欢迎!

B: 我想开个新户头。

A: 好的,请在这张纸上填写您的地址、姓名和电话号码。

B: 这样可以吗?

A: 好的,可以! 请您盖私章。

B: 好的,给你。

A: 您存多少钱?

B:一般存款的利息是多少?

A:利息是年率 1.5%。

B:那么,我存 3 万日元。

A:好的,我明白了。现在填写存折,请您在那边稍等片刻。

第 29 课

生产的结构

我们为了每天的生活,需要各种各样的东西。从生存的必需品,食物、衣料、住房等,到使生活丰富、愉快的书籍、家具、电视等,论欲望是没有止境的。但是,对我们来说,这些必需品和希望得到的东西并不是能自然到手的。我们无论如何必须靠自己的智慧和努力制造这些东西。这种劳动就叫做生产。我们生活所需要的东西都是通过生产劳动制造出来的。所以,为了充分理解我们经济生活的结构,深入地调查生产的结构是很重要的。

我们为了进行物资生产,需要自然,而且只有利用自然才能生产物质资料。但是,自然界的物质,按原有的状态几乎对人类的生活不起作用。因此,必须充分利用自然中的物质各自具有的性质、特点,改变其形状、性质,或相互配合起来,使其变成对我们的生活直接有用的状态。进行这样的工作,是人的作用,那么,只有人作用于自然,才能把自然中的物质变成人类生活所需的物质资料。人的这种作用就叫做劳动。总之,为了进行生产就需要自然和人作用于自然的劳动。

我们以生产面包为例来详细调查一下这种生产结构。

生产面包,除需要手艺人的劳动外,还需要很多本钱。首先有许多东西都要考虑,如,建面包厂所需的土地,烤面包机,动力机械,防止这些机器风吹雨打的厂房,以及其他设备,作动力用的电、燃料、作原料用的面粉、糖等等。如果对构成这些本钱的东西作一番认真调查,则还有,象土地那样保持自然原状的东西,用铁之类的金属或木材等加工制作的東西,象电、燃料那种利用自然的水力资源、煤及石油等的东西,以及象面粉那样,对利用土地种出来的小麦加工而成的东西等等。与作为场所的自然(土地)相对,象机械、动力、原料这样一些将自然物质加工而成的本钱称为“生产手段”。进行物质资料的生产需要劳动与自然,也就是需要劳动、土地和生产手段(资本)这三者。

把劳动、土地和生产手段(资本)这三者叫做生产的三要素。只有这三种要素凑齐才能生产物质资料。无论缺了其中的哪一个要素,都不能进行物质资料的生产。进而,通过适当改变这三要素的组合,就能生产出我们所需要的各种东西。因此,所谓生产结构的发展,结果就是发现生产要素的新组合,而使生产效率提高,生产出新的物质财富。

实用会话(10)

租房子

A:对不起,我想租房子。

B:你要什么样的房子?

A:因为是两个人住,所以房子小没事,想要分别隔开的房子。

B:这套公寓怎么样? 有一间 9.9m^2 的房间,一间 7.4m^2 的房间,有阳台,还有浴室。

A:房租是多少?

B:房租是一个月 5 万日元,另外,需要一个月的礼金和押金。

A:真贵啊! 我想房租最多 3 万日元左右。

B:三万日元的话,说不定是不怎么好的房子。我找找看。

A:拜托了! 不带浴室的也行。

第 30 课

具体化以前

汤川秀树

一位科学家作出了划时代的发现时,或者基本上是从新的设想出发提倡了某种学说时,毫无疑问,我们会给这位学者以很高的评价。一句话,根据科学家的业绩对其进行评价,这确实是十分公正的态度。不论那位学者如何呕心沥血,如果没有独创性的业绩,在大多数情况下,我们就得不到承认他们的价值的正当理由吧。肯定是这样的,但同时这也是外表观察、稍有距离地观察时的评价。

但是,我们并不了解除自己以外的大多数学者花了什么样的心血,为什么花心血。我们只是对自己身边的少数学者,或是当远方的学者取得了重大成果时,才会对他们的艰苦有所了解,抱着关心的态度。一个人的能力是极其有限的,如果对除自己以外的许多人的艰苦一一关心,自身也就难保了,事实确实如此。

但是,尽管如此,我最近越来越强烈地感到不能只是从外表观察或是拉开一点距离对一个人进行评价,开始意识到必须更重视别人为什么而努力,在什么方面花心血。能得到天仙青睐的幸运儿是微乎其微的,更多的人是一辈子也碰不上一次这样的好运。然而这些人生并不一定因此就毫无意义。即使别人不知道,而他本身也许在就某项工作坚韧不拔地煞费苦心,或许这个“某项”是很重要的,或许这个“怎样地”煞费苦心是很重要的。

绘画的人动笔前一定在心中构思了一个形象,雕刻家面对素材脑子里肯定浮现了一个尚未形成作品的理想的形态。科学家的研究在大体完成之前或是在写成一篇论文之前,要经历多长时间创作的艰苦呢?终于绘不成图,雕不

成形,论文不能发表,这样的情况该有多少呢?旁观的人是不会明白的。也就是说,这是具体化以前的世界,是具有一定明确形态的物体从朦胧中产生出来以前的世界,是正要诞生的世界。对于他本身来说,对于抱着深切的关心希望了解他的世界的人来说,这并不是一个没有意义的世界。

人的心里藏着形成具体形象以前的世界,并且要从中得出某种具体化的形象来。科学和艺术都是这种努力的表现,也就是使朦胧的意识形象化的努力。从这里不是至少可以找到人生的一个意义吗?

实用会话(11)

预定旅馆

A:喂,我想预订房间。

B:您希望要什么样的房间?

A:想要单间。

B:那么,给您准备十楼朝南的房间。

A:太好了!房钱是多少?

B:一晚 8000 日元,怎么样?

A:可以!

B:您住几晚?

A:预计是三晚,根据情况说不定住四晚。

B:好的。对不起!您贵姓?……

A:我姓王。

B:好的,明白了!请等等。

A:谢谢!那么,再见!

第 31 课

向 导

寺田寅彦

萌发了想去什么地方旅游的念头,但是没有什么特定的目标。这时如果翻开旅行指南之类的书看看,就发现象海滨、山间湖泊、温泉这样值得一游的地方多得很。于是先假设翻到了温泉,而把温泉部分详细地看下去便可大致了解各温泉的水质、疗效、周围的名胜古迹等。但是如果再详细地了解具体情况,于是便找来专门的温泉导游手册看看,这样开始有了一个模糊、大概的估计,但即便怎样认真地看了写得详细的导游手册,结果如果不亲自去看还是无从知道真实情况。假设知道真实情况,那么可以说在家里光看手册就行了,没有特意去看的必要了。接着即使为了慎重起见而打听各种人的意见,可

别人说的也因人而异而大相径庭，倒不知道相信谁的话权威了。多方询问之后，最终还是同马马虎虎地以抛骰子的方法来确定一样，只有根据偶然的机缘随便决定个目的地。

这种方法被认为是墨守成规的正统方法。这种方法对于大多数人来说是最安全的方法，这样做很少担心有大的失望和产生出人意料的计划错误。也就不担心不留神而漏看了主要的名胜古迹。

但是并不是除此之外别无他法。例如想去旅游的同时，一开始就可以用丢骰子的办法来决定目的地。或是根据偶尔读到的诗歌、小说中某个受感动的地点来决定目的地。这样根本不看导游手册就跑出门去。然后用自己的脚、眼睛自由自在地信步游玩。这种方法容易产生种种失策和困难。另外往往容易发生即使从所谓的名胜古迹跟前经过也因不知道而漏看的情况。这是危险很多的与众不同的方法。也是很难随便向一般人推荐的方法。

但是前面提到的安全方法也有缺点。看过的导游手册和从别人那里听来的意见总在头脑中形成先入之见而蒙蔽自己的耳目。因此，好不容易外出的人好象自己被塞进行李包中一样。结果有可能就象是写导游手册的人或是介绍情况的人在泡温泉、参观、享乐一样。当然这不是导游手册和教你的人的过错。

但是觉得那也无所谓的大有人在。这种人当然就可以这样办了。

但是也有人认为那样的话，就失去了特意出来玩的意义了。有人说尽管多费周折，也得亲眼去看看，亲自去走走，去体味所见的景色、亲自走过的大地与自己完全接触时产生的深刻感觉，否则就枉此一行了。这种人无意中无视导游手册和别人的意见，或有意想回避这些。这是因为担心为换回方便和安全而失去自我，这种与众不同的人往往容易漏看一般人都看的景点，但是他们有机会发现任何旅行手册中都没有记载的景物。

实用会话(12)

预定机票

A:对不起！我想预定飞往大阪的机票。

B:什么时候的？

A:明天下午的，有吗？

B:很抱歉！满员了。上午的怎么样？

A:好的，就预定上午的吧。

B:要几张呢？

A:只要一张。

B:要头等舱还是经济舱呢？

A:要经济舱，什么时候起飞？

B:上午九点半起飞，两个小时以前到达机场的话，就没事。

A:有直开机场的公共汽车吗？

B:有。上午六点半，公共汽车从银座开出。

A: 谢谢!

第 32 课

年轻时代

说到书有趣味,我以为有两个方面。

其一是书引导我们的灵魂脱离现实世界到另一个境界去。其二是,而且可以把另一境界的体会应用到自己身上。书的乐趣就是这两个方面。

例如,心理学方面的书在我的思春期使我理解了这两个方面。

我说话口吃,而且很不擅于与朋友相处,尤其是在异性面前,几乎说不出话来。有时只是想,那是个多好的人啊!一想到与人说话可不能口吃,就一句话也说不出来了。甚至觉得与家里人也完全不能沟通思想。

那时,我弄到了一本心理学方面的书,是美国的威廉·詹姆斯写的古典的《心理学》。开始以为很难,尽讲大道理,其实不然。书中有许多我自己也有同感的生动的体会。而且每一处都是我以前所不知道的见解。

在父亲的学问的影响下,我已经知道,有些学问试图在人类社会活动和政治、经济方式中寻找规则。但是,根据每个人的谋生的微妙之处去研究人们的心理活动,仍然有办法使之条理分明。我了解到这一点时大吃一惊。

读着那本书,我忘却了不快。一切优秀的书籍都有这种作用,特别是优秀的文学作品,这种作用就更加明显。

一旦读起来,就渐渐被书中的境界所吸引,把自己生活中的日常烦事很快忘掉。说读书有趣的人就是知道这种渐渐被书中的境界所吸引的乐趣的人。相反,在没有懂得这种乐趣的时候,读书当然就是烦人的事了。虽然在哗啦啦地翻着书页看,但到底还是心不在焉。时而想着肚子饿了,吃碗拉面吧,或是想着去把那件毛衣买来等等。于是就把没看完的书扔下了。

不过,书的乐趣决不是这样说得完的。如果在书的境界中一面玩味一面生活,再回到现实生活中来,不知不觉就会有某种变化。自己变了,看待事物的眼光变了。

我多次反复读过《心理学》后,便觉得心情在不知不觉中轻松愉快起来。

以前总以为自己令人讨厌,现在能够抛开那些顾虑来看了,心情开朗了。就象汗流浹背的身体在淋浴中洗过而心情爽快一样,由于书的作用,闷闷不乐的心情一扫而光了。清楚地了解到自己的缺点到底在哪里。并能冷静地思考怎样向自己的缺点挑战了。

实用会话(13):

找公寓

A: 对不起! 我想找套公寓。

B: 好的! 是李先生啊! 刚刚不动产商来过电话。请这边走!

A:真是个安静的处所啊!附近有超级商场吗?
B:有!您看!那房子就是超级市场。
A:买东西方便呢!澡堂在哪边?
B:在那边。走路去五分钟左右。
A:能自己做饭菜吗?
B:当然可以。带有厨房的。
A:我很中意这套公寓。从今以后,请多多关照!
B:哪里!我才要您多关照呢。

第 33 课

访欧姆的诞生地

去年秋天,我为公司办事出差到欧洲时,顺便到了西德的西门子公司。西门子公司现在是欧洲最大的电机制造厂,它的销售额在世界十佳之中名列前茅。而这家公司的技术总部设在一个叫埃朗根的镇上。该镇位于法兰克福城东南约 200 公里的地方。

这是一个设有大学的,幽静的乡下城镇。和西门子的技术人员讨论了各种问题之后,我偶然听说,欧姆博士的诞生地就是这个镇子。据说在镇子的一角立有一块纪念碑。既然是位搞电的,每天都得到欧姆定律的帮助,当然就不能过门而不入。按日本的习惯来说,大概就是参拜老祖,祈求保佑工作的顺利和平安。

无论如何,我一定得去参拜。发现欧姆定律的乔治西蒙·欧姆博士是出生在这个埃朗镇的德国人。他出生于 1787 年,是住在这个镇上的一个锁匠的儿子。据说因家境贫困,他大学没读完,中途退了学,后来是自学取得学位的。他曾辗转各地,教过数学和物理,也在埃朗根的大学里任过教。1826 年,在他 39 岁的时候,发表了欧姆定律,但没有得到承认,仍过着贫困的生活。据说到了晚年,才得到英国学会的承认,以后,被聘任为慕尼黑大学的教授。欧姆博士 1854 年逝世,终年 67 岁。电阻单位欧姆 Ω 当然是因这位博士而命名的。

我想“欧姆公司”这个名字,也是与他缘分不浅的吧。

欧姆博士现在成了埃朗根诞生的英雄。他的纪念碑坐落在这个城镇公园的一角。当时已是深秋时节,公园红叶环抱,寂静无声。欧姆博士的纪念碑在柔和的秋阳照射下,悄然而立。

纪念碑是浅褐色的别致的石砌建筑。旁边有喷水池,把硬币投入台座,便会喷水数分钟。

假如欧姆博士听说,以电为业的日本人从东方岛国万里迢迢前来参拜,他将会表现出什么样的神情呢?我一面这样想着,一边玩味着欧洲秋天的情趣,感慨万分。

实用会话(14):
找工作的面试

A:对不起,这儿是事务所吗?

B:是的,这是事务所。你有什么事?

A:其实,我是前些日子打电话联系的小李。

B:哦,是吗?你特意来了,请坐!

A:谢谢!

B:可是,小李,你能读写日语吗?

A:能。大致会些,但不太好。

B:得,会点儿就行。这样吧,小李,明天九点来上班吧。

A:嗯,我想没问题。

B:那么,明天等你哦!

A:好的,一定准时来。今天在你百忙之中打扰,谢谢了!我先告辞。

第 34 课

登山三分法

浦松佐美太郎

年轻人来商谈登山的问题时,我总是讲“登山三分法”给他们听。登山以外的运动中,十分强调要竭尽全力。无论是田径比赛、游泳比赛,还是足球赛,在比赛中都要竭尽全力。我们在电视中看此类比赛时,常听解说员说运动员未尽全力,而加以批评。

在这一点上,登山好象和其他运动大相径庭。我所说的“登山三分法”是指制订登山计划,要做到上山时用三分之一的气力,下山时用三分之一的气力,平安下山后还剩下三分之一的气力。有人一听这话,马上就提出反驳:留下三分之一的气力不很可惜吗?若是还有那么多余力,不是还可能攀登更险峻的山峰吗?这种议论就是说,登山和其他运动一样,不遗余力地一搏不是更令人愉快吗?

这种议论似乎有一些道理,但在根本上就出了差错。这是怎么回事呢?首先,在进行田径、游泳或是足球赛时,即使运动员在终点倒了下去,或是在中途发生了事故,医务组都会马上来护理。运动员也就能无后顾之忧地尽力比赛了。因此,不尽全力的运动员也就会遭到指责。

然而,登山是怎样的情形呢?既不会有医务组随队而行,即使有医生同行,也无处收容伤病员,更不可能有救护车鸣笛赶来。

除此之外,登山还伴有更加恶劣的条件,这就是气候的急剧变化。其他运动不会在暴风雨或暴风雪中进行比赛。登山也一样,当天气预报预告有暴风雨或暴风雪时,也不会有人因已制定了计划而故意在暴风雨中进行登山。但

是,即使根据天气预报估计没有什么问题,而山中的气象因地形的缘故也会常常发生局部的急剧变化。而且往往山下阳光灿烂,而山里却是风雨交加。

人们不能因为受到了暴风雨的袭击而在山里停止登山。只有在哪里找个安全之地,下去躲避。这就很不容易了。这会有比晴天多几倍的艰辛,而且必须具有足够的体力,带有足够的衣物和食粮等。没有这些准备,结果会很惨。首先必须懂得,如果登山已经开始到平安下山归来,始终没有人助你一臂之力。所以,登山必须经常留三分之一的余力。这就是“登山三分法”。

在山里遇难的事,夏天也好,冬天也好,每年均有发生。细加分析,就会查明其原因十有八九是因为登山时没有留有我所说的三分之一的余力。

这一点也适用于人生之路吧。我想人生恰似登山,对每个人来说,都是前途未卜的。在登山方面也已出售了无数指南书,但无论怎样查阅,对第一次攀登的山也是未知的。若对此没有思想准备和物资准备,登山就会以悲惨结局告终。

如果心里想着登山遇险时,救护队会来援救,这就等于已经失去了登山的资格。我想人生也是如此。不行的话,可以依赖亲人、朋友,这种想法是不正常的。人生如同登山,从制订计划起,就必须考虑留有余力以备紧急之时所需。

尤其是计划并开始进行某项工作时,不能不管三七二十一,而要准备好三分之一的余力,这不就是至关重要的事吗。我常想:可能没有比人生遭难更惨的事了。

实用会话(15):

早晚的寒暄

A:由美,到上课时间了!

B:好的,我去拿书包。

A:没忘东西吧?

B:没有,好了,我走啦!

A:小心点儿走。

.....

C:我也马上走吧。

A:是啊,因为路上很拥挤,早点儿出去好些吧。

C:那么,我走了。

A:好的,你好走。

.....

B:我回来了!

A:你回来了!

B:妈妈,还没有吃饭?

A:已经做好了,可是你爸爸还没有回来呢。

B:爸爸总是回得晚,先吃吧。

.....

C:我回来了!

A:你回来了!今天回得真晚啊!

C:嗯,和朋友去喝了两口。

A:洗澡水已经准备好了。

C:不,先给我一杯茶。由美呢?

A:现在正在做作业。

B:我全部做完作业啦!

A:那好,早点睡觉吧,明天要起早床呢。

B:好的,晚安!

A·B:晚安!

第 35 课

提抗议的义务

有一位朋友说过:“日本人怎么也不懂得提抗议的义务,实在不好办”。这是说,出现了某种不正当的行为时,对它提出抗议,不是权利而是义务。这是一句很有意思的话。

例如,乘电车时乘客们列着长队在等候。电车终于来了,大家依次上车。这时,常有人插队上车。在这种时候即使有个把人在自己面前插进来,往往也只是露出一一点不快的神色,就一声不响地默许了。

在这样的情况下,应该提出抗议说:“不准插队!”,应当明白随随便便默许别人插队是一种道德上的犯罪,如果认为对个把人插队唠叨不休多少有点儿粗俗的话,那是十分错误的,这不是什么粗俗的问题,实际上这是一种非常自私的想法无意识地潜藏在他心底。

之所以这样说,是因为即使有什么人插队也能默然视之,这只限于他自己肯定也能跟着插队的人上车的场合。如果由于那个人上了车自己就上不了车的话,恐怕一定会要提出抗议的。迷迷糊糊地默认别人插队是因为不会损害到自己,但是,因此也许就会有人被丢下,于是那个人就得等很长时间直至下一部电车来。

所以,在这种场合,与其说提抗议是一种权利还不如说是一种义务,是对那位老老实实遵守公共道德,排在队伍最后面的陌生朋友应尽的义务。的确有时候会有点不好意思提,不过,这么一点事儿是应当毅然承担的义务。

对于插队这种明显的坏事自不用说,就是不很明显时,自认为是正确的抗议,也可以坦然地提出。假如对方有理由或者有什么情况,自然会给你回答。他的答复如果你认为正当,那你收回自己的抗议就是了。这都是极其合情合理的。

但是,这种理所当然的事情却很难做到,这是因为对日常生活中所有问

题都用自己的头脑去思考的人不太多的缘故。你说合情他就称是,你说合理他就认可。也就是说,当然的事就认为理所当然,这本是人类经过长期训练后形成的思维方法。

合理的就接受,不合理的话就提出抗议,这是同一大脑作用的两个方面。因此,不提抗议的人是不能真正理解真理的人。

实用会话(16):

点 菜

A:欢迎光临!有几位?

B:两个人。

A:请那边走!您需要什么?

B:对不起!请把菜单给我看看。

A:好的,请!……您订好了吗?

B:嗯,给我两份A等套餐。

A:好的,饮料呢?

B:来三瓶生啤酒。

A:好的,我明白了。请您稍候。

第 36 课

化学与生活

迄今为止有关物质理论的惊人发展,促成日用化学工业的发达,从而与我们的日常生活密切地结合起来。使这种结合密切起来的表现之一是,天然存在的物质已能够人工合成了。这样一来,过去是从茜草和木兰中提取的贵重染料茜素和靛兰已能廉价地人工合成,青霉素之类的药品和谷氨酸钠之类的调味品也能够人工合成了。

到了化学应用更进一步发展的阶段,就已经能制造出自然界所没有的新物质,并应用到生活中去了。例如,尼龙的化学结构和性质都很象丝绸,可以说是人造的丝绸。同样,氯丁橡胶是一种人造橡胶,它在组成上与天然橡胶仅仅稍有不同。这类物质,在许多方面大都比天然存在的物质具有更好的性能。

在化学应用于生活的第三阶段,合成物质已不再是天然物质的单纯仿制品了,而是制造出全新物质并在我们的生活中加以应用。例如,聚乙烯和维尼纶,无机化合物中则有半导体等,都是重新创造出自然界不存在的东西使之服务于我们的生活的例子。但是,另一方面,随着化学工业的发展,防止化学物质对大气、水、土壤等造成的污染,也成了当今的重要课题。

化学与人类生活的结合,在基础理论方面也密切起来了。因为随着分子结构和反应机理的研究手段的进步,主宰生命现象的蛋白质和核酸分子的结构已揭示清楚了。通过科学家的研究弄清了支配生物遗传的DNA的结构,

据此,提供了一个与分子的结构和反应联系起来说明遗传机理的线索。通过这些科学活动,生命现象定将在原子与分子的水平上逐渐解释清楚。

进而,随着研究宇宙的手段的进步,科学家搞清物质结构之后,人类将会打开宇宙的神秘大门。

第 37 课

蜜蜂的舞蹈(上)

冯·弗列希是一位动物学家。他首先发现蜜蜂彼此之间是怎样“谈话”的。让我们以重复实验的办法来回顾一下那个出色的实验的过程吧。

弗列希首先把一个盛有蜜汁或糖水的盘子放到了室外。有一次,一只蜜蜂发现了它,采了蜜飞去,不久就有无数只蜜蜂聚集到放蜜糖的地方。经过非常仔细地观察发现,这些蜜蜂与开头来的侦察蜜蜂来自同一个蜂箱。从这一观察能想到什么问题呢?

看来这一定是蜜蜂之间用某种方法进行了交谈,互相告知那里有蜜。为了证实这一假说,先得做一个实验。这就是:做一只镶有玻璃的蜂箱,来监视侦察蜜蜂,看它刚回到蜂巢时有什么举动。另一方面,在盛着蜜的盘子旁边安排另一个人,由他用油漆给开头来采蜜的蜜蜂做个记号。隔着玻璃看去,看到了什么呢?

侦察蜜蜂一回来,先把蜜分给伙伴们,然后就开始跳起有趣的舞。这是个圆舞,先向右转,再向左转,然后再向右转(见图 5)。这个舞持续 30 秒钟,或更长些时间。蜜越甜,持续的时间就越长。周围的蜜蜂便跳起同样的舞,然后接二连三的飞起,飞达目的地。根据这一观察,能说明什么问题呢?谁都知道,这个舞蹈便是通知有蜜的信号。

然后,在蜂箱的四周都放上蜜。一只蜜蜂发现它飞回去后不久,四只盘子上就聚集了数目大致相等的蜜蜂。从这一结果来看,这种圆舞好象只是一个告知蜜在附近的信号,丝毫也没有说明蜜的方向。

下面所进行的实验,是把蜜放在距离蜂箱一百米以外的地方。发现了蜜的侦察蜜蜂回到蜂箱后,这回舞蹈的样子完全变了,是跳的 8 字形舞。首先左右摆动着腹部,朝着一个固定的直线方向前进,然后按顺时针方向绕一圈,再摆动腹部沿先前的路线前进,接着是转向反时针方向(见图 5)。同伴们也模仿着跳起同样的舞,然后清楚地知道了在某个方向的某一距离上有蜜,就起身飞去。这样,我们就有了一个新的发现。让我们看着这个 8 字形的舞蹈图,想一想侦察蜜蜂的伙伴们是怎样知道蜜所在的方向的。

第 38 课

蜜蜂的舞蹈(下)

看起来蜜蜂的 8 字形舞一定是告诉了蜜的所在方向和距离。再耐心地继续观察下去,首先就发现离蜜的远近与舞蹈的速度有关,如果蜜距蜂箱 100 米,舞一圈需 1.5 秒;如相距 6000 米,则需 7.5 秒。其次是方向问题。侦察蜜蜂落到蜂箱前的地上,在水平面上跳 8 字形舞的时候,舞蹈的直线部分与蜜所在的方向一致。但是,蜂箱的框板是垂直立着的,通常是在垂直面上跳舞。那么,用垂直面上的舞蹈怎么有表示出蜜所在的方向呢?

原来蜜蜂巧妙地解决了这个复杂的关系问题。蜜蜂是以太阳的方位与蜂箱的连线为基准的,是把太阳的方位与蜜的方向间的关系(角度)转换为垂直框板上铅垂线与 8 字形舞的直线部分之间的关系,而跳摆腹舞的。如果蜜的所在地与太阳方向一致,则 8 字形的直线部分朝上,摆腹前进;而如果与太阳的方向相反,则直线部分朝下,摆腹前进。朝正左方望着太阳飞去,能到达蜜所在的地方时,8 字形的直线部分对准时钟字盘上的 9 点方向,朝正右方看着太阳飞去时,直线部分对准 3 点方向,这样来跳 8 字形舞的(见图 6)。飞到距离 200 米的花蜜处的蜜蜂,竟集中在以花蜜为中心的 3° 角内。从这一点可以看出,这个舞蹈多么准确地表示出蜜的方向。

然后,还要搞清一个更加困难的问题。这个问题就是:进了蜂箱的蜜蜂只有从出入口的小缝中看到很小一片蓝天,按说是不能直接看到太阳的,可为什么能知道太阳的方位呢?如果正当侦察蜜蜂跳舞时,厚云遮住了蓝天,或人为地把出入口挡住,使蜜蜂看不见蓝天,这时蜜蜂跳的舞出现紊乱,8 字形的直线方向发生偏移,蜜蜂飞出去的方向也就不准了。这肯定是从蜂箱的出入口看到的蓝天把太阳位置告诉了蜜蜂。做个实验,用偏光板遮住出入口,使太阳光的振动方向偏移,结果发现,光线偏移多远,8 字形舞蹈的直线方向就正好偏移多少。根据这一现象,就可以作出这样的推测了:蜜蜂可能和人不一样,可以看到偏光,即使只看到蓝天的一小部分,也可以从整个天空的偏光分布来确定太阳的位置。

第 39 课

读下面的文章,回答后面的问题。

在名古屋的明治村举行建村纪念式时,送来了一本漱石的《我是猫》的初版缩印本一类的书。按照惯例总是送些包袱皮儿什么的,送书可真是一个想得周到的主意,使我感到钦佩。《我是猫》我已经读过十来遍了,但是书一到手

又情不自禁地选读若干章节。读起来仍然觉得兴味盎然。这本书似乎是凭着兴之所至随意写出来的。但仔细读来却是颇具匠心，写得仔细认真。现在流行的那种粗制滥造在明治时代大概不曾有过吧。不仅是漱石，看看露伴、红叶和镜花的作品，他们对自己的文章确实也都是谨慎处理的。这点暂且不说，送来明治村的《我是猫》中，配上中村不折的彩印插图，这些画又真是兴味无穷。我最早读到的《我是猫》无疑是初版本或再版本，里面虽也载有不折的绘画，但在当时我并不觉得怎么样。现在看一看，真是精彩的插画。对不折的油画我并没有佩服过，但这些插图有着令人轻松舒展的俳画风韵，《我是猫》中的人物都栩栩如生。如果是现代画家承担《我是猫》的插图工作，能不能画出这样的画来？而且，桥口五叶的装帧又十分地讲究。漱石总是出些装帧很美的书，从处女作《我是猫》开始就是成功的，不能不说他是一位幸运的作者。文章、插图和装帧协调一致的好书并不多见，可是，这些少见的例子明治时代反比现代要多，究竟是什么原因呢？至少在那个时代，对于出书任何人都很认真谨慎，这一点无容争论的。

第 40 课

生物学与读书

即使同为生物学方面的书籍，其中也有种种类别。从单是密密麻麻地搜集了一大堆现象和事实的书籍到主要阐述系统性的理论结构的书籍，种类繁多。但是，虽说是现象和事实，往往它们本身就包括了解释，（由此得以记载），所以，不一定能够在生物学方面的书籍的各个种类之间划出严格的界线来。

因此，在各种书籍中明确地划分构成其内容的事实和理论也是困难的。但并非不能作大致的区别。拉马克的《动物哲学》也好，达尔文的《物种起源》也好，都能够划分出有关生物的分类和遗传的各个事实和进化论体系中的逻辑展开两部分。

不用说，各种学说都是根据成为其学说基础的事实建立起来的。因此，如基础事实不可靠，学说也就不稳妥。这是理所当然的。但从另一方面来看，所谓学说（理想），与自然所给予的本来事实稍有区别，是各个学者创造出来的创造物。各个学说当中表现了各自不同的独特的思维方式，在理论展开的准确性方面也存在种种差异。而且它又作为一种被赋予了人类生命的创造物，也反映了时代、社会 and 个人的阶级立场。

正因为如此，学说是宝贵的。同时，正因为如此，学说又被人们轻视，被看作是危险的。可是，单凭事实的堆砌是不能自然地本能地创造出正确的学说的。而且由于学者们创立正确的学说的努力，科学就取得了本质的进步。

第 41 课

封闭的语言

一位 40 岁的小学老师 A 有妻子和一个男孩,还有一个尚在读大学的弟弟。另外,作为他的近亲有分开居住的父亲和哥哥。

若要说这位老师有几种称呼自己的说法,至少有 7 种之多。这就是,在自己的孩子面前自称“おとうさん”,在弟弟面前自称“にいさん”,与妻子说话时自称“おれ”,在父亲面前要说“ぼく”,在哥面前也这样说。在面对邻居的孩子时自称“おじさん”,在学校给学生教课时自称“先生”,在同事面前说“ぼく”,在校长面前要说“私”。

他在判断说话的对方是谁,在自己面前具有怎样的地位、资格的基础上,选择出在此场合下最合适的词语。即对方的特征从在语言方面把握自身的角度上直接反映出来。可以说,存在一种模式:“自己是怎样一个人”这个问题要依赖“对方是谁”。值得特别指出的是,这种语言方面的自我把握的相对性至少在西欧各国的语言中完全不存在。

在英、德、法之类的欧洲语言中,说话人在语言方面表现自己的角度原则上固定不变的,作为用词,只用第一人称代词。我把这一类型的自我把握称为绝对的我表达,与日本式的相对的我表达区别开来。

那么,可以认为,这种依赖对方的自我规范,意味着把自己看待自身的视点转移到别人的立场上。为了人家能把自己作为“おとうさん”把握,就有必要从自己的孩子的视点来看待自己。另外,某人为能自称为老师,就必须站在学生的立场上来重新看自己。

可以说,相对性的自我表达的语言习惯,就这样必然与心理类型——从对方的立场出发的自己规范、介于别人的自我同一性的确立——联系在一起。这也可称为自己与对方的立场的同一化。因为要使自己是一个具体的自己,就需要有对方,需要通过这一对方的验证。

第 42 课

翻译文化与诗歌语言

我国明治以后的文化是翻译文化。虽然为吸收西欧文物并进行消化付出了极大的努力,但翻译是怎么回事这一问题直到最近几乎没有被人提及,这是很有趣的事实。

首先,就说翻译,也并不是所有的东西都能翻译的,这一事实往往被人们忘得一干二净。在象欧洲语言和日本语言这样的语言性质有显著差别的两国

语言间,能够翻译的部分比一般所想象的要小得多。

其中最便于翻译的是允许解释的思想内容、逻辑和事实等。虽然不一定能说是妥当的想法,假如把语言分为内容和形式两个方面,那么,翻译不外乎是舍去形式而传达内容的一种工作。既然翻译本身已经处于这种前提之下,那么在翻译文化中重视内容就是理所当然的了。形式和形式方面的说法往往是只用于否定意义下的词语。

一说欧洲文化优秀,就会认定包含在欧洲语言中的思想也是优秀的。至于它采取什么样的表达形式则不被当作问题。不仅以思想内容为中心的书籍如此,在文艺作品中也存在思想内容最受到重视的固定倾向。在文学作品中,即使思想重要,那也不是未曾加工的思想,而是披上了表达的服装的思想,就算在道理上明白这一点,要把这种服装译出来也是不可能的。另外,在翻译文化的草创期,要领会到表达上的微妙风韵是难以期望的。

首先,我们只以满足于在肤浅的翻译中所获得的理解,这就是思想内容。而且这种思想最受重视。就连艺术作品,思想也是最优先的,即使是优秀的艺术作品,往往也会被以思想内容不明确为理由而受到排斥。

只要有思想内容就是好的作品,这种想法是横蛮无理的,这类似于说无论做出怎样糟糕的菜,如果材料中有营养,就该吃得可口。无论多么好吃的材料,如果烹调方法差就成不了一份好菜,在被翻译文化所淹没的时代,人们不是就连这种简单的道理也不懂了吗?

尽管如此,我们在前面暂且认为只有思想好歹是能够移植的。但思想果真是能翻译的吗?思想往往与表现它的语言关系十分紧密而不可分割。抛弃了语言形式,不是就连仅仅把思想内容准确地译出来也是困难的吗?这可以联想到,在我国,几乎没有人进行所谓翻译——抛开原作的语言形式而转达意义的转换方式的翻译。

例如,为理解从中国大陆传来的文化,不是依赖翻译,而是想出了理解原文并读出来的训读法。这可以说是理解这两种词序显著不同的语言的极其高明的方法吧。不用说训点读法大大歪曲了原来语言的形式和发音。但还是保留了原来语言的一部分,并不是完全置形式于不顾。可以说,正因为如此,这种方法优于翻译。

课外读物译文

第1课

一、那是书

这是什么?那是书。那是什么?这是钢笔。那是什么?那是笔记本。

这是杂志吗？是的，那是杂志。这本杂志是什么杂志？那是数学（方面的）杂志。那是报纸吗？是的，那是报纸，是日语报纸。

这是什么花？那是樱花。桃花美丽吗？是的，美丽。哪个是桃花呢？那个是桃花。

这儿是哪里？这儿是大学。这所大学大吗？是的，大。中学在哪儿？中学在那边。

你是小李吗？对，我姓李。小李是老师吗？不，我是学生。那位是老师？

他是谁？哪个人？那个男的。那人是小张。哪位是田中？那位妇女（是田中）。

二、这里是哪儿？

这里是哪儿？这里是教室。教室有什么？有桌子。桌子上有什么？有钢笔。你的钢笔是哪支？是这支。这是你的书吗？对，那是我的。

图书馆在哪边？图书馆在那边。图书馆里有许多书吗？是的，有许多（书）。有日语杂志吗？是的，有。

实验室在哪里？实验室在科研楼。实验室里有人吗？有。有谁？小李。

第 2 课

一、我的家庭

我家在工厂附近，家里有四口人。父亲原来是这个工厂的工程师，现在是大学的老师。母亲是护士。姐姐是邮局的职工，我是大学生。我们真幸福。

但是过去不是这样。那时候，祖父是工人，全家有八口人，家里非常穷。

二、我是大学生

我们的大学在公园附近。（它）很大。约有一万名学生。

校园（很）漂亮，有许多高大的建筑物。

校园正中央有个九层楼的图书馆。图书馆的东边有教学楼，西边有科研楼。科研楼里有许多实验室。礼堂在图书馆的南边，宿舍在北边。

我每天早晨六点起床。然后在操场进行体育锻炼。接下来，听新闻广播。八点钟到教室去。有时候在实验室做实验。晚上，一般是在图书馆学习。星期天休息。

第 3 课

一、小李的大学生活

小李是 A 大学电子工程系的一年级学生。高考时的第一志愿是 B 大

学，A 大学是第二志愿。A 大学虽不是名牌大学，但是它的电子工程系是有名的。因此，小李很高兴。

小李很用功，头脑也好。他每天早晨六点钟起床，做广播体操或者慢跑。然后，马上开始练习日语朗读。他多次反复朗读同一个地方。现在，小李的日语成绩是全班第一。简单的会话，已经可以用日语来讲了。

上午，小李去上数学、物理等课，下午一般在图书馆度过。学习很累，但很有趣。

小李对音乐有兴趣，现在是大学管弦乐队的队员，晚饭前一个小时忙于乐队的练习。

晚饭后，在明亮的宿舍房间里作习题，也念书。大家都很努力。

星期六的晚上，经常去参加音乐会。星期天，洗洗衣服或者买买东西。

小李的生活非常充实。

二、在工业展览会的某展览馆

小王，这是泵，是本地泵厂的产品。那是电视机，同样是本地工厂的产品。那些电子计算机、自动车床和照相机也都是本地的产品。那台变压器是街道工厂的产品，不是大工厂的产品。街道工厂的产品也很出色。要是街道工厂的产品的话，那边还有很多。这些产品都设计新颖，质量也好。

过去，这里的工业产品非常贫乏。现在，这里的工业发展情况非常好。好了，到下一个展厅去……

第 4 课

故 乡

我的故乡在小海港城市 A 城的附近，虽不是一个大的村庄，但风景很好。村子后面是山，春天，山上开着桃花、樱花，以后不久，整个山就都成了绿色。

夏天虽热，但经常刮海风，因而还比较凉快。从这个村子到海边约有一公里远。村里的孩子们经常到海边去，在那里游泳，这是孩子们的一个乐趣。

秋天，山麓的桔子树上长满了大桔子。我的故乡本是稻米的产地，而现在是茶叶的产地，也是桔子的产地。这里茶叶和桔子的产量，可能是全国第一吧。

冬天，山上下雪，接着迎来了新年。庄户人家用桔子和鲜美的鱼来招待朋友。

最近，村里有了小型发电站。庄稼活儿自不用说，力气活儿都用电。家庭生活也常用电。因此，村里人的脸上心里，都非常开朗快活。

第 5 课

沙漠地里也不在乎的骆驼

骆驼脚掌很大,而且很柔软。恰像个座垫,不必担心会埋在沙子里。

加之,骆驼可以一次喝许多水,背上的驼峰脂肪又多。在长途的旅行中,它一点一点地使用这些水和脂肪。

在沙漠里,时常有很厉害的沙暴。不过,骆驼的鼻孔可以闭起来,而且睫毛也非常长。对于一点点沙暴,它是不在乎的。

因此,骆驼处在严酷的沙漠环境中也可以生存。还可以长时间地运送沉重的货物。

这样,骆驼的身体很好地适应着沙漠的环境。

第 6 课

海市蜃楼

热空气和冷空气产生对流,这就是空气的一般情况。但是,如果下面的空气冷上面的空气暖的话,对流就难以产生出来。这时,如果没有风,空气的热层和冷层就清清楚楚地分成两个层,因而在这两个层之间形成一个界面。

这种界面起镜子的作用。所以,有时远处的景物就倒映在跟前,这就是海市蜃楼。

第 7 课

一、动物的夏季对策

就象一到夏天人就到凉爽的海滨,山地去旅行一样,鸟类、鱼类之中也有许多是一到夏天就要转移的。

鸟迁徙到气候为自己所爱的地方去,鱼也和伙伴们一起为寻求喜欢的水温而回游。

狗、猫等毛多的动物自然地脱毛。热天,狗为了降低体温而把舌头吐出来。

骆驼耐热,即使体温上升到 40 度时,它也不在乎。要比这还热之时,它才出汗。

此外还有例子。这些就是动物的夏季对策。

二、南极是怎样的地方

南风是温暖的风。

南风是从南方国家吹来的风。

所以,南方国家就该暖和的啦。

但是,走到南方国家的再南面,最后就到了南极。

南极是比任何地方都冷的地方,是大片的冰的大地。

在南极,半年是白天,半年是黑夜。

南极真是个有趣的地方啊。

第 8 课

一、交流和直流

从干电池取得的电是直流电,从家用插座或变压器取得的电是交流电。

在直流电中电子在导线中是向一个方向移动。交流电则是电子在下一个瞬间向相反方向移动,这种移动每秒要反复 50 次或 60 次。假如我们的眼睛能赶上这一速度的话,那么就连电灯泡光线的闪动也能看见了。

使用交流电时如果使线圈和线圈相接近,一个线圈有电流通过,则另一线圈就发生电流。这时有这样一种方便:根据线圈匝数的多少,既可以自由地得到高压电,又可以自由地得到低压电。利用这一作用,就能制造出变压器。

要使交流电变为直流电,使用真空管或硒整流管或二极管等取得一个方向的电流就行了。

二、电的种类

大家知道电有几种吗?

——有两种。一种是直流电,还有一种是交流电。

交流电中有的是从家用插座取得的,此外还有什么样的电呢?

——使用变压器降低电压的电也是交流电。

直流和交流有什么不同呢?

——直流是只向一个方向流动的电,交流则是每隔一定时间交替改变方向的电。

我们的眼睛不能看见电灯泡光线的闪动现象是为什么呢?

——因为电子的反复移动是非常快的。

所谓线圈是什么东西呢?又有哪些方便呢?

——是把绝缘的金属丝卷成螺旋状的东西。根据其不同的卷数,就能够自由地得到各种不同的电压。

那么,要使交流电变为直流电,使用什么才行呢?

——使用真空管、硒整流管或二极管等就行了。

第 9 课

分子和原子

如将物质细小地分割下去,就成为具有该物质性质的最小粒子。这种粒子叫分子。氧是氧分子的聚合体,水则是水分子的聚合体,油是油分子的聚合体。

随着科学的进步,进行了对构成这种分子究竟是什么的研究。并且,把构成分子的最小粒子叫做原子。已经知道了氢分子含两个氢原子,氧分子含两个氧原子,水分子含两个氢原子和一个氧原子,而二氧化碳气是由两个氧原子和一个碳原子构成的。

因为分子和原子非常小,即使用普通的显微镜看也是看不见的。氢原子在这种原子当中是最小的。

各个原子在分子中互相以引力联结着,形成一个稳定的形态。所有的原子在其中心都有一个带正电的原子核,而带负电的极小的电子,在其周围以惊人的速度旋转着。

电子的数量因原子而异,氢有一个电子,可是据说铀有九十二个之多。

而且,有关原子核结构的研究也有了进展,发现了带正电的质子和不带电的中子,此外也知道了有介子等等好几种粒子。

目前在科学的尖端领域,构成原子核的最根本的基本粒子是什么这一点,已成为研究的课题了。

第 10 课

一、保险盒的结构

用电量过大时,自动断路器的开关往往会断开。合上开关,就形成又有电流通过的状态。在这种自动断路器的旁边安有保险盒。打开保险盒盒盖,我们来研究其中的结构吧。伸手去摸是危险的。打开盒盖一看,有两根保险丝。一合上盖,电路就接通了。打开盒盖,如改换成 1 安培用的细保险丝,该出现怎样的情况呢?通过的电流过大,保险丝就会烧断。保险丝有线状保险丝和带接线片保险丝两种,但带接线片的比较方便。在修理插座故障时,用断路器将两条导线中的一条断开,以为没有电流通过了,但是家用 100 伏特电源,单用这一措施,有时也会有电流由人体通向地面。在这种情况下,保险盒起着断开两条导线的双刀开关的作用,具有避免发生危险的功能。

二、保险丝的作用

保险丝起什么作用呢？

——起着使电路与电源切断的作用。

什么时候切断呢？

——电路上有过大的电流通过时。以及电路上的某一地方发生短路时。此时，保险丝就会熔化而自动断开。

保险丝是无论多粗都可以用吗？

——不，粗细必须与电流量相适应。因为如果过于细，则往往在不必要时断开，而过粗，在必要时又不易断开。

在电器中，或在室内布线的保险盒中，都有保险丝吗？

——是的，都有。

这些保险丝断开时，要怎样更换呢？

——其更换方法如下：

1. 打开盖，卸下断开的保险丝。
2. 将新保险丝放进螺钉垫片下面，然后用螺丝刀拧紧。
3. 最后将盒盖牢牢地合上。

不用保险丝，用铁丝也可以吗？

——不，那非常危险。因为它有造成火灾的危险。

第 11 课

一、在车中跳跃

现在，列车以每小时 80 公里的速度行驶着。假设你在车内跳起达一米以上的高度，而且成功地整整在空中停留一秒钟。然后，你落在车内的地板上时，你将在什么地方呢？是在原来的位置上还是别的什么地方呢？

假如落在别的地方的话，那么是在车内偏前方？还是偏后方呢？

你将落在同跳起的地方相同部位的地板上。不能认为：你在空中停留时车辆在前进，因而跳起的位置已经超越过你。当然，车辆是在前进着，而跳起来的你，也是由于惯性，以与车辆相同的速度朝前方前进着的。因此，照理你总是停留在恰好跳起的那一位置的正上方的。

二、关于惯性

人们常常讲：“惯性将起作用”，可是，这个所谓惯性是指的物体的哪一种性质呢？

——那是指的该物体用其本身所具有的力不会改变运动状态的性质。也

就是说,物体都具有要继续保持现有状态的性质。即使是在我们的日常生活中,这个惯性规律也总在起作用,或者要起作用。

无外力作用时,物体将作怎样的运动呢?

——原静止着的物体永远静止不动,而运动着的物体则永远用原有速度前进。

我们说:某物体在运动着或静止着,在这一情况下,我们是以什么做为考虑问题的对象呢?

——这时一定要考虑物体的位置是否相对于某一作为基准的位置发生了变化。

所谓相对运动是什么意思呢?

——常常是与其他事物相关联,或者是在相比较的基础上成立的运动,与此相对而言,不考虑这种基准而成立的运动,叫做绝对运动。

第 12 课

一、日本的四季

日本四季,即:春,夏,秋,冬的界限,是很清楚的。

一到春天,积雪溶化,天气变暖,许多美丽的花卉也开始开花,五月是初夏季节,吹拂山野嫩叶的风清爽宜人。

从六月的梅雨开始入夏,七月和八月,学校放暑假。到海边来游泳的人,登山的人,回老家探亲也都很多。

九月,残暑仍在继续,渐渐凉起来,迎来了秋天。这也是农活最忙的季节。山野的树叶也变成了红叶,旅游点也是人山人海,非常热闹。同时,秋天也是水果最香甜可口的季节。随后,开始刮起冷风,冬天来到了。在寒冷的地方从十一月前后开始下雪。在山区盛行滑雪运动。

二、电气产品的使用方法

近来,种类极其繁多的电气产品也在增加,方便多了呢!

——是呀!可是,不懂得正确的使用方法,有时常常感到很伤脑筋。

譬如说,在什么时候感到伤脑筋呢?

——当一次使用很多电,保险丝烧掉的时候,假如不会修理,就很不方便。

必须注意,不要从一个电源上拉几根电线,或者因乱扯电线而损坏电线致使漏电。另外,用潮湿的手接触电,就有触电的危险。

此外,在使用电气产品时,要仔细阅读说明书,平素还必须掌握有关电的知识。

第 13 课

一、静电

某物体放在桌子上。这时物体给予桌子的推力,或作为其反作用的桌子对物体的支撑力,弹力,摩擦力等,都是物体和物体接触时作用的力。但是,重力即使不接触物体也起作用。不仅是重力,磁力也是这样。铁片即使不接触磁石,也会因磁力而被吸引。那么,电的情况是怎样呢?

使塑料垫和薄纸互相摩擦后揭开时,薄纸就被吸向塑料垫一侧。这是因为垫和薄纸因摩擦而生电,有静电力作用的缘故。物体生电叫带电。此时物体上产生的电的量称为电量,或者称为电荷。

此外,用绸布摩擦玻璃棒,二者也都带电。这种玻璃棒相互间是互相排斥的。大家知道,除此之外的各种物体互相组合都会因摩擦而带电。所产生的电荷有两种,若想到同种电荷相斥,异种电荷相吸的话,那么这些现象是容易理解的。在绸布摩擦过的玻璃棒上产生的电荷,以及与其同种的电荷称为负电荷。

作用于物体质量的重力通常是引力,而静电力在异种电荷之间是作为引力起作用,在同种电荷之间则作为斥力起作用。

在日常生活中我们也会留意到,人造革皮鞋等的表面特别容易被灰尘弄脏。这是因为做皮鞋材料用的塑料和灰尘颗粒因摩擦而带电,互相施加引力的缘故。

二、从发信到信的寄到

信是怎样寄到的呢?我们是把信写好,贴上邮票之后,投进信箱的。投进信箱的信由邮车一天数次运到邮局。也就是说,由大街上各处的信箱将许多信收集到这里。然后,在这里分成寄到附近城镇的,远方去的,以及寄到国外的信。这些信还寄送到各地的邮局去,再将信送到等待来信的人手中。对于一封信也是很经心的,就是这样经过许多人的手安全地送到收信人手里。

第 14 课

一、新技术革命

当今,世界技术的发展迅猛异常,这必将大大提高我们的生活水平。如果把由于纺织机械的发明和应用而引起的十八世纪的产业革命,看作为第一次产业革命,把由于蒸汽机的发明从十八世纪末到十九世纪初发生的产业革命,看作为第二次产业革命的话,那么就可以把从十九世纪末到二十世纪初

的电气、化学工业,汽车工业等的发展称作第三次产业革命了。据说目前人类正在走向新的产业革命时代。这种新的技术革命在电子技术、能源、材料、生物工程以及航天技术等领域表现得很明显。

电子革命。它主要是利用电子计算机、大型集成电路和机器人等等,提高并加速工作效率,不断促成工业生产的自动化。

能源革命。为了有效利用地上有限能源的研究工作在进行着,取代这些能源的代能源的开发工作也在进行着。

材料革命。耐热而不锈的新型金属、非金属、高分子材料的出现,使建筑和运输(设备的)发动机得以大踏步地发展。

生物技术革命。这是一项试图使细胞重新组合、融合,从而开拓新的遗传学领域的革命,这方面已经进行了许多实验工作,一般甚至认为,利用它将来会出现一些新的产业部门。

二、电子计算机

普通计算机只有“计算”的机能,只不过是一个快而好使的“算盘”而已。但是,谈到电子计算机,“计算”只是其机能的一小部分,除此之外,它还有各种各样卓越的机能。即:

1. 记忆机能:存储器。
2. 思考判断机能:处理装置。这种机能是通过读出存储数据的机能、计算机能、判断机能等组合而完成的。
3. 得知机能:输入装置。
4. 通知机能:输出装置。亦即将电子计算机处理的结果通知给人或其他机器的机能。

电子计算机经由真空管的第一代到晶体管的第二代,集成电路(IC)的第三代和大规模集成电路(LIC)的第四代发展过来的,现在正在进入第五代。

第二代的晶体管的出现,确实使电子计算机的可靠性有了显著的提高,并进一步使制造大型电子计算机成为可能了。第三代主要是采用集成电路作为逻辑电路元件,在使装置的可靠性更加提高的同时,在价格和性能方面也取得了巨大的进步。

第 15 课

一、秤

我们日常生活中使用的秤也可以从力矩和力的平衡来加以解释。

请看图。设在支撑于 A 点上的秤杆两端 B、C,分别挂有重量 P、Q。设 AB 间为 a, AC 间为 b。如考虑一下支点 A 周围的力矩的话,左转为 $P \times a$,右转为 $Q \times b$,这两个力矩相等时,即平衡时,则:

$$P \times a = Q \times b$$

此时,秤杆保持水平状态,P和Q平行,并朝向下方。亦即为通过A点向上拉的状态。换句话说,P+Q的重量和力F是平衡的。

二、在图书馆里

这儿是书库。

——新出的书和由国外购进的书增加不少哇!

您发现了什么有意思的书吗?

——我在找朋友托我借的书,可是没有合适的。

什么样的书?

——电工学方面的书。

那种书我有。借给您吧?

——是嘛?那么,随后让我朋友去取。

我去看看经营管理方面的杂志,请稍等一等。

——哦,您请便。

您久等了。我打算复印,该怎么办理好呢?

——您到承办处去领专用纸,填好后连同要复印的资料一起交上,就会立刻给复印的。

第 16 课

位能

如果考虑一下水车的原理,就可以很清楚地理解位能的问题。

总之,一定量的水从一定的高度落下,使水车旋转,借助它的旋转使机器运转,这就是水车的原理。一般把这种有作功的能力称做位能。就水车的例子来讲,并不是旋转的水车具有位能。是水具有位能。不施加外力,在自然状态下,水由高处向低处流。由高位能状态向低位能状态移动的,不仅仅是水。一般来讲,物体的位置变高,它所具有的位能也变大。

例如:在质量 m 的物体上作用重力加速度 g ,则重量成 mg 。如把该物体提升至高度 h ,则施加于此物体的功量为 $m \cdot g \cdot h$ 。施加的功作为能作功的能力保存在物体内部。因此,上面的例子可得:

$$\text{位能} = m \cdot g \cdot h.$$

第 17 课

温度和热量

“是不是病了?好像发高烧。”

“热”这个词似乎用得很含糊，常与体温相混淆，甚至说成“热度很高。”

温度和热量(一般只说“热”)是有区别的。必须分别考虑。热是能量，而所谓测试则是所给热量的客观表示。例如：有时说：“这种食品大约含有 5000 卡的热量”，有时说：“热能问题不单是锅炉的问题，而且是在工程学各个领域都必须考虑的问题”。这里指的是热量问题。或者有时说：“体温不高”。有时说：“只有这里晒不着太阳，所以很凉爽”。这里指的是温度问题。

日常使用的摄氏温度是按照下述方法规定的。将一个大气压下冰逐渐溶解的温度定为零度(0°C)，再将一个大气压下沸腾的水的温度定为 100°C ，将其间分成 100 等分，表示温度。

温度计或体温计之类的测量计是用这种办法制成的，即将体积膨胀与温度成正比的这类东西装在细玻璃管中，使管内水银或酒精因其接触物体的温度而膨胀，收缩，并在管中上下移动，从而据此测量温度。

如上所述，物体温度取决于吸收的热量。这种热无论是太阳热、石油和煤的燃烧热都是一样的，因此，有必要规定测试热能的单位。所有生物都是由太阳能培育的，所以，食品的热量也是可以用同一单位测量的。它的单位是卡。

第 18 课

一、摩擦电

在脱衬衣和毛衣时，有时会发生啪啪的声音。当此时，如将弄碎的薄纸接近它的话，就会被吸住。用布揉擦垫板，或用头发擦蹭梳子时，也会产生同样现象。把这种现象叫做摩擦生电，或叫做带静电。

静电有正负两种，用毛皮摩擦塑料时，在塑料上产生负电，用布摩擦玻璃棒时，在玻璃棒上产生正电。

如使这种带正电和负电的东西相接近，就会发出火花而放电，随之电就消失，但如使同种电相靠近时，就相互排斥。

某物质同另种物质相摩擦时所产生的电的种类是一定的，用我们周围的种种物质实验的结果，也弄清楚了称做摩擦序列的顺序。

二、植物世界的演变

植物最初也全部是栖息于海中的藻类。在那个时候以前，陆地是一个死的世界，在陆地上最初开始生活的植物是由一部分绿色藻类进化而来的藓苔之类，它们大概仅生活在水边。大约到了距今三亿年前，根、茎、叶发达的羊齿类生长繁茂起来。这种羊齿类的化石现在就作为大陆上的煤炭被挖了出来。这时正值原始两栖类出现于陆地上的时代，当时，也已经出现了古代昆虫等。

到了恐龙时代，羊齿类的森林逐渐衰微，裸子植物开始繁茂生长，直到哺乳类时代，被子植物逐渐取而代之。

第 19 课

一、使用电流表和电压表时的注意事项

为了在电解过程中测量流经电解质中的电流的大小,需使用电流表。而为了了解连接两个电极之间的电压大小,则要使用电压表。为了在电解中保持一定的条件,为了了解在电解过程中电解是在什么情况下进行的,弄清电流或电压的大小是很重要的。下面我们首先谈一下使用这些仪表的注意事项。

a. 连接测电流和电压用的仪表时,不要弄错它们的连接方法。在使用直流电时特别要注意这一点,亦即,必须牢牢记住电流表是串联在电路上,电压表是并联在电路上的。而且,此时电压表不要一直接在线路上,最好是只在看电压值时按一下开关接通电路。

b. 要使用最大可能测定值比想要测的值大得多的仪表,如,在测 3A 左右的电流时,就要使用刻有达 5A 刻表的电流表。如果此时使用只能测到 1A 的电流表,有里会烧坏仪表,因此需要注意。

c. 电解时用直流,因此要使用直流用仪表。一般在仪表的刻度下标有符号,标记有该仪表是供直流用还是交流用,抑或交流直流两用等字样。

d. 无论是测电流,还是测电压,都要根据想测得的精度来选用其精度能达到这一目的的仪表。

e. 电流表和电压表要放在平稳的地方。

二、健康的可贵

好久没见了。

——的确是久违了。听说去年您做了胃手术,已经康复了吧?

——是的,托您的福,已经全好了。

本想去看望您的,终于因为工作忙,未能看望,太对不住了。

——我想是由于过度疲劳和不注意而把胃弄坏了。

是因为操劳过度的缘故吧,自己的身体应该自己注意呀。

——是的,得了病,才知健康之可贵呀!今后一定要注意健康,免得生病。

第 20 课

一、植物生长的根源是什么?

距今约 2300 年前,希腊伟大学者亚里士多德曾作过这样的解释:“植物的嘴是根部。植物是由土中取得其生活和生长所需要的全部物质的”。当时,

关于植物体的构造和作用等许多情况还不太了解，因此这个想法在长达2000年的漫长岁月中，很多人都是坚信不疑的。

但是，距今约350年前，赫尔曼则认为：“假定说亚里士多德的想法是正确的，那么植物的重量增加多少，土的重量就应当减少多少”，于是想通过测试重量，验证亚里士多德的想法。

赫尔曼在花盒中装进90公斤干泥土，栽进一棵2公斤重的柳树苗，浇好水。此后5年间只浇水培养，结果柳树长到了76公斤。此时，他取出花盆中的泥土干燥后一称，仅减少了60克。因此，赫尔曼认为：“构成植物的主要材料是水。”

赫尔曼的想法虽也有不正确的部分，但这个实验成了一个契机，推进了对植物的研究，不久就发现了光合作用。

二、植物赖光合作用生存

动物是食用其它生物体取得养分的，但一般的植物则是在自己的体内进行光合作用来制造养分的。以这种养分为原料就能够生长，生活下去。因此，植物如位于其它植物等的背阴地，见不到阳光，就不能生长，或者会枯萎。譬如，在躯干高的植物生长繁茂的地方，茎干低的草类就不能得到阳光的充分照射，不能茁壮生长。

第21课

各种书信格式

家里人之间谈话，即使不特别郑重其事地谈某一件事，在谈其他事情的时候也可在无意中顺便谈到，而且谈话的方法也并非有特定的形式。另外，在写信告诉对方某一件事时，如果是给老师和朋友的私人信件，虽然有一种大致的格式，也不一定非得遵循不可。

然而，在由许多人组成的学校、机关、公司等等一类团体在就不能象在家里那样了。为了遵守团体生活的秩序，要有各种形式和规章。例如，规章中规定：“没上学时要提交请假条”“住址发生变更时要提交住址变更条”等等。而且，这一类公函作为一种事务性工作需要尽可能高效率地处理。因此，这些公函规定了一定的格式，以提高其工作效率。

书写的形式叫“书写格式”，书写格式的样本叫“模式”。

了解各种书写格式就会既简单又容易地尽到自己的义务，但如不了解书写格式就会导致妨碍尽自己的义务的结果。因此，需要了解各种书写格式。

下面举出一些一般认为是社会生活中所需要的模式。

（书写格式例略）

练习答案

第1课

一、略

二、はな さくら もも うめ ちず ちゅうごく にほん
せかい ひがしがわ しまぐに ほんしゅう ほっかいどう
きゅうしゅう しこく めんせき かざん しゅと
とうきょう ふじさん

三、这个 那个 那个 这里 哪里 那边 那边 那 什么(什么样,怎么样) 亚洲 第一 另外(还) 很多 大概 还 但是 主要的 次(下) 约(大约) 全体

四、1. これは 私の 鉛筆です。
2. それは 学校の 雑誌です。
3. あれは 彼の 靴です。
4. これは 中国の 映画です。
5. それは ぼくの 家です。

五、1. 中国は どちらですか。
2. 日本は どこに ありますか。
3. あれは 何ですか。
4. 図書館は どこですか。
5. これは 誰の ペンですか。

六、1. は、です 2. は、の、です 3. の、は、に 4. に 5. の、に、か
6. は、の、か

七、1. 一番 大きい 島国 2. 一番 小さい 島
3. 一番 高い 火山 4. 一番 近い 駅
5. 一番 おいしい もの 6. 一番 大きい 図書館

八、1. どこに 桜の 花が ありますか。
2. 彼は 日本に います。
3. 中国に 山が たくさん あります。
4. 日本の 人口は 多いです。 約 一億二千万人 います。
5. 日本の 面積は だいたい 中国の 二十六分の 一です。

第 2 课

一、略

二、せいじ けいざい こうつう ちゅうしん でんしゃ ちかてつ きょうと めいしょ まち むかし じだい べんり じかん じゅうぎょう きゅうこう じっけん かがく ごがく

三、今天 明天 季节 哪一位 你 我 人 是 不是 那么 那么(那么说) 很 某(某个) 周围

四、略

五、1. はい、あの 人は 学生です

2. はい、この かたも 先生です。

3. いいえ、きょうは 日曜日ではありません。

4. いいえ、水曜日の 授業は 休講ではありませんでした。

5. いいえ、あしたは 休みではありません。

六、1. に、が、も 2. で、も 3. で、も 4. で、です、で、が 5. は、の、 か、か、は、の、です 6. の、です 7. は、か

七、1. 中国の 歴史は 長いです。

2. きのは 何曜日でしたか。

きのは 日曜日です。

休講でしたか。

日曜日でしたが、休講ではありませんでした。

3. 昔 日本の 首都は 京都でしょう。

はい、そうです。昔 日本の 首都は 京都でした。しかし いまの 首都は 東京です。

4. 東京の 交通も 昔 とても 便利でしょう。

5. この まちの まわりに 高い山が たくさん あります。

6. 日本の 交通は とても 便利です。

第 3 课

一、略

二、1. たなか、つま、かいしゃいん 2. ほうえきが いしゃ、ようちえん

3. いっしょ、よこはま 4. いちねんせい、こども、べんきょうか 5.

せんせい、いっしょうけんめい 6. ひと、ちゅうごくご、はな 7.

こ、まいあさ、えいご、れんしゅう

三、名門校/名牌学校 専業主婦/家庭主婦 朗読/朗読 間/間 出身/卒業学校 自分/自己 仕事/事(事情,工作) 夜/夜晚 夜学/夜校 通勤/上班 木曜日/星期四 先週/上星期 来週/下星期 兄弟/兄弟姐

妹 病氣/病 成績/成績 方向/方向 数/数 上手/(某种技术)好(高明) 何故/为什么

- 四、1. を,(8) 2. を,(1) 3. が,(2) 4. を,(3) 5. を,(9) 6. を,(4) 7. に,(7) 8. を,(5) 9. を,(10) 10. に,(6)

- 五、1. 一番 近い 地下鉄の 駅は あちらだ。
2. 昔 日本の 首都は 京都だった。
3. あの 人は テレビで 英語や 日本語を 勉強する。
4. ここは 図書館ではなかった。
5. 家に いすが 二つ ある。
6. そこに 男の 先生や 女の 学生が いる。
7. 今日は 金曜日で、経済の 授業や 化学の 授業が ある。
8. 彼は 小学校の 一年生で、頭が いい。

- 六、1. に 2. に、や、の、の、を 3. と、へ 4. なら 5. を、に 6. ために、は、を

- 七、1. 東京は 日本の 首都で、日本の 政治、経済、文化の 中心だ。
2. あなたは 月曜日 何を する つもりか。 私は 電車で 京都の 名所を 見に行き つもりだ。
3. 一番 うつくしい 公園は どこに あるか。
4. 易しい 日本語なら、私は 話す ことができる。
5. 李さんは 小学生だが、しかし、英語も いい。
6. 昔、あの 二人は この 学校の 学生だったが、いまは、会社員だ。

第4課

一、略

- 二、1. 客、人 2. 都市、寺 3. 人人、公園、花見、歌 4. 家、雑誌、仕事 5. 国、桜、木、時期、春 6. 来週、月曜日、自動車、海岸、旅行 7. 数、方法、漢語、和語 8. 彼、毎朝、外国語、朗読 9. 彼、夜学 10. 桃、花、名所

三、略

- 四、1. に、に 2. で、へ 3. や、の 4. や、を 5. を、に、に 6. の、の 7. か、を、か

- 五、1. その 子は 勉強家であります。
2. 伊藤さんは 貿易会社の 会社員でありました。
3. この 学校は 日本語の 学校で、有名であります。
4. あした、雨が 降るであります。
5. おじいさんと おばあさんは 会社員ではありませんでした。

- 六、1. 日本人向国外大量销售汽车、电视机、照相机等、从国外大量购进原

料。

2. 那人能说日语。
3. 这是铅笔,那是钢笔。
4. 昨天不是星期二。
5. 要是樱花胜地的话,挤满了去赏樱花的人。
6. 这儿一到冬天就下雪吧。

第 5 课

一、略

- 二、1. ちゅうごく,とち,しげん,ひじょう,ほうふ 2. おとうと,こと
し,はたち 3. きょうだい 4. にほんじん,しょうばい,とくい,せ
いひん,ひんしつ 5. がくせい,えいご,せいせき,にほんご,じょう
ず 6. かがく,じっけん,あめ

- 三、1. ウ 2. イ 3. イ 4. エ 5. ウ

四、(4)、(1)、(2)、(6)、(3)、(5)

- 五、1. 李さんは 日本語が とても 好きです。また、日本語で 話す
ことが とても 上手です。
2. あなたは 中国語で 話す ことが できますか。易しい話なら、
すこし できます。
3. あなたは 兄弟が ありますか。はい、あります。二人 あります。
あなたは 一番目ですか。いいえ、わたしは 二番目です。また、兄が
一人 あります。
4. 日本は わたしたちの 国の 東側に あり、島国です。大きい
島が 四つ あります。北海道、本州、四国と 九州です。
5. ここは 都市の 中心ですが、とても しずかですね。
6. 先生は 約 五百人 います。
7. 北京では、秋は 一番 いいです。
8. 春に になると、よく 雨が 降ります。

第 6 课

一、略

- 二、1. (1) これは 赤い いすです。
(2) これは いい 幼稚園です。
(3) これは 長い 小径です。
(4) これは 高い 木です。
(5) これは 細い 竹です。
2. (1) その 貿易会社は 大きくないです。小さいです。

- (2) 時間が 少くないです。多いです。
- (3) 訓読が 易しくないです。難しいです。
- (4) 雲が 黒くないです。白いです。
- (5) その 人は 低くないです。高いです。

三、1. きょうと、まち、めいしょ 2. きのう、げつようび、きょう、かようび、すいようび 3. つま、せんたく、いえ、で、ある、はちじごろ、かえ
4. せんせい、じぶん、こ、めいもんこう、い 5. あさ、じゅうぎょう、じかん、ごご、しごと、よる、やがく、べんきょう 6. なつやす、りょうこう、いくゆ 7. じゅうごや、つきみ 8. みなみ、ほう、きた、ほう 9. まいあさ、ことり、はやし、たの、うた 10. かわ、わた、さと、うつく、やま

四、1. 早く 2. 美しい 3. 青く 4. うまい 5. よ 6. 長い
7. 忙しく 8. 寒かっ

五、1. 彼は はたちで、私より 若いです。
2. 朝から 夜まで 仕事が あります。それで、とても 忙しいです。
3. あなたは 電車で 通勤しますか。
4. 都市の 中心は 公園より にぎやかです。
5. あしたは 時間が 多ければ、わたしは 家へ 帰る つもりです。
6. まだ 冬に なりません。それで、そんなに 寒くないでしょう。

第7課

一、略

二、ちゅう、なか か、いえ さん、やま や、よる かい、うみ きょう、あに にん、ひと じ、とき とう、ひがし かん、あいだ げん、はらくう、そら がい、そと がっ、がく はっ、はつ じ、し ちょう、ながた、おお らい、く きゅう、やす ふう、かぜ か、した ほっ、きた すい、みずばい、う だん、あたた つき、がっ、げつ おお、たい で、だ、しゅっ かず、ずう、すう、かぞ に、にち、ひ、び

三、あかいひかり/红光 めにおくる/送到眼里 みちをいそぐ/赶路 へやをでる/走出房间 かざむきをかえる/改变风向 りくちがあたたまる/陆地变暖 みみにする/听 ちゅういほうとけいほう/警报和緊急警报 かんけいがない/没关系 さいがいがおこる/发生灾害 きそになる/成为基础 ぐたいてきなすうじ/具体的数字 ちいきによってきめる/根据地域决定 ゆきのようにしろい/雪一样白

四、1. の 2. こと 3. の 4. もの 5. の 6. もの 7. の
8. こと

- 五、1. (1)× (2)× (3)○ (4)× (5)○
 2. (1)○ (2)× (3)× (4)× (5)○
 3. (1)○ (2)× (3)○ (4)× (5)○

第 8 課

- 一、1. さいきん, いがい, きゅうじつ, しょくば
 2. こくみん, しゅ・さいじつ, にちようび, みっかかん「れんきゅう」
 3. せんぱい, ばか
 4. くるま, うんてん, どうろ, こうつうきそく
 5. こうさてん, あか, しんごう, あお, しんごう
 6. ある, あか, とき, じこ, きけん
- 二、1. が 2. に, と, に 3. に 4. は, へ, て 5. て, へ, と 6.
 の, の, と 7. に, を, に(と) 8. に, て, が 9. が, に 10. か
 ら, まで
- 三、五段动词: 咲く 飲む 困る 思う 持つ 帰る 急ぐ 読む 続く
 送る 話す 要る 出す 吹く 死ぬ 渡る 言う 遊ぶ
 やる 上る 歩く 守る 働く 買う ある 起こす
 重なる 起こる 落ち着く もたらす
 一段动词: 出る 考える 比べる 見える 食べる 決める 変える
 できる 起きる
 サ行変格活用动词: する 練習する 通勤する 実験する 旅行する
 カ行変格活用动词: 来る
- 四、1. (1) 私は静かな町へ行こうと思う。
 (2) 僕もその川を渡ろうと思う。
 (3) 僕はきれいな山に登ろうと考える。
 (4) 私は夏休みを楽しく過そうと思う。
 2. (1) ここでは日本のカメラを売らない。
 (2) 注意報と警報が自分に関係がないと思わない。
 (3) 田中さんはこの貿易会社で働かない。
 (4) 今晚、弟は家に帰らない。
 3. (1) いろいろな趣味を持ちます。
 (2) 自動車は長い橋を渡ります。
 (3) 歩く人が赤の時渡ると事故を起こします。
 (4) 伊藤さんは毎晩夜学で、中国語を習います。
 4. (1) 風が吹けば、涼しくなります。
 (2) この仕事をこのようにやれば、易しくなるでしょう。
 (3) 時間があれば、雑誌を読みます。
 (4) 毎日日本語で話せば、日本語が上手になります。

- 五、1. …を…にする 2. …も…ば…も…
 3. …つもりだ 4. …ことがある
 5. …ことができる 6. …なければならない
- 六、1. あなたが行けば、わたしも行きましょう。
 2. わたしもうつくしい自然を見に行くつもりです。
 3. この製品の品質がよくなくて、高いです。それで、わたしは買わない。
 4. 車を運転する人はとくに赤の信号と青の信号に注意する必要があります。
 5. 歩く人も交通規則を守らなければならない。

第 9 課

- 一、1. 汽車 野原 窓 外 田 畑
 2. 小鳥 空 煙突 煙
 3. 川 原 中 牛 馬 岸 草
 4. 田舎 都会 本当 自然
 5. 彼 毎日 新聞 勉強
- 二、1. で、を 2. ので 3. で、を、て、に 4. を、や 5. に 6. と、が 7. が、も 8. に、が 9. から、が、に 10. を
- 三、1. (1) 伊藤さんは飲み屋でビールを飲んでいる。
 (2) その学生は中国語で先生と話している。
 (3) 今日は空が曇っている。
 (4) 鳥が空を飛んでいる。
 (5) 伊藤さんは自分の部屋で雑誌を読んでいる。
 (6) 李さんは夜学で化学や数学を習っている。
2. (1) おばあさんは門まで出てお客さんを待つ。
 (2) 彼は家のまわりを走る。
 (3) 馬や牛が川の岸で草を食う。
 (4) 梅の花がたくさん咲く。
 (5) 伊藤さんは駅の前に立つ。
3. (1) ねこが死んだ。
 (2) 子どもたちは林の中で楽しく遊んだ。
 (3) 梅の花が咲いた。
 (4) 暑いので、川で泳いだ。
 (5) 「今晚は。」と彼は言った。
4. (1) これは姉の作った料理です。
 (2) それは私の読んだ雑誌です。
 (3) それは田中さんの歩いた小道です。

(4) あれは兄の登った山です。

四、1. 伊藤先生は北海道で夏休みを過しているでしょう。

2. わたしはあなたの黒いペンを使っています。

3. 弟は台所で料理を作っています。

4. きのう、わたしは李さんと一緒に田中先生の家へ行きました。

5. これは海で捕った魚で、あれは自分の家で作った米です。

6. あしたの朝、早く起きて会社へ行こうと思います。

五、1. (1)× (2)○ 2. (1)○ (2)× 3. (1)× (2)○ 4. (1)× (2)○

第 10 課

一、ひだり みぎ りく むし おと ぎゃく ひる まど はたけ う
し うま くさ みせ からだ つぶ つな そと た はし きあ
つ はんだん きじゅん すうじ さいきん きゅうじつ れんきゅう
こくみん いみ じこ ひょうしき りょうがわ きそ しんごう
きけん だいどころ しゅみ いなか さいご しょうひぜい と
かい こうこう まいばん じっさい すいみん ようす ぶっしつ
ふつう けんきゅう こうぞう きせつふう かざ ぐたいてき
こうさてん かしらもじ

二、1. に、を、と 2. に、と 3. から 4. で、に 5. ぐらい
6. くらい

三、1. (1) お金が足りない。
(2) 果物が取れない。
(3) ここから富士山が見えない。

2. (1) ご飯を食べよう。
(2) よく考えよう。
(3) はっきり覚えよう。

3. (1) お金が足りれば、新しい車を買う。
(2) 早く決めれば、一緒に行くことができる。
(3) あなたがパンを食べれば、私もパンを食べる。

四、1. (1) あのサラリーマンは毎朝早く起きて、地下鉄で会社へ行く。
(2) 田中さんは急いで晩ご飯を食べて、夜学に出る。
(3) 伊藤先生は映画館で映画を見て、五時ごろよちへ帰る。
(4) 姉は家に帰って、料理を作る。

2. (1) 彼は友だちを送りに東京駅まで行きました。
(2) 私は昨日の午後弟と川で泳ぎました。
(3) あのフランス人は一万円ぐらい払いました。
(4) わたしの田舎は去年果物をたくさん取れました。

五、略

- 六、1. あなたはよく夢を見ますか。
2. 李さんは病気で、ねています。
3. 駅へは歩いていけば、十分ぐらいかかるでしょう。
4. 時間が足りれば、わたしは町へ行きます。
5. 研究が進むにつれて、原子核もさらに小さな粒からできているということがわかりました。
6. 彼は一週間に一度日本料理を食べます。

第 11 課

一、がめん はんのう けっか さいだい こうか ばあい だいがく
じそく てまえ はっけん うんどう しげき かし めんせつ き
しょうしつ しゅるい せいさく はんばい りえき ろうりょく でん
とう かのう ざいりょう とうりょう しつれい ごうけい きけ
ん さいきん きゅうじつ りょうがわ ひょうしき せんばい めん
どう なかま やがく せんぶ こうこう がんきゅう きゅうそく
さんそ おっしつ ひとばん

- 二、1. に 2. に 3. から、まで、ぐらい 4. で、に 5. ぐらい、に
6. に、から 7. のに

三、1. (1) 鈴木さんはドイツに行って、ドイツの文化を研究しようと思っています。

(2) 田中さんは毎日電車で通勤しようと思っています。

2. (1) あしたは化学の実験をしない。

(2) 今日は新しい製品の試験の結果を発表しない。

3. (1) よく計算しろ。よく計算せよ。

(2) よく練習しろ。よく練習せよ。

4. (1) 脳の活動を活発にすれば、目がさめた状態になる。

(2) いねむり運転をすれば、交通事故を起こす。

四、1. 昔のある時代は日本の首都は京都だったそうです。

2. 土曜日も休日だという「週休二日制」の会社もあるそうです。

3. 自分の時間が少なかったサラリーマンが、きゅうに休みが多くなり、逆に困るそうです。

4. 会社の面接の時、がムを許さないそうです。

5. 鈴木さんはこのごろとても忙しいそうです。

五、1. ごご、雨が降るそうです。(ごご、雨があるそうです。)

2. 佐藤さんは中国にいる弟へ手紙を書いています。

3. 李さんはフランス語が少しもできないようです。

4. こんどの入学試験はとても難しいかもしれない。

第 12 課

- 一、1. ごがつ みなみ いえ のきした す たまご
 2. ひろびろ うみ めじるし なに
 3. わた どり ほうこう きょり せいしつ そな
 4. かいがん おおせい ちから つな
 5. にさんかたんそ さんそげんし たんそげんし
 6. ぶんし げんし ひじょう ふつう けんびきょう
 7. けんきゅう すす げんしかく つぶ
- 二、1. イ 2. イ 3. ア 4. イ 5. ウ 6. ウ 7. ア 8. ウ
 9. ウ 10. ウ
- 三、1. で、で 2. から、まで 3. へ 4. で 5. でも 6. で 7.
 ても 8. へ 9. から 10. や、や、や、など
- 四、1. くれ、くる 2. こ 3. こ 4. き 5. いっ 6. くる 7.
 き 8. き 9. こ
- 五、1. このごろは寒かったり暖かかったりします。
 2. ツバメは家の軒下に巣を作ったりして、とても忙しい。
 3. そんなところへ行ったり遊んだりしてはだめです。
 4. 日曜日は映画を見たり、本を読んだりして過ごします。
- 六、1. きのう、わたしは兄のあとについて、富士山に登りました。
 2. 佐藤さんは友だちと飲み屋でお酒を飲みながら、話をしています。
 3. 木造の部屋は体にいいそうです。
 4. 小鳥が窓から空へ飛んでいった。
 5. 彼は一カ月間夜学に出ることにしました。

第 13 課

- 一、1. 承知 天皇 紋 2. 三日 法律 3. 勲章 名誉 年金 4.
 言葉 事業 意味 5. 時代 国民性 反映 6. 今度 発表 準備
 7. 財布 8. 警察 住所 名前
- 二、1. 粒、りゅう、つぶ 2. 子、し、こ
 3. 方、ほう、かた 4. 所、しょ、ところ
 5. 木、もく、き 6. 金、きん、かね
 7. 車、しゃ、くるま 8. 日、じつ、ひ
 9. 国、こく、くに 10. 体、たい、からだ
 11. 力、りょく、ちから 12. 遠、しん、すすむ
 13. 最、さい、もっとも 14. 見、けん、みる
 15. 分、ぶん、わかる 16. 数、かず、すう

17. 小:しょう,ちいさい 18. 新:しん,あたらしい
 19. 中:ちゅう,なか 20. 間:かん,あいだ
- 三、1. ア 2. イ 3. ウ 4. ア 5. ウ
 6. ア 7. イ 8. ウ 9. イ 10. イ
- 四、1. 食べられ 2. 解かれ 3. 言われ 4. 催され 5. 降られ
 6. され 7. とられ 8. こられ 9. 書かれ 10. 選ばれ,招待
 される
- 五、1. 彼は中国で五年間の中国語を勉強してきました。中国語が上手な
 はずです。
 2. 桜の花とか,桃の花とか,いろいろな花があります。
 3. 誰でも毎晩夢を見るそうです。
 4. 雨が降っても,わたしたちは映画を見に行きます。
 5. 彼は部屋で行ったり来たりして,おちつかないようです。

第 14 課

- 一、1. 放送 約束 訪問 2. 選手 調子 3. 面談 昼寝
 4. 試合 相手 5. 大好 運動 6. 時速 運転
- 二、1. 子:こ,す 2. 北:きた,ほっ
 3. 作:つくる,さく 4. 大:だい,おおきい
 5. 高:たかい,こう
- 三、1. (1)田中さんはこの選手を四千メートル走らせる。
 (2)先生は李さんを王さんに質問させる。
 (3)お父さんは私をこの川で泳がせる。
 (4)私は太郎を研究室の前で待たせる。
 2. (1)小林先生は学生に本文を読ませた。
 (2)池田さんは自分の子に文をつくらせた。
 (3)この先生は学生に難しいところを何回も言わせた。
 (4)佐藤さんは子供に好きなものを選ばせた。
 (5)先生は彼にフランス語で話させた。
- 四、1. この会社員は販売の利益を計算しました。
 2. 私は日本語を習いました。
 3. あの人はこちらへ来ました。
 4. 次郎はこの仕事をやりました。
 5. 弟はあそこで待っています。
 6. 李さんは新聞を持って行きました。
- 五、1. でも 译:那样的事连我都会。
 2. まだ 译:他早晨很早就外出了,还没有回来。
 3. すぐ 译:小林一到日本马上就给我写了信。

4. まっすぐ 译:沿着这条路笔直走的话,可以到达车站。
5. かもしれない 译:明天说不定会下雪。
6. だいたい 译:这个谜大致揭开了。
7. ほかに 译:除他之外没有谁会。
8. たいへん 译:太着急,忘记带钱包来了。

第 15 课

- 一、1. さくもつ,ほうさく,びょうき,かみさき,かんしゃ
 2. かた,ほう,しり,へん,ばあい
 3. けっきょく,ず,げんしょう
 4. たてもの,ごひゃくねん,いじょう
 5. きんかくじ,いちど,かじ,しゅうふく
 6. きのうち,きょうと,きょうにんぎょう,え,いもうと
- 二、1. ウ 2. ア 3. ウ 4. ア 5. イ
 6. ウ 7. ア 8. ア
- 三、1. 父は私に雑誌を送ってくれました。
 2. 佐々木先生は学生に日本の歴史を教えてくださいました。
 3. お父さんは私に昔のことを話してくれました。
 4. 先生は私に単語の意味を説明してくださいました。
 5. お姉さんは私に手伝ってくれました。
- 四、1. くれ 2. もらっ
 3. さしあげ(やり) 4. くださっ
 5. やり 6. ください
 7. いただき 8. くれ
 9. やり
- 五、1. 約束の時間を守ってください。
 2. 熱いものを食べてください。
 3. このなぞを解いてください。
 4. 朝日新聞を読んでください。
 5. いっしょうけんめいに勉強してください。
 6. 好きなものを選んでください。
 7. 高級品だから大事にしてください。
- 六、1. b 2. b 3. a 4. a 5. a
 6. a 7. a 8. a 9. b

第 16 课

- 一、1. しず,すいめん,なみ

2. しんくう, すず, みみ, おと
3. きこう, なんがつ, いちばん
4. あに, でんとうぶんか, しょうかい
5. じだい, きゅうりゅう, かんばん
6. ちかてつ, さいふ, ふゆかい
- 二、1. エ 2. ウ 3. イ 4. ア 5. イ
6. エ 7. エ 8. ア 9. エ
- 三、1. 小林さんは中国語でレポートを書けます。
小林さんは中国語でレポートを書くことができます。
2. 弟と妹は十時までに帰れます。
弟と妹は十時までに帰ることができます。
3. あした, あなたはこられますか。
あした, あなたはくることができますか。
4. あなたは自動車を運転されますか。
あなたは自動車を運転することができますか。
5. あの人は速く泳げます。
あの人は速く泳ぐことができます。
- 四、1. 来週入学試験だから, よく勉強しておきます。
2. 発表する前に, 準備しておきます。
3. お客さんがあした遊びに来るから, 花を買っておきます。
4. 来月, 運動会があるから, 練習しておきます。
5. 先生を訪問する前に, 電話しておきます。
- 五、1. 味がいいかどうか, 分かりません。わたしはまず食べてみましょう。
2. きのう, 李先生はわたしたちに日本語で自己紹介をさせました。
3. 東京でとった写真を先生にさしあげたい。
4. 秋に入ると, 全国の各地の学校でよく運動会が行われます。
5. あの会社は廃業されたそうです。

第 17 課

- 一、1. 山田町 警察署
2. 朝 通勤 通学
3. 先週 技術 中心
4. 来月 十日 英国 試合
5. 単語 文型 話
- 二、1. エ 2. イ 3. ア 4. イ 5. エ
6. ウ 7. ア 8. エ 9. ア 10. ア 11. イ
- 三、1. (1) なろう (2) 勉強しよう
- (3) 書こう (4) 行こう

2. (1) 頑張ろう (2) しよう
(3) かけよう (4) 書こう
- 四、1. 私はあの文法の本を読んでしまいました。
2. あなたは国に帰ってから、なにをするつもりですか。
3. あなたは大学に入ってから、なにを勉強しようと思いますか。
4. あしたは中国チームは試合があるそうです。
5. 現在の金閣寺は火災の後で修復されたものだそうです。

第 18 課

- 一、1. かがく, しんぼ, ちから
2. げんしばくだん, はつめい
3. でんき, きしゃ, きせん, ひこうき, せいこう
4. せいじ, ぶんがく, びじょう, おんがく, しゅうきょう
5. はいたつ, ぎゅうにゅう, ゆうびん, しんぶん, あんしん, のきした
6. せんせい, かぜ, からだ しょくよく
- 二、1. ウ 2. イ 3. ア 4. エ 5. エ
6. ア 7. ウ 8. ア 9. エ
- 三、1. ように 2. ような 3. ように 4. よう
5. よう 6. よう 7. よう 8. ように
- 四、1. らしい 2. らしい 3. らしい 4. らしい 5. らしく
- 五、1. ことは去年ほど暑くないです。
2. わたしは中国茶をお礼として先生にさしあげました。
3. お金がなくても、他人のものを盗むわけにはいかない。
4. わたしたちは公害問題の研究に力を入れなければならない。
5. 野菜とか、果物とか、お母さんはたくさん買った。
6. これこそ私の買いたい本です。

第 19 課

- 一、1. そつぎょう, きこく, しょくぎょう
2. もんぶしょう, きょういく, けんきゅうしょ, てんきん, かぞく
3. にゅうがく, せいじがく, せんこう
4. だいがくいん, としょかん, つぎ, がっき
5. にじょうじょう, きんかくじ, めいしょきゅうせき
- 二、1. イ 2. エ 3. ウ 4. ア 5. イ
6. エ 7. エ 8. ウ 9. イ 10. イ
- 三、1. (1) 私は電話をかけたいです。
(2) 私は国へ帰りたいです。

- (3) 私はこの工場で働きたいです。
 (4) 私は電車で通学したいです。
 (5) 私はこれからでかけたいです。
2. (1) 池田さんはもっと安い車を買いたがっています。
 (2) 彼は大学院で文法を研究したがっています。
 (3) 兄は飛行機で旅行に行きたがっています。
 (4) 私の知人はこの仕事をしたがっています。
- 四、1. 我被安排在“美国文化中心”翻译有关中日经济关系的书。
 2. 与自然科学相比,我更喜欢文学、历史。
 3. 因为小孩想去,就带去了。
 4. 我住的地方是一个极其方便而居住舒适的地方。

第 20 课

- 一、1. とり, さかな, じんるい, いらい, しゅくがん
 2. つき, せかい, ふかのう, くうそう, べつめい
 3. いちれい, むすう, ばあい, れんしゅう
 4. かがく, けんきゅう, じぶん, しんぽ
 5. らく, たにん, しんばい
 6. しょうわ, だいがくいん, ぶんかし, せんこう
- 二、1. イ 2. ウ 3. ア 4. イ 5. エ
 6. エ 7. イ 8. ア 9. イ 10. ウ
 11. ウ 12. ウ 13. ウ 14. イ
- 三、1. 見ない, 見ぬ, 見まい
 2. 覚えない, 覚えぬ, 覚えまい
 3. 通わない, 通わぬ, 通うまい
 4. こない, こぬ, 来るまい
 5. しない, せぬ, しまい
 6. 通学しない, 通学せぬ, 通学しまい
 7. 誘われぬ, 誘われぬ, 誘われまい
 8. 行かせない, 行かせぬ, 行かせまい
 9. 来させない, 来させぬ, 来させまい
 10. 会いたがらない, 会いたがらぬ, 会いたがるまい
- 四、1. 我怎么没能说出口呢? 想到这, 就觉得有些遗憾和羞愧。
 2. 终于发明了象原子弹这样了不得的东西。
 3. 很多人可能认为我的想法好象梦幻一样。
 4. 听说最近有的学校因为流行感冒而停课了。
 5. 我今年夏天回国, 可是担心日本是否有合适的工作。

第 21 课

- 一、1. じゅうじつ, りゅうがくせい, せいかつ
2. しょうがつ, しゃしん, きねん, たいせつ
3. にがて, れい, ほうこく, てがみ
4. かぞく, みなさま
5. ためん, じんるい, むすう, ふかのう, れんしゅう, かのう
- 二、1. ウ 2. イ 3. エ 4. イ 5. ウ
6. イ 7. ウ 8. エ 9. ア 10. イ
11. エ 12. ウ
- 三、1. (1) 手紙をお書きになりますか。
手紙を書かれますか。
(2) うちへお帰りになりますか。
うちへ帰られますか。
(3) バスにお乗りになりますか。
バスに乗られますか。
(4) 電話をおかけになりますか。
電話をかけられますか。
(5) これからおでかけになりますか。
これからでかけられますか。
2. (1) わたしは山田先生に手紙をお書きしました。
わたしは山田先生に手紙をお書きいたしました。
(2) わたしは先生に雑誌をお送りしました。
わたしは先生に雑誌をお送りいたしました。
(3) わたしは図書館の前で先生をお待ちしました。
わたしは図書館の前で先生をお待ちいたしました。
(4) わたしは国のお母さんに写真をお送りしました。
わたしは国のお母さんに写真をお送りいたしました。
- 四、1. 您十分了解那所大学的情况吗?
2. 您哥哥什么时候毕业?
3. 我立即给在故乡的父母写信。
4. 秋色日深, 各位都好吗?
5. 听说在流行很凶的流行感冒, 请您千万保重身体。

第 22 课

- 一、1. 私は/仕事の ために/九州から/北海道まで/いろいろな/地方へ/
旅行しました。

2. 最近/日本でも/日曜日以外に/休日の/ある職場が/多く/なりました。
3. きょうは/田舎に/住んでいる/おじいさんの/家へ/遊びに/行く日です。
4. いま/汽車は/野原を/走っています。
5. アメリカは/日本などに/比べると/各方面に わたって/著しく/進歩している。
6. 日本の/自然の/特色を/もう/少し/考えて みよう。

- 二、
- | | |
|----------|----------|
| 1. 用言性词组 | 2. 体言性词组 |
| 3. 体言性词组 | 4. 体言性词组 |
| 5. 用言性词组 | 6. 体言性词组 |
| 7. 用言性词组 | |

- 三、
1. 日本の南のほう
 2. 車を運転する人
 3. 事故を起こすおそれ
 4. おじいさんの住んでいる村に着きました
 5. 夢を見ると言う人
 6. 夢を見たことを覚えている人

- 四、目したいと/思う/。成人式や/結婚パーティ-などに/着用する/晴れ着の/場合が/いちばん/はっきりしているが/、女性の/和服に/描かれている/模様には/、植物を/図案化した/ものが/圧倒的に/多い/。また/、衣服以外にも/、ふろしきなどに/、植物の/模様が/いろいろ/使われている/。

日ごろ/何気なく/見過ごしている/このような/習慣を/分析してみると/、日本人は/、年じゅう/自分の/身の回りに/(按:“身の回り”已构成一个复合词,所以不必再分成“身の”和“回りに”两个句素。)自然という/ものを/置いて/、それを/楽しんでいる/ことが/わかる/。こんな/習慣が/ごく/自然に/受けられているのは/、日本人の/心の/中に/、自然は/人間を/祝福してくれる/ものである、という/気持が/、無意識の/前提と/してあるからではなかろうか/。だいたい/人間は/、本能的に/、不愉快な/ものを/身に/まとうとは/思わないはずである/。

次に/、住居について/考えてみよう/。日本の/家屋の/特色として/、戸外と/屋内の/区別が/極めて/あいまいである/ことが/挙げられる/。これは/西洋建築と/比較してみるとよい/。西洋建築の/特色は/、壁で/四方を/しきることである/。これが/基本原則と/なっている/。つまり/、外界とは/ほぼ/完全に/遮断された/人間だけの/城を/つくっているわけである/。これに対して/、日本の/家屋は/、壁も/むろん/あるけれども/、唐紙や/障子を/開け放してしまえば/、家の/内と/外との/し

きりは/ほとんど/なくなってしまう/。

それに/加えて/、障子を/閉めきった/場合にも/、自然の/風物を/家の/内部にまで/持ちこもうとする/傾向が/。

このように/、時には/台風や/地震などの/災害は/あっても/、総じて/日本人は/、自然に/恵まれてきた/(按:“恵まれてきた”也可细分成“恵まれて”和“きた”两个句素,这里未取细分法。下文中带有补助动词,补助形容词的用言同此,不再说明。)民族であると/(按:其实,“と”是接在“…恵まれてきた民族である”这个扩展的词组后的,本题未要求划扩展的句素,权作如此划法。下同。)いえよう/。その/結果として/、(按:从职能上看,“として”相当于一个助词,所以不再分为“…と”和“して”两个句素。)日本人には/、自然を/人間と/対立する/ものと/みなす/思想は/生まれなかった/。自然を/敵であるとは/考えないのである/。(按:接于句末的补助惯用型,也看成一个相当于虚词的用法,无须细分。下同。)むしろ/、自然を/人間の味方として/考え/、人間が/暮らしてゆく/うえで/、たよりに/し/、甘えることのできる/ものとして/とらえようとする/傾向が/強いのである/。

その/一つの/例として/、衣服の/ことを/思い浮かべてみよう/。衣服の/材料の/ことは/さきにも/触れたが/、ここでは/それよりも/、衣服に/描かれている/模様に/注ある/。例えば/、古い/家や/寺院の/ふすま絵などを/見ると/、そこには/、自然の/風物が/いかに/たくさん/描かれていることか/。せいぜい/油絵の/額が/飾ってある/程度の/洋間の/壁とは/大違いで/、日本人は/、家の/中に/いても/、自分たちの/周囲に/絶えず/自然を/置きたがっているわけである/。

これらの/ことも/、日本人が/、自然を/親しい/ものと/考え/、常に/その/恩恵に/触れていたいと/念願している/ことの/表れではないだろうか/。

- 五、(例略。扩展的句素有各种层次,以本题之例来看“熱帯と寒冷地域との”是个扩展的句素,“熱帯と寒冷地域との中間にあって”也是个扩展的句素,题目要求划出的不是这些,而是“日本列島が…ことを”,可见本题要求划出的是构成句子最外层成分的,即尽可能大的扩展的句素。)

ところで//ヨーロッパでは、//日本と事情が違っていたと//考えられる。例えば、//日本とヨーロッパの自然環境を比較する一つのめやすとして//、両者の緯度を//調べてみよう。//左の地図(図略)で//、ヨーロッパが日本に比べて/、全体としていかに北に寄っているかは//、一目瞭然である。もちろん//気温とか天候とかは//、緯度だけで決まるものでなく//、海流とか風とか/、そのほかさまざまな要因が/からみ合っているから//いちがいにはいえないが//、しかし、全体的に見て//、ヨーロッパが、日本ほど自然環境に恵れていないことが//推察できるであろう。

// ということから //, ヨーロッパでは, // 自然は人間と対立するものであるという思想が // 広まりやすかった。// 人間が生きてゆくためには //, 自然と闘い /, これを征服し /, 人間にとって利用できる部分は利用し尽くし /, 利用しにくい部分は利用しやすいように改造しなければならない /, という考えが // 育ってきた。

しかし, // これと同時に //, 人間が生きるために //, 自然を有効に利用するには //, 無制限にうばい取るばかりではだめで /, 一方では /, 自然を保護しなければならぬ /, さらに保護するだけではなく /, 積極的にこれを育成しなければならぬ /, とする考えが // 芽生えにきた。

そうしなければ //, もともと豊かでない自然を //, 長期にわたって利用し続けることができなかったわけである。// そういうところから //, ヨーロッパにおいては, // 自然の開発と並んで //, 自然の保護が // 昔から // 切実な問題であったのである //。

ところが, // 日本の場合は //, 自然に非常に恵まれていたために //, 人間のほうから特に働きかけなくても /, 自然はひとりで恩恵を与えてくれるものだ /, という思想が // 長い間に // 常識のようになり //, 日本人の考え方を支配するようになったのである //。

現在, 日本では, // 山野の樹木が //, 次々と切り倒され, // 山という山が // くずされてゆく。// 自然の緑が // 失われるばかりでなく, // 水害や土砂くずれなどの災害が // 副次的に起こってくる。// そういう問題なども //, もとをただせば //, 日本人の / このような / 自然に対する安心感が /, 自然への甘えになったためだとも // 考えられるのである。

第 23 課

1. 家屋は[木材を使って]建てられている。
 2. だから(日本人の)生活は, 昔から[すべてにわたって](植物への)依存度が高かった。
 3. [(かすみのような)現象によって], (植物の) (鮮やかな)緑が, (くすんだ)紫色に変えられる。
 4. [朝は](通勤や通学の)人たちで, バスが[たいへん]こむ。
 5. それは, (牛乳が [ちょうど][40リットル] 入る)かんだった。
 6. ((自然界をいろいろる)緑の)正体は, (植物の)葉である。
 7. そして 茶色は[いうまでもなく](土の)色である。
 8. (日本の自然の)特色を[もう少し]考えてみよう。
- 二、1. 原子爆弾というような, たいへんなものが——原子爆弾というような和たいへんな一起修飾もの構成一个体言性词组再接が構成主語。

2. 日本人の好きな色のなかで緑に次いで多いのは——“日本人の好きな色のなかで”是“多い”的补语,“緑に次いで”是“多い”的状语,“日本人の…多い”这个用言性词组接形式体言の再接は构成主语。

3. 本来の鮮明な色彩が——“鮮明な色彩”是个修饰关系的体言性词组,“本来の”作其定语接于其前,构成一个扩展的体言性词组,这个词组接が构成主语。

4. 農耕が日本人の暮らしの中心になったことも——句子“農耕が…中心になった”接形式体言こと再接も构成主语。

三、1. 日本列島は

2. 次いで多いのは

3. これは

4. 日本人が

四、1. しましたか——动词连用形+敬体助动词ます的连用形+过去完了助动词た+终助词か。

2. お伝えください——お+动词连用形+“下さる”的命令形。

3. 来られる——动词“来る”的未然形+敬语助动词られる。

4. ありますか——动词ある的连用形+敬体助动词ます的终止形+终助词か。

五、

地球と生物圏

生物は、地球の長い歴史の中で、[いつ、]どんな姿で出現したのだろう
か。[このことを探るために、][まず、][現在の生物について、]地球上のど
のような場所に集まり、環境とどんなにかわりをもって生育しているかを
調べ、過去の生物を考える手がかりにしよう。

地球のまわりは、大気の層でかこまれている。大気は、[地表から高さを増
すごとに、][しだいに]薄くなる。[ロケットなどを使った観測によれば、]地
表からおよそ1000Kmの高さの所では、大気はなくなってしまふ。地球のも
っとも外側にあつて、大気が存在する層を気圏という。

地球の表面の70%は、海である。海の深さは、[平均][約]3800mで、もつと
も深いところでは、1万m以上にもなる。[海のように、]地球の表面をおお
う水の部分を水圏という。[海に比べると]面積は[ずっと]小さいが、湖沼
や河川も水圏に含まれる。

陸地の大部分は、岩石からできている。陸地の高さは、[平均][約]800m
で、地球上でいちばん高いチョルモルンマ峰は、8448mである。地球の表面にあ
つて、岩石からなる層を岩層という。

[このように、]地球の表面は、気圏・水圏・岩圏の3つの部分からできて
いる。

生物は、三圏のそれぞれで生活しているが、[それでも、]生活できる範囲

には限界がある。[このように,]生物が生活できる範囲を生物圏という。[生物圏の中でも,][多数の生物が生活している範囲となると,][さらに]それが限定されている。

[たとえば],空中を飛ぶ鳥では,地表から高さ100m以内のものが多い。水中で生活する生物の大部分は,深さ10mぐらいまでの浅い所に集まっている。岩圏では,地表からわずか2~3mまでの深さの所が生物の住み処である。

また、生物は,生物圏のあらゆる所に,[一様に]生活しているわけではない。乾燥した砂ばくや,低温の極地には,ごく少数の,しかもかぎられた種類の生物しか生存していない。

[いっぽんに,]生物は,太陽の光が届き,空気と水に恵まれた所で生活している。このような場所は,気圏・水圏・岩圏の触れ合っている所で,地球の表面のごく薄い層である。そして,[この生物圏の中でも,]とくに多数の生物が生活している所は,熱帯から温帯までの間である。

生物圏では、生物と環境は,[互いに]影響し合っている。[たとえば,]植物は[光合成によって,]二酸化炭素を吸収し,酸素を放出する。[それと同時に,]あらゆる動物は[呼吸によって,]酸素を吸収し,二酸化炭素を放出する。自然界では,[この二つの働きが[ほぼ]釣り合っているので],大気中の二酸化炭素と酸素の割合は,[ほぼ]一定に保たれることになる。

大気の成分が,一定になったのは,いまから約4億年前で,それ以前の地球では,酸素が[ごく]少なかったとされている。

しかし,地球上に緑色の植物が増え,その光合成の働きによって,[大気中に酸素が[多く]含まれるようになる]。[さらに,]この酸素を利用する動物などが現れてきたのであろう。

[このように,]大気の成分は,[生物の出現により,][しだいに]変化し,[それに伴って]生物の種類も変わってきて,現在の地球の姿になったと考えられる。

六、1 問:(○)木や木綿や絹

2 問:(○)読み手

3 問:(○)…位置しているからです。

4 問:(○)新材とほぼ同じくらい強さのところ

問 5: ヒノキは切られてから二、三百年の間は、強さや剛性がじわじわと増して二、三割も上昇し、その時期を過ぎて後、今度は緩やかに下降していきます。

問 6: ①(木の)優秀性を証明しにくい(ということ)。

②(木の)優秀性を数量的に証明することは困難です。

問 7: 木綿や絹を。

第 24 課

- 一、1. まず、日本列島が、熱帯と寒冷地域との中間にあって湿潤であり、植物の繁茂に極めて適していることを指摘しなければならない。
2. かすみのような現象によって植物の鮮やかな緑か、くすんだ紫色に変えられる。
3. つまり、本来の鮮明な色彩が和らげられるわけである。
4. それに加えて、中間色で和らげられた風景が周囲を取り巻き、それが日本人に、自然を極めておだやかなものとして印象づけているのである。
5. ねえさん、公園につれていってくれないか。
- 二、1. 古代文明の発祥地も、黄河やナイル川のような大河の流域である。
2. 川の力は、時おりおそろい災害を引き起こしている。
3. 現代の人間は、目先の利益にとらわれて、川本来の性質を無視してきたのではないだろうか。
4. 農耕が日本人の暮らしの中心になったことも、その結果として当然であった。
5. 自然の中で人間が生き続けていけるかどうかは、自然と人間とのつり合いをどのようにとらえ、どこに調和点を見いだすか、ということにかかっているのである。
- 三、1. この本は、少しも難しくありません。
2. 彼は日本語がまるで話せない。
3. どうも、風邪を引いたらしいです。
4. なぜ何も言いませんか。
- 四、問一： (○)…(使って)いる
問二： (○)…らしい
問三： (○)目的語
問四： (○)「教える」の目的語
問五： (○)…といわれている

- 五、1. 这据说这是由于当时有种画绳定界 的人在建筑寺院、金字塔时作了正确测量的缘故。
 2. 另外,在印度留有已知 8、15、17、12、35、37(也能构成直角三角形的三个边)的记录。

第 25 课

- 一、1. その能力=いろいろと考える能力
 2. その数=ウマがたたいている数
 3. それが=質問者の緊張がゆるむことが

- 二、1. 帰る。 2. わからない。 3. 習う。
 4. 聞く。 5. 出るか。 6. 休んだ。

- 三、1. 日本列島の自然は _____
 日本人の生活様式やものの考え方に _____ 与えてきた
 どのような影響を _____
 であろうか

2. かすみのような現象によつて _____
 植物の鮮やかな緑が _____ 変えられる
 くすんだ紫色に _____

3. 人間は _____
 昔から _____ 利用してきた
 さまざまな方法で _____
 川を _____

4. 二千年も前から水田を耕作していた日本では _____
 人人は _____ 潤していた
 川から农业用水を取ることによつて _____
 水田を _____

5. 現代の人間は _____
 目先の利益にとらわれて _____ 無視してきたのではないだろうか。
 川本来の性質を _____

注:本题中的日语当用汉字用中文汉字代替。

- 四、1. その結果,予想もしなかったような災害が人間自身に降りかかってきている。
 2. 日本列島の自然は,どんな特色をもっていただろうか。
 3. 日本人の生活は,昔からすべてにわたって植物への依存度が高かっ

た。

4. 家屋は木材を使って建てられている。
5. 衣料では、麻や木棉のような植物繊維がはなはだ重要な材料となっている。
6. 飲み水としても、井戸をほって地下水をくみ上げるよりもずっと前から、川の水は利用されていた。

五、(这里仅将简单句摘出,不再划线)

1. このように、熱には物体の温度を変えるはたらきがある。
2. 熱の量をはかる単位としては、カロリーが用いられる。
3. 植物は、動物とちがって、营养成分を、光合成によってじぶんの葉の細胞でつくり出している。
4. 回路を流れる電流をはかるには、電流計を回路に直列につなぐ。
5. また、回路の中の2点間のを電圧をはかるには、電圧計をその2点間に並列につなぐ。
6. この誤差は、電流 I (電流計を入れないとき) と I' (入れたとき) との差として生じる。

六、译文:

希腊人明确了关于图形的“定义”，采用以图形的基本性质和已经弄清楚的性质来“证明”结论正确的方法，进行了研究。

这样发展起来的希腊几何学，在公元前三世纪前后由欧几里德汇编成称为“原本”的13卷书。17世纪这本书译成汉语时，被命名为“几何原本”，所以在中国和日本，关于图形的学问就被称为“几何学”了。

第 26 课

- 一、1. 天体の運動については、地球こそ宇宙の中心で、太陽をふくめてすべての天体はそのまわりをまわっているという天動説がローマ教会の権威とむすびついて支配的であった。
2. コペルニクスは、地球が太陽のまわりをまわっているという地動説をはじめてはっきりと主張した。
3. 「天文学対話」という本のなかには、慣性の法則をもとにして、地動説に対する上の反対論が、けっして大地の不動を示すことにならないと力説されている。
4. そのため、ガリレイは、ローマ教会の怒りにふれて宗教裁判にかけられ、不遇な晩年をおくったが、「それでも地球は動く」という考えをすてなかった。
5. この人は「ハンス」という名のウマを訓練して、算術の問題に答えることができるようにしました。

6. これがごまかしでないことは、飼い主がいないときでも、委員会の人たち自身がハンスから正しい答をうけることができた事実で明らかです。
7. この科学者は、ハンスは立ち会っている人がだれでも答えを知らない問題には答えられないことを発見しのです。
8. このときは、質問する人が読めないように紙を裏がえしてハンスに見せて問題をだします。
9. だれも問題を見ていないときには、ハンスは答えられなかったのです。
10. 質問者はウマが数をたたいているときには注意していて、自分でもその数をかぞえています。

二、(这里仅将包孕句摘出,不再划线)

1. コペルニクスは星の観測をつづけるうちに、そのころ考えられていた天文学の理論が、まちがっているのではないだろうか、と思うようになりました。
2. そのころの人びとは、——地球は宇宙の中心にじっと、動かないでいるもので、太陽や月や星は、この地球のまわりを回転しているのだ、と信じていました。
3. そこで、惑星の一つ一つに地球を中心とする大きな円をかき、その円の上にまた小さな円の上をまわり、そして、小さな円の中心が大きな円の上を動いていって地球のまわりをまわるのだ、と考えました。
4. プトレマイオスの天動説は、しくみが複雑で、いまからみればまちがいです。
5. コペルニクスは「宇宙って、こんなに複雑なのだろうか」と考えました。
6. そして、古いギリシアの本を読んでみると、プトレマイオスのまえに、ギリシアのアリスタルコスなどが「太陽が地球のまわりをめぐっているのではなく、地球が太陽のまわりをめぐっている」という説をとらえていることを知りました。
7. コペルニクスは[地動説のほうが正しい]と信じました。
8. 地球やその他の惑星が、太陽のまわりを回っていると考えたほうが、理論でずっとかんたんになるし、観測した実際の星の動きにもよく合います。
9. コペルニクスは、太陽を動かない中心において、そのまわりを、水星・金星・地球・火星・木星・土星が円をえがいてまわっていると考えました。
10. 聖書には、人間のすみかである大地は宇宙の中心にある、と書いてあるのです。
11. コペルニクスは、自分の考えに自信をもっていました、それを発表するのは慎重でした。

12. けれども、この本が出版されたとき、70歳のコペルニクスは重い病
気にかかり、死の床に横たわっていました。

13. 地球が宇宙の中心でないということは、大変なことです。

14. 地動説が一般に信じられるようになるまでには、それからまた長い
年月がたちました。

問: 1. (○) 2. (×) 3. (○) 4. (×) 5. (×)
6. (○) 7. (×) 8. (×) 9. (×) 10. (×)

第 27 課

一、(2), (2), (2), (1),
 (1), (1), (1), (1)。

二、(这里仅将主从句、并列句摘出)

第一段中:

「物質の中で電気をよく通すものは導体と呼ばれて、通さないもの
は絶縁体と呼ばれています。」

「導体としてはたくさんの種類の金属があり、絶縁体にはガラス、磁
器、ゴム、樹脂、ベークライト、ダイヤモンドなどがあります。」

(みなさんが知っているように、電気はマイナスの電気をもった電子
によって運ばれます。)

「物質は多数の原子が化学的に結合したのですが、電子が電気を
連んでいるとはいえ、これらの原子がもっている全部の電子が電気を
運ぶわけではありません。」

第二段中:

(ナトリウム原子は原子核のまわりに11個の電子をもっていますが、
この原子が集まってナトリウムという金属のかたまりをつくれば、一
番外側の1個の電子だけが結合にあずかり、かたまりの中を自由に動
き回っています。)

(自由な電子が電圧を加えられると、それは動いて電子となります。)

(一方、絶縁体は金属と違った化学結合をしているから、電子は原子
から離れて自由に動きまわることは困難です。)

(絶縁体では自由な電子がない(自由な電子があってもごくわずかで
す)ので、それは電圧を加えられても電流は流れません。)

第三段中:

(半導体とは電流の流れやすさが導体と絶縁体の中間にあるものの
ことですが、半導体と金属、半導体と絶縁体の間にはっきりした境界は
ありません。)

第四段中:

「結晶とはそれをつくっている原子の並び方が規則正しいもので、
結晶にはたくさんの物質があります。」

「結晶でないものの代表的なものにガラスがあり、原子の配列が規則的ではありません。」

「また、結晶には単結晶と多結晶とがあり、単結晶とはそのかたまり全体で原子配列が規則的なもので、多結晶とは小さな単結晶がたくさん集まって、一つのかたまりになっているもののことです。」

- 三、1. 送られ、へ送られる
2. 発電しているのではない
3. 多くの配電用変電所へ分配する
4. 絶えず変動している
5. 供給と消費のアンバランスによるものである
- 四、1. 停電なく
2. つねに電圧や
3. 周波数がきめられた値に保たれている

第 28 課

一、(答案是从第二句开始,按句子的顺序给出)

| | |
|-----------------------|----------------------|
| <u>この三角形</u> | <u>したがって,</u> |
| <u>この数,</u> | <u>この2乗すると2になる数,</u> |
| <u>このような無理数</u> | <u>このような数,</u> |
| <u>かれらは,</u> | <u>また,</u> |
| <u>その後,</u> | <u>いっぽう,</u> |
| <u>このようなインド人の代数学.</u> | |

二、問一、A:ア B:イ C:エ D:ウ
E:エ F:ア

問二、第二段的それ:ウ 第四段的それ:エ
第六段的それ:ウ

問三、そして:ア たとえば:エ また:イ しかし:エ

第 29 課

- 一、1. 「これらの物」というのは「私たちにとって必要なもの、ほしいもの」を指して言っているのです。
2. それは私たちの生活に必要なものは、すべて生産の働きによって造り出されるものだからです。
3. 「そのままの状態」というのは自然の物のままの状態なのです。
4. 生産の三要素は労働・土地・生産手段です。
5. 生産のしくみの発展ということは、結局、生産要素の新しい組み合わせを発見して、生産能率を向上させたり、新しい物を生産することをするのです。

二、[1]:エ [2]:エ [3]:イ [4]:ア

三、译文： 一、 电的良导体

在食盐的水溶液或者融解的食盐中，因存在能自由活动的离子，所以这些液体容易导电。这种物质称为电解质。

物质可分为电的良导体和非良导体。容易导电的有代表性的物质是金属和电解质的溶液，以及融解的电解质。金属不用说，是电的良导体，这是因为金属内部存在象气体分子一样的能自由活动的电子（叫做自由电子）。

二、热

热是看不见，没有颜色，没有味道，没有形状，又没有重量的东西，但是如果伸手向火，则感到暖和，手一触冰，则感到冷。也就是说，我们有冷暖的感觉，是直感地感知温度这一概念的。虽然其他动物也具有这种直感，但是知道使用火的动物仅仅是人类。人类自古以来就利用了火，把它与生活联系起来了。

使温度高的物体同温度低的物体相接触时，较高一方的温度就下降，而较低一方的温度就上升。也就是说，热是从高处向低处移动的。当两方达到同温时，这一作用就停。热和水一样，是由高处向低处流动的。

第 30 课

- 一、1. 画期的な発見をするとか、基本的に新しい着想から出発した、ある学説を提唱するとかした学者である。
2. 科学者を業績によって評価する態度。
3. 一度も天の羽衣がきてなでるという幸運に恵まれずに一生を終わる人。
4. 具象以前の世界

二、第一段是文章的第一句：“ここに…あります。”

第二段是文章的第二、三、四句：“この、言葉の「手」は…ということもありません。”

第三段是文章的第五句到文章的倒数第二句：“わたしたちが…考えられるのです。”

第四段是文章的最后一句：“このように、…あるのです。”

三、エ

第 31 课

一、スティブンソンの「シキル博士とハイド氏」は、人間の心の中にある二面性を普遍的な問題として追求したものだが、この方法では人間の真の姿がとらえられない。社会の問題も追求されなければならないのだ。この意味でユーゴーやゴーリキーやゾラの作品は、人間の、心と社会をめぐる本当の姿をとらえたものと言える。

二、問一、 a:ウ b:イ c:ウ

問二、 A:ウ B:エ C:イ D: ア

第 32 课

一、1:イ 2:エ 3:ウ

二、問一:①場合 ②有名 ③意味 ④必要

問二:第二段落 問三:第五段落

三、人間の幸福は、文明とはかかわりなく、常に一定のものでしかないのではないか。

第 33 课

一、1. ア 2. イ

二、問一 …てはならない/補助慣用型 …によって/修飾慣用型
…において/修飾慣用型 これは…からです。/慣用句型
という/修飾慣用型 …のではなく/補助慣用型
…のです。/ 慣用句型 …を…にする/補助慣用型
…に対して/修飾慣用型 …として/修飾慣用型
…のために/修飾慣用型

問二、译文:(其次,在衣食住中“食”和人们的生活关系最为密切,各国都有其特点。亚洲人自古以来主要靠农业生活,所以,大部分人都是以大米为主食。与此相反,欧洲人主要以畜牧业为生,所以他们经常吃牛肉,猪肉和羊肉,此外,象日本这样四面环海的岛国,作为副食,多食鱼类。由于气候和风土的关系口味因国家不同而有很大差异。比如,热带人喜欢辛辣,日本人喜欢清淡,欧洲人和中国人则相反,喜欢味浓。
另外,由于宗教习惯等原因,也有人忌吃某些食物。)

第 34 课

一、1.c 2.d 3.g 4.e 5.f 6.b 7.a

二、問一、…のために/修飾慣用型 …ようになる/補助慣用型
…のです。/補助慣用型 から…へと…/修飾慣用型

問二、译文:(它们在温暖的地带绕着桔园飞,采集桔花蜜,然后是河畔的洋槐树、七叶树、林中的菩提树,就这样从春天到夏天追赶着花儿,一直追到北方的北海道。

采满胡枝子花和荞麦花蜜之后,北海道已开始刮起冬天的寒风,所以养蜂人就带着蜜蜂返回本州越冬的地点,养蜂人和蜜蜂追赶着花儿在山岗原野渡过一年中的大部分时光。)

第 35 课

一、1. 即使有个把人在自己面前插进来,往往也只是露出一一点不愉快的神色,

就一声不响地默许了。

2. 即使别人不讲清楚,那个人可能关于某事费煞了苦心。

3. 人的心里藏着形成具体形象以前的世界,并且要从中得出某种具体化的形象来。

4. 只要劳动、土地、生产手段(资本)三者缺一,就不可能创造财富。

二、同一、…における/修飾慣用型 …ようにする/補助慣用型

…とあってよい/補助慣用型 …によって/修飾慣用型

…といわれる/補助慣用型 …と考えられている/補助慣用型

…おそれがある/補助慣用型 …という/修飾慣用型

…にとって/修飾慣用型 …てはならない/補助慣用型

問二、1(X) 2(X) 3(O) 4(X) 5(O)

第 36 课

一、1. こんにちまでの物質についての理論のめざましい発展は、大きな成果をまたらした。そのひとつは、自然界に存在しない物質を人間の手で合成できるようになったことです。

2. 化学の応用がさらに進んだ段階では、自然界に存在しない新しい物質をつくりだしました。たとえば、ナイロンは化学的な構造も性質も絹とよく似ており、いわば人間がつくった絹です。おなじように、クロロプレンゴムは天然ゴムと組成がすこしだけ違った、人間がつくりだしたゴムです。

3. 化学の生活への応用の第三段階では合成のものはもはや自然界に存在するものの単なる類似品ではなくなりました。ポリエチレンやビニロンあるいは半導体などはその例です。

4. はい、密接なものです。

二、译文： 关于化学反应

构成我们所居住的这个世界、太阳系乃至整个宇宙的物质。包括物体在内，都是随时间的推移而不断地变化着。这些物质的变化有各种各样的形式，被称为宇宙的进化和地球上生物进化的变化是一种经历漫长时间发生的变化。

把这些变化当作构成物质的粒子的变化，从微观的角度来看，一般就叫做反应的现象。其中有原子核反应和化学反应。

化学反应同原子核反应相比，是一种缓慢得多的反应，而且吸热散热也少，但它是地球上地质学变化和生物的代谢、遗传的基础的一种现象。另外，在现代社会中，利用化学反应广泛地进行着人工合成人类生活所必须的各种物质的活动。弄清这种化学反应的机理，研究发生新化学反应的可能性，这和研究物质结构一起在化学方面形成一个非常重要的研究领域。

三、译文：[研究化学反应的机理，有什么办法呢？先看一看我们最熟悉的化学反应吧。]

〔但是,这些反应非常复杂,不宜一开始就用它们来研究化学反应的机理。因此,化学家们尽可能用简单的化学反应并从搞清其机理开始。〕

〔并且在不少情况下,即使发生了化学反应,用肉眼也是完全看不到的。〕

〔通过化学分析了解到反应后生成了什么物质并确定反应物和生成物量的比,就能写出化学反应式。〕

〔化学反应式是表示参与反应的物质和生成物质的关系的基本式子,可以说,就相当于表示旅行时的出发地和目的地。〕

四. 译文:〔古希腊哲学家泰勒斯认为唯有水才是最原始物质——元素,提倡“水一元说”。另外,在亚里士多德“四元素说”和东方的五行学说中,水也是作为不可缺少的元素之一而提出来的。〕

〔水蒸发而成的水蒸气,变成雨或雪降到地面,有一部分汇集成河水流入大海,也有一部分成为渗入地下的地下水,或经蒸发又直接回到大气中去。〕

〔对于地球上的生物来说,当然,水是不可缺少的物质。〕

第 37 课

- 一、1. あるとき、1びきのミツバチがこれに気づき、蜜を すってとびさると、まもなく無数のミツバチが、蜜のところにむらがってきました。注意深く観察していると、このミツバチたちは、はじめにきた偵察バチと同じ巣箱からきたものでもることがわかりました。
2. 最初は右にまわり、つぎには左、そのつぎは、右というような回転ダンスをはじめました。
3. ミツバチの回転ダンスは、ただ蜜が近くにあることを伝える信号であって、蜜の方向と距離についてはなにも伝えていません。
4. ダンスのしかたは、まず腹部を左右にふりながら、ある一定の直線方向に進むと、それから時計方向にぐるりとまわり、ふたたび腹部をふってまえと同じ道を進み、こんどは反時計方向にまわりこむというぐあいに変わりました。

二、译文:

〔对动物的感觉进行研究(或译作:研究动物的感觉)总不是那么容易的。因为观察的人了解的只能是从外表观察到的动物的行动,而要直接了解动物实际上感觉到了什么是根本不可能的。因此,就要设计一个特别的实验,仔仔细细地判断实验的结果。那么(增词),做什么样的实验才好呢?〕

〔但是,不能根据这个实验马上得出“蜜蜂对颜色有感觉”的结论)(或译作:不能根据这个实验就马上得出结论:“蜜蜂对颜色有感觉”)。因为全色盲的人也比较容易地区别蓝色和红色(“なぜならば”原义是“为什么呢?”它和“…からです”共同构成惯用句型,表示补叙原因。从字面不来看“なぜならば”没有在译文中表现出来。)在这种全色盲的人眼里,红色很暗的灰色,蓝色是明亮得多的灰色(句中的“…には…は…に見える”直译是“对…来说,…看上去是…”,此处引伸为“在…眼里,…是…”),因而能区分它们。〕

[为了证实蜜蜂有色觉,又做了一个比使用颜色板更加严密的实验.这个实验就是,把用分光镜分出的各种颜色投到桌上,训练蜜蜂到这些颜色上来.其结果验证了用颜色板所做的实验的正确性.通过这个新的实验,发现了一个未曾料到的新情况,即发现蜜蜂能看到紫外线部分的光.对于这种昆虫来说,人眼看不见的紫外线是一种颜色.这样,通过细心反复的实验,科学家们常常会取得意想不到的新发现.]

第 38 课

一、1. そのとき,ダンスの直線部分は蜜の方向に一致します。

2. ミツバチは,太陽の方位と巣箱をむすぶ線を基準に,太陽の方位と蜜の方向との関係を,垂直に立っているわく板のうえで,鉛直線に8字形のダンスの直線部分との関係にうつしかえて,蜜の方向を示すのです。たとえば,蜜のあり場所が太陽の方向に一致していれば,8字形の直線部分を上向きに,反太陽方向に一致していれば下向きに腹部をふりながら進むダンスをします。

3. ミツバチは巣箱の出入口から見えていた青空から,太陽の位置を決めるのです。

4. そうすると,ちょうど太陽からの光の振動方向がずれただけ8字形のダンスの向きが変わるのです。

二、运用翻译技巧、将下列句子译成汉语

1. 随着化学工业的发展,防止化学物质对大气、水、土壤等造成的污染,也成了当今的重要课题。

2. 尼龙的化学结构和性质都很象丝绸,可以说是人造的丝绸。

3. 使用量角器测一测看绳子与水面成多大的角度。

4. 人们逐渐注意到,在各种图形的性质中,有简单的和复杂的,有时可以从理论上根据简单的性质来说明复杂的性质

5. 在希腊,避开了答数为负的问题。可是,12世纪,印度的巴斯克拉则解过包括答数为负的各种方程。

6. 关于天体运动,天动说与罗马教廷的权威相结合,曾占据着统治地位。这种学说认为,地球才是宇宙的中凡,包括太阳在内的一切天体都绕着它旋转。

7. 在《天文学对话》一书中,(他)以惯性法则为依据,有力地论证,上述结于地动说的反动论绝不能说明大地不动。

三、这道题建议进行作业讲评,讲评中,着重介绍一下掌握说明文大意的的方法。

阅读一篇文章,如何来掌握其大意呢?文章的性质不同,所采用的方法也有所不同。本文是一篇说明文,阅读这类文章时,首先要注意,文章要说明的是什么问题。这个问题一般在文章的开始部分会提出来,如本文第一段的第一句话,就是本文提出来的要说明的问题。其次,文章的题目也大体上可以反

映出要说明的问题,如本文的题目“色と動物”,大体可以看出,本文是写颜色与动物的关系的。然后,找出各段的重点。最后,通过各段归纳出全文的大意来。

第 39 课

一、問一、ア:5 イ:3 ウ:1 エ:6 オ:2

問二、A、集まる→集まった

B、囲む→囲まれ(囲まれて)

C、知る→知らせた

D、参加する→参加した

E、集まる→集まり(集まって)

問三、1. とけい 2. 専攻 3. たいしょう 4. めずら(しい) 5. むずか(しい) 6. しせつ 7. へや 8. 構造 9. 程度 10. 語(って)

問四、1. (口) 2. 石川教授 3. 3月上旬,千葉大の研修施設(3月上旬,千葉県) 4. 内庭 5. 昼食時刻

問五、(1):○(2):×(3):○(4):×(5):×

中级阶段自测题(一)答案

I ① 2,4 ② 3,1 ③ 3,3 ④ 2,4 ⑤ 4,1

II ① 2,1 ② 4,1 ③ 2,3 ④ 4,2 ⑤ 1,4

III ① 4,1 ② 1,3 ③ 3,1 ④ 4,2 ⑤ 1,2

⑥ 3,1 ⑦ 2,3 ⑧ 2,4 ⑨ 3,2 ⑩ 1,4

IV (1) 2 (2) 4 (3) 1 (4) 3 (5) 2

(6) 2 (7) 1 (8) 1 (9) 4 (10) 3

V 問1 A:2 B:4

問2 1 × 2 × 3 × 4 × 5 ○ 6 ○ 7
○ 8 ×

VI 译文:

日本的气候

日本地处温带,但国土为南北向狭长形,所以南北气候差异很大,而且夏季和冬季的温差大,夏天有些地方也和热带差不多一样热。

日本春、夏、秋、冬四季分明。而且既有梅雨期,也有台风常发生的时期。气候如此变化多样,是因日本受季风影响很大的缘故。所谓季风就是每年在一定的时节刮的风,冬天则从大陆刮来寒冷的西北季风。

梅雨是每年6月中旬到7月中旬下的雨。在梅雨期间,每天都下雨,即使不下雨,也不会有好天气。这种雨在日本西南部下得多,到本州的东北部就不多了。北海道没有梅雨。日本是在这种梅雨期插秧。梅雨期一过,就是炎热的夏季了。

台风在每年8月到10月常向日本袭来。台风的前进方式基本是一定的,

往往在关东地区到西太平洋一侧以及四国、九州登陆。台风登陆的地区或台风经过的地区经常受到很大灾害。

除了在夏季气温也低且没有梅雨期的北海道以外,因为日本中部有象脊骨一样走向的山脉,所以太平洋一侧和日本海一侧的气候差别很大。

太平洋一侧的气候是,夏季因受太平洋刮来的季风的影响而多雨,天气持续闷热,而冬天则刮干燥的风,天气多晴。这种气候叫太平洋式气候。

日本海一侧的气候是,冬天从西伯利亚刮来的冷风在日本海上空吸收大量的水分,遇到日本中部的高山时就降雪,所以雪降得多。而且在夏天虽然不象太平洋一侧那样多雨,但气温与太平洋一侧差不多,同样也高。这种气候叫日本海式气候。

此外,日本还有象濑户内海沿岸地区和中部高地那样受季风影响较小的少雨地区。

总之,因此区不同而存在种种差异的日本各地的气候,给人们的生活和生产带来很大影响。

中级阶段自测题(二)答案

- I ① 3,1 ② 4,3,2,3 ③ 2,1 ④ 2,4
I ① 3,4 ② 4,1 ③ 4,2 ④ 3,4 ⑤ 1,3
III 4,2,4,2,4,1,3,1,3,4
IV 3,3,3,1,4,2,2,3,3,4
V 问 1: 2,2,1,4,1 问 2:3 问 3:1 问 4:3 问 5:2 问 6:4
VI 译文:

都市与年轻人

在日本的大城市,诸如东京啦、大阪啦、横浜啦,走一走,就会发现年轻人多。坐电车也好,进饭馆进电影院也好,都以年轻人为多。这不仅仅是凭印象,即使按实际数字来说,东京 23 个区中 20 岁到 30 岁的人口占整个人口的百分之二十三,在京都则占百分之二十四。在米兰 20 岁到 30 岁的人只不过占该市总人口的百分之十三,纽约 20 岁到 30 岁的人只不过占总人口的百分之十二。就是说,日本城市中 20 岁到 30 岁的人所占的比例是西欧主要城市的两倍。

当然,世界上任何一个国家都有农村人口向城市流动的现象。在美国,除南部人口向北部流动外,还有众多的人从波多黎各和墨西哥等地流动到北部和西部的大城市中去。在意大利也有大量的人口从南部的城市中去。在意大利也有大量的人口从南部的农村向北部的城市流动。只是与日本不同的是,在欧美,往往是因机械化的发展而失业的人全家移居。

日本的情况往往是,家庭整体留在农村,只是年轻人离开家庭单身一人来到大城市。这时,全国教育水平的惊人的均衡和普通话的普及发挥了极大的作用。即使是昨天刚刚从农村来到大城市的工厂的年轻人,也能相互自由交谈,还能听懂和完成上司所分派的工作。这种有才能的年轻人在农村的自

然环境中成长得健康,来到大城市后,拿低工资而努力工作,而且努力积蓄,已经成为日本经济的推动力量。

在此以前这也许是好事。但问题在今后。由于水质污染和空气污染的加剧,来到城市的年轻劳动人的健康正在受到损害。这种现状不容忽视。

另外,如在贸易方面出现的粮食自给率的极端下降所显示的迹象那样,日本农业政策的失衡问题也更加突出起来。在农村,往往是妻子和小孩,以及老人寂莫地守护着家庭。年轻人都到城市去了,而且父亲也在一年里近半年的时间去城市打工去了。这样人口过于稀少的农村,已经不能象以前那样继续输送年轻的劳动力了。而且农户中接班人不是本身就是问题。

不能放任这种状态而不管。可是,制定某种规章,做到使城市环境污染不再加剧啦,设立奖励金制度以使人口返回到农村来啦,采取这种微不足道的方法恐怕不会解决问题。不要只考虑城市或只考虑农村,而需要更加结合的、根本的措施。

高级阶段自测题(一)答案

问题 I ①(1):1 (2):3 (3):1 (4):4

②(1):3 (2):4 (3):1 (4):3

③(1):4 (2):2

问题 II ①(1):2 (2):4 ②(1):3 (2):1

③(1):4 (2):2 ④(1):2 (2):4

⑤(1):4 (2):1

问题 III (1)4 (2)2 (3)4 (4)3 (5)4

(6)2 (7)3 (8)1 (9)3 (10)1

问题 IV (1)1 (2)1 (3)2 (4)1 (5)2 (6)4 (7)2(8)1 (9)2 (10)4

问题 V 问题 1:① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 2 ⑥ 4

问题 2: a、1 b、4

问题 3: 3 问题 4: 1

问题 VI 译文:

如果把由一定的个人构成的社会集团的构成要素作极为抽象的考虑,那么可以设定两个不同的原理——资格和场所。即存在着由构成社会集团的个人资格的共性所产生的作为构成社会集团的首要条件的要素和由场所的共有所产生的要素。

这里所说的资格比一般所用的意义要宽广的得多,它表示社会个人的一定素质。

例如有姓氏、血统那样的个人先天具备的因素,也有学历,地位,职业等个人后天所获得的因素。另外,从经济方面来看,有资本家、工人、地主、佃农等,也分别为一种资格类别。而且,甚至男、女、老、幼等一定的社会差别(由生理差别产生)都可以作为这里所说的资格(素质)之一来处理。

通过使用这种能够把一定的个人与其他个人区别开来的某种素质标准

而划分社会集团和时候,就叫作“根据资格”。例如,特定的职业集团、一定的父系血缘集团、一个按世袭等级制度划分出来的集团等就是例子。

与此相反,所谓“根据场所”指的是,不论其资格如何,根据一定的地区或工作单位等一定的范围,一定的个人构成集团和时候。例如象说XX村落的成员那样,以产业界为例,说车工,是指的资格;而说P公司的成员,则是根据场所来划分同样,教授、办事员、学生分别指资格,R大学的人是指场所。

日本人对外(对他人)说自己的社会地位时,喜欢优先使用场所,而不是资格。首先说他是A公司或S公司的人,而不同说是记者或工程师。此外,别人更想知道的首先也是A公司或S公司,然后才是记者还是印刷工人,或者是工程师还是办事员。

实际上有时候因为对方说他是XX电视台的人,因此你以为他是节目编导或摄影师,可他却是一个司机之类。

这里可以明确指出的是,场所即公司或大学等范围在社会上对集团构成和集团认识起着很大的作用,而个人所具有的资格是第二位的问题。

高级阶段自测题(二)答案

问题 I ①(1):1 (2):4 (3):2 (4):4
②(1):4 (2):1 (3):2 (4):4 (5):2 (6):3

问题 II ①(1):2 (2):4 (3):1 (4):3
②(1):4 (2):3 (3):1 (4):3
③(1):4 (2):1

问题 III (1) 1 (2) 3 (3) 4 (4) 1 (5) 3
(6) 4 (7) 1 (8) 4 (9) 2 (10) 2

问题 IV (1) 4 (2) 1 (3) 3 (4) 1 (5) 3
(6) 4 (7) 2 (8) 1 (9) 2 (10) 4

问题 V 问题 1: (1) 2 (4) 1 (5) 4
(6) 1 (7) 4 (9) 2 (10) 3

问题 2: 2 问题 3: 4 问题 4: 1

问题 VI 译文: 信息时代

当代被称为信息时代,通过大众新闻媒介的传播,我们得知很多信息。在科学知识方面也是如此,一旦出现新的理论和发明,大众新闻媒介便迅速报导,我们马上就可知。科技书刊中也少不了要登载。全世界发生的许多事件,我们也能在瞬间就可知道。不论怎样,这是一个全世界都能够通过画面而立刻知道宇航在月球上的活动的时代。如果在连报纸都没有的过去,人们只能通过相互交谈而且甚至只能通过误传,恐怕花上好几个月或许好几年才能知道一个事件,而在现在,不到一小时就能通过收音机和电视机准确地了解到。

当代的我们的确博闻多识,“得知”各种事件。就知识量来说,可以说当代人恐怕具有比过去任何一个时代的人都多的知识。

这样,如果我们“知道”许多情况,乍看起来,当代的我们也许就能最善于“思考”。但“知道”与“思考”决不是一回事。固然,具有许多正确的知识对于正确地思考并作出正确地判断是有利的,这是不言而喻的。因为在错误知识的基础上作出的判断当然也是错误的。但尽管有了许多知识,也不会直接由此导致能进行正确地思考。倒不如要说,我们由于能够知道许多情况,反而有忘记思考的危险。为什么呢?我们要知道的事情太多,拼命求知就有可能养成一种不深入思考的习惯。

然而,在信息时代最危险的也许是,别人“思考”过的事物被作为信息传播得太多。我们就“知道”了别人思考过了事物。这样一来,我们就有可能通过“知道”别人的意见而以为自己亲自“思考”过了。更何况一旦许多人的相同意见大量传播,我们实际上什么也没有亲自思考,却可能会把那些意见认定为自己思考了的意见。

总词汇表

说明:单词后面的数字表示课次,其中有“'”的为课外读物的课次。

| | | |
|-------------------|-------------------------------|--------|
| あ | (感)(打招呼声)喂,是(表示突然吃惊或想起什么)呀。噢。 | 17 |
| ああ | (感)(表示惊、喜、悲、叹等感情)啊,呀,唉 | 8 |
| あい[(藍)] | (名)天蓝 | 36 |
| あいこう[愛好] | (名・自他サ)爱好 | 24 |
| あいさつ | (名・自サ)问候;致词 | 21 |
| あいじょう[愛情] | (名)爱,爱情 | 18 |
| あいじん[愛人] | (名)情人;情夫,情妇 | 24 |
| あいず[合図] | (名)信号,暗号 | 25 |
| あいだ[間] | (名)中间 | 3 |
| あいて[相手] | (名)对方,对手,伙伴 | 14 |
| あいまい[暧昧] | (形动)含糊 | 17 |
| あう | (接尾)互相…… | 13' |
| あえて | (副)敢 | 20 |
| あお[青] | (名)绿色,绿灯(通行信号) | 8 |
| あおい[青い] | (形)蓝的 | 0 |
| あおぞら[青空] | (名)蓝天,苍天 | 38 |
| あか[赤] | (名)红(色),红灯(危险信号,停止信号) | 8 |
| あかい[赤い] | (形)红的,红色的 | 6 |
| アカデミック[academic] | (形动)学院式的;古典式的 | 31 |
| あかね[(茜)] | (名)茜草 | 31 |
| あがる[上がる] | (自五)上登,进入,上升 | 9.7' |
| あかるい[明るい] | (形)明亮的 | 9.3' |
| あき[秋] | (名)秋天 | 4 |
| あきらか[明らか] | (形动)明星,明亮 | 36.14' |
| あく[悪] | (名)坏,劣 | 34 |
| アクセル[accelerator] | (名)(汽车,飞机)加速装置,油门踏板 | 11 |
| あける[開ける] | (他一)打开 | 18.10' |
| あげる[上げる] | (他一)(敬)给 | 15 |
| あげる[挙げる] | (他一)举出,提高 | 22 |
| あさ[朝] | (名)早晨,早上 | 3 |
| あさ[麻] | (名)麻 | 22 |

| | | |
|----------------|---------------|---------|
| あさい[浅い] | (形)浅的 | 10 |
| あさって[明后日] | (名)后天 | 7 |
| あさばん[朝晩] | (名)早晚 | 34 |
| あさひ[朝日] | (名)朝阳,旭日 | 6 |
| あざやか[鮮やか] | (形动)鲜明 | 22 |
| あし[足] | (名)脚 | 25 |
| まえあし[前足] | (名)前脚 | 25 |
| あじ[味] | (名)味道,滋味 | 35 |
| アジア[Asia] | (名)亚洲 | 0 |
| あした | (名)明天 | 2 |
| あじわう[味わう] | (他五)品尝,体验 | 31 |
| あす[明日] | (名)明天 | 7 |
| あずかり[預(か)り] | (名)收存,存单,保留 | 26 |
| あせ[汗] | (名)汗 | 32 |
| あせをかく[汗を(掻)く] | (词组)出汗 | 7' |
| あそこ | (代)那里 | 1 |
| あそび[遊び] | (名)游戏,玩耍,游玩 | 8 |
| あそぶ[遊ぶ] | (自五)玩耍,玩球 | 15 |
| あたいる[値する] | (自サ)值得…… | 41 |
| あたえる[与える] | (他一)给,给予 | 22. 16' |
| あたたかい[暖かい・温かい] | (形)温暖的,和睦的 | 6 |
| あたたまる[暖まる] | (自五)温暖,变暖 | 7 |
| あたま[頭] | (名)头,头脑 | 3 |
| あたらしい[新しい] | (形)新的,新式的,新鲜的 | 11. 3' |
| あたりまえ[当(た)り前] | (形动)理所当然 | 32 |
| あたる[当たる] | (自五)碰,当(阳),晒 | 17' |
| あちこち | (名)到处,各处 | 13' |
| あちら | (代)那边 | 1 |
| あつい[暑い] | (形)(天气)热的 | 6 |
| あつい[厚い] | (形)厚的 | 38 |
| あつかう[扱う] | (他五)操作,操纵,处理 | 39. 12' |
| あつかいかた[扱い方] | (名)使用方法 | 12' |
| あつさ[暑さ] | (名)暑热 | 7' |
| あっち | (代)那边 | 1 |
| あつとう[圧倒] | (名・他サ)压倒,凌驾 | 13 |
| あつまり[集まり] | (名)集合,聚集 | 10. 9' |
| あつまる[集まる] | (自五)集合 | 29 |
| あて[当て] | (名)目标,目的,期待 | 31 |

| | | |
|-----------------------|-----------------------------|-------|
| あてはまる〔当(て)嵌(ま)る〕 | (自五)适用,合适 | 34 |
| あてる〔当てる〕 | (他一)寄给,发给;碰;烤 | 21' |
| あと〔后〕 | (後)以后,之后 | 4 |
| あと〔跡〕 | (名)踪迹 | 37 |
| あな〔穴〕 | (名)孔 | 5' |
| あなた〔(貴方)〕 | (代)您,你 | 2. 1' |
| あに〔兄〕 | (名)哥哥,家兄 | 3 |
| あの | (连体)那个 | 1 |
| あのう | (感)嗯,啊,喂 | 17 |
| アパート〔apartment house〕 | (名)公寓 | 32 |
| アピール〔appeal〕 | (名・自他サ)呼吁;(俗)受欢迎,得到好评;(有)魅力 | 13 |
| あびる〔浴びる〕 | (他一)浴,淋,晒 | |
| あぶない〔危ない〕 | (形)危险的,令人担忧的 | 18 |
| あぶらえ〔油絵〕 | (名)油画 | 39 |
| アフリカ〔Africa〕 | (名)非洲 | 12 |
| あまい〔甘い〕 | (形)甜的 | 37 |
| あまのはごろも〔天の羽衣〕 | (名)神仙穿的又轻又薄的衣;天仙 | 30 |
| あまり | (接尾)(接数词之下表示)余,多 | 5 |
| あめ〔雨〕 | (名)雨 | C |
| あめかせ〔雨風〕 | (名)风雨 | 29 |
| アメリカ〔America〕 | (名)美国,美洲 | 18 |
| あやしい〔怪しい〕 | (形)奇怪;靠不住 | 40 |
| あやまり〔誤り〕 | (名)错误 | 25 |
| あゆむ〔歩む〕 | (自五)步,走 | 23 |
| あらう〔洗う〕 | (他五)洗 | 32 |
| あらし | (名)暴风雨,风暴 | 34 |
| あらそう〔争う〕 | (他五)争夺,竞争,争论 | 18 |
| あらた〔新た〕 | (形动)新,重新 | 36 |
| あらためて〔改めて〕 | (副)重新,再次 | 23 |
| あらためる〔改める・革める〕 | (他一)改,改变,改正 | 14 |
| あらわす〔現(わ)す・表(わ)す〕 | (他五)表示,表现,显出 | 13 |
| あらわれ〔表れ〕 | (名)表现,表示 | 13 |
| あらわれる〔表われる〕 | (自一)出现 | 13 |
| ありがたい | (形)值得高兴,值得感谢 | 15 |
| ありがたき〔(有難)き〕 | (名)可贵 | 19' |
| ありがち〔有りがち〕 | (形动)常有,常见 | 31 |
| ありがとう〔有(り)難う〕 | (感)谢谢(敬语形式是ありがとうご | |

ございます、
ありがとうございました)

| | | |
|----------------------|----------------|---------|
| | | 14 |
| アリザリン[alizarin] | (名)茜素,茜素红 | 36 |
| アリストテレス[Aristoteles] | (名)亚里士多德 | 20' |
| ありばしょ[あり場所] | (名)所在地 | 38 |
| ある | (连体)某,有的 | 2 |
| ある | (自五)有,在 | 1 |
| あるいは[或いは] | (接)或,或许 | 30. 14' |
| あるく[歩く] | (自五)走,步行 | 6 |
| アルコール[alcohol] | (名)酒精 | 17' |
| アルファベット[alphabet] | (名)罗马字母,字母表 | 13 |
| あれ | (代)那个 | 1 |
| あわ[泡] | (名)泡,沫,水花儿 | 7 |
| あんか[安価] | (形动)廉价 | 36 |
| あんがい[案外] | (副・形动)意想不到 | 17 |
| あんしゅつ[案出] | (名・他サ)考虑出,研究出 | 42 |
| あんしん | (名・自サ)安心,放心 | 18 |
| あんぜん[安全] | (名・形动)安全,保险 | 31 |
| あんぜんき[安全器] | (名)保险盒 | 10' |
| あんな | (连体)那样的 | 1 |
| あんない[案内] | (名・他サ)导游,向导,通知 | 15 |
| あんないしゃ[案内者] | (名)向导,带路人 | 31 |
| あんないしょ[案内書] | (名)指南书,导游手册 | 31 |
| あんなに | (副)那样 | 1 |
| アンペア[ampere] | (名)安(培) | 10' |
| | | |
| い[胃] | (名)胃 | 27 |
| いい | (形)好 | 3 |
| いいえ | (感)不(是),不对 | 0 |
| いいかえる | (他一)换言之 | 15' |
| いいんかい[委員会] | (名)委员会 | 25 |
| いう[言う] | (他五)说 | 7 |
| いうまでもない | (词组)不用说 | 22 |
| いえ[家] | (名)房子,家 | 0 |
| いか[以下] | (名)以下,以后 | 24 |
| いがい[以外] | (名)以外,除……之外 | 8 |
| いかが | (副・形动)如何 | 26 |

| | | |
|-----------------|----------------------------|-------|
| いがく[医学] | (名)医学 | 11 |
| いかす[生かす] | (他五)使……活,有效地使用 | 12 |
| いかなる | (连体)什么样的 | 20 |
| いかに | (副)如何,怎样,(后接ても) 不管怎么……也 | 18 |
| いかり[怒り] | (名)发怒 | 26 |
| いぎ[意義] | (名)意义,价值 | 30 |
| いきがい[生きがい] | (名)活着的价值,生存的意义 | 8 |
| いきかた[行き方] | (名)去的方法 | 8 |
| いきき[行き来] | (名・自サ)来往 | 12 |
| イギリス[葡 Inglez] | (名)英国 | 33 |
| いきる[生きる] | (自一)活(着),生活 | 13.5' |
| いく[行く] | (自五)去,往 | 3.2' |
| いくら | (数)(价钱、重量、数量、 时间等)多少 | 15 |
| いくら | (副)(后与ても呼应)不论 怎么……也 | 24 |
| いけ[池] | (名)池子,池塘 | 0 |
| いけだ[池田] | (名)池田 | 14 |
| いざ | (感)一旦,万一 | 34 |
| いざというとき[いざという時] | (词组)紧急之时 | 34 |
| いさん[違算] | (名・自サ)误算,估计错 | 31 |
| いし[石] | (名)石,石子 | 16 |
| いしき[意識] | (名・他サ)意识,意识到 | 25 |
| いしづくり[石造り] | (名)石砌 | 33 |
| いしゃ[医者] | (名)医生 | 18 |
| いしょう[衣裳] | (名)服装 | 42 |
| いじょう[以上] | (名)以上,上面,超过…… | 2 |
| いしょく[移植] | (名・他サ)移植,移栽 | 42 |
| いす | (名)椅子 | 0 |
| いせい[異性] | (名)异性 | 32 |
| いぜん[以前] | (接尾)……以前 | 30 |
| いそがしい[忙しい] | (形)繁忙的,忙碌的 | 3 |
| いそぐ[急ぐ] | (自五)急于,赶紧 | 0 |
| いぞん[依存] | (名・自サ)依存,依赖 | 41 |
| いぞんど[依存度] | (名)依赖程度 | 22 |
| いたい[痛い] | (形)疼的,难受的 | 27 |
| いたす[致す] | (他五)(するの谦恭说法,也用作 | |

| | | |
|-----------------|------------------|---------|
| | 自动词)做,办 | 21 |
| いただく[頂く] | (他五)(もらう的敬语动词)得到 | 13 |
| いたむ[(傷)む] | (自五)破损,弄坏 | 12' |
| いたる[至る] | (自五)至,到 | 28 |
| いち[一] | (数)一 | 1 |
| いち[位署] | (名)位置;地位 | 41 |
| いちいん[一員] | (名)一员 | 21 |
| いちおう[一応・一往] | (副)一次,一下;大体 | 30 |
| いちかばちか[一か八か] | (词组)碰运气,听天由命 | 34 |
| いちぐう[一隅] | (名)一角,一隅 | 33 |
| いちごん[一言] | (名・自サ)一言,一句话 | 30 |
| いちじ[一時] | (名・副)某时,当时;暂时 | 18 |
| いちじるしい[著しい] | (形)显著的,明显的 | 18. 14' |
| いちず[1 図] | (名)图 1 | 27 |
| いちだん(と)[一段(と)] | (副)更加,越发 | 21. 14' |
| いちどに[一度に] | (副)一下子 | 5' |
| いちねんせい[一年生] | (名)一年级学生 | 3 |
| いちばん[一番] | (数)第一(副)最 | 1 |
| いちぶ[一部] | (名)一部分 | 38 |
| いつ[何時] | (数)何时,什么时候 | 11 |
| いっしゅん[一瞬] | (名)一瞬,一眨眼 | 32 |
| いっしょ[一緒] | (名)一同,一起,同时 | 12 |
| いっしょうけんめい[一生懸命] | (名・副・形动)拚命,努力 | 3 |
| いっしょに[一緒に] | (副)一起 | 3 |
| いったい[一体] | (副)大体上,究竟,到底 | 24 |
| いったん[一(旦)] | (副)一度,一旦,如果 | 28 |
| いっち[一致] | (名・自サ)一致,相符 | 38 |
| いつつ[五つ] | (数)五个,五岁 | 4 |
| いっつう[一通] | (数)一封 | 13' |
| いってい[一定] | (名・自他サ)一定,固定 | 24 |
| いつのまにか[何時の間にか] | (副)不知不觉地 | 32 |
| いっぱい | (副)满满地 | 4 |
| いっぱん[一般] | (名・副)一般 | 27 |
| いっぽう[一方] | (名)一端,一方面 | 16 |
| いつまでも[何時までも] | (副)到什么时候也…… | 31 |
| いつも | (副)经常,总是,往常 | 14. 11' |
| いでん[遺伝] | (名・自サ)遗传 | 36 |
| いと[糸] | (名)线,绳 | 16 |

| | | |
|------------------|--------------------------------|-------|
| いど[井戸] | (名)水井 | 23 |
| いとう[伊藤] | (名)伊藤 | 2 |
| いどう[移動] | (名・自他サ)移动,转移 | 15 |
| いとなみ[営み] | (名)经营;工作;准备 | 32 |
| いどむ[挑む] | (自・他五)挑战,征服 | 32 |
| いなか[田舎] | (名)乡下,农村,田园 | 9 |
| いなかまち[田舎町] | (名)乡村小镇 | 33 |
| いなた[稲田] | (名)稻田 | 24 |
| いねむり[居眠り] | (名・自サ)瞌睡,打盹儿 | 11 |
| いぶき[息吹き] | (名)呼吸;气息,气氛 | 24 |
| いま[今] | (名)现在,当前 | 3. 2' |
| いまさらのように[今更のように] | (副)仿佛现在才发觉似地,仿佛现在才知道似地(实际已经知道) | 13 |
| いままで[今迄] | (副)直到现在,从前,过去 | 8 |
| いまや[今や] | (副)现在(比いまは语气强) | 20 |
| いみ[意味] | (名・自他サ)意思,意义,意味 | 8 |
| いみあい[意味合い] | (名)缘由,详情,来龙去脉 | 42 |
| イメージ[image] | (名)印象,形象 | 30 |
| いもうと[妹] | (名)妹妹 | 5 |
| いや | (感)不,否 | 26 |
| いや[嫌] | (形动)讨厌,不愿意 | 35 |
| いやくひん[医薬品] | (名)药品 | 36 |
| いよく[意欲] | (名)意愿,热情 | 28 |
| いらい[以来] | (名)以来 | 20 |
| いらっしゃる | (自五)(敬)在,来,去 | 16 |
| よくいらっしゃいました | (词组)(表示欢迎的寒暄语) | 16 |
| ようこそいらっしゃいました | 欢迎(您来) | |
| いりぐち[入口] | (名)入口 | 17 |
| いりょう[衣料] | (名)衣服,衣料 | 22 |
| いりょうはん[医療班] | (名)医务组 | 34 |
| いりょく[威力] | (名)威力 | 28 |
| いる[居る] | (自一)有,在 | 1 |
| いる[要る] | (自五),要,需要 | 8 |
| いれる[入れる] | (他一)放进,放入 | 3 |
| いろ[色] | (名)色,颜色,色彩 | 7 |
| いろいろ[色々] | (副・形动)各种 | 0 |
| いろずり[色刷り] | (名・他サ)彩印 | 39 |
| いろどる[彩る] | (他五)装点,打扮 | 22 |

| | | |
|-------------------------------|----------------|---------|
| いわば[言わば] | (副)从某种意义上说 | 36 |
| いわゆる[所謂] | (连体)所谓,一般人说的 | 24 |
| いんかん[印章] | (名)印鉴 | 23 |
| インジゴ[indigo] | (名)靛蓝 | 36 |
| いんしょう[印象] | (名)印象 | 22 |
| いんしょうづける[印象づける] | (他一)留下印象 | |
| インスタントしょくひん[instant 食品] | (名)方便食品,快速食品 | 17 |
| インタビュー[interview] | (名・自サ)会面,访问,采访 | 14 |
| いんねん[因縁] | (名)因縁 | 33 |
| ウィリアム・ジェイムズ[william Jones] | | |
| | (名)威廉·琼斯 | 32 |
| うえ[上] | (名)上,上面 | 5 |
| うえきばち[植木鉢] | (名)花盆 | 20' |
| うえる[植える] | (他一)种植 | 20' |
| うかがう[伺う] | (他五)拜访,请教;打听 | 21, 19' |
| うかぶ[浮かぶ] | (自五)漂浮,呈现 | 20 |
| うかべる[浮かべる] | (他一)浮 | 16 |
| うき[雨季] | (名)雨季 | 23 |
| うけつけ[受け付け] | (名)问事处,办事处,传达 | 15' |
| うけとり[受(け)取り] | (名)收(领);收据,收条 | 21 |
| うける[受ける・承ける] | (他一)接受,继承,承受 | 13 |
| うごかす[動かす] | (他五)移动,开动 | 24, 16' |
| うごく[動く] | (自五)动,移动,活动 | 10 |
| うし[牛] | (名)牛 | 9 |
| うしなう[失う] | (他五)丢失,失去 | 10 |
| うしろ[後ろ] | (名)后面 | 12 |
| うすい[薄い] | (形)薄的,淡的,浅的 | 24 |
| うた[歌] | (名)歌,歌曲 | 4 |
| うたう[歌う] | (他五)唱(歌) | 4 |
| うち[内] | (名)范围内,中 | 5 |
| うち | (名)家,家庭,自己所属团体 | 8, 2' |
| うちゅう[宇宙] | (名)宇宙 | 26 |
| うつ[打つ] | (他五)打;打动 | 31 |
| うっかり | (副)漫不经心,不留神 | 7 |
| うつくしい[美しい] | (形)美丽的 | 2 |
| うつしかえる[移しかえる] | (他一)改换 | 38 |

| | | |
|---------------------|---------------|--------|
| うつす[移す] | (他五)移,迁,搬 | 41 |
| うつりうごく[移り動く] | (自五)移动 | 8' |
| うつりかわり[移り変わり] | (名)变迁 | 18' |
| うつる[写る] | (自五)照相,透过来,映现 | 21 |
| うつる[映る] | (自五)映,照 | 6' |
| うで[腕] | (名)胳膊,技能 | 24 |
| うでをふるう[腕を振るう] | (词组)显本领,发挥特长 | 24 |
| うながす[促す] | (他五)促进 | 23 |
| うばう[奪う] | (他五)夺取 | 23 |
| うま[馬] | (名)马 | 9 |
| うまい | (形)高明的,巧妙的 | 3 |
| うまる[埋まる] | (自五)埋上 | 5' |
| うまれつき[生まれつき] | (名・副)生来,生就 | 12 |
| うまれる[生(ま)れる・産(ま)れる] | (自一)出生,产生 | 19 |
| うみ[海] | (名)海 | 6 |
| うみだす[生(み)出す・産(み)出す] | (他五)创造,生产 | 40 |
| うむ[産む] | (他五)产 | 12 |
| うめ[梅] | (名)梅 | 1 |
| うら[裏] | (名)背面,反面 | 5' |
| うらがえす[裏返す] | (他五)翻过来 | 25 |
| ウラン[徳 Uran] | (名)铀 | 9' |
| うりあげ[売り上げ] | (名)销售额 | 33 |
| うりきれ[売(り)切れ] | (名)全部售完 | 24 |
| うる[売る] | (他五)卖,(出)售 | 4 |
| うる・える[得る] | (接尾)能 | 20 |
| うるおす[潤す] | (他五)滋润 | 23 |
| うれしい[嬉しい] | (形)高兴的 | 15 |
| うわむき[上向き] | (名)朝上,向上 | 38,15' |
| うん[運] | (名)命运,时运 | 19 |
| うんてん[運転] | (名・自他サ)开,驾驶 | 8 |
| うんどう[運動] | (名・自サ)运动,活动 | 11 |
| うんどうかい[運動会] | (名)运动会 | 13 |
| え[絵] | (名)画,图画 | 15 |
| えいが[映画] | (名)电影 | 0 |
| えいがかん[映画館] | (名)电影院 | 14 |

| | | |
|--------------------------|----------------------------|--------|
| えいきょう[影響] | (名・他サ)影响 | 22 |
| えいこく[英国] | (名)英国 | 14 |
| えいせい[衛星] | (名)卫星 | 26 |
| えいゆう[英雄] | (名)英雄 | 33 |
| えいよう[栄養] | (名)营养 | 14 |
| ええ | (感)嗯,是 | 8 |
| ええと | (感)(一时想不起来而思考时 发出的声)啊,嗯 | 23 |
| えき[駅] | (名)火车站,车站 | 0 |
| えきたい[液体] | (名)液体 | 24 |
| えきめんけい[液面計] | (名)液位计 | 27 |
| エコノミークラス[economic class] | (名)经济舱 | 31 |
| エネルギー[德 Energie] | (名)能,能量 | 14' |
| エム・エー[MA] | (名)硕士课程,硕士学位 | 19 |
| えらぶ[選ぶ] | (他五)选择,选 | 13 |
| えりわける[選(り)分ける] | (他一)分选,分类 | 40 |
| エルランゲン[Erlangen] | (名)埃朗根(德国城市名) | 33 |
| えん[円] | (接尾)日元 | 9 |
| えんちょう[延長] | (名・他サ)延长 | 28 |
| えんちよくせん[鉛直線] | (名)垂直线 | 27 |
| えんとつ[煙突] | (名)烟囱,烟筒 | 9 |
| えんぴつ[鉛筆] | (名)铅笔 | 0 |
| お[御] | (接头)表示尊敬、亲切或郑重 | 4 |
| おいこす[追い越す] | (他五)超越 | 11' |
| おいしい[美味しい] | (形)好吃的,味美的 | 0 |
| おいしげる[生い茂る] | (自五)生长茂盛 | 20' |
| おいつく[追い付く] | (自五)赶上,到达 | 8' |
| おうじる[応じる] | (自一)相应,根据 | 16' |
| おうよう[応用] | (名・他サ)应用 | 36 |
| おおい[多い] | (形)多的 | 1 |
| おおいかくす[覆い隠す] | (他五)遮掩,隐藏 | 38 |
| おおいに[大いに] | (副)大,很,非常 | 24 |
| おおう[覆う] | (他五)覆盖 | 22 |
| おおきい[大きい] | (形)大的 | 1 |
| おおきさ[大きさ] | (名)大小,尺寸 | 15 |
| おおきな[大きな] | (连体)大的 | 12. 4' |
| おおく[多く] | (名)多,多数 | 4 |

| | | |
|-------------------|---|---------|
| おおく[多く] | (副)多半,大都 | 8 |
| オーケストラ[orchestra] | (名)管弦乐团 | 3' |
| おおぜい[大勢] | (名・副)许多人,众人 | 4 |
| オーソドックス[orthodox] | (形动)正统的 | 31 |
| オーソリティ[authority] | (名)权威,名家 | 31 |
| おおはば[大幅] | (名・形动)大幅度 | 28 |
| オーム[Ohm] | (名)欧姆(电阻单位,人名) | 33 |
| おおむかし[大昔] | (名)远古,古代 | 12 |
| おおよそ | (名・副)大体,大致,大约 | 31. 21' |
| およろこび[大喜び] | (名)非常高兴 | 3' |
| おかあさん[お母さん] | (名)母亲 | 12 |
| おかげ[お陰] | (名)托福,幸亏 | 8 |
| おかげさまで | (对别人的好意,照顾等,表示略带感谢意味的一种习惯的客气说法)谢谢,多谢,托福 | 8 |
| おかゆ[御粥] | (名)粥 | 27 |
| おがむ[拝む] | (他五)叩拜 | 33 |
| おきにくい[起きにくい] | (形)难以发生 | 6' |
| おきる[起きる] | (自一)起床,发生 | 3. 2' |
| おく[億] | (数)亿 | 1 |
| おく[置く] | (他五)放置 | 16 |
| おく[奥] | (名)里头,内部,深处 | 17 |
| おくさん[奥さん] | (名)夫人,太太 | 17 |
| おくないはいせん[屋内配線] | (名)室内布线 | 10' |
| おくる[送る] | (他五)送,寄 | 7 |
| おこす[起こす] | (他五)发生,使…立起,唤醒 | 8. 6' |
| おこたる[怠る] | (自・他五)懒惰,怠慢 | 23. 21' |
| おこなう[行(な)う] | (他五)做,举行,进行 | 13 |
| おこる[起こる] | (自五)发生 | 7 |
| おさめる[治める] | (他一)治理 | 23 |
| おさめる[収める] | (他一)获得,取得 | 30 |
| おじいさん[御祖父さん] | (名)祖父,爷爷,外祖父及其他祖父辈的人 | 0 |
| おしえる[教える] | (他一)教,教授 | 14 |
| おしかえす[押し返す] | (他五)推回去,顶回去,退回去 | 17 |
| おしきる[押し切る] | (他五)(不顾反对等)坚持,干到底 | 35 |
| おしこむ[押(し)込む] | (自他五)塞进,装入 | 31 |
| おしまい[お仕舞い] | (名)最后,最终 | 7' |

| | | |
|-----------------|-------------------|---------|
| おしり | (名)臀部 | 15 |
| おす[押す] | (他五)推,按,压 | 15. 13' |
| おせん[汚染] | (名・自他サ)汚染 | 36 |
| おそい[遅い] | (形)迟的 | 12 |
| おそう[襲う] | (他五)袭,袭击 | 34 |
| おそらく[恐らく] | (副)恐怕,大概 | 4' |
| おそれ[恐れ] | (名)担心,可能,恐惧 | 7. 5' |
| おそろしい | (形)可怕 | 23 |
| おたがい[お互い] | (副)互相,彼此 | 29 |
| おだやか[穏やか] | (形动)平静,温和,稳妥 | 18 |
| おちつく[落ち着く] | (自五)(心神,情绪等)沉着,镇静 | 8 |
| おちゃ[お茶] | (名)茶 | 0 |
| おちる[落ちる] | (自一)掉,落,漏掉,降低 | 20. 16' |
| おっくう | (形动)嫌麻烦,懒得做 | 32 |
| おつり | (名)找的零钱,找头 | 26 |
| おと[音] | (名)声音 | 8 |
| おとをたてる[音を立てる] | (词组)发出声响 | 18' |
| おとうさん[お父さん] | (名)父亲 | 12 |
| おとうと[弟] | (名)弟弟 | 5 |
| おとこ[(男)] | (名)男子,男人 | 2 |
| おとす[落す] | (他五)扔下,丢失 | 26 |
| おとろえる[衰える] | (自一)衰微,衰老 | 18' |
| おどろき[驚き] | (名)惊讶,震惊 | 32 |
| おどろく[驚く] | (自五)吃惊,惊恐 | 13 |
| おなか[お中・御腹] | (名)腹,肚子 | 27 |
| おなじ[同じ] | (连体・形动)同一,相同 | 12. 3' |
| おのおの[各各] | (名・副)分别,各自 | 24 |
| おのずと[白(く)と] | (副)自然而然地 | 13 |
| おはようございます | 您早! 早安! | 2 |
| おばあさん[御祖母さん] | (名)祖母,奶奶,外祖母 | 0 |
| おびやかす[脅かす] | (他五)威胁 | 28 |
| おびる[脅びる] | (他一)带 | 18' |
| おぼえる[覚える] | (他一)记,记忆 | 4 |
| おもい[重い] | (形)重的 | 5' |
| おもいうかべる[思い浮かべる] | (他一)想起 | 22 |
| おもいもよらぬ[思いも寄らぬ] | (词组・形)想不到,意外的 | 20 |
| おもさ[重さ] | (名)重量 | 15 |
| おもしろい[面白い] | (形)有趣味,有意义 | 12. 3 |

| | | |
|------------------|------------------|-------|
| おもな[主な] | (连体)主要的,重要的 | 1 |
| おもに[(主)に] | (副)主要 | 14' |
| おもり[重り] | (名)秤砣,重锤 | 27 |
| おや | (感)(表示意外,惊讶等)哎呀 | 8 |
| およぐ[泳ぐ・遊ぶ] | (自五)游泳 | 9.4' |
| および[及び] | (接)以及,与,和 | 15.3' |
| およぶ[及ぶ] | (自五)波及,及于 | 35 |
| およぼす[及ぼす] | (他五)施加 | 13' |
| おりる[降りる] | (自一)下(楼、船、车),落,下 | 11' |
| おれ | (代)我,俺 | 41 |
| おろす[下(ろ)す・降(ろ)す] | (他五)放下,弄下,落下 | 13 |
| おわり[終わり] | (名)終了,结束 | 4 |
| おわる[終(わ)る] | (自五)完了,结束 | 30 |
| おんがく[音楽] | (名)音乐 | 18 |
| おんがくか[音楽家] | (名)音乐家 | 24 |
| おんせん[温泉] | (名)温泉 | 31 |
| おんどく[音読] | (名)音读 | 4 |
| おんな[女] | (名)女性 | 2 |
| おんぱ[音波] | (名)音波,声波 | 24 |
| | | |
| かい[階] | (接尾)(楼房的)层 | 9 |
| にかい[二階] | (数)两层,二楼 | 9 |
| かい[回] | (接尾)回数,次 | 14 |
| なんかい[何回] | (数)多少回,多少次 | 14 |
| かい[甲斐] | (名)效果,价值 | 31 |
| かいがん[海岸] | (名)海岸,海滨 | 4 |
| かいきゅう[階級] | (名)阶级 | 40 |
| がいこく[外国] | (名)外国 | 4 |
| かいしゃ[会社] | (名)公司 | 3 |
| かいしゃいん[会社員] | (名)公司职员 | 3 |
| かいする[介する] | (他サ)通过 | 41 |
| かいせつ[解説] | (名・他サ)解说,说明 | 34 |
| かいそんしき[開村式] | (名)开村式 | 39 |
| かいてん[回転] | (名・自サ)旋转 | 37 |
| かいなで[搔撫で] | (名)肤浅,平凡,平庸 | 42 |
| かいぬし[飼い主] | (名)饲养人 | 25 |
| かいひん[海浜] | (名)海滨 | 31 |
| かいめい[解明] | (名・他サ)剖析清楚 | 36 |

| | | |
|----------------|---------------------------|---------|
| かいもの〔買(い)物〕 | (名)买东西 | 14. 3' |
| かいりょう〔改良〕 | (名・他サ)改良,改善 | 25 |
| かいわ〔会話〕 | (名・自サ)会话 | 14 |
| かう〔買う〕 | (他五)购买,买 | 0 |
| かえし〔返し〕 | (名)找回来的钱 | 24 |
| かえりつく〔帰る着く〕 | (自五)回到 | 37 |
| かえる〔帰る〕 | (自五)回来,回去 | 3 |
| かえる〔変える〕 | (他一)改变,变更 | 7 |
| かおく〔家屋〕 | (名)房屋 | 22 |
| がか〔画家〕 | (名)画家 | 24 |
| かかえる〔抱える〕 | (他一)抱,拥有 | 28 |
| かがく〔化学〕 | (名)化学 | 2 |
| かがく〔科学〕 | (名)科学 | 18 |
| かがくしゃ〔科学者〕 | (名)科学家 | 25 |
| かかす〔欠かす〕 | (他五)欠缺 | 23 |
| かかる〔係る〕 | (自五)与……有关,决定于……, 关系到…… | 23 |
| かかる〔掛(か)る・懸かる〕 | (自五)花费,挂,吊,架 | 9 |
| かかわり〔係り〕 | (名)关系 | 28 |
| かきこむ〔書き込む〕 | (他五)写入,填好 | 15' |
| かきとばす〔書き飛ばす〕 | (自五)快速书写 | 39 |
| かぎる〔限る〕 | (自他五)限定,限于 | 24. 14' |
| かく〔書く〕 | (他五)写 | 10 |
| かく〔各〕 | (接头)各…… | 18 |
| かく〔欠く〕 | (他五)缺少 | 22 |
| かぐ〔家具〕 | (名)家具 | 29 |
| がくい〔学位〕 | (名)学位 | 33 |
| がくげいかい〔学芸会〕 | (名)(小学校等)学习成绩汇报演出 会 | 13 |
| かくさん〔核酸〕 | (名)核酸 | 36 |
| かくして〔斯くして〕 | (副・接)这样,如此 | 41 |
| がくしゃ〔学者〕 | (名)学者 | 12 |
| かくす〔隠す〕 | (他五)藏起 | 25 |
| がくせい〔学生〕 | (名)学生 | 2 |
| がくせつ〔学説〕 | (名)学说 | 30 |
| かくち〔各地〕 | (名)各地 | 13 |
| かくど〔角度〕 | (名)角度 | 27 |
| かくにん〔確認〕 | (名・他サ)确认,证实 | 41 |

| | | |
|--------------|--|---------|
| かくりつ[確立] | (名・自他サ)确立,确定 | 41 |
| かくれる[隠れる] | (自一)躲藏 | 25 |
| かげつ[か月] | (接尾)……个月 | 6 |
| かけつける[駆けつける] | (自一)跑到,赶到 | 34 |
| かける[掛ける] | (自他一)坐,挂,架 | 15 |
| かける[掛ける] | (他一)使……受 | 26 |
| かける[駆ける] | (自一)奔跑 | 34 |
| かげん[加減] | (名)程度,情况;加减 | 31 |
| かこう[加工] | (名・他サ)加工 | 29 |
| かこむ[囲む] | (他五)包围 | 33 |
| かさなる[重なる] | (自五)重复,反复 | 24 |
| かさねる[重ねる] | (他一)重复,反复 | 24 |
| かざむき[風向き] | (名)风向 | 7 |
| かざん[火山] | (名)火山 | 0 |
| かし[菓子] | (名)点心,糕点,糖果 | 11 |
| かじ[火事] | (名)火灾 | 15 |
| かじ[家事] | (名)家务,家事 | 17 |
| かしこい[賢い] | (形)聪明,伶俐 | 25 |
| かしょ[箇所] | (名)部位,处,地方 | 16. 11' |
| いっかしょ[一箇所] | (数)一个地方 | |
| かしらもち[頭文字] | (名)(西方文字一句话第一个词的 首字母;(西方文字固有名词的) 当头字 | 10 |
| かす[貸す] | (他五)借(给) | 15' |
| かず[数] | (名)数,数目 | 0 |
| かすか[微か] | (形动)微弱 | 25 |
| かずこ[和子] | (名)和子 | 34 |
| かすみ | (名)霞,彩霞 | 22 |
| かぜ[風] | (名)风 | 6 |
| かぜ[風邪] | (名)感冒,伤风 | 18 |
| かぜをひく[風邪を引く] | (词组)伤风,感冒 | 18 |
| かせつ[仮説] | (名)假设,假定 | 37 |
| かぞえる[数える] | (他一)数 | 0 |
| かぞく[家族] | (名)家族,一家人 | 19 |
| かた[方] | (名)(敬)人 | 2. 1' |
| かた[方] | (接尾)……方法 | 4 |
| かぞえかた[数え方] | (名)数数的方法,数法 | 4 |
| いいかた[言い方] | (名)说法 | 4 |

| | | |
|---------------|---------------------------|---------|
| かた[肩] | (名)肩 | 15 |
| かた[型] | (名)样式,模型 | 41 |
| かたい[堅い・固い・硬い] | (形)坚固的,硬的 | 11 |
| かたがた[方方] | (名)诸位 | 14 |
| かたかな[片假名] | (名)片假名 | 16 |
| かたすみ[片隅] | (名)一角 | 33 |
| かたち[形] | (名)形状,样子 | 6 |
| かたほう[片方] | (名)一端,一方 | 10' |
| かたまる[固まる] | (自五)聚集在一起,凝固 | 17 |
| かたむき[傾き] | (名)倾斜 | 27 |
| かたむける[傾ける] | (他一)使……倾斜 | 27 |
| かたる[語る] | (他五)谈,说 | 37 |
| かたわら[傍] | (名)一旁 | 33 |
| かち[価値] | (名)价值 | 30 |
| がつ[月] | (接尾)月 | 4 |
| いちがつ[一月] | (数)一月 | 4 |
| かつ[勝つ] | (自五)战胜,胜 | 14 |
| かつ | (副)同时,一边……一边 | 14' |
| | (接)并且,而且 | |
| がっかい[学会] | (名)学会 | 21 |
| がっかり | (副・自サ)失望,沮丧 | 15 |
| がっき[学期] | (名)学期 | 19 |
| かっきてき[画期的] | (形动)划时代的 | 30 |
| かつて[会(て)・曾て] | (副)曾,曾经 | 20 |
| カット[cut] | (名・他サ)剪头发,切 | 26 |
| かつどう[活動] | (名・自サ)活动 | 11 |
| かっぱつ[活発] | (形动)活泼,活跃 | 10 |
| かつよう[活用] | (名・他サ)有效运用,实际运用 | 36 |
| かてい[家庭] | (名)家庭 | 17 |
| かてい[過程] | (名)过程 | 20 |
| かな[假名] | (名)假名 | 16 |
| かなう[(適)う] | (自五)适应,适合 | 19' |
| かならず[必(ず)] | (副)一定,必定,必然 | 14. 11' |
| かならずしも[必ずしも] | (副)(后与否定语呼应)不一定…… 未必…… | 21' |
| かなり | (副)颇-相当 | 31 |
| かね[金] | (名)钱 | 9 |
| かねる | (接尾)(接在动词连用形下)碍难,不 | |

| | | |
|-----------------|--------------------------------|---------|
| かのう[可能] | 能 | 31 |
| かのうせい[可能性] | (名・形动)可能 | 11 |
| かのじょ[彼女] | (名)可能性 | 24 |
| かばん[包] | (代)她 | 2 |
| かまう[構う] | (名)皮包,皮箱 | 34 |
| | (自・他五)(常用否定、禁止或反语 的形式)照顾;介意 | 17 |
| かみ[紙] | (名)纸 | 20 |
| かみさま[神様] | (名)神仙,神灵 | 15 |
| かみのけ[髪の毛] | (名)头发 | 18 |
| かむ | (他五)咬,嚼 | 11 |
| ガム[gum] | (名)口香糖 | 11 |
| カメラ[camera] | (名)照相机,摄影机 | 4. 3' |
| がめん[画面] | (名)画面 | 11 |
| かよう[通う] | (自五)往来,通行;(特指住在 家里)上学,上下班 | 17 |
| かようび[火曜日] | (名)星期二 | 2 |
| カモ[鸭] | (名)野鸭 | 12 |
| ガラスかん[glass 管] | (名)玻璃管 | 27 |
| ガラスばり[glass 張り] | (名)装上玻璃 | 37 |
| ガラスぼう[glass 棒] | (名)玻璃棒 | 13' |
| からだ[体] | (名)身体 | 10. 5' |
| かりに[仮に] | (副)假设,即使,姑且 | 31. 11' |
| かりる[借りる] | (他一)借 | 16 |
| ガリレイ[Galile'i] | (名)伽利略 | 26 |
| かれ[彼] | (代)他 | 0 |
| かれる[枯れる] | (自一)枯萎 | 20' |
| かろう[過労] | (名)过分劳累 | 19' |
| カロリー[德 calorie] | (名)卡 | 17' |
| かわ[川] | (名)河,河流 | 5 |
| がわ[側] | (名)侧,一旁 | 1 |
| かわいい | (形)可爱的,好玩的 | 3 |
| かわり[代わり] | (名)代替,代用 | 31. 10' |
| かわりもの[変(わ)り者] | (名)奇人,怪人 | 31 |
| かわる[代わる] | (自五)代替 | 14' |
| かわる[変(わ)る] | (自五)变,变化,改变 | 15 |
| かん[間] | (接尾)(接在名词、数词之后)间,期 间;中间 | 8 |

| | | |
|---------------|----------------|-----|
| かん[缶] | (名)罐,筒;罐头(盒) | 17 |
| ガン[(雁)] | (名)雁 | 12 |
| かんがえ[考え] | (名)想法,意见;打算,主意 | 18 |
| かんがえなおす[考え直す] | (他五)重新考虑 | 23 |
| かんがえる[考える] | (他一)想,思考,打算 | 8 |
| かんかく[感觉] | (名・他サ)感觉 | 24 |
| がんきゅう[眼球] | (名)眼球 | 10 |
| かんきょう[感興] | (名)兴趣,兴致 | 31 |
| かんけい[関係] | (名)关系,方面 | 7 |
| かんけつ[解決] | (名・他サ)解决 | 28 |
| かんけつ[完結] | (名・自サ)完結,結束 | 30 |
| かんご[漢語] | (名)汉语 | 4 |
| かんごふ[看護婦] | (名)护士 | 2' |
| かんさつ[觀察] | (名・他サ)观察 | 25 |
| かんじ[感じ] | (名)感觉 | 15 |
| かんじがする[感じがする] | (词组)感觉 | 15 |
| かんしゃ[感謝] | (名・他サ)感谢 | 15 |
| かんじゃ[患者] | (名)患者,病人 | 18 |
| かんしょう | (名・自他サ)监赏 | 24 |
| かんじる[感じる] | (他一)感觉,感到 | 16 |
| かんしん[関心] | (名・自サ)关心,感兴趣 | 19 |
| かんしん[感心] | (名・形动・自サ)佩服,钦佩 | 39 |
| かんする[関する] | (自サ)有关,关于 | 40 |
| かんせい[慣性] | (名)惯性 | 26 |
| かんたん[簡単] | (名・形动)简单,容易 | 25 |
| かんでん[感電] | (名・自サ)触电 | 12' |
| かんとく[感得] | (名・他サ)感悟,领悟 | 42 |
| がんばる[頑張る] | (自五)坚持,努力 | 14 |
| かんばん[看板] | (名)(商店等的)招牌,幌子 | 13 |
| かんむりょう[感無量] | (形动)无限感慨 | 33 |
| かんれいちいき[寒冷地域] | (名)寒冷地区 | 22 |
| かんれん[関連] | (名・自サ)有关 | 22 |
| き[木] | (名)树 | 4 |
| き[気] | (名)气,精神,心情 | 8 |
| きがつく[気がつく] | (词组)发觉,想到,理会到 | 8 |
| きあつ[気圧] | (名)气压 | 7 |
| キー[key] | (名)开关,键 | 19' |

| | | |
|--------------------|-----------------|--------|
| きえる[消える] | (自一)消失 | 13 |
| きえん[機縁] | (名)机缘,机会 | 31 |
| きかい[器械] | (名)器械,仪器 | 20 |
| きかい[機械] | (名)机械,机器 | 28 |
| きかせる[聞かせる] | (他一)使……听 | 34 |
| きかん[機関] | (名)机械,装置,机关,组织 | 22 |
| きがん[祈願] | (名・他サ)祈求 | 33 |
| ききのがす[聞き逃す] | (他五)听漏 | 7 |
| きく[聞く] | (他五)听,问 | 10. 2' |
| きく[菊] | (名)菊花 | 13 |
| きぐ[器具] | (名)器具,仪器 | 27 |
| きけん[危険] | (名・形动)危险 | 8 |
| きげん[起原・起源] | (名)起源 | 40 |
| きけんし[危険視] | (名・他サ)看作危险的 | 40 |
| きこう[気候] | (名)气候 | 13 |
| きこう[機構] | (名)机构,机理 | 36 |
| きこえる[聞こえる] | (自一)听得见 | 16 |
| きこく[帰国] | (名・自サ)回国,回家乡 | 19 |
| きさい[記載] | (名・他サ)记载 | 40 |
| きし[岸] | (名)岸 | 9 |
| きじ[記事] | (名)(报纸,杂志)报道,消息 | 24 |
| きしゃ[汽車] | (名)火车 | 9 |
| ぎじゅつ[技術] | (名)技术 | 14 |
| ぎじゅつスタッフ[技術 staff] | (名)技术人员 | 33 |
| ぎじゅつほんぶ[技術本部] | (名)技术总部 | 33 |
| きじゅん[基準] | (名)基准,标准 | 7 |
| きせい[帰省] | (名・自サ)回乡,探亲 | 12' |
| ぎせい[犠牲] | (名)牺牲,代价 | 42 |
| きせつ[季節] | (名)季节 | 0 |
| きせつふう[季節風] | (名)季节风 | 7 |
| きせん[汽船] | (名)轮船 | 18 |
| きそ[基礎] | (名)基础 | 0 |
| きそく[規則] | (名)规则 | 8 |
| きた[北] | (名)北 | 6 |
| きたい[期待] | (名・他サ)期待 | 13 |
| きちょう[貴重] | (形动)贵重 | 36 |
| きづかい[気遣い] | (名)担心,挂虑 | 31 |
| きっかけ | (名)契机 | 20' |

| | | |
|---------------|---------------|---------|
| きづく[気づく] | (自五)发觉 | 37 |
| きって[切手] | (名)邮票 | 24. 13' |
| きっと | (副)一定,必定 | 15 |
| きっぷ[切符] | (名)票 | 0 |
| きてい[規定] | (名・他サ)规定 | 41 |
| きぬ[絹] | (名)丝绸,绸子 | 36 |
| きねん[記念] | (名・他サ)纪念 | 13 |
| きねんひ[記念碑] | (名)纪念碑 | 33 |
| きのう[昨日] | (名)昨天 | 0 |
| きのう[機能] | (名)机能 | 28 |
| きびしい[厳しい] | (形)严格的,严厉的 | 7. 5' |
| きぶん[気分] | (名)情绪,心绪 | 14 |
| きぼう[希望] | (名・他サ)希望,愿望 | 30 |
| きほんてき[基本的] | (形动)基本的 | 30 |
| きまり[決まり] | (名)规定,规则 | 35 |
| きまる[決(ま)る] | (自五)决定・规定 | 12 |
| きみ[君] | (代)你 | 2 |
| ぎむ[義務] | (名)义务 | 35 |
| きめる[決める] | (他一)决定 | 7 |
| きもち[気持ち] | (名)心情,情绪 | 15 |
| ぎもん[疑問] | (名)疑问 | 0 |
| きゃく[客] | (名)客人 | 4 |
| ぎゃく[逆] | (名・形动)逆,倒,反 | 8 |
| キャンパス[campus] | (名)校园 | 2' |
| きゅう[急] | (名・形动)突然,忽然 | 8 |
| きゅうかいだて[九階建て] | (名)九层楼 | 2' |
| きゅうきゅうしゃ[救急車] | (名)救护车 | 34 |
| きゅうげき[急激] | (形动)急剧 | 34 |
| きゅうこう[休講] | (名・自他サ)停课 | 2 |
| きゅうじつ[休日] | (名)休息日,假日 | 8 |
| きゅうしゅう[九州] | (名)九州 | 1 |
| きゅうじょたい[救助隊] | (名)救助队 | 34 |
| きゅうしょく[求職] | (名・自サ)找职业(工作) | 33 |
| きゅうにゅう[牛乳] | (名)牛奶 | 17 |
| きゅうりゅう[急流] | (名)急流 | 13 |
| きよい[清い] | (形)清爽 | 22 |
| きょう[今日] | (名)今天,今日 | 2 |
| きょういく[教育] | (名)教育 | 19 |

| | | |
|------------------|----------------------------|---------|
| きょうか[鏡花] | (名)日本小说家“泉鏡花”的名字 | 39 |
| きょうかい[教会] | (名)教会 | 26 |
| きょうかいせん[境界線] | (名)疆界线,地界 | 40 |
| きょうぎ[競技] | (名・自サ)体育比赛,竞赛 | 34 |
| りくじょうきょうぎ[陸上競技] | (名)田径比赛 | 34 |
| きょうきゅう[供給] | (名・他サ)供给,供应 | 11 |
| きょうきゅうげん[供給源] | (名)供应来源 | 23 |
| きょうきゅうりょう[供給量] | (名)供应量 | 11 |
| ぎょうじ[行事] | (名)(按照惯例或一定计划举办的) 仪式,活动 | 21 |
| きょうしつ[教室] | (名)教室 | 11 |
| きょうしつとう[教室棟] | (名)教学楼 | 2' |
| きょうじゅ[教授] | (名・他サ)教授 | 33 |
| ぎょうせき[業績] | (名)业绩,成果 | 30 |
| きょうそん[共存] | (名・自サ)共存 | 28 |
| きょうだい[兄弟] | (名)兄弟,姊妹 | 0 |
| きょうと[京都] | (名)京都 | 2 |
| きょうにんぎょう[京人形] | (名)京都市娃娃 | 15 |
| きょうべん[教鞭] | (名)教鞭 | 33 |
| きょうべんをとる[教鞭を執教る] | (词组)执教 | 33 |
| きょうほう[凶暴] | (形动)狂暴 | 23 |
| きょうみ[興味] | (名)兴趣,兴致 | 42. 3' |
| きょうらく[享楽] | (名・他サ)享乐 | 31 |
| キョウリュウ[恐竜] | (名)恐龙 | 18' |
| きょうりょく[協力] | (名・自サ)协助,共同努力 | 17 |
| きょくしょ[局所] | (名)局部 | 34 |
| きょどう[挙動] | (名)举动,行动 | 37 |
| きょねん[去年] | (名)去年 | 6 |
| きょよう[挙用] | (名・他サ)起用,提拔 | 42 |
| きょり[距離] | (名)距离 | 12 |
| きらい[嫌い] | (形)不喜欢,讨厌 | 6 |
| きり[切り] | (名)完,終了 | 29 |
| ギリシア[拉 Graecia] | (名)希腊 | 20' |
| きりはなす[切り離す] | (他五)割裂,分开 | 28. 10' |
| きれい[奇麗] | (形动)美丽,干净 | 5. 10' |
| きれる[切れる] | (自一)断,断开,能断开 | 10' |
| キロ[kilo] | (接尾)千,公里,公斤 | 11. 4' |
| ぎろん[議論] | (名・自サ)议论,争论 | 34 |

| | | |
|----------------|-----------------|---------|
| きわめて[極めて] | (副)极其 | 22 |
| きんかくじ[金閣寺] | (名)金閣寺 | 15 |
| ぎんこう[銀行] | (名)銀行 | 24 |
| ぎんざ[銀座] | (名)銀座 | 9 |
| きんせい[金星] | (名)金星 | 26 |
| きんちょう[緊張] | (名・自サ)紧张 | 25 |
| きんむさき[勤務先] | (名)工作单位 | 16 |
| きんようび[金曜日] | (名)星期五 | 2 |
| きんらい[近来] | (名)近日,近来 | 30 |
| く[九] | (数)九 | 4 |
| ぐ[具] | (名)工具,方法 | 24 |
| ぐあい[具合・工合] | (名)情况,状况 | 28. 19' |
| くう[食う] | (他五)吃 | 9 |
| くうき[空気] | (名)空气 | 7 |
| くうこう[空港] | (名)飞机场 | 31 |
| ぐうぜん[偶然] | (名・副・形动)偶然 | 31 |
| くうそう[空想] | (名)空想 | 20 |
| くうちゅう[空中] | (名)空中 | 16 |
| くさ[草] | (名)草 | 9 |
| くさき[草木] | (名)草木 | 24 |
| くし | (名)梳子 | 18' |
| ぐしょう[具象] | (名・他サ)具体,形象化 | 30 |
| くしん[苦心] | (名・自サ)苦心,费心 | 30 |
| くしんさんたん[苦心惨たん] | (名・自サ)呕心沥血,煞费苦心 | 30 |
| くすむ | (自五)不鲜明 | 22 |
| くすり[薬] | (名)药,药物 | 18 |
| ぐたいてき[具体的] | (形动)具体的 | 7 |
| くださる[下さる] | (他五)(敬)给 | 15 |
| くだもの[果物] | (名)水果 | 4 |
| くだる[下る] | (自五)下,降 | 34 |
| くち[口] | (名)嘴,口,出入口,门口 | 17 |
| くちをきく[口を利く] | (词组)讲话 | 32 |
| くつ[靴] | (名)鞋 | 0 |
| ぐっすり | (副)熟睡,酣睡貌 | 10 |
| くっつける | (他一)靠近,粘住 | 18' |
| くに[国] | (名)国,国家 | 4 |
| くふう[工夫] | (名・他サ)想方设法,方法 | 23 |

| | | |
|-----------------------------------|---------------------|---------|
| くべつ[区別] | (名・他サ)区别,分清 | 40 |
| くみあげる[くみ上げる] | (他一)汲取 | 23 |
| くみあわせ[組み合わせ] | (名)配合,组成,编组 | 24. 13' |
| くみかえる[組み替える] | (他一)重新组合 | 14 |
| くも[雲] | (名)云 | 6 |
| くもる[曇る] | (自五)(天)阴 | 9 |
| くらい[位] | (名)(数)位 | 25 |
| グラウンド[ground] | (名)运动场 | 2' |
| くらし[暮(ら)し] | (名)生活,生计 | 22 |
| くらす[暮らす] | (自五)生活 | 12 |
| クラス[class] | (名)班,组 | 3' |
| グラフィックス[graphic] | (名)屏幕,画报,画刊 | 11 |
| くらべる[比べる・較べる] | (他一)比较,比赛 | 7 |
| くらやみ[暗やみ] | (名)黑暗,暗处 | 7 |
| くりかえし[繰返し] | (名)反复,重复 | 3' |
| くりかえす[繰返す] | (他五)反复,重复 | 10. 8' |
| くる[来る] | (自力)来,到来 | 0 |
| グループ[group] | (名)群,组,集团,团体 | 11 |
| グルタミンさんナトリウム[glutamine 核 Natrium] | (名)谷氨酸钠 | 36 |
| くるま[車] | (名)车,汽车 | 8 |
| ぐるりと | (副)旋转的样子 | 37 |
| くれぐれ[呉呉] | (副)(常下接も)反复,周到 | 21 |
| くれる | (他一)给 | 15 |
| くろい[黒い] | (形)黑的,黑色的 | 6 |
| くろう[苦勞] | (名・自サ・形动)辛苦,劳苦 | 17 |
| クロロプレングム[chloroprene・gom] | (名)氯丁橡胶 | 36 |
| くわえざん[加え算] | (名)加法 | 25 |
| くわえる[加える] | (他一)加 | 22 |
| くわしい[詳しい・精しい] | (形)详细,精通 | 19 |
| くわわる[加わる] | (自五)加 | 22 |
| くん[君] | (接尾)接在同辈,晚辈的姓名后略表敬意 | 3' |
| ぐんぐんと | (副)迅速地,有力地 | 32 |
| くんしょう[勲章] | (名)勋章 | 13 |
| くんでんよみ[訓点読み] | (名)汉文训读 | 42 |
| くんどく[訓読] | (名)训读 | 4 |

| | | |
|-------------------|-------------------------------|-----|
| くんどくほう[訓読法] | (名)训读法 | 42 |
| くんれん[訓練] | (名・他サ)训练 | 25 |
| けいかく[計画] | (名・他サ)计划,谋划 | 34 |
| けいけん[経験] | (名・他サ)经验,体验 | 21 |
| けいこう[傾向] | (名)倾向,趋势 | 42 |
| けいさい[警察] | (名)警察,警察局 | 13 |
| けいざい[経済] | (名)经济 | 0 |
| けいざいしんぼうしゃ[経済新報社] | (名)经济新报社 | 29 |
| けいさん[計算] | (名・他サ)计算 | 11 |
| けいしき[形式] | (名)形式;方法 | 42 |
| げいじゅつ[芸術] | (名)艺术 | 24 |
| けいしょう[景勝] | (名)名胜,胜景 | 31 |
| けいたい[形態・形体] | (名)形态,样子 | 30 |
| けいと[毛糸] | (名)毛线 | 18' |
| けいほう[警報] | (名)紧急警报 | 7 |
| げかい[下界] | (名)下界,地上,人間 | 34 |
| げき[劇] | (名)戏剧 | 0 |
| げざん[下山] | (名・自サ)下山 | 34 |
| けだかい[気高い] | (形)高尖,高雅 | 18 |
| けっか[結果] | (名・自他サ)结果 | 11 |
| けっきょく[結局] | (名)结局,结果,最后 | 12 |
| けっきんとどけ[欠勤届] | (名)请假条 | 21' |
| けっこう[結構] | (形动)可以,优秀 | 26 |
| けっして[決して] | (副)(后与否定语呼应)决(不)…… 千万(别)…… | 18 |
| げっせかい[月世界] | (名)月球 | 20 |
| けっせきとどけ[欠席届] | (名)请假条 | 21' |
| けってん[欠点] | (名)缺点,短处 | 32 |
| げつようび[月曜日] | (名)星期一 | 2 |
| けむり[煙] | (名)烟 | 9 |
| けれど(も) | (接)但是,然而,可是 | 18 |
| けん[県] | (名)县 | 19 |
| けんい[權威] | (名)权威 | 26 |
| げんいん[原因] | (名)原因 | 34 |
| げんかい[限界] | (名)界限,极限 | 24 |
| げんかく[厳格] | (名・形动)严格,严厉 | 40 |
| げんき[元気] | (名・形动)精力,精神,健康 | 8 |

| | | |
|--------------|----------------|----|
| けんきゅう「研究」 | (名・他サ)研究, 钻研 | 10 |
| けんきゅうか[研究科] | (名)研究科 | 19 |
| けんきゅうかい[研究会] | (名)研究会 | 14 |
| けんきゅうしつ[研究室] | (名)研究室 | 19 |
| けんきゅうしょ[研究所] | (名)研究所 | 19 |
| けんきゅうとう[研究棟] | (名)研究楼 | 1' |
| げんご[原語] | (名)原文 | 42 |
| けんこう[健康] | (名・形动)健康, 健壮 | 28 |
| げんざい[現在] | (名)现在 | 14 |
| げんし[原子] | (名)原子 | 10 |
| げんしかく[原子核] | (名)原子核 | 10 |
| げんじつか[現実化] | (名)现实化, 具体化 | 30 |
| げんしょう[現象] | (名)现象 | 15 |
| げんしょく[原色] | (名)原色 | 22 |
| げんそく[原則] | (名)原则 | 41 |
| げんだい[現代] | (名)现代, 当代 | 23 |
| けんとう[見当] | (名)推测, 估计, 判断 | 31 |
| げんどうき[原動機] | (名)动力机械 | 28 |
| けんびきょう[顕微鏡] | (名)显微镜 | 10 |
| けんぶつ[見物] | (名・他サ)游览, 参观 | 15 |
| げんぶん[原文] | (名)原文 | 42 |
| けんめい[賢明] | (形动)贤明, 高明 | 42 |
| けんめい[懸命] | (形动)拚命地, 竭尽全力地 | 42 |
| けんり[權利] | (名)权利 | 35 |
| げんり[原理] | (名)原理, 原则 | 15 |
| げんりょう[原料] | (名)原料 | 4 |
| こ[子] | (名)孩子 | 3 |
| こ[個・箇] | (接尾)个 | 10 |
| ご[五] | (数)五 | 4 |
| ご[語] | (接尾)……语 | 3 |
| えいご[英語] | (名)英语 | 3 |
| こい[濃い] | (形)浓, 深 | 24 |
| コイル[coil] | (名)线圈 | 8' |
| コイン[coin] | (名)硬币 | 33 |
| こう | (副)这样 | 1 |
| こうう[降雨] | (名)降雨 | 22 |
| こうう[豪雨] | (名)暴雨, 大雨 | 23 |

| | | |
|----------------|-------------------------|--------|
| こううん[幸運] | (名・形动)好运气 | 30 |
| こうえん[公園] | (名)公園 | 0 |
| こうか[効果] | (名)效果 | 11 |
| こうが[黄河] | (名)黄河 | 23 |
| こうがい[公害] | (名)公害 | 16 |
| こうがいたいさく[公害対策] | (名)防治污染措施 | |
| こうぎ[抗議] | (名・自サ)抗议 | 35 |
| こうきゅうひん[高級品] | (名)高级物品 | 11 |
| こうきょ[皇居] | (名)皇居 | 13 |
| こうくうけん[航空券] | (名)飞机票 | 31 |
| こうけい[合計] | (名・他サ)合计 | 11 |
| こうこう[高校] | (名)高中 | 9 |
| こうざ[口座] | (名)户头 | 28 |
| こうざをつくる[口座を作る] | (词组)开户 | 28 |
| こうさく[耕作] | (名・他サ)耕作 | 23 |
| こうさてん[交差点] | (名)交差口,十字路口 | 8 |
| こうしゅう[公衆] | (名)公众 | 35 |
| こうじょう[工場] | (名)工厂 | 16. 2' |
| こうずい[洪水] | (名)洪水 | 24 |
| こうせい[后世] | (名)后世,将来 | 24 |
| こうせい[公正] | (名・形动)公正,公平 | 30 |
| こうせい[構成] | (名・他サ)构成,构造 | 40 |
| こうせい[合成] | (名・他サ)合成 | 38 |
| こうせいひかく[合成皮革] | (名)人造革 | 13' |
| こうぞう[構造] | (名)构造 | 10 |
| こうちょう[校長] | (名)校长 | 19 |
| こうつう[交通] | (名)交通 | 0 |
| こうつうろ[交通路] | (名)通道 | 23 |
| こうど[高度] | (名)高度 | 28 |
| こうどう[講堂] | (名)礼堂 | 2' |
| こうのう[効能] | (名)功能,效力 | 31 |
| こうふく[幸福] | (名・形动)幸福 | 39 |
| こうほう[後方] | (名)后方 | 26 |
| こうよう[紅葉] | (名・自サ)红叶,树叶变红 | 12' |
| こうよう[紅葉] | (名)日本小说家、俳句诗人,“尾崎红叶”的名字 | 39 |
| こうらくち[行楽地] | (名)旅游点 | 12' |
| こうり[行李] | (名)行李 | 31 |

| | | |
|-------------------|--------------|-----|
| ごうりか[合理化] | (名・他サ)合理化 | 17 |
| こえ[声] | (名)声音 | 17 |
| こえる[越える] | (他一)越过,超过 | 12 |
| こえる[肥える] | (自一)肥沃 | 23 |
| コース[course] | (名)套(餐) | 35 |
| コーチ[coach] | (名・他サ)教练,教练员 | 14 |
| コード[cord] | (名)软线 | 12' |
| コーヒー[coffee] | (名)咖啡 | 17 |
| ゴール[goal] | (名)终点,决胜点 | 34 |
| こがい[戸外] | (名)户外,屋外 | 37 |
| こがく[語学] | (名)外语,语言学 | 2 |
| こくど[国土] | (名)国土 | 5 |
| こくみん[国民] | (名)国民 | 8 |
| こくみんせい[国民性] | (名)国民性 | 13 |
| こくもつ[穀物] | (名)谷物 | 25 |
| こけ[〔苔〕] | (名)藓苔 | 18' |
| ここ | (名)这里 | |
| ここ[個個・箇箇] | (名)各个,每个 | 40 |
| ごご[午後] | (名)下午 | 0 |
| ここのつ[九つ] | (数)九个,九岁 | 4 |
| こころ[心] | (名)心 | 18 |
| こころえる[心得る] | (他一)懂得,理解,领会 | 34 |
| こころがまえ[心構え] | (名)精神准备,思想准备 | 34 |
| ごはんかい[午餐会] | (名)午餐会 | 13 |
| ごし[越し] | (接尾)隔…… | 37 |
| ガラスごし[glass 越し] | (名)隔着玻璃 | 37 |
| ごじゅん[語順] | (名)语序,词序 | 42 |
| こじん[個人] | (名)个人,一个人 | 40 |
| こすい[湖水] | (名)湖水 | 31 |
| こする[〔擦〕る] | (他五)擦 | 13' |
| こすりあわせる[〔擦〕り合わせる] | (他一)使互相擦 | |
| ごぜん[午前] | (名)上午,午前 | 31 |
| ごぜんちゅう[午前中] | (名)上午 | 3' |
| こたい[固体] | (名)固体 | 24 |
| こだい[古代] | (名)古代 | 23 |
| こたえ[答] | (名)回答 | 22 |
| こたえる[答える] | (自一)回答,答复,解答 | 10 |
| こたつ | (名)(用以取暖的)被炉 | 17 |

| | | |
|--------------------|---------------|-----|
| こちら[此方] | (代)这里,这边 | 1 |
| こっか[国家] | (名)国家 | 0 |
| こっち | (代)这边 | 1 |
| こづつみ[小包] | (名)小包 | 24 |
| こてい[固定] | (名・自他サ)固定 | 42 |
| こてんてき[古典的] | (形动)古典的 | 32 |
| こと[事] | (名)事,事情 | 3 |
| ごと[每] | (接尾)每…… | 8' |
| ことがら[事がら・事柄] | (名)事情,情况 | 21' |
| ことし[今年] | (名)今年 | 0 |
| ことなる[異なる] | (自五)不同,不一样 | 34 |
| ことに[殊に] | (副)特别 | 28 |
| ことば[言葉] | (名)词语 | 3 |
| こども[子供] | (名)小孩,儿童 | 0 |
| この | (连体)这个 | 0 |
| このごろ[此の頃] | (名)近来,这些天来 | 9 |
| このは[木の葉] | (名)树叶 | 12' |
| こばやし[小林] | (名)小林 | 14 |
| ごはん[御飯] | (名)饭(食),米饭 | 9 |
| ひるごはん[昼御飯] | (名)午饭 | 9 |
| コピー[copy] | (名・他サ)复印,副本 | 15' |
| こぶ | (名)瘤子 | 5' |
| らくだのこぶ | (名)驼峰 | 5' |
| こぶさた[御無沙汰] | (名・自サ)久疏问候 | 19' |
| コペルニクス[copernicus] | (名)哥白尼(人名) | 26 |
| こぼれる[零れる] | (自一)洒,洒落 | 27 |
| こまかい[細い] | (形)细小 | 9' |
| ごまかし[誤魔化し] | (名)欺骗,哄人,假冒 | 25 |
| こまく[鼓膜] | (名)鼓膜 | 24 |
| こまごま[細細] | (副・自サ)零零碎碎,详细 | 40 |
| こまる[困る] | (自五)为难,难受,苦惱 | 8 |
| こみいる[込み入る] | (自五)复杂化,闯入 | 38 |
| こむ[込む] | (自五)人多,拥挤,混杂 | 12 |
| こむぎ[小麦] | (名)小麦 | 29 |
| こむぎこ[小麦粉] | (名)面粉 | 29 |
| こめ[米] | (名)米 | 9 |
| こめる[込める] | (他一)装填 | 13 |
| ごめん[御免] | (名)(敬)请允许,请准许 | 16 |

| | | |
|-------------------|------------------|---------|
| ごめんください[御免下さい] | (词组)对不起,里面有人吗 | 16 |
| こゆう[固有] | (名・形动)固有,原有 | 24 |
| ごらく[娛樂] | (名)娱乐 | 24 |
| こらす[凝らす] | (他五)集聚,凝聚 | 23 |
| くふうをこらす[工夫を凝らす] | (词组)千方百计 | 23 |
| ごらんください[御覧ください] | 请看 | 32 |
| こりつ[孤立] | (名・自サ)孤立 | 13 |
| コルク[cork] | (名)软木 | 16 |
| これ | (代)这个 | 1 |
| これから | (名)今后,从现在起,从这里起 | 18 |
| ころ | (名)时候 | 6 |
| ころ[頃] | (接尾)(时间,日期)前后,左右 | 3 |
| こわす[壊す・毀す] | (他五)弄坏,损害 | 27. 19' |
| コンセント[consent] | (名)插口,插座 | 8' |
| コンチュウ[(昆)虫] | (名)昆虫 | 18' |
| こんてい[根底] | (名)根底,基础 | 34 |
| こんど[今度] | (名)这次,这一回,下一次 | 9 |
| こんとん[混沌] | (形动)浑沌,朦胧 | 30 |
| こんな | (连体)这样的 | 1 |
| こんなに | (副)这样 | 1 |
| こんなん[困難] | (名・形动)困难 | 31 |
| こんにちは[今日は] | (昼间的寒暄语)您好 | 3 |
| こんばんは[今晚は] | (黄昏后的寒暄语)晚上好,您好 | 7 |
| コンピューター[computer] | (名)电子计算机 | 11 |
| | | |
| サーカス[circus] | (名)马戏团 | 25 |
| さい[歳・才] | (接尾)…岁 | 3 |
| さい[賽] | (名)骰子 | 31 |
| さい[際] | (名)时候,际 | 33 |
| ざいあく[罪惡] | (名)罪恶 | 35 |
| ざいか[財貨] | (名)物资资料 | 29 |
| さいがい[災害] | (名)灾害 | 7 |
| さいきん[最近] | (名)最近,近来 | 8 |
| さいご[最後] | (名)最后,末尾 | 9 |
| ざいさん[財産] | (名)财产 | 23 |
| さいじつ[祭日] | (名)祭祀日,节日 | 13 |
| さいしょ[最初] | (名)最初,首先,第一次 | 10 |
| さいぜん[最善] | (名)最好 | 25 |

| | | |
|-----------------|---------------|--------|
| さいぜんをつくす[最善を尽す] | 竭尽全力 | 25 |
| さいだい[最大] | (名)最大 | 11 |
| さいちゅう[最中] | (名)最盛时期,正进行中 | 38 |
| さいとう[斎藤] | (名)斋藤 | 21 |
| さいはん[再版] | (名・他サ)重版,再版 | 39 |
| さいふ[財布] | (名)钱包 | 13 |
| ざいりょう[材料] | (名)材料 | 11 |
| サイレン[siren] | (名)汽笛,警报器 | 34 |
| さおばかり[(竿)秤] | (名)杆秤 | 15' |
| さかさま[逆様] | (名・形动)倒,逆 | 6' |
| さがす[捜す・探す] | (他五)寻找,搜查 | 9 |
| さかな[魚] | (名)鱼 | 4 |
| ざがね[座金] | (名)垫片 | 10' |
| さかん[盛ん] | (形动)盛,兴旺 | 18,12' |
| さき[先] | (名)前面,尖端,将来 | 18 |
| さきだす[咲き出す] | (自五)开始开(花) | 12' |
| さぎょう[作業] | (名・自サ)工作,作业 | 42 |
| さく[咲く] | (自五)开花 | 0 |
| さくねん[昨年] | (名)去年 | 33 |
| さくひん[作品] | (名)作品 | 24 |
| さくもつ[作物] | (名)作物,农作物 | 15 |
| さくら[桜] | (名)樱,樱花 | 1 |
| さけ[酒] | (名)酒 | 4 |
| さける[避ける] | (他一)避免,躲开 | 25,10' |
| さげる[下げる] | (他一)降低,下降 | 7' |
| ささえる[支える] | (他一)支撑,支持,阻止 | 15,13' |
| ささき[佐佐木] | (名)佐佐木 | 14 |
| ささやき | (形动)细小,微小 | 24 |
| さす[指す] | (他五)指 | 17' |
| さぞ | (副)想必,谅必 | 21 |
| さだまる[定まる] | (自五)定,定下来 | 38 |
| さだめる[定める] | (他一)规定 | 17' |
| さっきょくか[作曲家] | (名)作曲家 | 24 |
| ざっし[雑誌] | (名)杂志 | 0 |
| さっそく[早速] | (副)立刻,马上 | 14 |
| ざっと | (副)大体上,简略地,大概 | 31 |
| さて | (接)那么,却说 | 15 |
| さと[里] | (名)乡村,乡间 | 6 |

| | | |
|-------------------|---|-------|
| さとう[砂糖] | (名)砂糖 | 25 |
| さとうすい[砂糖水] | (名)砂糖水 | 37 |
| さひょう[座標] | (名)标准,座标 | 4' |
| さびる | (自一)生锈 | 14' |
| さぶとん[座布団] | (名)坐垫 | 5' |
| さぶろう[三郎] | (名)三郎 | 21 |
| さま[様] | (接尾)(接在人名或表示人的 名词下)表示尊称(接在表示心意 的用语下)表示郑重或客气 | 21 |
| さまざま[様様] | (形动)种种,各种 | 20 |
| さむい[寒い] | (形)冷的,寒冷的 | 6 |
| さめる[覚める] | (自一)醒,醒悟 | 13 |
| さゆう[左右] | (名・他サ)左右 | 27 |
| さよう[作用] | (名・自サ)作用,起作用 | 15 |
| さようせん[作用線] | (名)作用线 | 15 |
| さようなら | 再见,告别 | 21 |
| さら[皿] | (名)碟子,盘子 | 37 |
| さらに[更に] | (副・接)更,再,还,而 | 10,9' |
| サラリーマン[salaryman] | (名)靠薪金生活的人 | 8 |
| さん[三] | (数)三 | 4 |
| さん | (接尾)先生,老……,小…… | 2,1' |
| さんかん[山間] | (名)山间,山中 | 31 |
| さんぎょう[産業] | (名)产业 | 28 |
| さんざん[散散] | (副・形动)充分地,狠狠地 | 31 |
| さんじゅつ[算術] | (名)算术,算法 | 25 |
| さんそ[酸素] | (名)氧,氧气 | 10,9' |
| さんねん[残念] | (形动)遗憾,可惜,悔恨 | 17 |
| さんめん[三面] | (名)报纸的第三版 | 34 |
| さんめんきじ[三面記事] | (名)社会新闻,第三版消息 | 24 |
| さんや[山野] | (名)山野 | 22 |
| し[市] | (名)市 | 19 |
| し[詩] | (名)诗 | 24 |
| じ[字] | (名)字 | 6 |
| じ[時] | (接尾)……点钟,……时 | 3 |
| ろくじ[六時] | (数)六点钟 | 3 |
| しあい[試合] | (名)比赛 | 14 |
| しあわせ[幸せ] | (名・形动)幸运,幸福 | 15,2' |

| | | |
|-------------------|---------------|--------|
| シーメンス社[Siemens 社] | (名)西门子公司 | 33 |
| しかく[資格] | (名)资格,身份 | 34 |
| じぎょう[事業] | (名)事业 | 13 |
| しいる[強いる] | (他一)强迫 | 28 |
| しおかぜ[潮風] | (名)海风 | 4' |
| しかし | (接)可是,不过 | 1 |
| しかた[仕方] | (名)方法,办法 | 37 |
| しかも[然も・而も] | (接)而且,并且 | 22,5' |
| じかん[時間] | (名)时间,时刻 | 2 |
| じき[時期] | (名)时期 | 4 |
| しききん[敷金] | (名)(租房的)押金 | 29 |
| しきさい[色彩] | (名)色彩 | 22 |
| しくみ[仕組(み)] | (名)结构,构造 | 28,10' |
| しげき[刺激] | (名・他サ)刺激 | 11 |
| しげる[茂る] | (自五)繁茂,茂密 | 24,18' |
| しけん[試験] | (名・他サ)考试 | 11 |
| にゅうがくしけん[入学試験] | (名)入学考试 | |
| しげん[資源] | (名)资源 | 5 |
| じげん[次元] | (名)元,立场,水平 | 36 |
| じこ[事故] | (名)事故 | 8 |
| じこ[自己] | (名)自己 | 13 |
| しこう[思考] | (名・他サ)思考,考虑 | 40 |
| しこく[四国] | (名)四国 | 1 |
| しごと[仕事] | (名)工作,职业 | 3 |
| しじしゃ[支持者] | (名)支持者 | 26 |
| じじつ[事実] | (名)事实,真实情况 | 25 |
| ししゅんき[思春期] | (名)青春期,思春期 | 32 |
| じしょう[自称] | (名・自サ)自称;第一人称 | 41 |
| じじょう[事情] | (名)情况,情形,形势 | 35 |
| しじん[詩人] | (名)诗人 | 24 |
| じしん[自身] | (名)自己,本身 | 23 |
| じすい[自炊] | (名・自サ)自炊 | 32 |
| しずか[静か] | (形动)平静,安静 | 5 |
| しずむ[沈む] | (自五)下沉,沈 | 12 |
| しせい[姿勢] | (名)姿势,态度 | 20 |
| しせつ[施設] | (名)设施 | 16 |
| しぜん[自然] | (名)自然 | 5 |
| しぜんかい[自然界] | (名)自然界 | 22 |

| | | |
|--------------|-------------------------|--------|
| じそく[時述] | (名)时速 | 11 |
| した[下] | (名)下,下面 | 4 |
| シダ[(羊歯)] | (名)羊齿(植物) | 18' |
| じだい[時代] | (名)时代 | 2 |
| しだいに[次第に] | (副)逐渐 | 28 |
| したがう[従う] | (自五)随着;顺从;沿 | 11 |
| したがって[従って] | (接)因此,从而 | 28.11' |
| したじき[下敷き] | (名)垫子 | 13' |
| したむき[下向き] | (名)朝下,俯 | 38 |
| しち[七] | (数)七 | 3 |
| じつ[実] | (名)真实,实际 | 17 |
| しっかり | (副・自サ)坚固,健壮,扎实 | 14,10' |
| じっけん[実験] | (名・他サ)实验 | 2 |
| じつげん[実現] | (名・他サ)实现 | 18 |
| じっさい[实际] | (名)实际,(副)确实,的确 | 10 |
| しつじゅん[湿润] | (形动)湿润 | 22 |
| じっせいかつ[实生活] | (名)现实生活 | 36 |
| しつぼう[失望] | (名・自サ)失望 | 31 |
| しつもん[質問] | (名・自サ)疑问,提问 | 14 |
| しつもんしゃ[質問者] | (名)提问的人 | 25 |
| しつれい[失礼] | (名・自サ)失礼,不礼貌 | 9 |
| しつれいします | (分手时)告辞,再见 | 9 |
| じつれい[实例] | (名)实例 | 20 |
| してき[指摘] | (名・他サ)指出 | 22 |
| してん[支点] | (名)支点 | 15 |
| してん[視点] | (名)观点,视点 | 41 |
| じどうしゃ[自動車] | (名)汽车 | 4 |
| じどうばん[自動盤] | (名)自动车床 | 3 |
| しぬ[死ぬ] | (自五)死 | 0 |
| しはいてき[支配的] | (形动)占统治地位的 | 26 |
| しばしば | (副)常常,屡屡 | 0 |
| しばらく[暫く] | (副)不久,一会儿 | 8 |
| しばらくでした | 很久不见了 | 8 |
| じぶん[自分] | (名)自己 | 3 |
| じぶんじしん[自分自身] | (名)(加强“自分”的语气)自己, 自身 | 30 |
| しへん[詩編] | (名)诗编 | 31 |
| しほう[四方] | (名)四方,四周 | 16 |

| | | |
|--------------------|-----------------|-----|
| しばうぶん[脂肪分] | (名)脂肪成分 | 5 |
| しほる[絞る・搾る] | (他五)拧,硬挤,强逼 | 13 |
| しま[島] | (名)岛 | 1 |
| しまい[終い・仕舞(い)] | (名)最后,末了,结束 | 27 |
| しまぐに[島国] | (名)岛国 | 1 |
| じむしょ[事務所] | (名)事务所,办事处 | 33 |
| しめす[示す] | (他五)表示 | 15 |
| しめつける[締め付ける] | (他一)拧紧,紧固 | 10' |
| しめる[閉める] | (他一)关闭 | 10' |
| しめる[占める] | (他一)占 | 23 |
| じめん[地面] | (名)地面 | 25 |
| じもと[地元] | (名)本地,当地 | 3' |
| じゃあ | (接)那么(では的略音) | 18 |
| しゃかい[社会] | (名)社会 | 18 |
| しゃしん[写真] | (名)相片,照片 | 15 |
| シャツ[shirt] | (名)衬衫 | 18' |
| けいとのシャツ[毛糸のshirt] | (名)绒衫 | 18' |
| しゃべる | (自・他五)说,讲,唠叨 | 32 |
| じゃま[邪魔] | (名・他サ)干扰,影响 | 17 |
| しゃよう[社用] | (名)公司事务 | 33 |
| しゃりょう[車両] | (名)车辆 | 11' |
| しゃりん[車輪] | (名)车轮 | 28 |
| しゃれる[洒落る] | (自一)雅致 | 33 |
| シャワー[shower] | (名)淋浴 | 32 |
| ジャンプ[jump] | (名・自サ)跳跃 | 11' |
| しゅ[種] | (名)种,种类 | 40 |
| じゅう[中] | (接尾)整个……,在……时间内 | 18 |
| じゅう[十] | (数)十 | |
| じゆう[自由] | (名・形动)自由 | 14 |
| しゅうい[周囲] | (名)周围 | 13 |
| しゅうかん[習慣] | (名)习惯 | 41 |
| しゅうきゅうふつかせい[週休二日制] | 一周休息两天制 | 8 |
| じゅうきょ[住居] | (名)住宅 | 29 |
| しゅうきょう[宗教] | (名)宗教 | 18 |
| しゅうきょうさいばん[宗教裁判] | (名)宗教审判 | 26 |
| じゅうごや[十五夜] | (名)(农历)十五晚上 | 6 |
| じゅうじつ[充実] | (名・自サ)充实,丰富 | 21 |

| | | |
|------------------|---------------|-------|
| じゅうしょ[住所] | (名)住所,住址 | 13 |
| しゅうしょく[就職] | (名・自サ)就职,就业 | 19 |
| ジュース[juice] | (名)汁液,果汁 | 17 |
| しゅうせき[集積] | (名・自サ)集积,集聚 | 40 |
| しゅうせきかいろ[集成回路] | (名)集成电路 | 14' |
| しゅうちゅう[集中] | (名・自他サ)集中 | 23 |
| しゅうふく[修復] | (名・他サ)修复 | 15 |
| じゅうぶん[十分] | (形动・副)充分 | 29 |
| しゅうよう[收容] | (名・他サ)收容,容纳 | 34 |
| じゅうよう[重要] | (形动)重要 | 22 |
| じゅうようし[重要視] | (名・他サ)重视 | 30 |
| じゅうりょく[重力] | (名)重力 | 20 |
| しゅがん[主眼] | (名)着眼点,着重点 | 40 |
| じゅぎょう[授業] | (名・自サ)课,上课 | 0 |
| しゅくがん[宿願] | (名)宿愿 | 20 |
| しゅくさいじつ[祝・祭日] | (名)节假日 | 8 |
| しゅくさつ[縮刷] | (名・他サ)缩版印刷 | 39 |
| しゅくだい[宿題] | (名)作业,家庭作业 | 34.3' |
| しゅこう[趣向] | (名)趣旨,意向,主意 | 39 |
| しゅじゅ[種種] | (名・副・形动)种种,各种 | 40 |
| しゅだん[手段] | (名)手段 | 29 |
| しゅちょう[主張] | (名・他サ)主张 | 13 |
| しゅっきん[出勤] | (名・自サ)上班,出勤 | 33 |
| しゅっしん[出身] | (名)毕业学校,籍贯 | 3 |
| しゅっちょう[出張] | (名・自サ)出差 | 33 |
| しゅっぱん[出版] | (名・他サ)出版 | 30 |
| しゅつりょくそうち[出力装置] | (名)输出装置 | 14' |
| しゅと[首都] | (名)首都 | 1 |
| しゅみ[趣味] | (名)兴趣,爱好 | 8 |
| しゅよう[主要] | (名・形动)主要 | 31 |
| じゅよう[需要] | (名)需要 | 23 |
| じゅりつ[樹立] | (名・自分サ)树立,建立 | 40 |
| しゅるい[種類] | (名)种类 | 11' |
| じゅんじゅん(に)[順順(に)] | (副)逐渐,按顺序,依次 | 20 |
| じゅんび[準備] | (名・自他サ)准备,预备 | 13 |
| しょ[署] | (名)官署 | 17 |
| じょうい[上位] | (名)上位 | 33 |
| しょうか[消化] | (名・自他サ)消化 | 42 |

| | | |
|---------------|-------------------------|-----|
| しょうかい[紹介] | (名・他サ)介绍 | 13 |
| じこしょうかい[自己紹介] | 自我介绍 | 13 |
| しょうがいぶつ[障害物] | (名)障碍物 | 11 |
| しょうがつ[正月] | (名)正月 | 21 |
| しょうがっこう[小学校] | (名)小学 | 3 |
| じょうききかん[蒸汽機関] | (名)蒸汽机 | 28 |
| じょうきやく[乗客] | (名)乘客 | 35 |
| じょうきょう[上京] | (名・自サ)到东京去,进京 | 21 |
| じょうげ[上下] | (名・自他サ)上下 | 16 |
| じょうけん[条件] | (名)条件 | 34 |
| しょうこ[証拠] | (名)证据 | 22 |
| じょうさい[詳細] | (名・形动)详细 | 31 |
| しょうじき[正直] | (形动)老实 | 25 |
| しょうしょう[少少] | (名・副)少许,一点儿 | 21 |
| しょうじる[生じる] | (自他一)生,发生 | 13' |
| じょうず[上手] | (名・形动)(某种技术)好,高明, 能手 | 0 |
| じょうすいどう[上水道] | (名)上水道 | 23 |
| しょうすう[小数] | (名)小数 | 25 |
| しょうすう[少数] | (名)少数 | 30 |
| しょうする[称する] | (他サ)称为,称作 | 41 |
| しょうずる[生ずる] | (自他サ)产生,出现 | 24 |
| しょうせつ[小説] | (名)小说 | 31 |
| しょうたい[招待] | (名・他サ)招待 | 13 |
| しょうたい[正体] | (名)原形,真面目 | 22 |
| じょうたい[状態] | (名)状态 | 10 |
| じょうたつ[上達] | (名・自サ)上进,进步 | 21 |
| しょうち[承知] | (名・他サ)知道,同意,允许 | 13 |
| ショート[short] | (名・自サ)短路 | 10' |
| しょうばい[商売] | (名)买卖,生意,交易 | 5 |
| しょうひぜい[消費税] | (名)消费税 | 9 |
| しょうひん[賞品] | (名)奖品 | 25 |
| じょうまえし[錠前師] | (名)锁匠 | 33 |
| じょうりゅう[上流] | (名)上游 | 23 |
| しょうわ[昭和] | (名)(日本年号)昭和 | 19 |
| しょくぎょう[職業] | (名)职业 | 9 |
| しょくご[食後] | (名)饭后 | 27 |
| しょくじ[食事] | (名・自サ)吃饭,进餐 | 14 |

| | | |
|----------------------|-----------------|--------|
| しょくせいかつ[食生活] | (名)饮食 | 22 |
| しょくにん[職人] | (名)手艺人 | 29 |
| しょくば[職場] | (名)工作岗位,工作场所,车间 | 8 |
| しょくぶつ[植物] | (名)植物 | 22 |
| しょくよく[食欲] | (名)食欲 | 18 |
| しょくりょう[食料] | (名)食物 | 29 |
| しょたいめん[初対面] | (名)初次见面 | 21 |
| ジョギング[jogging] | (名)放松慢跑 | 3' |
| しょはん[初版] | (名)初版,第一版 | 39 |
| しょもつ[書物] | (名)书籍 | 29 |
| しより[处理] | (名・他サ)处理 | 42 |
| しらせあう[知らせ合う] | (他互)互相通知 | 37 |
| しらせる[知らせる] | (他一)通知 | 37 |
| しらべる[調べる] | (他一)调查,研究 | 11,10' |
| しりぞく[退く] | (自互)退,后退 | 24 |
| しりぞける[退ける] | (他一)拒绝,斥退,排除 | 24 |
| しりょう[資料] | (名)资料 | 16 |
| しる[知る] | (他互)知道,理解,认识 | 17,8' |
| しるし[印] | (名)记号 | 37 |
| しろい[白い] | (形)白的,白色的 | 6 |
| じろう[次郎] | (名)次郎,次子 | 12 |
| じん[人] | (接尾)……人 | 4 |
| にほんじん[日本人] | (名)日本人 | |
| じんいてき[人为的] | (形动)人为的 | 38 |
| しんか[進化] | (名・自サ)进化 | 40 |
| しんきろう[蟹気楼] | (名)海市蜃楼 | 6' |
| しんくう[真空] | (名)真空 | 16 |
| しんくうかん[真空管] | (名)电子管 | 8' |
| シングルルーム[single room] | (名)单人房间 | 30 |
| しんごう[信号] | (名)信号 | 8 |
| じんこう[人口] | (名)人口 | 1 |
| じんこうてき[人工的] | (形动)人工的,人造的 | 36 |
| しんじつ[真实] | (名・形动)真实,实在 | 35 |
| しんじゅく[新宿] | (名)新宿 | 22 |
| しんずる[信ずる] | (他サ)相信,信仰 | 18 |
| じんせい[人生] | (名)人生,人的一生 | 30 |
| しんせき[親戚] | (名)亲戚 | 41 |
| しんせん[新鮮] | (形动)新鲜 | 16 |

| | | |
|--------------|-----------------|--------|
| しんそう[真相] | (名)真相 | 25 |
| しんぞう[心脏] | (名)心脏 | 24 |
| しんたい[身体] | (名)身体 | 28 |
| じんたい[人体] | (名)人体 | 20 |
| しんどう[振動] | (名・自サ)振動 | 16 |
| しんねん[新年] | (名)新年 | 21 |
| しんぱい[心配] | (名・形动・自他サ)担心,挂念 | 18 |
| しんぴ[神秘] | (名・形动)神秘 | 36 |
| じんぶつ[人物] | (名)人,人物 | 39 |
| しんぶん[新聞] | (名)报纸,报,新闻 | 9,1' |
| しんぶんしゃ[新聞社] | (名)报社 | 19 |
| しんべん[身边] | (名)身边 | 30 |
| しんぽ[進歩] | (名・自サ)进步,发展 | 0 |
| じんめい[人命] | (名)人命 | 23 |
| しんりがく[心理学] | (名)心理学 | 32 |
| しんるい[親類] | (名)亲戚,亲属 | 34 |
| じんるい[人類] | (名)人类 | 20 |
| す[巢] | (名)巢 | 12 |
| すをくう[巢を食う] | (词组)作巢,立家 | 31 |
| ず[図] | (名)图 | 15 |
| すいえい[水泳] | (名・自サ)游泳 | 20 |
| すいがい[水害] | (名)水灾 | 23 |
| すいしつ[水质] | (名)水质 | 31 |
| すいじょうき[水蒸気] | (名)水蒸气 | 22 |
| すいそ[水素] | (名)氢 | 10,9' |
| すいそう[水槽] | (名)水箱 | 27 |
| すいそく[推測] | (名・他サ)推测 | 38 |
| すいちょくせん[垂直線] | (名)垂线,铅垂线 | 15 |
| すいつける[吸い付ける] | (他一)吸住 | 18' |
| スイッチ[switch] | (名)开关,电门 | 10' |
| すいでん[水田] | (名)水田 | 23 |
| ずいぶん[随分] | (副)相当,非常 | 14,12' |
| すいへいめん[水平面] | (名)水平面 | 27 |
| すいみん[睡眠] | (名・自サ)睡眠 | 10 |
| すいめん[水面] | (名)水面 | 16 |
| すいようび[水曜日] | (名)星期三 | 2 |
| すいりょく[水力] | (名)水力 | 29 |

| | | |
|---------------------------|--------------------------|--------|
| すいりょくはつでん[水力発電] | (名)水力发电 | 23 |
| スウェーター[sweater] | (名)毛衣 | 32 |
| すう[吸う] | (他五)吸入,吮 | 37 |
| すうがく[数学] | (名)数学 | 9 |
| すうし[数詞] | (名)数词 | 0 |
| すうじ[数字] | (名)数字 | 7 |
| スーパー(マーケット)[super market] | (名)超级市场,自选市场 | 16 |
| すえ[末] | (名)末,末尾 | 35 |
| すがた[姿] | (名)姿态;面貌,风采 | 21 |
| すがりつく | (自五)缠住(不放),依赖 | 34 |
| すき[好き] | (形动)喜欢,喜爱 | 5 |
| スキー[ski] | (名)滑雪 | 12' |
| すきま[隙間] | (名)间隙 | 38 |
| すぎる[過ぎる] | (自一)(时间、日期、期限等)过,经过,越过 | 12 |
| すぎる[過ぎる] | (接动词连用形.形容词、形容动词词干后)过于…… | 10' |
| おおすぎる[多過ぎる] | (自一)过多 | |
| すく[透く・空く] | (自五)有空隙,有缝儿,空 | 17 |
| すぐ | (副)立刻,马上 | 9,3' |
| すくう[救う] | (他五)救,拯救;救济 | 34 |
| すくない[少ない] | (形)少的 | 5 |
| すくなくとも[少なくとも] | (副)至少,最低限度 | 39 |
| すぐれる[優れる・勝れる] | (自一)优秀,出色 | 32,14' |
| すこし[少し] | (副)稍微,少 | 5 |
| すごす[過す] | (他五)过(时日),度(岁月) | 8,3' |
| すこやか[健やか] | (形动)健壮,健全 | 18 |
| すじ[筋] | (名)筋,血管;条理,道理 | 35 |
| すじみち[筋道] | (名)道理;次序 | 32 |
| すじみちをたてる[筋道を立てる] | (词组)按顺序 | 32 |
| すず[鈴] | (名)铃,铃铛 | 16 |
| すずき[鈴木] | (名)铃木 | 10 |
| すずしい[涼い] | (形)凉爽的 | 6,4' |
| すすむ[進む] | (自五)向前,进展,提高 | 10,9' |
| すすめる[進める] | (他一)推荐;劝 | 31 |
| スタッフ[staff] | (名)阵营,人员 | 33 |
| スタンド[stand] | (名)台座 | 33 |

| | | |
|----------------|----------------------------------|--------|
| すっかり | (副)完全 | 37,19' |
| すっきり | (副・自サ)舒畅,畅快 | 32 |
| ずっと | (副)远远,……得多,一直 | 23 |
| すてき[素敵・素敵] | (形动)极好,绝妙,极漂亮 | 32 |
| すでに[既に] | (副)已经 | 33,14' |
| すてる[棄てる] | (他一)抛弃,扔掉 | 26 |
| すどおり[素通り] | (名・自サ)过门不入 | 33 |
| すなあらし[砂嵐] | (名)大风砂,砂暴 | 5' |
| すなわち | (接)即,也就是 | 24,14' |
| すばこ[巢箱] | (名)蜂巢箱 | 37 |
| すばらしい[(素晴)らしい] | (形)极好的 | 3' |
| すべて | (名・副)总共,全部 | 22,9' |
| スポーツ[sport] | (名)运动,体育 | 2' |
| スポンサ[sponsor] | (名)(广播、电视)提供商业广告, 节目者,广告户,资助者 | 19 |
| すみつく[住み着く] | (他五)长住,安居 | 23 |
| すみません | (道歉时用语)对不起,抱歉 | 22 |
| すむ[住む] | (自五)住,居住 | 9 |
| ずらす | (他五)挪一挪,开 | 38 |
| すり[掏摸・掏兜] | (名)扒手,小偷 | 13 |
| する | (自他サ)做,干 | 2 |
| ずるずる | (副)拖延不决,迷迷糊糊 | 35 |
| するどい[鋭い] | (形)尖锐的,敏锐的 | 31 |
| ずれる | (自一)移动,错开 | 38 |
| せい[生] | (名)生,生长,生命 | 32 |
| せいおうしょこく[西欧諸国] | (名)西欧各国 | 41 |
| せいかく[正確] | (名・形动)正确、准确 | 21 |
| せいかつ[生活] | (名)生活 | 21 |
| せいぎょう[生業] | (名)生业,职业 | 33 |
| せいこう[成功] | (名・自サ)成功,成就 | 18 |
| せいさく[製作] | (名・他サ)制作 | 11 |
| せいさんだか[生産高] | (名)产量 | 4' |
| せいし[静止] | (名・自サ)静止 | 27 |
| せいじ[政治] | (名)政治 | 2 |
| せいじがく[政治学] | (名)政治学 | 19 |
| せいしつ[性質] | (名)性质 | 10 |
| せいしん[精神] | (名)精神 | 26 |
| せいせき[成績] | (名)成绩 | 0 |

| | | |
|----------------|----------------|-----|
| セーター[sweater] | (名)毛衣 | 18' |
| せいたんち[生誕地] | (名)出生地 | 33 |
| せいてん[晴天] | (名)晴天 | 34 |
| せいと[生徒] | (名)学生 | 30 |
| せいのう[性能] | (名)性能 | 28 |
| せいはんたい[正反对] | (名・形动)正相反,完全相反 | 7 |
| せいひん[製品] | (名)产品,制品,成品 | 5 |
| せいふ[政府] | (名)政府 | 15 |
| せいぶつがくしゃ[生物学者] | (名)生物学家 | 25 |
| せいめい[生命] | (名)生命 | 22 |
| せいり[生理] | (名)生理 | 28 |
| せいりつ[成立] | (名・自サ)成立,完成 | 40 |
| せかい[世界] | (名)世界 | 0 |
| せきたん[石炭] | (名)煤,煤炭 | 29 |
| せきゆ[石油] | (名)石油 | 29 |
| せつ[説] | (名)学说,主张 | 26 |
| せっかく | (副)特意,好不容易 | 31 |
| せっきょくてき[積極的] | (形动)积极 | 28 |
| せっきょう[説教] | (名・他サ)说教,(喻)规劝 | 20 |
| せっしゅ[攝取] | (名・他サ)摄取,吸收 | 42 |
| ぜったいてき[絶対的] | (形动)绝对 | 24 |
| せつび[設備] | (名)设备 | 19 |
| せつめい[説明] | (名・他サ)说明,解释 | 14 |
| せつもん[設問] | (名・自サ)提出的问题 | 41 |
| せなか[背中] | (名)脊背,脊梁 | 5' |
| ぜひ[是非] | (副)一定,务必 | 14 |
| せまい[狭い] | (形)狭小的,狭窄的 | 5 |
| セレン[徳 Selen] | (名)硒(整流管) | 8' |
| せわ[世話] | (名・他サ)帮助,照顾,照管 | 17 |
| せん[千] | (数)千 | 1 |
| せん[栓] | (名)塞 | 16 |
| コルクせん[kurk 栓] | (名)软木塞 | 16 |
| せんい[纖維] | (名)纤维 | 22 |
| せんぎょうしゅふ[専業主婦] | (名)家庭主妇 | 3 |
| せんご[前後] | (名)前后 | 16 |
| せんこう[専攻] | (名・他サ)专业,专攻 | 19 |
| ぜんこく[全国] | (名)全国 | 13 |
| ぜんこくいち[全国一] | (名)全国第一 | 4' |

| | | |
|--------------|-----------------------------|----|
| せんじつ[先日] | (名)前几天,前些日子 | 33 |
| せんしゅ[選手] | (名)选手 | 14 |
| せんしゅう[先週] | (名)上周,上星期 | 2 |
| せんすいかん[潜水艦] | (名)潜水艇 | 20 |
| せんせい[先生] | (名)老师,先生 | 2 |
| ぜんぜん[全然] | (副)完全(不) | 10 |
| せんそう[戦争] | (名)战争 | 18 |
| センター[center] | (名)中心,中央 | 19 |
| ぜんたい[全体] | (名)全体,整个 | 1 |
| せんたく[洗濯] | (名・他サ)洗涤,洗衣服 | 0 |
| せんたく[選択] | (名・他サ)选择,挑选 | 24 |
| せんたくき[洗濯機] | (名)洗衣机 | 17 |
| ぜんてい[前提] | (名)前提,前提条件 | 42 |
| ぜんてんくう[全天空] | (名)整天空 | 38 |
| せんとう[銭湯・洗湯] | (名)澡堂,浴池 | 32 |
| せんぱい[先輩] | (名)前辈,先辈,与自己同校先毕业 (入学)的人 | 8 |
| ぜんぶ[全部] | (名・副)全部,全体 | 9 |
| せんぽう[先方] | (名)对方,那一方面 | 35 |
| せんめい[鮮明] | (形动)鲜明 | 22 |
| せんもん[専門] | (名)专业 | 31 |
| せんりょう[染料] | (名)染料 | 36 |
| ぜんりょく[全力] | (名)全力,全部力量 | 34 |
| せんろ[線路] | (名)线路 | 12 |
| そう | (副)那样 | 1 |
| そうい[相違・相異] | (名・自サ)差异,不同 | 40 |
| そうかい[爽快] | (名・形动)清爽,爽快 | 32 |
| そうご[相互] | (名)相互,彼此 | 24 |
| そうごう[総・綜合] | (名・他サ)总合,综合 | 39 |
| そうじき[掃除機] | (名)除尘器 | 17 |
| そうして | (接)然后,于是,而且 | 24 |
| そうせき[漱石] | (名)日本作家“夏目漱石”的名字 | 39 |
| そうぞう[創造] | (名・他サ)创造 | 24 |
| そうそうき[草創期] | (名)草创期,初期 | 42 |
| そうぞうぶつ[創造物] | (名)创造物 | 40 |
| そうたいせい[相对性] | (名)相对性 | 41 |
| そうだん[相談] | (名・他サ)商量,磋商 | 34 |

| | | |
|--------------|-----------------|---------|
| そうち[装置] | (名・他サ)装置, 装备 | 28 |
| そうてい[装丁] | (名・他サ)装订, 装帧 | 39 |
| そうなん[遭難] | (名・自サ)遭难, 遇难 | 34 |
| そうばい[層倍] | (数)倍 | 34 |
| ソウるい[(藻)類] | (名)藻类 | 18' |
| そえる[添える] | (他一)附, 附带 | 21' |
| そくする[即する] | (自サ)适应, 切合 | 32 |
| そくたつ[速達] | (名)快信, 快(递)件 | 21 |
| そくど[速度] | (名)速度 | 16 |
| ソケット[socket] | (名)插口, 插座 | 10' |
| そこ | (代)那里 | 0 |
| そこ[底] | (名)底 | 12 |
| そこで | (接)于是, 所以 | 31, 20' |
| そざい[素材] | (名)素材, 材料 | 30 |
| そし[素子] | (名)元件 | 14' |
| そして | (接)然后, 而且, 又, 而 | 8, 2' |
| そせい[組成] | (名・他サ)组成, 成分 | 36 |
| そだてる[育てる] | (他一)培养, 培育, 抚养 | 19 |
| そちら | (代)那边 | 1 |
| そつぎょう[卒業] | (名・自サ)毕业 | 19 |
| そっち | (代)那边 | 1 |
| そと[外] | (名)外面, 外边 | 9 |
| そなえる[備える] | (他一)具备 | 12 |
| その | (连体)那个 | 1 |
| そのまゝ | (名・副)照样, 就那样 | 29 |
| そば[側・傍] | (名)侧, 旁边, 附近 | 9 |
| そぼく[素朴] | (名・形动)朴素, 单纯 | 42 |
| そら[空] | (名)天空 | 6 |
| それ | (代)那个 | 1 |
| それいじょう[それ以上] | (名)超过这个, 那以上 | 7' |
| それから | (接)其次, 接着 | 1 |
| それじゃ | (接)那么 | 24 |
| それぞれ | (名・副)分别, 每人, 各自 | 11, 9' |
| それで | (接)因此, 所以 | 3 |
| それでは | (接)那么, 那么说 | 2 |
| それでも | (接)尽管如此 | 26 |
| それどころか | (接)岂止如此, 相反地 | 26 |
| それとも | (接)或者, 还是 | 11' |

| | | |
|------------------|------------------|--------|
| それに | (接)而且,再加上 | 8 |
| それほど | (副)那样,那种程度 | 20 |
| そろそろ | (副)就要,不久,慢慢 | 34 |
| そろばん[(算盤)] | (名)算盘 | 14' |
| そんざい[存在] | (名・自サ)存在 | 22 |
| そんちょう[尊重] | (名・他サ)尊重,重视 | 42 |
| そんな | (连体)那样的 | 1 |
| そんなに | (副)那样 | 1 |
| ぞんぶん[存分] | (形动・副)随心所欲,充分,尽量 | 23 |
| た[田] | (名)田,水田 | 9 |
| た[他] | (名)别的,他,其他,别人 | 20 |
| だい[台] | (名)台架 | 27 |
| だいいちしほうこう[第一志望校] | (名)第一志愿学校 | 3' |
| ダイオード[diode] | (名)二极管 | 8' |
| たいが[大河] | (名)大河 | 23 |
| だいがく[大学] | (名)大学 | 11 |
| だいがくいん[大学院] | (名)研究生院 | 19 |
| たいき[大気] | (名)大气 | 36 |
| だいきほ[大規模] | (名・形动)大规模 | 23 |
| たいけい[体系] | (名)体系 | 40 |
| たいけん[体験] | (名・他サ)体验,经验 | 32 |
| だいじ[大事] | (名・形动)大事,重要,珍惜 | 15 |
| たいした[大した] | (连体)很,了不起, | 27 |
| たいしゅうしょくどう[大衆食堂] | (名)大众化饭馆 | 16 |
| だいじょうぶ[大丈夫] | (名・形动)不要紧,没错儿 | 12 |
| だいすき[大好き] | (形动)很喜欢 | 6 |
| たいする[対する] | (自サ)对;对于 | 23,11' |
| たいせつ[大切] | (形)保重;要紧 | 21,19' |
| たいそう[体操] | (名)体操 | 20 |
| だいたい[大体] | (副)差不多,大致 | 1 |
| だいたすう[大多数] | (名)大多数 | 30 |
| だいち[大地] | (名)大地,陆地 | 26 |
| たいてい[大抵] | (副)大体,大都 | 2' |
| たいど[態度] | (名)态度 | 24 |
| だいどころ[台所] | (名)厨房 | 8 |
| タイプ[type] | (名)类型,型式,榜样 | 40 |
| だいふ[大分] | (副)很,颇,相当地 | 21 |

| | | |
|--------------------|---------------------|--------|
| たいふう[台風] | (名)台风 | 7 |
| たいへん[大変] | (副・形动)不容易,费力,非常 | 5,2' |
| ざいほんざん[大本山] | (名)(佛教的)本宗大庙 | 33 |
| たいよう[太陽] | (名)太阳 | 38 |
| だいよう[代用] | (名・他サ)代用 | 28 |
| たいら[平ら] | (名・形动)平静,平坦 | 27 |
| たいりく[大陸] | (名)大陆 | 7 |
| たいりょく[体力] | (名)体力 | 34 |
| たいわ[対話] | (名)对话 | 26 |
| たえず[絶えず] | (副)不断,经常 | 24 |
| たえる[耐える] | (自一)耐 | 14' |
| たおれる[倒れる] | (自一)倒一,倒塌,倒台 | 24 |
| だが | (接)但是 | 23 |
| たかい[高い] | (形)高的 | 0 |
| たがいちがい(に)[互い違い(に)] | (副)交错地 | 8' |
| たがいに[互いに] | (副)互相 | 9' |
| たかまる[高まる] | (自五)高涨 | 28 |
| たかめる[高める] | (他一)提高 | 14' |
| だから | (接)因此 | 16,5' |
| たぐい[類] | (名)一类 | 28 |
| たくさん | (副)很多 | 1 |
| タクシー[taxi] | (名)出租车,的士 | 12 |
| たけ[竹] | (名)竹子 | 6 |
| たけ[(丈)] | (名)高矮 | 20' |
| たしかに[確かに] | (副)的确,一定 | 30,14' |
| たしかめる[確かめる] | (他一)弄清,验证 | 37,20' |
| たしゃ[他者] | (名)他人 | 41 |
| たしょう[多少] | (名)多少,多寡 | 24 |
| だす[出す] | (他五)提出,伸出 | 0 |
| たすう[多数] | (名)多数 | 30 |
| たすける[助ける] | (他一)帮助,救助 | 20 |
| たずねる[尋ねる] | (他一)问,打听,寻求 | 14 |
| ただ | (接)不过,但是(副)只,唯 | 10 |
| ただいま | (从外面回到家里时的打招呼语)我回来了 | 34 |
| たたく[叩く・敲く] | (他五)敲,叩 | 25,19' |
| ただしい[正しい] | (形)正确的 | 16,12' |
| たたずまい | (名)样子,状态 | 33 |

| | | |
|--------------|-------------------------------|--------|
| たたみ[畳] | (名)(日本式房间里铺在地板上的) 草垫,“榻榻米” | 29 |
| たち | (接尾)接在人称代词或表示人的名 词后表示复数 | 2 |
| たちあう[立ち会う] | (自五)在场 | 25 |
| たちば[立場] | (名)立脚点,立场 | 24 |
| たちよる[立(ち)寄る] | (自五)顺便去 | 33 |
| たつ[立つ] | (自五)站立,上升,冒出 | 9 |
| たつ[建つ] | (自五)建,盖 | 9 |
| たっせい[達成] | (名・他サ)完成,达到 | 14' |
| たてもの[建物] | (名)建筑物 | 15,2' |
| たとえば[例えば] | (副)例如 | 8 |
| たどりつける | (自一)终于到达 | 38 |
| たなか[田中] | (名)田中 | 2 |
| たにん[他人] | (名)别人 | 23 |
| たね[種] | (名)种子 | 23 |
| たのしい[楽しい] | (形)快乐的,愉快的 | 6 |
| たのしみ[楽しみ] | (名)乐趣 | 4' |
| たのむ[頼む] | (他五)委托,恳求,请 | 25,15' |
| たはた[田畑] | (名)田地 | 23 |
| たぶん[多分] | (副)(多与推量形式谓语呼应)恐怕, 大概 | 6 |
| たべもの[食べ物] | (名)食物 | 14 |
| たべる[食べる] | (他一)吃 | 0 |
| たほう[他方] | (名・副)另一方面 | 23 |
| たまご[卵] | (名)卵,蛋 | 12 |
| たまねぎ[玉葱] | (名)洋葱,葱头 | 25 |
| だまる[黙る] | (自五),沉默,不说话 | 20 |
| ため | (名)为了,因为 | 3 |
| だめ[駄目] | (形动)(表示禁止)不行 | 11 |
| ためん[他面] | (名)另一方面 | 20 |
| たもつ[保つ] | (他五)保持,维持 | 28,15' |
| たやすい[容易い] | (形)容易,轻易,不难 | 20 |
| たより[便り] | (名)信,消息 | 21 |
| たよる[頼る] | (自五)依赖 | 23 |
| だらけ | (接尾)满是,净是 | 32 |
| たりる[足りる] | (自一)足够,足以 | 9 |
| だるい | (形)懒倦的,困乏的 | 12 |

| | | |
|----------------|---------------|-------|
| だれ | (代)谁 | 2,1' |
| たろう[太郎] | (名)太郎 | |
| だんかい[段階] | (名)阶段,时期 | 36 |
| たんかっしょく[淡褐色] | (名)淡褐色 | 33 |
| タンク[tank] | (名)箱,槽 | 27 |
| たんご[単語] | (名)单词 | 14 |
| たんしょ[短处] | (名)短处,缺点 | 31 |
| ダンス[dance] | (名・自サ)跳舞,舞蹈 | 37 |
| だんせい[男性] | (名)男性,男子 | 17 |
| たんそ[炭素] | (名)碳 | 10 |
| だんだん | (副)渐渐地,逐渐地 | 9 |
| たんなる[単なる] | (连体)仅,只 | 36 |
| たんに[単に] | (副)只是 | 14' |
| たんぱくしつ[(蛋)白質] | (名)蛋白质 | 36 |
| だんぼう[暖房] | (名)暖气 | 6 |
| ち[地] | (名)(大)地 | 31 |
| ちいき[地域] | (名)地域,地区,区域 | 7 |
| ちいさい[小さい] | (形)小的 | 1 |
| ちいさな[小さな] | (连体)小的,微小的 | 5,4' |
| チーム[team] | (名)(体育)队 | 14 |
| ちえ[知恵] | (名)智慧 | 13 |
| ちかい[近い] | (形)近的 | 0 |
| ちがう[違う] | (自五)不同,错误 | 9,8' |
| ちかく[近く] | (名)近处,附近 | 16,2' |
| ちかく[知覚] | (名・他サ)知觉,感觉 | 24 |
| ちかすい[地下水] | (名)地下水 | 23 |
| ちかづく[近づく] | (自五)接近 | 12 |
| ちかづける[近ける] | (他一)使接近 | 8' |
| ちかてつ[地下鉄] | (名)地铁 | 0 |
| ちから[力] | (名)力(气),体力,力量 | 9 |
| ちからしごと[力仕事] | (名)费力的工作 | 4' |
| ちからをいれる[力を入れる] | (词组)积极对待,下功夫 | 16 |
| ちきゅうじょう[地球上] | (名)地球上 | 22 |
| ちぎる[千切る] | (他五)弄碎,切细 | 18' |
| ちしき[知識] | (名)知识 | 24 |
| ちじょう[地] | (名)地上 | 22 |
| ちじん[知人] | (名)熟人,相识 | 19 |

| | | |
|--------------------------|-------------------------------------|-----|
| ちず[地図] | (名)地图 | 10 |
| ちち[父] | (名)父亲 | 19 |
| ちちゅうかい[地中海] | (名)地中海 | 12 |
| ちちむ[縮む] | (自五)缩 | 16 |
| ちちめる[縮める] | (他一)缩小 | 0 |
| ちつじょ[秩序] | (名)秩序,次序 | 21' |
| ちっとも | (副)(后接否定语)一点儿也不 | 17 |
| ちどうせつ[地動説] | (名)日心说 | 26 |
| ちなむ[因む] | (自五)由来于 | 33 |
| ちほう[地方] | (名)地方,地区 | 19 |
| ちほうきしょうだいちょう[地方 気象台長] | (名)地方气象台长 | 7 |
| ちやいろ[茶色] | (名)茶色 | 22 |
| ちやくそう[着想] | (名・自サ)构思 | 30 |
| ちやくりく[着陸] | (名・自サ)着陆 | 38 |
| ちゅうい[注意] | (名・自サ)注意,留神 | 8 |
| ちゅういぶかく[注意深く] | (副)非常仔细地 | 25 |
| ちゅういほう[注意報] | (名)警报 | 7 |
| ちゅうおう[中央] | (名)中央 | 27 |
| ちゅうがく[中学] | (名)中学 | 19 |
| ちゅうかん[中間] | (名)中间 | 22 |
| ちゅうかんしょく[中間色] | (名)中间色 | 22 |
| ちゅうごく[中国] | (名)中国 | 0 |
| ちゅうし[中止] | (名・他サ)中止,停止 | 34 |
| ちゅうじつ[忠実] | (形动)忠实 | 28 |
| ちゅうしん[中心] | (名)中心 | 2 |
| ちゅうたい[中退] | (名・自サ)中途退学 | 33 |
| ちゅうと[中途] | (名)中途,半路 | 34 |
| ちゅうねん[中年] | (名)中年 | 8 |
| ちゅうもん[注文] | (名・他サ)订购,希望 | 35 |
| ちょう[兆] | (数)兆,万亿 | 4 |
| ちょう[町] | (名)(介于市与村之间的自治团体) 镇,街(市街区划单位)街,巷 | 17 |
| ちょうこく[彫刻] | (名・他サ)雕刻 | 30 |
| ちょうし[調子] | (名)情况,状态 | 14 |
| ちょうしんけい[聴覚神経] | (名)听觉神经 | 24 |
| ちょうだい[頂戴] | (名・他サ)(もらう的谦虚说法)领 | |

| | | |
|---------------|----------------------|--------|
| ちょうど[丁度・恰度] | 受 | 34 |
| ちょうなん[長男] | (副)整, 恰好 | 9. 5' |
| ちょうぼ[帳簿] | (名)长子 | 19 |
| ちょうみりょう[調味料] | (名)帐簿, 帐本 | 24 |
| ちょうわ[調和] | (名)调味品, 调料 | 36 |
| ちょうわてん[調和点] | (名・自サ)调和, 和谐 | 28 |
| ちよくせつ[直接] | (名)协调之处 | 23 |
| ちよくせん[直線] | (名・副・形动)直接 | 24 |
| ちよくれつ[直列] | (名)直线 | 15 |
| ちょしゃ[著者] | (名)直排, (电)串联 | 19' |
| ちょっかく[直角] | (名)作者, 著者 | 39 |
| ちょっこう[直行] | (名)直角 | 27 |
| ちよっと | (名・自サ)(车・船等)直达 | 31 |
| ちり[(尘土)] | (副)一会儿, 暂且, 一点点 | 11 |
| | (名)尘土 | 13' |
| つい | (副)不, 不知不觉地, 无意中 | 8 |
| ついきゅう[追求] | (名・他サ)追求, 追述 | 37 |
| ついで | (名)顺便, 次序 | 21' |
| ついに[終に・遂に・竟に] | (副)终于, 竟然, 直到最后 | 30 |
| つうがく[通学] | (名・自サ)上学, 走读 | 17 |
| つうきん[通勤] | (名・自サ)上下班, 通勤 | 3 |
| つうじる[通じる] | (自他一)通, 通过 | 10' |
| つうちょう[通帳] | (名)折子, 凭折 | 28 |
| つうれい[通例] | (名・副)惯例, 常规 | 39 |
| つかう[使う] | (他五)使用 | 4 |
| つかさどる[司る] | (他五)掌管, 管理 | 36 |
| つかれる[疲れる] | (自一)疲乏, 劳累 | 20. 3' |
| つき[月] | (名)月, 月亮 | 6 |
| つぎ[次] | (名)其次, 下一个 | 1 |
| つきあう[付(き)合う] | (自五)来往, 交际 | 32 |
| つぎつぎに[次次に] | (副)一个接一个 | 16 |
| つきはなす[突き放す] | (他五)推开, 推开 | 32 |
| つきみ[月見] | (名)赏月 | 6 |
| つきやぶる[突き破る] | (他五)突破 | 28 |
| つきる[尽きる] | (自一)尽, 完, 終了 | 32 |
| つく[着く] | (自五)到达 | 7' |
| つく[附く・付く] | (自五)(感觉器官)感到, 附着, 跟随 | 8 |

| | | |
|-------------------|----------------|--------|
| つぐ[次ぐ] | (自五)接连,次于 | 22 |
| つくえ[机] | (名)书桌 | 27.1' |
| つくす[尽す] | (他五)尽,竭尽,效力 | 13 |
| つくりだす[作り出す・造り出す] | (他五)创作,写出;制造出来 | 24 |
| つくる[作る・造る] | (他五)做,制造,栽培 | 9.8' |
| つけかえる[付け替える] | (他一)换上,换接 | 10' |
| つける[着ける] | (他一)安装;入席 | 27.10' |
| つごう[都合] | (名)合适,方便;情况 | 30 |
| つたえる[伝える] | (他一)传,传播 | 16 |
| つたわる[伝わる] | (自五)传,传播 | 16 |
| つち[土] | (名)土,泥土 | 22 |
| つづく[続く] | (自五)继续 | 0 |
| つづける[続ける] | (他一)接连不断,继续 | 37.11' |
| つとめる[勤める] | (自一)工作,服务 | 19 |
| つな[綱] | (名)缆绳,粗绳,绳袋 | 9 |
| つながる | (自五)连接,有关联 | 41 |
| つなぐ | (他五)联结,系住 | 19' |
| つねつね[常常] | (副)常常,经常 | 34 |
| つねに[常に] | (副)经常 | 4 |
| ツバメ[(燕)] | (名)燕子 | 12 |
| つぶ[粒] | (名)颗粒,粒子 | 10 |
| つま[妻] | (名)妻子 | 3 |
| つまむ | (他五)捉,抓 | 16 |
| つまり | (副)即,就是 | 4 |
| つみ[罪] | (名)罪行,罪过 | 31 |
| つめたい[冷たい] | (形)冷的,凉的 | 14.6' |
| つめつきヒューズ[爪つきfuse] | (名)带接线片的保险丝 | 10' |
| つめる[詰める] | (他一)装,填,塞 | 17 |
| つもり[積(も)り] | (名)想法,打算 | 3 |
| つゆ[梅雨] | (名)梅雨 | 12' |
| つよい[強い] | (形)强的,强大的 | 7 |
| つりあい[釣り合い] | (名)平衡 | 23 |
| つりあう[釣り合う] | (自五)平衡 | 15' |
| つれる[連れる] | (他一)带,领 | 15 |
| て[手] | (名)手 | 9 |
| であう[出合う・出会う] | (自五)(遇然)遇见,碰见 | 13 |
| てあて[手当て] | (名)治疗,津贴 | 34 |

| | | |
|------------------------|-------------------------|----|
| ていきょう[提供] | (名・他サ)提供 | 23 |
| ていさつ[偵察] | (名・他サ)偵察, 偵探 | 37 |
| ていしょう[提唱] | (名・他サ)提倡 | 30 |
| ていしょく[定食] | (名)套饭, 份饭 | 35 |
| ディスカッション[discussion] | (名・自他サ)讨论, 辩论 | 33 |
| ていねい[丁寧] | (名・形动)有礼貌, 非常仔细 31. 21' | |
| でいりぐち[出入口] | (名)出入口 | 38 |
| テーブル[table] | (名)桌子, 饭桌 | 9 |
| てがかり[手掛り] | (名)线索 | 36 |
| でかかる | (自一)将要出来, 出来一半 | 31 |
| でかける[出かける] | (自一)出门, 到……去 | 31 |
| てがみ[手紙] | (名)信 | 10 |
| てきおうせい[適應性] | (名)适应性 | 28 |
| てきかく[的確] | (形动)正确, 恰当 | 40 |
| できごと[出来事] | (名)偶发的)事件, 变故 | 17 |
| てきする[適する] | (自サ)适宜 | 22 |
| てきせつ[適切] | (名・形动)适当, 恰当 | 41 |
| てきど[適度] | (名・形动)适度 | 22 |
| できる[出来る] | (自一)能, 会 | 3 |
| テコ | (名)杠杆 | 28 |
| デザイン[design] | (名)设计图, 设计 | 3' |
| てすう[手数] | (名)费事, 麻烦 | 20 |
| ですから | (接)所以, 因此 | 12 |
| てつ[鉄] | (名)铁 | 29 |
| てつがく[哲学] | (名)哲学 | 40 |
| てつだう[手伝う] | (他五)帮忙 | 15 |
| てにする[手にする] | (词组)弄到手 | 32 |
| では | (接)那么 | 2 |
| デパート[department store] | (名)百货店 | 16 |
| てまえ[手前] | (名)这边儿, 眼前儿 | 11 |
| でむかえ[出迎(え)] | (名)迎接, 迎接的人 | 20 |
| でも | (接)可是, 不过 | 5 |
| てら[寺] | (名)寺院, 佛寺 | 4 |
| テレビ(ジョン)[television] | (名)电视, 电视机 | 0 |
| でる[出る] | (自一)出去, 离开 | 0 |
| てん[点] | (名)点 | 15 |
| てんかい[転回] | (名・自サ)旋转, 回转 | 15 |
| でんかせいひん[電化製品] | (名)电气化制品 | 17 |

| | | |
|-------------------|------------------|-------|
| てんき[天気] | (名)天气 | 0 |
| でんき[電気] | (名)电气,电 | 18.4' |
| でんき[電機] | (名)电机 | 33 |
| でんききぐ[電気器具] | (名)电器 | 10' |
| でんきていこう[電気抵抗] | (名)电阻 | 33 |
| でんきとりあつかい[電気取り扱い] | (名)用电,经营电业 | 33 |
| でんきゅう[電球] | (名)电灯泡 | 8' |
| てんきよほう[天気予報] | (名)天气预报 | 7 |
| てんきん[転勤] | (名・自サ)调动工作 | 19 |
| てんこう[天候] | (名)气候,天气 | 34 |
| てんさい[天才] | (名)天才 | 24 |
| でんしこうがくか[電子工学科] | (名)电子工程系 | 3' |
| てんじば[展示場] | (名)展览厅 | 3' |
| でんしゃ[電車] | (名)电车 | 2 |
| てんたい[天体] | (名)天体 | 26 |
| てんで | (副)丝毫,完全,根本 | 31 |
| てんでん(と)[転転(と)] | (副・自サ)转游 | 33 |
| でんとう[伝統] | (名)传统 | 13 |
| てんどうせつ[天動説] | (名)地心说 | 26 |
| てんのう[天皇] | (名)天皇 | 13 |
| でんぼう[電報] | (名)电报 | 12 |
| てんもんがく[天文学] | (名)天文学 | 26 |
| てんらんかい[展览会] | (名)展览会 | 13 |
| でんわ[電話] | (名・自サ)电话机,打电话 | 16 |
| いとでんわ[糸電話] | (名)牵绳电话 | 16 |
| でんわをかける[電話を掛ける] | (词组)打电话 | 16 |
| ど[度] | (接尾)回,次 | 8 |
| いちど[一度] | (数)一回,一次 | |
| とい[問] | (名)问题,提问 | 40 |
| ドイツ[独逸] | (名)德国 | 10 |
| とう | (名)塔 | 26 |
| とう[問う] | (他五)问,提问 | 28 |
| どう | (副)怎样 | 1 |
| どういう | (连体)怎样的,什么样的 | 8' |
| どういたしまして[どう致しまして] | (回答对方道谢,道谦时的谦逊语) | |
| て] | 不敢当,岂敢,算不了什么 | 20 |

| | | |
|----------------|----------------|---------|
| どういつか[同一化] | (名)相同,统一 | 41 |
| どういつせい[同一性] | (名)同一性 | 41 |
| どうか | (副)请,设法 | 34 |
| とうきょう[東京] | (名)东京 | 1 |
| どうし[同土] | (名)同伙 | 37. 13' |
| なかまどうし[仲間同土] | (名)同伙间 | 37 |
| どうじ[同時] | (名)同时,同时代 | 31 |
| どうして | (副)为什么,如何地,怎样地 | 12. 8' |
| どうしても | (副)无论如何也,必须 | 29 |
| とうじょう[登場] | (名・自サ)出现,出场 | 22 |
| どうぞ | (副)请 | 12 |
| とうだい[灯台] | (名)灯塔 | 12 |
| とうだい[東大] | (名)东京大学 | 19 |
| とうたつ[到達] | (名・自サ)到达,达到 | 37 |
| とうとう | (形动)终于 | 18 |
| どうどう(と)[堂堂(と)] | (副)堂堂正正,威风凛凛 | 13 |
| どうとくてき[道德的] | (形动)道德上的 | 20 |
| とうなんぶ[東南部] | (名)东南部 | 19 |
| どうにか | (副)好歹,总算,设法 | 21 |
| どうふう[同封] | (名・他サ)附在信内 | 21 |
| どうぶつ[動物] | (名)动物 | 20 |
| どうぶつがくしゃ[動物学者] | (名)动物学家 | 37 |
| どうも | (副)实在,谢谢,对不起 | 18 |
| とうよう[東洋] | (名)东洋,东方 | 19 |
| どうよう[同様] | (名・形动)同样 | 22 |
| どうりょう[同量] | (名)同量 | 11 |
| どうりょう[同僚] | (名)同僚,同事 | 41 |
| どうりょく[動力] | (名)动力 | 29 |
| どうろ[道路] | (名)道路,公路 | 8 |
| とお[十] | (数)十个,十岁 | 0 |
| とおい[遠い] | (形)远的 | 12 |
| とおく[遠く] | (名)远处 | 9. 6' |
| とおす[通す] | (他五)通过,整个 | 22 |
| トースター[toaster] | (名)烤面包器 | 17 |
| とおり[通り] | (接尾)种,套,遍 | 4 |
| ふたとおり[二通り] | (名)两种 | |
| とおる[通る] | (自五)通过,通 | 15 |
| とかい[都会] | (名)都市,城市 | 9 |

| | | |
|--------------|----------------|--------|
| どがいし[度外視] | (名・他サ)置之度外, 忽视 | 20 |
| とかく | (副・自サ)总之, 往往 | 31 |
| とき[時] | (名)时, 时候 | 4. 2' |
| ときおり[時折] | (副), 有时 | 23 |
| ときどき[時時] | (副)时常, 有时, 偶尔 | 14. 5' |
| ときに[時に] | (副)有时候 | 2' |
| とく[解く] | (他五)解, 解开 | 12 |
| とくい[得意] | (形动)擅长, 拿手 | 5 |
| とくがく[独学] | (名・自サ)自学 | 33 |
| とくじ[独白] | (形动)独自, 个人 | 40 |
| とくしょ[読書] | (名・自サ)读书 | 40 |
| とくしょく[特色] | (名)特色 | 22 |
| とくそうてき[独创的] | (形动)独创性的 | 30 |
| とくちょう[特徴] | (名)特征 | 29 |
| とくに[特に] | (副)特别, 格外, 尤其 | 8 |
| とくひつ[特筆] | (名・他サ)大书特写 | 41 |
| とけい[時計] | (名)手表, 钟表 | 15 |
| とける[溶ける] | (自一)溶化, 熔化 | 10' |
| とげる[送げる] | (他一)到达, 完成 | 14' |
| どこ | (代)哪里 | 1 |
| ところ[所・处] | (名)地方, 场所, 地点 | 9. 3' |
| ところが | (接)可是, 不过 | 15. 6' |
| ところで | (接)可是 | 5 |
| とざす[閉ざす] | (他五)封闭 | 41 |
| とざん[登山] | (名・自サ)登山 | 34 |
| とし[都市] | (名)城市, 都市 | 4 |
| とし[歳・年] | (名)岁, 年, 年龄 | 17 |
| としをとる[年を取る] | (词组)上年纪 | 17 |
| とじまり[戸締(ま)り] | (名)关门, 锁门 | 18 |
| どじょう[土壤] | (名)土壤 | 36 |
| とじる[閉じる] | (自他一)关闭 | 24. 5' |
| とち[土地] | (名)土地 | 5 |
| とちゅう[途中] | (名)中途 | 16 |
| どちら | (代)哪一边 | 1 |
| とつじょ[突如] | (副)突然 | 28 |
| どっち | (代)哪边 | 1 |
| トップ | (名)第一名, 首位 | 3' |
| とても | (副)很, 极 | 2 |

| | | |
|--------------------|---------------|--------|
| とどく[届く] | (自五)到达 | 13' |
| とどける[届ける] | (他一)送到 | 13' |
| とどまる | (自五)停留 | |
| どなた | (代)哪一位 | 2. 1' |
| となり[隣] | (名)邻居,隔壁,旁边 | 41 |
| とにかく | (副)总之,不管怎样 | 33 |
| どの | (连体)哪个 | 1 |
| どのような[何の様] | (形动)怎样,如何 | 22 |
| とびあがる[飛び上がる] | (自五)跳起 | 11' |
| とびこむ[飛び込む] | (自五)跳进,突然闯进 | 20 |
| とびさる[飛び去る] | (自五)飞去 | 37 |
| とびだす[飛び出す] | (自五)飞起来,突然跳出 | 31 |
| とびたつ[飛立つ] | (自五)飞起来,飞走 | 37 |
| とびまわる[飛び回る] | (自五)四处飞 | 10. 9' |
| とびら[扉] | (名)门 | 36 |
| とぶ[飛ぶ] | (自五)飞,飞行,跳 | 9 |
| とまる[止まる] | (自五)停止,停住 | 8 |
| とも[共] | (名)共同,同样 | 17 |
| ともかく | (副)无论如何,不管怎样 | 39 |
| ともだち[友達] | (名)朋友,友人 | 9. 4' |
| どもり[吃り] | (名)口吃,结巴(的人) | 32 |
| どようび[土曜日] | (名)星期六 | 2 |
| とらい[渡来] | (名・自サ)渡来,进口 | 42 |
| ドライバー[driver] | (名)螺丝刀 | 10' |
| とらえる[捕らえる] | (他一)抓住,捕捉 | 23 |
| とらわれる[捕らわれる] | (自一)被抓住,受束缚 | 23 |
| トランス[trans former] | (名)变压器 | 8' |
| とり[鳥] | (名)鸟 | 6 |
| ことり[小鸟] | (名)小鸟 | 6 |
| とりあげる[取り上げる] | (他一)采用,提出 | 25 |
| とりあつかう[取り扱う] | (他五)处理,使用 | 24 |
| とりいれる[取り入れる] | (他一)收入,采用 | 23 |
| とりかえる[取り替える] | (他一)更换 | 10' |
| とりくむ[取組む] | (自五)作对手,扭住 | 38 |
| とりだす[取り出す] | (他五)拿出,抽出,挑出 | 30. 8' |
| とりつ[都立] | (名)(东京)都立,都办的 | 19 |
| とりのこす[取り残す] | (他五)剩下,留下 | 35 |
| どりょく[努力] | (名・自サ)努力 | 23 |

| | | |
|---------------|--------------------------------|---------|
| とる[捕る・取る・撮る] | (他五)捕,捉,取,照相 | 9 |
| どれ | (代)哪一个 | 1 |
| とれる[取れる] | (自一)取得,获得 | 4 |
| どろぼう | (名)小偷,贼 | 18 |
| とんでもない | (形)出乎意外的,哪里话 | 31 |
| どんどん | (副)接连不断,顺顺当当, (按着次序)很快地,迅速地 | 10 |
| どんな | (连体)什么样的 | 1 |
| どんなに | (副)怎样 | 1 |
| な[名] | (名)名字 | 25 |
| ない[〈無〉い] | (形)没有,不在 | 2 |
| ないぞう[内蔵] | (名・他サ)内含,包含 | 30 |
| ないよう[内容] | (名)内容 | 14 |
| ナイルがわ[Nile 川] | (名)尼罗河 | 23 |
| ナイロン[nylon] | (名)尼龙 | 36 |
| なお | (接)还有,再者 | 21. 19' |
| なおす[直す] | (他五)修改,改变 | 8' |
| なか[中] | (名)中间,里面 | 7 |
| ながい[長い] | (形)长的,长久 | 2 |
| ながす[流す] | (他五)使流动 | 8' |
| なかでも[中でも] | (副)特别,尤其 | 25 |
| なかなか | (副)很,相当 | 7 |
| なかなか[中中] | (副)(下接否定语)怎么也… | 12 |
| なかの[中野] | (名)中野 | 19 |
| なかま[仲間] | (名)伙伴,同僚,同事 | 8. 7' |
| なかむらふせつ[中村不折] | (名)日本画家,书法家 | 39 |
| ながれる[流れる] | (自一)流淌 | 9. 8' |
| なげる[投げる] | (他一)投掷,扔 | 16 |
| なげこむ[投げ込む] | (他五)投入 | 16 |
| なごや[名古屋] | (名)名古屋 | 39 |
| なす[成す] | (他五)做,作 | 16' |
| なぜ[何故] | (副)为何,为什么 | 0 |
| なぞ | (名)谜 | 12 |
| なつ[夏] | (名)夏天 | 4 |
| なづける[名付ける] | (自他一)命名 | 33 |
| なつやすみ[夏休み] | (名)暑假 | 6 |
| なでる[撫でる] | (他一)抚摸,安抚 | 30 |

| | | |
|----------------------|-------------------------|-------|
| ななつ[七つ] | (数)七个,七岁 | 4 |
| なに・なん[何] | (代)什么 | 1 |
| なにご[何語] | (名)什么语言,哪种语言 | 5 |
| なにごと[何事] | (名)何事,什么 | 37 |
| なまえ[名前,名まえ] | (名)姓名,名字 | 13 |
| なま[生] | (名・形动)生的,未加工的 | 35 |
| なまビール[生 bier] | (名)生啤酒 | 35 |
| なまみ[生身] | (名)血肉 | 30 |
| なみ[波] | (名)波,波浪 | 16 |
| ならう[習う] | (他五)学习 | 0 |
| ならす[鳴らす] | (他五)使……响 | 16 |
| ならぶ[並ぶ] | (自五)排列,比得上 | 12 |
| なりたつ[成り立つ] | (自五)成立 | 11' |
| なる[成る] | (自五)变,成,(时间)到 | 4 |
| なるべく | (副)尽量,尽可能 | 14 |
| なるほど[成(る)程] | (副)(肯定他人的主张)的确,诚然 | 14 |
| なんかい[何回] | (数)几次 | 3' |
| なんがつ[何月] | (数)几月,哪个月 | 4 |
| なんでも[何でも] | (副)不管什么,什么都…… | 17 |
| なんとか[何とか] | (副)想办法,设法 | 17 |
| なんとなく[何となく] | (副)(不知为什么)总觉得 | 32 |
| なんねん[何年] | (数)几年,哪一年,多少年 | 4 |
| なんようび[何曜日] | (名)星期几 | 2 |
| に[二] | (数)二、两 | 1 |
| にいさん[兄さん] | (名)哥哥 | 5 |
| おにいさん[お兄さん] | (名)“にいさん”的恭敬说法 | 5 |
| にぎやか | (名・形动)热闹 | 5 |
| にぎわう | (自五)热闹 | 12' |
| にく[肉] | (名)肉 | 16 |
| にがて[苦手] | (名・形动)不擅长(的事物),不好对付(的人) | 21 |
| にさんかたんそガス[二酸化炭素 gas] | (名)二氧化碳 | 10.9' |
| にじょうじょう[二条城] | (名)二条城 | 19 |
| にちじょう[日常] | (名)日常 | 28 |
| にちようび[日曜日] | (名)星期日 | 2 |
| にちようひん[日用品] | (名)日用品 | 16 |

| | | |
|-----------------|---------------|---------|
| にっこう[日光] | (名)日光 | 22 |
| にほん・にっぽん[日本] | (名)日本 | 1 |
| にほんりゅう[日本流] | (名)日本式,日本方式 | 33 |
| にもつ[荷物] | (名)行李,货物 | 20. 5' |
| にゅうがく[入学] | (名・自サ)入学 | 11 |
| にゅうきん[入金] | (名・自サ)进款,收入钱款 | 28 |
| ニュース[news] | (名)新闻,消息 | 0 |
| にゅうりょくそうち[入力装置] | (名)输入装置 | 14' |
| にる[似る] | (自一)似,象 | 24 |
| にわ[庭] | (名)庭院,院子 | 18 |
| にん[人] | (接尾)……人 | 1 |
| にんぎょう[人形] | (名)布娃娃,玩偶 | 15 |
| にんげん[人間] | (名)人类,社会,人 | 20 |
| にんじん[人参] | (名)胡萝卜 | 25 |
| にんずう[人数] | (名)人数 | 4 |
| にんたいづよい[忍耐づよい] | (形)耐心 | 38 |
| | | |
| ぬぐ[脱ぐ] | (他五)脱 | 18' |
| ぬける[抜ける] | (自一)脱落,脱掉 | 7' |
| ぬすむ[盗む] | (他五)偷盗,欺骗 | 18 |
| ぬれる[濡れる] | (自一)弄湿 | 18. 12' |
| ぬらす[(濡)らす] | (他五)弄湿 | 16 |
| | | |
| ねえさん[姉さん] | (名)姐姐,令姊 | 5 |
| おねえさん[お姉さん] | (名)ねえさんの恭敬说法 | 5 |
| ねがう[願う] | (他五)请求,恳请 | 21 |
| ねこ[猫] | (名)猫 | 39 |
| ねじ | (名)螺钉,螺丝 | 10' |
| ねったい[熱帯] | (名)热带 | 22 |
| ねむい[眠い] | (形)困倦,想睡 | 28 |
| ねむり[眠り] | (名)睡眠 | 10 |
| ねむる[眠る] | (自五)睡觉 | 10 |
| ねん[念] | (名)念头,心情,观念 | 31 |
| ねんかん[年間] | (名)一年间 | 22 |
| ねんきん[年金] | (名)年金,养老金 | 13 |
| ねんしょうねつ[燃烧熱] | (名)(燃烧发出的)热 | 17' |
| ねんだい[年代] | (名)年代,时代 | 13 |
| ねんりつ[年率] | (名)年利率 | 28 |

| | | |
|---------------|-----------------|-----|
| ねんりょう[燃料] | (名)燃料 | 29 |
| ねんれい[年齢] | (名)年齢,岁数 | 41 |
| の[野] | (名)原野 | 12 |
| のう[脳] | (名)脑,脑筋,脑力 | 10 |
| のうか[農家] | (名)农户,农家 | 6 |
| のうぎょう[農業] | (名)农业 | 23 |
| のうこう[農耕] | (名)农耕 | 22 |
| のうさぎょう[農作業] | (名)农活 | 4' |
| のうそん[農村] | (名)农村 | 28 |
| のうたん[濃淡] | (名)浓淡,深浅 | 24 |
| ノート[note] | (名)笔记本 | 1' |
| のうりつ[能率] | (名)效率 | 29 |
| のうりょく[能力] | (名)能力 | 15 |
| のきした[軒下] | (名)屋檐下 | 12 |
| のこす[残す] | (他五)保留,留下 | 34 |
| のこらず[残らず] | (副)全部,统统,一个不剩 | 24 |
| のぞきあな[のぞき穴] | (名)窥视孔 | 25 |
| のぞましい[望ましい] | (形)符合心愿的,值得高兴的 | 18 |
| のち[後] | (名)后,后来 | 12 |
| のど[喉・咽] | (名)咽喉,喉咙 | 17 |
| のはら[野原] | (名)原野,野地 | 9 |
| のびのび | (副・自サ)舒展,舒畅 | 39 |
| のびる[伸びる・延びる] | (自一)延伸,扩大 | 16 |
| のべる[述べる] | (他一)叙述,说 | 17' |
| のぼる[上る・登る・升る] | (自五)爬,登,攀,上 | 6 |
| のみち[野道] | (名)原野上的道路 | 6 |
| のみみず[飲み水] | (名)饮用水 | 23 |
| のみもの[飲み物] | (名)饮料 | 35 |
| のみや[飲み屋] | (名)小酒馆 | 9 |
| のむ[飲む] | (他五)喝,服(药) | 4 |
| のりかえる[乗り換える] | (自他一)改乘,换乘 | 22 |
| のりこむ[乗り込む] | (自五)坐进,乘上 | 17 |
| のる[乗る] | (自五)乘,坐,骑 | 9 |
| のる[載る] | (自五)登载,刊载,放 | 39 |
| のんびり | (副・自サ)舒舒服服,自由自在 | 0 |
| ノンレム[non REM] | (名)眼球不转动 | 10 |

| | | |
|--------------------|------------------------|--------|
| は[葉] | (名)叶 | 22 |
| ば[場] | (名)場所,情况 | 41 |
| ばあい[場合] | (名)场合,情形,情况,时候 | 11 |
| はあく[把握] | (名・他サ)掌握,抓住 | 41 |
| パーセント[percent] | (名)百分率,% | 9 |
| さんパーセント[三 percent] | (数)百分之三,3% | 9 |
| はい | (感)是 | 2. 1' |
| ばい[倍] | (接尾)倍,倍数 | 11 |
| いちばい[一倍] | (数)一倍 | 11 |
| ばいかいぶつ[媒介物] | (名)媒介物,介质 | 24 |
| はいがてき[俳画的] | (形动)诙谐画风 | 39 |
| ハイカラ[high couar] | (名・形动)时髦 | 34 |
| はいぎょう[廃業] | (名・他サ)废业,弃职,倒闭 | 13 |
| はいたつ[配達] | (名・他サ)投递,送(信,报等) | 18 |
| はいる[入る] | (自五)进入 | 9 |
| ばか[馬鹿] | (名・形动)愚蠢,傻瓜,混蛋 | 8 |
| はかいしゃ[破壊者] | (名)破坏者 | 23 |
| はがき[葉書] | (名)明信片 | 15 |
| えはがき[絵葉書] | (名)风景明信片 | 15 |
| はがす | (他五)剥,撕 | 13' |
| はきけ[吐(き)气] | (名)恶心,要吐 | 27 |
| はきょく[破局] | (名)悲惨的结局 | 34 |
| はく[吐く] | (他五)吐,吐露 | 27 |
| はく[泊く] | (接尾)夜,宿 | 30 |
| はくし・はかせ[博士] | (名)博士 | 33 |
| ばくだん[爆弾] | (名)炸弹 | 18 |
| はぐるま[歯車] | (名)齿轮 | 28 |
| はげしい[激しい] | (形)激烈 | 26 |
| はこぶ[運ぶ] | (他五)搬运,推行 | 23 |
| はし[橋] | (名)桥 | 9 |
| はじく[弾く] | (他五)弹 | 16 |
| はしぐちごよう[橋口五葉] | (名)日本明治时期画家(1880—1992) | 39 |
| はしたない[端た無い] | (形)无聊的,低俗的 | 35 |
| はじめ[初め] | (名)开头,最初,起初 | 4 |
| はじめて[初めて] | (副)初次,第一次 | |
| はじめまして | 初次见面(初次会晤时的寒暄语) | 10 |
| はじめる[始める] | (他一)开始,创办 | 11. 3' |

| | | |
|------------------|----------------|---------|
| ばじょ[場所] | (名)场所 | 16 |
| はしる[走る] | (自五)跑,运行 | 9 |
| はず | (名)(表示当然)应该,理应 | 13 |
| パス[pass] | (名・自サ)合格,录取,通过 | 11 |
| バス[bus] | (名)公共汽车 | 12 |
| はずかしい[恥ずかしい] | (形)害羞的,于心有愧的 | 17 |
| はずす[外す] | (他五)取下,卸下 | 10' |
| バスてい[bus 停] | (名)公共汽车站 | 12 |
| パスポート[passport] | (名)护照,身份证 | 13 |
| はたけ[畑] | (名)旱田,旱地 | 9 |
| はたす[果たす] | (他五)完成 | 28. 21' |
| やくわりをはたす[役割を果たす] | (词组)起作用 | 28 |
| はたして[果たして] | (副)果然,果真 | 42 |
| はたち[二十歳・二十才] | (数)二十岁 | 5 |
| はたらき[働き] | (名)作用,工作,劳动能力 | 24. 6' |
| はたらきかける[働きかける] | (自一)作用于 | 29 |
| はたらく[働く] | (自五)工作,劳动 | 3 |
| ボタン[button] | (名)模型,式样 | 41 |
| はち[八] | (数)八 | 4 |
| はちじけい[8 字形] | (名)8 字形 | 37 |
| パチパチ(と) | (副)啪啪(响) | 18' |
| はつ[発] | (名)(飞机、车、船等)开出 | 31 |
| はつおん[発音] | (名・自サ)发音 | 14 |
| はっきり | (副・自サ)清楚 | 14 |
| はっこう[発行] | (名・他サ)发行 | 29 |
| はっしょうち[発祥地] | (名)发祥地 | 23 |
| はったつ[発達] | (名・自サ)发达 | 23 |
| はってん[発展] | (名・自サ)发展 | 23 |
| はつばい[発売] | (名・他サ)出售 | 0 |
| はっぴょう[発表] | (名・他サ)发表 | |
| はつめい[発明] | (名・他サ)发明 | 18 |
| はな[花] | (名)花 | 0 |
| はなし[話し] | (名)说话,故事 | 0 |
| はなす[話す] | (他五)说,谈 | 3 |
| はなはだ | (副)甚,相当 | 22 |
| はなみ[花見] | (名)观樱花,赏花 | 4 |
| はなれる[離れる] | (自一)离开 | 30 |

| | | |
|--------------------|----------------|-----|
| ばね | (名)发条,弹簧 | 13' |
| はは[母] | (名)母亲 | 12 |
| はば[幅] | (名)宽度,幅度 | 12 |
| ははおや[母親] | (名)母亲 | 17 |
| ばめん[場面] | (名)场所,地方 | 34 |
| はやい[早い] | (形)早的 | 6 |
| [速い] | (形)快的 | 6 |
| はやいはなし[早い話] | (词组)简便的刀子 | 20 |
| はやさ[速さ] | (名)速度 | 8' |
| はやし[林] | (名)树林 | 6 |
| はやめ[早目] | (名・形动)提早,早些 | 34 |
| はやる | (自五)流行,兴旺 | 18 |
| はら[原] | (名)原野 | 6 |
| はら[腹] | (名)腹,肚子 | 32 |
| はらう[払う] | (他五)支付,付钱,付给 | 9 |
| バラバラ | (副)连续翻书的样子 | 32 |
| パラフレイズ[paraphrase] | (名)注释,解说 | 42 |
| はりがね[針金] | (名)铁丝,金属丝 | 8' |
| はる[春] | (名)春天 | 0 |
| はる[貼る] | (他五)贴 | 13' |
| はるか | (副・形动)远,遥远 | 42 |
| はるばる[遙遠] | (副)遥远,远远 | 33 |
| はれ[晴れ] | (名)晴,晴天 | 7 |
| はれる[晴れる] | (自一)晴朗 | 22 |
| はん[半] | (接尾)半,二分之一 | 10 |
| はん[班] | (名)班,组 | 34 |
| パン[葡 pao] | (名)面包 | 0 |
| はんい[範圍] | (名)范围 | 24 |
| はんえい[繁榮] | (名)繁荣 | 13 |
| はんえい[反映] | (名・自他サ)反映 | 13 |
| ハンカチ[handkerchief] | (名)手帕 | 7 |
| ばんごう[番号] | (名)号码 | 28 |
| ハンス | (名)汉斯 | 25 |
| はんたい[反対] | (名・形动・自サ)相反,相对 | 32 |
| はんだん[判断] | (名・他サ)判断 | 7 |
| はんどうたい[半導体] | (名)半导体 | 36 |
| ばんねん[晩年] | (名)晚年 | 26 |
| はんのう[反応] | (名・自サ)反应 | 11 |

| | | |
|----------------|---------------|---------|
| はんばい〔販売〕 | (名・他サ)販賣,出售 | 11 |
| はんばつ〔反発〕 | (名・自他サ)反抗,不接受 | 34. 13' |
| ばんめ〔番目〕 | (接尾)第…… | 3 |
| いちばんめ〔一番目〕 | (数)第一,第一个 | |
| はんめん〔反面〕 | (名)反面,另一方面 | 23 |
| はんも〔繁茂〕 | (名・自サ)茂盛生长 | 22 |
| ひ〔日〕 | (名)日子 | 9 |
| ピーマン〔法 piment〕 | (名)圆辣椒,柿子椒 | 25 |
| ビール〔荷 bier〕 | (名)(啤酒) | 9 |
| ひえる〔冷える〕 | (自一)变冷 | 7 |
| ひがい〔被害〕 | (名)被害,遭灾 | 35 |
| ひかく〔比較〕 | (名・他サ)比较 | 24 |
| ひかくてき〔比較的〕 | (副)比较 | 24 |
| ひかげ〔日陰〕 | (名)阴凉处 | 20' |
| ひがし〔東〕 | (名)东 | 1 |
| ひかり〔光〕 | (名)光,光线 | 7 |
| ひかん〔悲観〕 | (名・自サ)悲观 | |
| ひきあげる〔引き上げる〕 | (他一)提高,升高 | 16' |
| ひきうける〔引き受ける〕 | (他一)承担,保证 | 39 |
| ひきおこす〔引き起こす〕 | (他五)引起 | 23 |
| ひきこむ〔引(き)込む〕 | (他五)引拉进来 | 32 |
| ひきつける〔引きつける〕 | (他一)吸引 | 13' |
| ひく〔引く〕 | (他五)拉,曳 | 9 |
| ひくい〔低い〕 | (形)低的 | 6 |
| ひこうき〔飛行機〕 | (名)飞机 | 18 |
| ひごろ〔日頃〕 | (名)平日,平时 | 12' |
| ひざし〔陽ざし〕 | (名)阳光 | 33 |
| ひさしぶり〔久し振り〕 | (名)隔了好久,许久 | 16 |
| おひさしぶりでした | 久违久违 | 16 |
| ひさん〔悲慘〕 | (名・形动)悲惨 | 34 |
| びじゅつ〔美術〕 | (名)美术 | 18 |
| ひじょう〔非常〕 | (形动)非常 | 5 |
| ひそむ〔潜む〕 | (自五)潜藏,隱藏起来 | 35 |
| ひたす〔浸す〕 | (他五)浸,泡 | 27 |
| ひだり〔左〕 | (名)左,左边 | 8 |
| ひだりまわり〔左回り〕 | (名)反时针,左转 | 15' |
| ひっこめる〔引っ込める〕 | (他一)撤回,收回 | 35 |

| | | |
|-----------------|-------------------|---------|
| ひつじゅひん[必需品] | (名)必需品 | 29 |
| ひっそりと | (副・自サ)静悄悄 | 33 |
| ぴったり | (副・自サ)准确无误,恰好 | 31 |
| ひつとうしゃ[筆頭者] | (名)榜首,户主 | 21' |
| ひっぱる[引っ張る] | (他五)拉,曳,拖 | 15. 12' |
| ひつよう[必要] | (名・形动)必需,必要 | 4 |
| ひてい[否定] | (名・他サ)否定 | 42 |
| ひと[人] | (名)人 | 2 |
| ひどい[酷い] | (形)残酷,无情,厉害,严重 | 13. 5' |
| ひどいめにあう[酷い目にあう] | (词组)遭殃 | 13 |
| ひとこと[一言] | (名)一言,一句话 | 32 |
| ひとしい[等しい] | (形)相等 | 15 |
| ひとつ[一つ] | (数)一个,一岁, | 0 |
| ひとで[人出] | (名)外出的人 | 12' |
| ひとめぐり[一めぐり] | (名)转一圈 | 38 |
| ひとばん[一晚] | (数)一个晚上 | 10 |
| ひとびと[人人] | (名)人们 | 4 |
| ひとり[一人] | (数)一个人,一人 | 4 |
| ひながた[ひな型] | (名)模型,标本 | 21' |
| ビニロン[vinylon] | (名)维尼纶 | 36 |
| ひはん[批判] | (名・他サ)批判 | 26 |
| ひびく[響く] | (自五)发出音响,响,打动 | 17 |
| ひま[暇] | (名・形动)闲暇,闲工夫 | 17 |
| びみょうさ[微妙さ] | (名)微妙 | 32 |
| ひゃく[百] | (数)百,一百 | 4 |
| ヒューズ[fuse] | (名)保险丝 | 10' |
| びょう[秒] | (接尾)秒 | 20 |
| ひょうか[評価] | (名・他サ)评价 | 30 |
| びょうき[病氣] | (名)病,疾病,毛病 | 0 |
| ひょうげん[表現] | (名・他サ)表现,表达 | 24 |
| ひょうしき[標識] | (名)标志 | 8 |
| ひらがな[平仮名] | (名)平假名 | 16 |
| ひらく[開く] | (自五)开,敞开 | 28 |
| ビルぐん[ビル群] | (名)建筑群 | 13 |
| ひる[昼] | (名)中午,白昼 | 9 |
| ひるね[昼寝] | (名)午睡 | 14 |
| ひろい[広い] | (形)宽的 | 5 |
| ひろいよみ[拾い読み] | (名)(不连续地,二页三页地)跳读 | 39 |

| | | |
|-----------------------|---------------|---------|
| ひろがる[広がる] | (自五)扩展,推广 | 16 |
| ひろびろ(と)[広広(と)] | (副・自サ)宽广 | 12 |
| ひんこん[贫困] | (名)贫困 | 33 |
| ひんしつ[品質] | (名)质量 | 5 |
| びんぼう[贫乏] | (形动)贫穷 | 2' |
| | | |
| ぶ[部] | (名)部分 | 31 |
| ファーストクラス[first class] | (名)头等舱 | 31 |
| ふう[風] | (名)样子,形态,方式 | 30 |
| ふういん[風韻] | (名)神韵 | 39 |
| ふうけい[風景] | (名)风景 | 22 |
| ふえる[増える・殖える] | (自一)增加,增多 | 20. 12' |
| フォン・フリッシュ[von Frisch] | (名)冯・弗列希 | 36 |
| ふかい[深い] | (形)深的 | 10 |
| ふかのう[不可能] | (名・形动)不可能 | 20 |
| ふかまる[深まる] | (自五)加深,变深 | 33 |
| ふきあげる[吹き上げる] | (他一)喷上 | 33 |
| ふきゅう[普及] | (名・自他サ)普及 | 17 |
| ふきゅうひん[普及品] | (名)普通物品 | 11 |
| ふくおか[福岡] | (名)福岡 | 24 |
| ふぐう[不遇] | (名・形动)境遇不佳 | 26 |
| ふくごつ[複雑] | (形动・名)复杂 | 24 |
| ふくぶ[腹部] | (名)腹部,肚子 | 37 |
| ふくむ[含む] | (他五)含有,包括 | 13 |
| ふくめる[含める] | (他一)包含 | 26 |
| ふくろ[袋] | (名・接尾)袋 | 25 |
| ふじ[無事] | (名・形动)太平无事,平安 | 34 |
| ふしぎ[不思議] | (形动)奇怪,不可思议 | 12 |
| ふじさん[富士山] | (名)富士山 | 1 |
| ふす[付す] | (他五)交给,提交,附加 | 42 |
| ふせい[不正] | (名・形动)不正经,坏行为 | 35 |
| ふぜい[風情] | (名)风情,风光 | 33 |
| ふせぐ[防ぐ] | (他五)防御,预防 | 29 |
| ふぞくひん[付属品] | (名)付属品 | 11 |
| ふた | (名)盖 | 10' |
| ふたたび[再び] | (副)再,又一次 | 37 |
| ふたつ[二つ] | (数)二个,二岁 | 0 |
| ふたり[二人] | (数)两个人,二人 | 0 |

| | | |
|--------------------|----------------|--------|
| ふつう[普通] | (名・副)普通,一般 | 10.9' |
| ぶっしつ[物質] | (名)物质 | 10 |
| ぶつたい[物体] | (名)物体 | 15 |
| フットボール[football] | (名)足球 | 34 |
| ぶつり[物理] | (名)物理 | 24 |
| ふと | (副)偶然,忽然 | 33 |
| ふとい[太い] | (形)粗的,胖的 | 6 |
| ふどう[不動] | (名)不动,坚定 | 26 |
| ふどうさん[不動産] | (名)不动产 | 32 |
| ぶぶん[部分] | (名)部分,一部分 | 24 |
| ふへん[不変] | (名)不变 | 41 |
| ふまえる[踏まえる] | (他一)根据,依据,踏 | 40 |
| ふむ[踏む] | (他五)踏,踩 | 11 |
| ふもと[(麓)] | (名)山麓 | 4' |
| ふもん[不問] | (名)不问 | 42 |
| ふもんにふす[不問に付す] | (词组)置之不问 | 42 |
| ふゆ[冬] | (名)冬天 | 4 |
| ふゆかい[不愉快] | (名・形动)不愉快,不高兴 | 13 |
| プラス[plus] | (名・他サ)正,加 | 9' |
| プラスチック[plastic] | (名)塑料 | 13' |
| フランクフルト[Frankfurt] | (名)法兰克福(德国城市名) | 33 |
| フランス[France] | (名)法国 | 10 |
| ぶり | (接尾)情况 | 3' |
| ふりかかる[降り懸かる] | (自五)落到,突然降临 | 23 |
| ふる[降る] | (自五)下,落,降 | 4 |
| ふる[振る] | (他五)挥,摇 | 9 |
| ふるい[古い] | (形)旧的,古老的 | 4 |
| ふるう[振るう] | (他五)显示,发挥,挥动 | 24 |
| ふるさと[故里] | (名)故乡 | 4' |
| ふれあう[触れ合う] | (自五)直接接触,互相接触 | 31 |
| ブレーカー[breaker] | (名)自动断路器 | 10' |
| ブレーキ[brake] | (名)闸,制动器 | 11 |
| ふれる[触れる] | (自一)触及,碰,感觉 | 26.12' |
| ふろ[風呂] | (名)浴池,澡盆 | 29 |
| ブロー[blow] | (名)吹风 | 26 |
| ふろしき | (名)包袱皮儿 | 39 |
| ぶん[分] | (数)……分之…… | 1 |
| ぶん[分] | (接尾)(时间单位)分 | 10 |

| | | |
|--------------------|-------------------|--------|
| さんじっぶん[三十分] | (数)30 分钟 | 10 |
| ぶん[文] | (名)文章, 句子 | 14 |
| ぶん[分] | (名)份儿, 份量 | 11 |
| ぶんか[文化] | (名)文化 | 0 |
| ぶんがく[文学] | (名)文学 | 18 |
| ぶんかし[文化史] | (名)文化史 | 19 |
| ぶんけい[文型] | (名)句型 | 14 |
| ぶんげい[文芸] | (名)文艺 | 42 |
| ぶんし[分子] | (名)分子 | 10 |
| ぶんすいち[噴水池] | (名)噴水池 | 33 |
| ぶんすう[分数] | (名)分数 | 25 |
| ぶんせき[分析] | (名・他サ)分析, 研究 | 34 |
| ぶんどき[分度器] | (名)量角器 | 27 |
| ぶんぷ[分布] | (名・自他サ)分布 | 38 |
| ぶんぶつ[文物] | (名)文物 | 42 |
| ぶんぽう[文法] | (名)语法 | 14 |
| ぶんめい[文明] | (名)文明 | 23 |
| ぶんや[分野] | (名)领域, 分支 | 14' |
| ぶんよ[分与] | (名・他サ)分给 | 40 |
| | | |
| へいき[平気] | (名・形动)冷静, 镇静, 不在乎 | 35. 5' |
| べいこく[米国] | (名)美国 | 19 |
| ページ[page] | (名)页 | 32 |
| ペキン[北京] | (名)北京 | 5 |
| ベストテン[best ten] | (名)前十名 | 33 |
| へた[(下手)] | (形动)不好, 拙劣 | 0 |
| べつ[別] | (名・形动)别, 另外, 区别 | 17 |
| べつ[別] | (接头)别的, 另一个 | 20 |
| べっきょ[別居] | (名・自サ)分开居住, 分居 | 41 |
| べっし[蔑視] | (名・自サ)蔑视, 歧视 | 40 |
| べつべつ[別別] | (名・形动)各自, 分别 | 29 |
| べつめい[別名] | (名)别名 | 20 |
| ヘテロドックス[heterodox] | (名)不合乎公众标准的, 异端的 | 31 |
| ペニシリン[penicilin] | (名)青霉素 | 36 |
| へや[部屋] | (名)房间, 屋子 | 29. 3' |
| へやだい[部屋代] | (名)房费, 房钱, 房租 | 30 |
| へらす[減らす] | (他五)减少 | 11 |
| へる[経る] | (他一)经过 | 13' |

| | | |
|----------------|--------------|---------|
| へる[減る] | (自五)減;(肚子)饿 | 32. 20' |
| ヘルモント[Helmont] | (名)赫尔曼 | 20 |
| へん[変] | (形动)奇怪,异常 | 8 |
| へん[辺] | (名)一带,附近 | 15 |
| へん[編] | (接尾)篇,卷,册 | 30 |
| ペン[pen] | (名)钢笔 | 0 |
| へんか[変化] | (名・自サ)变化,改变 | 28 |
| ペンキ[(荷)pek] | (名)油漆 | 37 |
| べんきょう[勉強] | (名・自他サ)学习,功 | 3. 2' |
| べんきょうか[勉強家] | (名)学习用功的人 | 3 |
| へんし[変身] | (名・自サ)化身,化成 | 23 |
| へんとう[返答] | (名・自サ)回答 | 35 |
| べんり[便利] | (名・形动)方便 | 2 |
| | | |
| ボイラー[boiler] | (名)锅炉,汽锅 | 27. 17' |
| ほう[方] | (名)方,方向 | 6 |
| ほうい[方位] | (名)方位 | 38 |
| ほうえきがいしゃ[貿易会社] | (名)贸易公司 | 3 |
| ほうえんきょう[望遠鏡] | (名)望远镜 | 26 |
| ほうがく[方角] | (名)方向,方位 | 38 |
| ほうこう[方向] | (名)方向 | 0 |
| ほうこく[報告] | (名・他サ)报告 | 21 |
| ほうさく[豊作] | (名)丰收 | 15 |
| ほうし[奉仕] | (名・自サ)服务 | 28 |
| ほうし[防止] | (名・他サ)防止 | 40 |
| ほうせん[傍線] | (名)(在字旁画的)旁线 | 40 |
| ほうそう[放送] | (名・他サ)广播,播送 | 14 |
| ほうそく[法則] | (名)法则,定律 | 26 |
| ほうどう[報道] | (名・他サ)报道,报导 | 24 |
| ほうふ[豊富] | (名・形动)丰富 | 0 |
| ほうふうう[暴風雨] | (名)暴风雨 | 34 |
| ほうふうせつ[暴風雪] | (名)暴风雪 | 34 |
| ほうほう[方法] | (名)方法 | 4 |
| ほうめん[方面] | (名)方面,领域 | 18 |
| ほうもん[訪問] | (名・他サ)访问 | 14 |
| ほうりだす[放り出す] | (他五)放弃,扔出去 | 32 |
| ほうりつ[法律] | (名)法律 | 13 |
| ほか[外] | (名)其他,另外 | 5 |

| | | |
|----------------------|------------------|---------|
| ぼく〔(僕)〕 | (代)我 | 0 |
| ポケット[pocket] | (名)衣袋, 口袋 | 2 |
| ほこり〔(埃)〕 | (名)灰尘 | 13' |
| ほこり〔誇り〕 | (名)自豪, 引以为荣, 荣誉 | 13 |
| ほし〔星〕 | (名)星 | 24 |
| ポスト[post] | (名)邮筒, 信箱 | 13' |
| ほそい〔細い〕 | (形)细小的, 狭窄的 | 0 |
| ボタン[Button] | (名)按钮 | 25 |
| ほっかいどう〔北海道〕 | (名)北海道 | 1 |
| ほっする〔没する〕 | (自サ)死, 殁 | 33 |
| ほっと | (副・自サ)放心貌, 轻微叹气貌 | 21 |
| ぼつりぼつり(と) | (副)断断续续地 | 13 |
| ホテル[hotel] | (名)旅馆, 饭店 | 23 |
| ほとんど | (副)几乎, 大部分 | 5 |
| ほにゅう〔(哺)乳〕 | (名)哺乳 | 18' |
| ほほ | (副)大致, 大体上 | 7 |
| ほゆう〔保有〕 | (名・他サ)保存 | 16' |
| ポリエチレン[polyethyleno] | (名)聚乙烯 | 36 |
| ほりだす〔掘り出す〕 | (他五)挖出, 掘出 | 31. 18' |
| ほる〔掘る〕 | (他五)挖掘 | 23 |
| ほん〔本〕 | (名)书 | 19. 1' |
| ほん〔本〕 | (接尾)支, 根, 条, 瓶 | 9 |
| いっぽん〔一本〕 | (数)一瓶 | 9 |
| ほんしつ〔本質〕 | (名)本质, 实质 | 40 |
| ほんしゅう〔本州〕 | (名)本州 | 1 |
| ほんとう | (名・形动)真正, 真实 | 5. 2' |
| ほんの | (连体)仅仅, 一点 | 38. 14' |
| ほんのう〔本能〕 | (名)本能 | 40 |
| ポンプ[pump] | (名)泵 | 28. 3' |
| ほんぶ〔本部〕 | (名)总部 | 33 |
| ほんぶん〔本文〕 | (名)课文 | 14 |
| ほんやく〔翻訳〕 | (名・他サ)翻译 | 41 |
| ほんやり | (名・副・自サ)模模糊糊 | 31 |
| ほんらい〔本来〕 | (名・副)本来 | 21 |
| マーケット[market] | (名)百货商店, 市场 | 32 |
| まあたらしい〔真新しい〕 | (形)全新的, 崭新的 | 13 |
| まい〔毎〕 | (接头)每 | 3 |

| | | |
|------------------|--------------------|-------|
| まい[枚] | (接尾)张,块 | 20 |
| まいあさ[每朝] | (名)每天早上 | 2' |
| まいど[每度] | (名)经常,屡次,百次 | 25 |
| マイナス[minus] | (名・他サ)负,减 | 9' |
| まいにち[毎日] | (名)每天 | 3 |
| まいばん[每晚] | (名)每晚 | 10 |
| まいぼつ[埋没] | (名・自サ)埋没 | 42 |
| まいる[参る] | (自五)(行く,来る的自谦语)去,来 | 17 |
| まうえ[真上] | (名)正上方 | 11' |
| まえ[前] | (名)前面 | 9 |
| まえもって[前以って] | (副)预先,事先 | 21' |
| まかせる[任せる] | (他一)委托,托付 | 39 |
| まがりなりに[曲(が)りなりに] | (副)不完全,不充分,勉强 | 31 |
| まがる[曲がる] | (自五)弯曲,拐弯 | 8 |
| まきこむ[巻き込む] | (他五)卷入 | 28 |
| まく | (他五)播种 | 23.8' |
| まける[負ける] | (自一)输,屈服 | 18 |
| まことに | (副)的确,真是 | 22 |
| まして | (副)何况,况且 | 34 |
| ます[増す] | (自他五)增加 | 23 |
| まず[先ず] | (副)首先,开头,最初 | 14 |
| まずい | (形)拙劣,笨拙,难吃 | 42 |
| まずしい[貧しい] | (形)贫穷,贫困 | 33 |
| ますます | (副)益,越发,更加 | 30 |
| また | (接)又,还有 | 1 |
| まだ | (副)还,尚 | 3 |
| または[又は] | (接)或者 | 11' |
| まち[町] | (名)城镇,街 | 0 |
| まち[街] | (名)街道,大街 | 13 |
| まちがい[間違い] | (名)错误 | 35 |
| まちがえる[間違える] | (他一)弄错 | 12 |
| まちこうば[町工場] | (名)街道工厂 | 3' |
| まつ[松] | (名)松,松树 | 6 |
| まつ[待つ] | (他五)待,等待 | 9 |
| まつ[末] | (接尾)末,底 | 8 |
| らいしゅうまつ[来週末] | 下周末 | 8 |
| まつげ[(睫毛)] | (名)睫毛 | 5' |

| | | |
|-------------|-----------------|--------|
| まっさき | (名)最先 | 22 |
| まっすぐ | (副・形动)笔直,正直 | 8 |
| まったく | (副)完全 | 27 |
| まど[窓] | (名)窗,窗户 | 9 |
| まとう | (自他五)缠,裹,穿 | 42 |
| まとめる | (他一)归纳,整理 | 14 |
| まにあう[間に合う] | (自五)(时间)赶得上,来得及 | 12 |
| まのあたり[目の当り] | (名・副)亲眼,直接 | 26 |
| まばらき[〈瞬〉き] | (名)闪烁,眨眼 | 8' |
| まばら[疎] | (名・形动)稀 | 16 |
| まひたり[真左] | (名)正左方 | 38 |
| まぶた | (名)眼皮,眼睑 | 10 |
| まま | (名)照……一样 | 11' |
| そのまま | 照那样 | |
| まみぎ[真右] | (名)正右方 | 38 |
| まもなく[間もなく] | (副)不久,不大工夫 | 37 |
| まもる[守る] | (他五)防守,保卫,遵守 | 8 |
| まよう[迷う] | (自五)迷惑,迷失 | 37 |
| まるで | (副)完全,简直 | 7 |
| まるのうち[丸の内] | (名)丸之内 | 23 |
| まるまる | (副)完全,整整 | 11' |
| まわり[周り・回り] | (名)周围,附近 | 2 |
| まわりこむ[回り込む] | (自五)转入 | 37 |
| まわる[回る] | (自五)转,旋转 | 19 |
| まん[万] | (数)万 | 1 |
| まんせき[満席] | (名)满席,满员 | 31 |
| まんぞく[満足] | (名・自サ)满足,满意 | 42 |
| まんなか[真(ん)中] | (名)中央,正中间 | 10. 2' |
| まんねんひつ[万年筆] | (名)钢笔 | 1' |
| みいだす[見出す] | (他五)找出 | 23 |
| みえる[見える] | (自一)看得见 | 6 |
| みおとす[見落とす] | (他五)看漏,忽略 | 31 |
| みかた[见方] | (名)看法,见解 | 32 |
| みかん[蜜柑] | (名)桔子 | 20. 4' |
| みぎ[右] | (名)右,右边 | 8 |
| みぎまわり[右回り] | (名)顺时针,右转 | 15' |
| みきわめる[見極める] | (他一)弄清楚,分清 | 41 |

| | | |
|--------------|----------------|---------|
| みごと[見事] | (形动)漂亮,出色 | 37 |
| みじめ[惨め] | (名・形动)悲惨,惨痛 | 34 |
| みず[水] | (名)水 | 7 |
| みずかさ[水かさ] | (名)水量 | 23 |
| みずから[自ら] | (副)自己,自行 | 11' |
| みせ[店] | (名)商店,铺子 | 9 |
| みせる[見せる] | (他一)给看 | 11 |
| みたす[満す] | (他五)弄满,充满 | 27 |
| みだす[見出す] | (他五)发现,找出 | 30 |
| みだれる[乱れる] | (自一)乱,紊乱 | 28 |
| みち[道] | (名)道路 | 6 |
| こみち[小道] | (名)小道,小路 | 6 |
| みち[未知] | (名)未知,不知道 | 34 |
| みちかけ[満ち欠け] | (名)(星的)盈亏,圆缺 | 26 |
| みちこ[美知子] | (名)美知子 | 21 |
| みつ[密] | (名・形动)密 | 16 |
| みつ[蜜] | (名)蜂蜜,蜜 | 37 |
| みつかる[見付かる] | (自五)找到,发现 | 9' |
| みつける[見付ける] | (他一)找出 | 25. 15' |
| みっせつ[密接] | (名・形动・自サ)密接,密切 | 36 |
| みっつ[三つ] | (数)三个,三岁 | 4 |
| みつばち[蜜蜂] | (名)蜜蜂 | 37 |
| みとおす[見通す] | (他五)看透,看穿 | 27 |
| みとめる[認とめる] | (他一)认识,承认,准许 | 30 |
| みどり[緑] | (名)绿色 | 22 |
| みなおす[見直す] | (他五)重新认识,重看 | 41 |
| みなと[港] | (名)海港,港口 | 4' |
| みなとまち[港町] | (名)海港城市 | |
| みなみ[南] | (名)南,南边 | 6 |
| みならう[見習う] | (他五)模仿,见习 | 37 |
| みにつける[身に付ける] | (词组)掌握 | 12' |
| みのがす[見逃す] | (他五)看漏,放跑,饶恕 | 31 |
| みのまわり[身の回り] | (名)身边 | 18' |
| みはる[見張る] | (他五)看守,监视 | 37 |
| みほん[見本] | (名)样本,样品 | 21 |
| みまう[見舞う] | (他五)探望,问候 | 19' |
| みみ[耳] | (名)耳,耳朵 | 0 |
| みやげ[土産] | (名)土特产,礼品 | 15 |

| | | |
|----------------|--------------------|---------|
| みやこ[都] | (名)京城,都市 | 5 |
| ミュンヘン[München] | (名)慕尼黑(西德城市名) | 33 |
| みらい[未来] | (名)未来 | 24 |
| みる[見る] | (他一)看,观察,调查;照料 | 10 |
| みんな | (名・副)皆,全体 | 10. 3' |
| むいみ[無意味] | (名・形动)无意义,没价值 | 24 |
| むかう[向かう] | (自五)朝,向 | 14' |
| むかえる[迎える] | (他一)迎接 | 12 |
| むかし[昔] | (名)以前,往昔 | 2 |
| むき[向き] | (名)向,方向,倾向 | 30 |
| むきかごうぶつ[無機化合物] | (名)无机化合物 | 36 |
| むく[向く] | (自五)向,朝;适合 | 31. 15' |
| むける[向ける] | (他一)向,朝,对 | 13 |
| むげん[無限] | (名・形动)无限,无止境 | 24 |
| むし[無視] | (名・他サ)忽视 | 20 |
| むじゅん[矛盾] | (名)矛盾 | 28 |
| むしろ | (副)宁可,莫如,与其…不如 | 22 |
| むすう[無数] | (名・形动)无数 | 26 |
| むずかしい[難しい] | (形)难的 | 4 |
| むすこ[息子] | (名)儿子 | 33 |
| むすびつき[結び付き] | (名)结合 | 36 |
| むすびつく[結び付く] | (自五)结合,关联 | 26. 9' |
| むすぶ[結ぶ] | (他五)连接 | 38 |
| むせいげん[無制限] | (名・形动)无限制 | 24 |
| むっつ[六つ] | (数)六个,六岁 | 4 |
| むやみ | (形动)过分,过度 | 35 |
| むらがる[群がる] | (自五)群聚,群集 | 57 |
| むらさき[紫] | (名)紫色 | 25 |
| むり[無理] | (名・形动・自サ)勉强,过分 | 19' |
| むろん[無論] | (副)当然,不用说 | 39 |
| め[目・眼] | (名)眼,眼睛 | 7 |
| めいかく[明確] | (名・形动)明确 | 30 |
| めいさいず[明細図] | (名)详细图表 | 21' |
| めいじ[明治] | (名)明治(日本年号) | 23 |
| めいじじたい[明治時代] | (名)明治时代(1868—1912) | 23 |
| めいしょ[名所] | (名)名胜(古迹) | 0 |

| | | |
|------------------|-----------------------|---------|
| めいしょきゅうせき[名所旧跡] | (名)名胜古迹 | 19 |
| めいはく[明白] | (形动)明白,明显 | 35 |
| めいもんこう[名門校] | (名)各牌学校 | 3 |
| めいよ[名誉] | (名)名誉 | 13 |
| メーカー[maker] | (名)制造厂 | 33 |
| メーター[meter] | (名)仪表 | 19' |
| メートル[meter] | (名)米,公尺 | 11 |
| めぐまれる[恵まれみ] | (自一)受惠,天赋 | 22 |
| めぐみ[恵み] | (名)恩惠,好处 | 23 |
| めくる[捲る] | (他五)掀 | 32 |
| めぐる[(巡)る] | (他五)旋转,绕行 | 38 |
| めさき[目先] | (名)眼前,当前 | 23 |
| めざましい[目覚(ま)しい] | (形)惊人,异常 | 36. 14' |
| めざめる[目覚める] | (自一)睡醒,觉醒 | 10 |
| めしつかい[召使] | (名)奴仆 | 28 |
| めじるし[目印] | (名)记号 | 12 |
| めずらしい[珍しい] | (形)稀奇的,珍奇的 | 21 |
| めだつ[目立つ] | (自五)显眼,引人注目 | 13 |
| メッセージ[messenger] | (名)消息,致词,信使 | 13 |
| めったに | (副)(后与否定词呼应)不常…… | |
| | (不)太…… | 15 |
| めはな[目鼻] | (名)眼睛和鼻子 | 15 |
| めはなをつける[目鼻をつける] | (词组)弄出大概轮廓 | 30 |
| メニュー | (名)茶谱,茶单 | 35 |
| めもり[目盛り] | (名)刻度,标度 | 19' |
| めん[面] | (名)方面,脸 | 30 |
| めんせき[面積] | (名)面积 | 1 |
| めんせつ[面接] | (名・自他サ)接见,面晤 | 11 |
| めんどう[面倒] | (名・形动)麻烦,费事 | 8 |
| メンバー[member] | (名)成员 | 14. 3' |
| めんぼく[面目] | (名)面目,脸面 | 24 |
| もう | (副)已经,再,又 | 3 |
| もうしこむ[申し込む] | (他五)提出,提议 | 35 |
| もうす[申す] | (他五)(いう的自谦语)叫做,说,讲,告诉 | 10 |
| もうすこし[もう少し] | (副)再稍微,再稍许差一点儿 | 10 |
| もうでる[詣でる] | (自一)参拜 | 33 |

| | | |
|----------------|----------------|---------|
| もうふ[毛布] | (名)毛毯 | 17 |
| モーメント | (名)矩,力矩 | 15 |
| もくざい[木材] | (名)木材 | 22 |
| もくせい[木星] | (名)木星 | 26 |
| もくぜん[目前] | (名)眼前 | 20 |
| もくぞう[木造] | (名)木造,木制 | 9 |
| もくてき[目的] | (名)目的 | 31 |
| もくにん[黙認] | (名・他サ)默认 | 35 |
| もくもくとして[黙黙として] | (副)不声不响地 | 20 |
| もくようび[木曜日] | (名)星期四 | 2 |
| もぐる[潜る] | (自五)潜入(水中) | 20 |
| もし | (副)如果,假如 | 24. 10' |
| もじばん[文字板] | (名)字盘 | 38 |
| もしも | (副)假如(もしの强调说法) | 31. 11' |
| もたらす | (他五)带来 | 7 |
| もちいる[用いる] | (他一)用,使用 | 19' |
| もちろん[無論] | (副)当然,理所当然,不用说 | 7. 4' |
| もつ[持つ] | (他五)有,持有,具有 | 8 |
| もったいない | (形)可惜的,浪费的 | 34 |
| もっとも | (副)最,顶 | 10 |
| もてなす[持て成す] | (他五)招待 | 4' |
| もと[本・元・基] | (名)基础,原因,原来 | 10. 2' |
| もとづく[基づく] | (自五)据,基于 | 36 |
| もとめる[求める] | (他一)求,要求 | 34, 7' |
| もの[物] | (名)物品,东西 | 0 |
| もの[者] | (名)人,者 | 8 |
| ものごと[物事] | (名)事物,事情 | 32 |
| ものすごい | (形)可怕,惊人 | 26 |
| もはや | (副)已经 | 36 |
| もみじ[紅葉] | (名)红叶 | 13 |
| もめん[木綿] | (名)棉 | 22 |
| もも[桃] | (名)桃,桃子 | 1 |
| もやもや | (副・自サ)不痛快,模糊 | 32 |
| もよおす[催す] | (他五)举办,举行 | 13 |
| もらう | (他五)接受,领受,取得 | 13 |
| もり[森] | (名)树林,森林 | 12 |
| もりあがる[盛上がる] | (自五)隆起,涌上来 | 27 |
| もん[門] | (名)门,门口 | 9 |

| | | |
|--------------|------------------------------|-------|
| もん[紋] | (名)花纹,花样,家徽 | 13 |
| もんく[文句] | (名)语句,不满 | 22 |
| もんだい[問題] | (名)问题 | 16 |
| もんだいて[問題点] | (名)问题点 | 16 |
| もんぶしょう[文部省] | (名)文部省(日本政府的教育部) | 19 |
| や[屋] | (接尾)(表示经营某种营业或有某种专长的人);店,铺,匠 | 17 |
| やあ | (感)呀,哎呀(用于打招呼)喂,啊 | 21 |
| やおや[八百屋] | (名)蔬菜店 | 25 |
| やがく[夜学] | (名)夜校,夜间学习 | 3 |
| やがて | (副)不久,即将 | 23 |
| やかましい[喧しい] | (形)唠叨不休的,喧哗的 | 35 |
| やかん[薬(罐)] | (名)水壶 | 27 |
| やく[約] | (副)大约,大体 | 1 |
| やく[役] | (名)作用 | 10' |
| やく[焼く] | (他五)烧,烤 | 29 |
| やくしゅつ[訳出] | (名・他サ)翻译出来,译出 | 42 |
| やくす[訳す] | (他五)翻译 | 19 |
| やくそく[約束] | (名・他サ)约,约会 | 14 |
| やくだてる[役立てる] | (他一)使……起作用 | 36 |
| やくにたつ[役に立つ] | (词组)起作用 | 29 |
| やくわり[役割] | (名)任务,作用 | 23 |
| やける[烧ける] | (自一)烧,焚烧 | 15 |
| やさい[野菜] | (名)蔬菜 | 16 |
| やさしい[易しい] | (形)容易的 | 3 |
| やすい[(易)い] | (接尾)容易…… | 13' |
| やすい[安い] | (形)便宜,价廉 | 16 |
| やすみ[休み] | (名)休息,休假 | 2 |
| やすむ[休む] | (自他五)休息,停歇,请假 | 9 |
| おやすみなさい | (词组)晚安 | 9 |
| やちん[家賃] | (名)房租 | 29 |
| やつ[八つ] | (数)八个,八岁 | 4 |
| やってくる[やって来る] | (自力)来(くる的强调说法) | 12 |
| やっと | (副)好不容易,终于,勉强勉强 | 19.7' |
| やはり | (副)仍然;也;毕竟 | 12.3' |
| やま[山] | (名)山 | 0 |
| やまぐち[山口] | (名)山口 | 19 |

| | | |
|------------------|----------------|--------|
| やまはだ[山肌] | (名)秃山的地表 | 22 |
| やめる[止める] | (他一)停止 | 25 |
| やや | (副)稍微 | 27 |
| やる[造る] | (他五)做,干 | 8. 2' |
| やわらか[柔か] | (形动)柔软的 | 5' |
| やわらかい[柔かい] | (形)柔和的 | 33 |
| やわらげる[和らげる] | (他一)使柔和,缓和 | 22 |
| ゆういぎ[有意義] | (名・形动)有意义 | 24 |
| ゆうぎ[遊戲] | (名・自サ)游戏,玩耍 | 24 |
| ゆうし[勇士] | (名)勇士 | 20 |
| ゆうしゅう[優秀] | (名・形动)优秀 | 42 |
| ゆうしょく[夕食] | (名)晚饭 | 3' |
| ゆうじん[友人] | (名)友人,朋友 | 35 |
| ゆうせん[優先] | (名・自サ)优先 | 42 |
| ゆうどう[誘導] | (名・他サ)引导,诱导 | 25 |
| ゆうびん[郵便] | (名)邮件,邮政 | 18 |
| ゆうびんきょく[郵便局] | (名)邮局 | 2' |
| ゆうびんじどうしゃ[郵便自動車] | (名)邮车 | 13' |
| ゆうべ | (名)昨晚 | 13 |
| ゆうめい[有名] | (形动)有名 | 5 |
| ゆうれつ[優劣] | (名)优劣 | 24 |
| ゆえ[故] | (名)理由,情况 | 18 |
| ゆか[床] | (名)地板 | 11' |
| ゆがめる[歪める] | (他一)扭歪,歪曲 | 42 |
| ゆき[雪] | (名)雪 | 0 |
| ゆき[行き] | (接尾)开往……(名)去,行 | |
| ゆく[行く] | (自五)去,走,进行 | 4 |
| ゆたか[豊か] | (形动)丰富 | 22. 5' |
| ゆみ[由美] | (名)由美 | 34 |
| ゆめ[夢] | (名)梦 | 10 |
| ゆめをみる[夢を見る] | (词组)做梦 | 10 |
| ゆらく[揺(ら)ぐ] | (自五)动摇;摇晃 | 40 |
| ゆりうごかす[揺り動かす] | (他五)摇动 | 10 |
| ゆるす[許す] | (他五)准许,许可 | 11 |
| ゆるむ[緩む・弛む] | (自五)松弛 | 25 |
| ゆれる[揺れる] | (自一)摇动,颠簸 | 27 |

| | | |
|-----------------|----------------|---------|
| よい[善い・好い] | (形)好,优秀,漂亮 | 12 |
| よう[用] | (名)(应办的)事情,作 | 33 |
| ようい[用意] | (名・自他サ)准备,小心 | 30 |
| ようき[容器] | (名)容器 | 27 |
| ようきゅう[要求] | (名・他サ)要求 | 28 |
| ようご[用語] | (名)用语,措词,术语 | 41 |
| ようし[用紙] | (名)格式纸,规定用纸 | 28. 15' |
| ようじ[用事] | (名)应办的事情,工作 | 17 |
| ようじ[幼児] | (名)幼儿 | 20 |
| ようしき[様式] | (名)样式,方式 | 22 |
| ようす[様子] | (名)样子,情况 | 20 |
| ようすい[用水] | (名)用水 | 23 |
| のうぎょうようすい[農業用水] | (名)农业用水 | 23 |
| こうぎょうようすい[工業用水] | (名)工业用水 | 23 |
| ようする[要する] | (他サ)必要,需要 | 11 |
| ようそ[要素] | (名)要素,因素 | 22 |
| ようちえん[幼稚園] | (名)幼儿园 | 3 |
| ようやく[漸く] | (副)好容易,勉勉强强,渐渐 | 17 |
| ヨーロッパ[葡 Europe] | (名)欧洲 | 12 |
| よきん[預金] | (名・自他サ)存款 | 28 |
| よく | (副)好好地,经常 | 3 |
| よく[欲] | (名)欲望 | 29 |
| よくよく | (副)好好地,仔细地,特别 | 18 |
| よけいに[余計に] | (副)更加,分外 | 32 |
| よこ[横] | (名)横 | 10 |
| よこく[予告] | (名・他サ)预告 | 34 |
| よごれる[汚れる] | (自一)弄脏,污染 | 16. 13' |
| よこはま[横浜] | (名)横浜 | 3 |
| よそう[予想] | (名・他サ)估计,预测 | 23 |
| よち[余地] | (名)余地 | 24 |
| よっつ[四つ] | (数)四个,四岁 | 0 |
| よてい[予定] | (名・他サ)预定 | 30 |
| よのなか[世の中] | (名)世上,社会 | 10 |
| よぶ[呼ぶ] | (他五)呼唤,邀请,称为,叫 | 12. 9' |
| よほうかん[予報官] | (名)预报员 | 7 |
| よみかき[読み書き] | (名・他サ)读写 | 33 |
| よみとる[読み取る] | (他五)读出 | 19' |
| よむ[読む] | (他五)读 | 0 |

| | | |
|---------------|------------------------|--------|
| よやく[予約] | (名・他サ)预约 | 30 |
| より | (接尾)偏向 | 11' |
| よりょく[余力] | (名)余力 | 34 |
| よる[夜] | (名)夜晚,晚上 | 3 |
| よる[因る・由る・依る] | (自五)(常接在に后面)由于,因为,根据 | 7 |
| よろこび[喜び] | (名)高兴 | 15 |
| よろこぶ[喜ぶ・悦ぶ] | (自他五)欢喜,高兴 | 19 |
| よろしい | (形)好,可以的,适当的 | 30 |
| よろしく[宜しく] | 请问好,请关照,请致意 | 10 |
| よん・よ・し[四] | (数)四 | 4 |
| ら[等] | (接尾)(表示复数)们,等 | 8 |
| ラーメン | (名)中国汤面 | 32 |
| らいげつ[来月] | (名)下月 | 14 |
| らいしゅう[来週] | (名)下星期 | 2 |
| らいねん[来年] | (名)明年 | 4 |
| らく[楽] | (名・形动)愉快,轻松,轻易 | 12 |
| らくだ | (名)骆驼 | 5' |
| ラジオ[radio] | (名)收音机 | 2' |
| らせん | (名)螺旋 | 8' |
| ランプ[lamp] | (名)灯 | 8 |
| らんぼう[乱暴] | (名・自サ・形动)粗暴,马虎 42. 12' | |
| り[李] | (名)李 | 2 |
| りえき[利益] | (名)利益 | 11 |
| りきがく[力学] | (名)力学 | 15 |
| りきせつ[力説] | (名・他サ)强调,极力主张 | 26 |
| りく[陸] | (名)陆地 | 7 |
| りくじょう[陸上] | (名)陆地 | 7 |
| りくち[陸地] | (名)陆地 | 32 |
| りくつ[理屈] | (名)道理,理由 | 34 |
| りこてき[利己的] | (形动)自私的,利己的 | 35 |
| りそうてき[理想的] | (形动)理想的 | 30 |
| りそく[利息] | (名)利息 | 28 |
| リットル[法 litre] | (名)公升 | 17 |
| りっぱ[立派] | (形动)漂亮,优秀,出色 | 17. 3' |
| りはつ[理髪] | (名・自サ)理发 | 26 |

| | | |
|----------------------|---------------|-----|
| りめい[李明] | (名)李明 | 21 |
| りゆう[理由] | (名)理由 | 15 |
| りゅういき[流域] | (名)流域 | 23 |
| りゅうがくせい[留学生] | (名)留学生 | 21 |
| りゅうこう[流行] | (名・自サ)流行, 时兴 | 39 |
| りゅうすい[流水] | (名)流水 | 23 |
| りょう[寮] | (名)集体宿舍 | 2' |
| りよう[利用] | (名・他サ)利用 | 17 |
| りょういき[領域] | (名)领域 | 24 |
| りょうがわ[両側] | (名)两侧, 两旁 | 8 |
| りょうきりスイッチ[両切りswitch] | (名)双刀开关 | 10 |
| りょうしん[両親] | (名)双亲 | 21 |
| りょうせいるい[両生類] | (名)两栖类 | 18' |
| りょうほう[両方] | (名)两方, 双方 | 27 |
| りょうめん[両面] | (名)两面 | 35 |
| りょうり[料理] | (名・他サ)菜, 做菜 | 5 |
| ちゅうごくりょうり[中国料理] | (名)中国菜 | |
| りょこう[旅行] | (名)旅行 | 0 |
| りょこうあんないき[旅行案内記] | (名)旅行指南 | 31 |
| りれきしょ[履歴書] | (名)履历书 | 19 |
| りろん[理論] | (名)理论 | 36 |
| るいじひん[類似品] | (名)相似物品, 仿制品 | 36 |
| るす[留守] | (名・自サ)不在家 | 21 |
| れい[例] | (名)例子, 先例 | 15 |
| れい[礼] | (名)礼节, 礼貌, 感谢 | 15 |
| れいきん[礼金] | (名)酬谢金 | 29 |
| れいとう[冷凍] | (名・他サ)冷冻, 冻 | 17 |
| れいとうしょくひん[冷凍食品] | (名)冷冻食品 | |
| れきし[歴史] | (名)历史 | 2 |
| れつ[列] | (名)列, 队列 | 35 |
| れっしゃ[列車] | (名)列车 | 12 |
| れっとう[列島] | (名)列岛, 群岛 | 22 |
| レポート[report] | (名・他サ)报告 | 14 |
| レム[REM] | (名)眼眼球快速活动 | 10 |
| れんきゅう[連休] | (名)连放几天假 | 8 |
| レンジ[range] | (名)炉灶 | 17 |

| | | |
|-------------|----------------------------|---------|
| れんしゅう[練習] | (名)练习 | 3 |
| れんぞく[連続] | (名・自他サ)连续,顺序 | 20 |
| れんらく[連絡] | (名・自他サ)联络,联系 | 21 |
| ろうどう[労働] | (名・他サ)劳动 | 29 |
| ろうどうしゃ[労働者] | (名)工人 | 2' |
| ろうどく[朗読] | (名)朗读 | 3 |
| ローマ[Roma] | (名)罗马帝国(国名) | 26 |
| ろうりょく[劳力] | (名)劳动力,人力 | 11 |
| ろく[六] | (数)六 | 1 |
| ろくじ[六時] | (名)六点钟 | 2' |
| ろはん[露伴] | (名)日本小说家、剧作家 ‘幸 田露伴’的名字 | 19 |
| ろんぶん[論文] | (名)论文 | 30 |
| わが[我(が)] | (连体)我的,我们的 | 42 |
| わかい[若い] | (形)年轻的 | 6 |
| わかば[苅葉] | (名)嫩叶 | 12' |
| わがはい[我が輩] | (代)吾辈 | 39 |
| わかる[分かる] | (自五)懂,理解,明白,知道 | 8 |
| わき[脇] | (名)旁边,侧面 | 35 |
| わくいた[枠板] | (名)框板 | 38 |
| わけ[訳] | (名)道理,缘故 | 12 |
| わける[分ける] | (他一)分开,区别 | 15. 13' |
| わご[和語] | (名)和语,日语固有词汇 | 14 |
| わざと | (副)故意 | 31 |
| わざわざ | (副)特意 | 31 |
| わしゃ[話者] | (名)说话人 | 41 |
| わずか | (副・形动)一点点,少,微 | 24. 20' |
| わすれもの[忘れ物] | (名)忘拿的东西 | 34 |
| わすれる[忘れる] | (自他一)忘,忘记 | 32 |
| わたくし[私] | (代)我 | 2 |
| わたし | (代)我 | 0 |
| わたり[渡り] | (名)过度,迁徙 | 6 |
| わたる[渡る] | (自五)渡,过 | 6 |
| わたりどり[渡り鳥] | (名)候鸟 | 21 |
| わふく[和服] | (名)和服 | 21 |
| わりあい[割合] | (名)比例 | 5. 4' |
| | (副)比较 | |

| | | |
|------------|--------------|----|
| わりこむ[割り込む] | (自五)挤进,硬加入 | 35 |
| わるい[悪い] | (形)不好的,坏的;次的 | 14 |
| われわれ[我我] | (代)我们 | 14 |